

検査技術学専攻専門科目教育要項

Medical Technology, Syllabus of the Special Subjects

2021年度

2021-2022 Prospectus

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科

School of Health Care Sciences, Faculty of Medicine,
Tokyo Medical and Dental University

医学部保健衛生学科

《医学部保健衛生学科》

●教育理念

本学科は、看護学、検査技術学の2つの専門領域における知識・技術を教授することにとどまらず、豊かな教養と高い倫理観に裏づけされた医療人としての感性を有し、学際的視野にたち、自ら問題を提起し、これを解決できる能力を備えた医療人を養成します。

●教育目標

〈看護学専攻〉

高度先進化する科学技術の基礎理解力を持ち、高齢化社会における保健医療・福祉等のさまざまな職種と連携して、専門職としての役割を果たす人間性豊かな人材を育成する。

〈検査技術学専攻〉

先端医療技術の進展に対応しうる学際的視野と研究能力を有する資質の高い人材および医学、保健医療における検査技術の発展とその教育・指導に従事する人材を育成する。

●求める学生像

〈看護学専攻〉

1. 看護学・保健医療福祉に深い関心がある
2. 豊かな感性と優れたコミュニケーション能力を有する
3. 論理的思考力、問題解決能力を備えている
4. 倫理的感受性と探究心に富む

〈検査技術学専攻〉

1. 医学・保健医療に深い関心を有し、患者・要介護者や社会に対する奉仕的精神、責任感、倫理観を有する
2. 豊かな人間性をもち、観察力、論理的思考力、問題解決力、総合判断力を備えている
3. 継続的に自己啓発し、探求心が旺盛である

◆ディプロマ・ポリシー

医学部保健衛生学科では、全学共通科目、専門科目における講義・演習・実習を通して、学年ごとに設定された進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に、それぞれ学士(看護学)、学士（保健学）の学位を授与する。

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

物事を多面的に捉えられる幅広い教養を身に付け、看護学または検査技術学の基礎から応用に至る高い専門知識と技術を修得している。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

多様な背景を持つ人々の主体性や価値観を理解し、豊かな感性を持って個々を尊重した関係を築くことができる医療人としての人間性が形成されている。

3. 問題提起・解決能力の修得

社会情勢の影響あるいは業務の特性によって時々刻々と変化する臨床現場の中で、問題を的確に見出し解決に向かわせる柔軟な理解力・洞察力・行動力が養われている。

4. 自己学習能力・創造性の形成

看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストを目指して学習を継続する自己学習能力を身に付け、大学院あるいは職場において診療・教育・研究・開発活動を進展させていくことができる創造性が形成されている。

5. 国際性の形成

国際情勢に関心を示し、看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストとして国際貢献に関与できる基礎学力が養われている。

卒業時到達目標は、他の医療専門職等とのチームワーク、保健医療に関わる倫理観、広く社会を捉える国際性、基盤となる高い専門性およびそれを追求する研究的姿勢を併せて養うことが重要と考える。保健衛生学科の学習を通して、保健医療の実践の場のみならず、教育・研究の場においても、人々の健康的な生活に貢献し、看護学・検査技術学の発展に寄与できる医療人に成長することが期待される。

◆カリキュラム・ポリシー

〈看護学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および医学部保健衛生学科の教育理念に基づき、全学共通科目、専門科目を系統的、段階的に学習できるように配し、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

1. 幅広い教養と豊かな人間性と倫理観を涵養するために、一般教育とリベラルアーツを融合した共通教育には、学科・専攻横断的な自由選択科目を配置し、価値観の多様化する現代において看護と関連づけながら学びを深められるよう、看護に関する専門教育科目、医療と人間について学ぶ教養科目を有機的に配置する。
2. 自ら問題を提起し、解決する能力を備えた、看護学の実践、教育、研究者としての基礎を培い、自己の知識や技術の向上を常に目指す研究的姿勢を身につけるために、討論、グループワーク、多職種連携教育、ラーニングマネジメントシステムやシミュレーション・ラボを活用して科目を展開するとともに、論理的思考能力、リテラシー能力、批判的思考、統合的思考、論理的思考の向上を目指して、少人数制の卒業研究ならびに統合的実践科目を配置する。
3. 看護師および保健師としての知識・技術・態度を修得し、将来リーダーを担いうる資質を培うために、看護の科学的根拠となる知識からより専門性の高い各看護学の分野の科目へ、看護の対象を個人、家族、集団、地域、組織へと広げ、看護研究、看護管理へと学習を拡大していけるよう科目を配置する。

4. 多職種との連携を図りながら看護の専門性を発揮できる基礎的能力の獲得を目指して、学習段階に応じた臨地実習科目をすべての学年に配置する。
5. 国際的に活躍でき、医療の国際化に対応できる人材を育成することを目指して、4年間を通じて学習できるよう語学と国際的な看護に関する科目を配置する。

〈検査技術学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および医学部保健衛生学科の教育理念に基づき、検査技術学専攻の教育目的を踏まえた教育目標の達成を見据え、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

1. 臨床検査技師国家試験に必要な科目を含めて、全学共通科目および専門科目を4年間で系統的、段階的に学習できるよう配置する。
2. 臨地実習、インターンシップ、他学科・他専攻との共通科目等により、チーム医療の一翼として活躍できる臨床検査技師に必要な実践的知識、技術、態度、コミュニケーション能力を修得させる。
3. 国際化、情報化に対応して、英語と情報リテラシー科目は4年間に渡って継続的に学習できるように配置する。
4. 本学大学院医歯学総合研究科、生体材料工学研究所、難治疾患研究所、医学部附属病院、医歯学研究支援センター等の全学的協力および四大学連合複合領域コースの活用により、広い分野にわたる選択科目を開講するとともに、卒業研究等により大学院教育との連携を図る。

お知らせ

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症に伴い、授業日程は、適宜変更となります。

最新のものは、WebClass、及びキャンパス教育支援システムより、ご確認ください。

目 次

2021年度授業計画表《検査技術学専攻》	1
【第1学年】	2
2021年度時間割(検査技術学専攻:第1学年)	3
013002A 人体構造学講義	10
013009A 分析化学検査学Ⅰ	12
013014A 病原体検査学講義(Ⅰ)	15
013017A 検査管理学	17
013001 先端医療技術論	20
【第2学年】	21
2021年度時間割(検査技術学専攻:第2学年)	22
013004 人体構造学実習	30
013005 病理検査学講義	31
013006 病理検査学実習	35
013007 生化学講義	38
013008 生化学実習	43
013009C 分析化学検査学Ⅱ	45
013010 医用システム情報学講義(Ⅰ)	48
013011 医用システム情報学実習(Ⅰ)	51
013012A 生理検査学講義(Ⅰ)	54
013049A 生理検査学講義(Ⅱ)	56
013013A 生理検査学実習(Ⅰ)	58
013050A 生理検査学実習(Ⅱ)	59
013015 病原体検査学実習(Ⅰ)	61
013053A 免疫検査学講義	64
013016 遺伝子・染色体検査学講義	67
013018 医学情報処理演習(Ⅰ)	70
013022 臨床病態学(Ⅰ)	73
013082 Global Communication(Ⅰ)	75
【第3学年】	78
2021年度時間割(検査技術学専攻:第3学年)	79
013043 血液検査学講義	87
013044 血液検査学実習	89
013089 分析化学検査学Ⅲ	91
013047 医用システム情報学講義(Ⅱ)	94
013048 医用システム情報学実習(Ⅱ)	97
013087 生理検査学講義(Ⅲ)	100
013088 生理検査学実習(Ⅲ)	102
013051A 病原体検査学講義(Ⅱ)	105
013052 病原体検査学実習(Ⅱ)	107
013054 免疫検査学実習	109
013055B 遺伝子検査学実習	111
013057A 医学情報処理演習(Ⅱ)	113
013058A 臨床病態学(Ⅱ)	116
013060A 臨地実習	118
013061A 卒業研究(Ⅰ)	123
013083 Global Communication(Ⅱ)	125
【第4学年】	129
2021年度時間割(検査技術学専攻:第4学年)	130
013057 医学情報処理演習(Ⅱ)	137
013019A 公衆衛生学講義	140
013020A 公衆衛生学実習	143
013021A 医療概論・関係法規	146
013058 臨床病態学(Ⅱ)	148
013085 総合講義	150
013061 卒業研究	152

【選択科目/自由科目】

選択科目および自由科目の履修について	156
2021年度開講 選択科目・自由科目一覧	157
<選択科目>	
013025 遺伝学	159
013026A 生体医工学	161
013029 分子生物学	164
013031 心臓生理学	167
013033 電子顕微鏡学	169
013075 アドバンスド生理機能検査学	170
013090 心電図判読	172
014001 AI実践演習	173
013079A Learning Medical English [※4年は自由科目]	175
013062 English for Health Care Science (Ⅰ)	177
013063 English for Health Care Science (Ⅱ)	179
<自由科目>	
013036 薬理学	182
013086 短期海外研修A	184
013076 短期海外研修B	185
013077 短期海外研修C	186
013078 短期海外研修D	187

【学生周知事項】	188
学生周知事項	189
台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置(湯島地区)	192
諸様式	193

【講義室一覧】	208
講義室等一覧	209

【参 考】	210
東京医科歯科大学学則	211
東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ	225
東京医科歯科大学医学部履修規則・進級要件、履修規則内規	235
教育課程	324
東京医科歯科大学医学部試験規則、試験規則内規	332
東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項	336
国立大学法人東京医科歯科大学における授業欠席に関する取扱要項	338
医学部保健衛生学科レポート書式(見本)	340

2021年度授業計画表《検査技術学専攻》

第 2 学 年			第 3 学 年			第 4 学 年		
区 分	週 数	期 間	区 分	週 数	期 間	区 分	週 数	期 間
前期授業 ・補講	14週	2021年 4月 5日(月)～ 7月 9日(金)	前期授業 ・補講	17週	2021年 4月 5日(月)～ 7月27日(金)	前期授業 ・補講	15週	2021年 4月 1日(木)～ 7月 9日(金)
前期試験	3週	2021年 7月12日(月)～ 7月26日(月)	前期試験	2週	2021年 8月 2日(月)～ 8月 6日(金) 2021年 9月 9日(木)～ 9月15日(水)	前期試験	2週	2021年 7月12日(月)～ 7月23日(金)
夏季休業	△	2021年 7月28日(水)～ 9月 3日(金)	夏季休業	△	2021年 8月10日(火)～ 9月 3日(金)	夏季休業	△	2021年 7月26日(月)～ 9月 3日(金)
後期授業	16週	2021年 9月 6日(月)～12月24日(金)	後期授業	15週	2021年 9月16日(水)～12月24日(金)	後期授業	16週	2021年 9月 6日(月)～12月24日(金)
冬季休業	△	2021年12月27日(月) ～2022年 1月 3日(月)	冬季休業	△	2021年12月27日(月) ～2022年 1月 3日(月)	冬季休業	△	2021年12月27日(月) ～2022年 1月 3日(月)
後期授業	2週	2022年 1月 4日(火)～ 1月14日(金)	後期授業	2週	2022年 1月 4日(火)～ 1月14日(金)	後期授業	2週	2022年 1月 4日(火)～ 1月 7日(金) 2022年 1月24日(月)～ 1月28日(金)
後期試験	1週	2022年 1月17日(月)～ 1月21日(金)	後期試験	1週	2022年 1月17日(月)～ 1月21日(金)	後期試験	1週	2022年 1月11日(火)～ 1月14日(金) ※総合講義の試験日については別途連絡する
補講・再試験 期間	2週	2022年 1月24日(月)～ 2月 4日(金)	補講・再試験 期間	1週	2022年 1月24日(月)～ 1月28日(金)	補講・再試験 期間	1週	2022年 1月17日(月)～ 1月21日(金)
春季休業	△	2022年 2月 7日(月)～	春季休業	△	2022年 1月31日(月)～	春季休業	△	2022年 1月31日(月)～

【行事】

2021年 4月 5日(月) 入学式
2021年 4月 8日(木) ガイダンス(2学年)
2021年 5月 8日(土) 【未定】体育祭
※オーブンキャンパス開催未定

2021年10月12日(火) 創立記念日
2021年10月16日(土)～17日(日) お茶の水祭
2021年10月21日(木) 解剖体追悼式 N2, MT2 (薬地本願寺)
2022年 3月25日(金) 卒業式

第 1 学年

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第1学年)

(前期)

①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
3/29	月														
30	火														
31	水														
4/1	木														
2	金														

②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/5	月	※学部入学式													
6	火	四種抗体検査(湯島・保健管理センター)													
7	水	オリエンテーション・専攻別ガイダンス / 情報システム説明会(湯島・情報検索室(M&Dタワー4階))													
8	木	教養部オリエンテーション・ガイダンス													
9	金														

③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
4/12	月															
13	火	先端医療技術論(1)	登校(面接授業)	4	先端医療技術論(2)	登校(面接授業)	4	先端医療技術論(3)	登校(面接授業)	4	先端医療技術論(4)	登校(面接授業)	4	先端医療技術論(5)	登校(面接授業)	4
14	水															
15	木															
16	金															

4/16(金)18時～(zoom)

[自]短期海外研修Aオリエンテーション

④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/19	月														
20	火														
21	水														
22	木														
23	金														

⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/26	月														
27	火														
28	水														
29	木	昭和の日													
30	金														

⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/3	月	憲法記念日													
4	火	みどりの日													
5	水	こどもの日													
6	木														
7	金														

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第1学年)

⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/10	月														
11	火														
12	水														
13	木														
14	金														

⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/17	月														
18	火	先端医療技術論(6) 健康診断(予定)	登校(面接 授業)	4	先端医療技術論(7) 健康診断(予定)	登校(面接 授業)	4	先端医療技術論(8)	登校(面接 授業)	4					
19	水														
20	木														
21	金														

⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/24	月														
25	火														
26	水														
27	木														
28	金														

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/31	月														
6/1	火														
2	水														
3	木														
4	金														

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/7	月														
8	火														
9	水														
10	木														
11	金														

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/14	月														
15	火														
16	水														
17	木														
18	金														

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/21	月														
22	火														
23	水														
24	木														
25	金														

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第1学年)

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/28	月															
29	火															
30	水															
7/1	木															
2	金															

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/5	月															
6	火															
7	水															
8	木															
9	金															

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/12	月															
13	火															
14	水															
15	木															
16	金															

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/19	月															
20	火															
21	水															
22	木	海の日														
23	金	スポーツの日														

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/26	月															
27	火															
28	水															
29	木	オープンキャンパス(予定)														
30	金															

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
8/2	月															
3	火															
4	水															
5	木															
6	金															

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第1学年)

(後期)

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/13 月															
14 火															
15 水															
16 木															
17 金															

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/20 月	敬老の日														
21 火															
22 水															
23 木	秋分の日														
24 金															

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/27 月															
28 火	病原体検査学講義Ⅰ(1)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(1)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(2)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(3)	同期型 (zoom)		検査管理学(1)	同期型 (zoom)	
29 水															
30 木															
10/1 金															

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/4 月															
5 火	病原体検査学講義Ⅰ(2)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(4)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(5)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(6)	同期型 (zoom)		検査管理学(2)	同期型 (zoom)	
6 水															
7 木															
8 金															

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/11 月															
12 火	創立記念行事														
13 水													産外研研習会(講義)を希望者のみ		
14 木															
15 金															

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/18 月															
19 火	病原体検査学講義Ⅰ(3)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(7)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(8)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(9)	同期型 (zoom)		検査管理学(3)	同期型 (zoom)	
20 水															
21 木															
22 金															

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/25 月															
26 火	病原体検査学講義Ⅰ(4)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(10)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(11)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(12)	同期型 (zoom)		検査管理学(4)	同期型 (zoom)	
27 水															
28 木															
29 金															

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第1学年)

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/1	月															
	2 火	病原体検査学講義Ⅰ(5)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(13)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(14)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(15)	同期型 (zoom)		検査管理学(5)	同期型 (zoom)	
	3 水	文化の日														
	4 木															
	5 金															

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/8	月															
	9 火	病原体検査学講義Ⅰ(6)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(16)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(17)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(18)	同期型 (zoom)		検査管理学(6)	同期型 (zoom)	
	10 水															
	11 木															
	12 金															

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/15	月															
	16 火	病原体検査学講義Ⅰ(7)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(19)			人体構造学講義(20)			人体構造学講義(21)			検査管理学(7)	同期型 (zoom)	
	17 水															
	18 木															
	19 金															

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/22	月															
	23 火	勤労感謝の日														
	24 水															
	25 木															
	26 金															

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/29	月															
	30 火	病原体検査学講義Ⅰ(8)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(22)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(23)	同期型 (zoom)		人体構造学講義(24)	同期型 (zoom)		検査管理学(8)	同期型 (zoom)	
12/1	水															
	2 木															
	3 金															

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/6	月															
	7 火	分析化学検査学Ⅰ(1)(1)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅰ(2)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅰ(3) 3限14:00～	登校(面接授業)	4	分析化学検査学Ⅰ(4) 4限15:40～	登校(面接授業)	実習室	分析化学検査学Ⅰ(5) 5限17:20～	登校(面接授業)	実習室
	8 水															
	9 木															
	10 金															

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第1学年)

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/13 月															
14 火	分析化学検査学(1)(6)	同期型 (zoom)		分析化学検査学(1)(7)	同期型 (zoom)		分析化学検査学(1) (8) 3限14:00～	登校(面接 授業)	4	分析化学検査学(1) (9) 4限15:40～	登校(面接 授業)	実習室	分析化学検査学(1) (10) 5限17:20～	登校(面接 授業)	実習室
15 水															
16 木															
17 金															

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/20 月															
21 火	分析化学検査学(1)(11)	同期型 (zoom)		分析化学検査学(1)(12)	同期型 (zoom)		分析化学検査学(1) (13) 3限14:00～	登校(面接 授業)	4	分析化学検査学(1) (14) 4限15:40～	登校(面接 授業)	実習室	分析化学検査学(1) (15) 5限17:20～	登校(面接 授業)	実習室
22 水															
23 木															
24 金															

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/3 月															
4 火	分析化学検査学(1)(16)	同期型 (zoom)		分析化学検査学(1)(17)	同期型 (zoom)		分析化学検査学(1) (18) 3限14:00～	登校(面接 授業)	4	分析化学検査学(1) (19) 4限15:40～	登校(面接 授業)	実習室	分析化学検査学(1) (20) 5限17:20～	登校(面接 授業)	実習室
5 水															
6 木															
7 金															

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/10 月	成人の日														
11 火	分析化学検査学(1)(21)	同期型 (zoom)		分析化学検査学(1)(22)	同期型 (zoom)		分析化学検査学(1) (23) 3限14:00～	登校(面接 授業)	4	分析化学検査学(1) (24) 4限15:40～	登校(面接 授業)	実習室	分析化学検査学(1) (25) 5限17:20～	登校(面接 授業)	実習室
12 水															
13 木															
14 金															

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/17 月															
18 火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
19 水															
20 木															
21 金															

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/24 月															
25 火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
26 水															
27 木															
28 金															

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第1学年)

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/31	月															
2/1	火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
2	水															
3	木															
4	金															

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	12:50～14:20	授業形態	講義室	14:30～16:00	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
2/7	月															
8	火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
9	水															
10	木															
11	金	建国記念の日														

時間割番号	013002A					
科目名	人体構造学講義			科目ID	MT-130300-L	
担当教員	星 治, 藤代 瞳[HOSHI OSAMU, FUJISHIRO Hitomi]					
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	単位数	3	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Anatomy						
【科目責任者】星治						
主な講義場所						
Zoom 講義						
授業の目的、概要等						
解剖学は正常なからだの形態と構造を細胞から器官レベルまで研究する学問で、医学の最も基礎的な領域である。						
授業の到達目標						
からだを構成している細胞から器官にいたる各単位について、基本的な構造を理解することを目指す。実物観察により理解を深めることも重視する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	解剖学総論Ⅰ	解剖学とは何か、人体の構成単位、器官と系統、	星 治
2	9/28	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	解剖学総論Ⅱ	細胞と組織、人体の方向用語	星 治
3	9/28	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	骨格系Ⅰ	骨組織、骨の発生、骨の連結、頭蓋	藤代 瞳
4	10/5	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	骨格系Ⅱ	脊柱、胸郭、上肢の骨格、下肢の骨格	藤代 瞳
5	10/5	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	筋系Ⅰ	筋の形態と構造、頭部の筋	星 治
6	10/5	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	筋系Ⅱ	胸腹部の筋、上肢の筋、下肢の筋	星 治
7	10/19	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	呼吸器系Ⅰ	鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭	星 治
8	10/19	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	呼吸器系Ⅱ	気管、気管支、肺	星 治
9	10/19	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	循環器系Ⅰ	心臓の構造、刺激伝導系	佐藤 昇
10	10/26	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	循環器系Ⅱ	肺循環と体循環、動脈系、静脈系、リンパ系	星 治
11	10/26	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	循環器系Ⅲ	血管の構造	星 治
12	10/26	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	発生学	発生学:ヒトの発生、受精から出生までのあらまし	原田 理代
13	11/2	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	泌尿器系Ⅰ	腎臓	星 治
14	11/2	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	神経系Ⅰ	神経系の構成	阪上 洋行
15	11/2	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	神経系Ⅱ	中枢神経系・末梢神経系	阪上 洋行
16	11/9	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	泌尿器系Ⅱ	尿管、膀胱、尿道	星 治
17	11/9	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	生殖器系(男性、女性)	精巣と精巣上体、精管など 卵巣、卵管、子宮など	秋田 恵一
18	11/9	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	内分泌系	内分泌器官	秋田 恵一
19	11/16	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	消化器系Ⅰ	消化管の基本構造、口腔、咽頭、食道、胃	星 治
20	11/16	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	消化器系Ⅱ	小腸、大腸	星 治
21	11/16	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	感覚器系Ⅰ	眼球とその付属器	藤代 瞳
22	11/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	感覚器系Ⅱ	平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、皮膚	藤代 瞳
23	11/30	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	消化器系Ⅲ	肝臓、胆嚢、膵臓	星 治
24	11/30	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)			
授業内容						
人体を各系統に分け、それらを構成する各器官の形態と構造について講義し、基礎的な人体解剖学の概念を修得できるように努める。一部演習も行う。						
成績評価の方法						
小テストの成績(10%)、学期末筆記試験の成績(90%)により総合的に評価する。一部、英文による出題もある。						

準備学習等についての具体的な指示 指定の教科書を事前に読み込むこと。特に、講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。
教科書 解剖学／秋田恵一、星治 著、秋田、恵一、1962-、星、治.: 医歯薬出版、2019
参考書 藤田恒夫: 入門人体解剖学 南江堂 牛木辰男: 入門組織学 南江堂
他科目との関連 人体の様々な病態を理解するためには、からだの構造の基本的な知識が必要である。このため、解剖学は他の多くの科目と関連している。特に、生理学、病理学、病態学とは密接な関連がある。
履修上の注意事項 時間数が限られているので、予習、復習することが必要である。
連絡先(メールアドレス) 星 治: o-hoshi.aps@tmd.ac.jp
オフィスアワー 星 治 オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	013009A					
科目名	分析化学検査学 I			科目 ID	MT-150500-Z	
担当教員	大川 龍之介, 亀田 貴寛[OKAWA RYUNOSUKE, KAMEDA Takahiro]					
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Analytical Chemistry 1						
【科目責任者】大川 龍之介						
主な講義場所						
別途シラバスに記載						
授業の目的、概要等						
分析学を中心とした臨床検査全体の概要を理解する。また、「一般検査」と言われる検査項目である尿・脳脊髄液などの血液以外の体液や糞便、喀痰などに含まれる化学成分の定性および定量検査の方法とその臨床的意義を中心に学び実践する。精確な検査を行うために必要な検査法の原理、異常反応の発見法や対処法に関する知識を習得すると共に、考える力を身に着ける。実習では基本的な実験器具の使い方、分析法について学ぶ。						
授業の到達目標						
・一般検査の概要(主な検査項目、検体の取り扱いなど)が説明できる						
・尿が生成される機序を説明できる						
・尿定性検査の概要が説明できる						
・尿糖定性検査の原理と臨床的意義が説明できる						
・尿糖定量検査の原理を説明できる						
・尿蛋白の出現理由と蛋白主同定の意義が説明できる						
・尿蛋白定量測定の原理が説明できる						
・尿潜血検査の意義、測定原理を説明できる						
・尿比重検査の意義、測定原理を説明できる						
・その他の主な尿定性検査の概要が説明できる						
・便検査の意義、測定原理について説明できる						
・髄液検査の概要、意義について説明できる						
・穿刺液検査の概要、意義について説明できる						
・基本的な実験器具が取り扱える						
・分光光度計を用いた吸収スペクトル分析が行える						
・尿試験紙法を用いた半定量分析が行える						
・比重計を用いた尿比重測定が行える						
・脳脊髄液中の細胞数のカウントが行える						
・分光光度計を用いた定量分析が行える						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	12/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学 I	臨床検査の概要	大川 龍之介
2	12/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学 I	一般検査の概要	大川 龍之介
3	12/7	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 4	分析化学検査学 I	(実習用)分光光度計を用いた分析	亀田 貴寛
4-5	12/7	15:40-18:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	分析化学検査学 I	(実習)分光光度計を用いた分析	大川 龍之介, 亀田 貴寛
6	12/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学 I	臨床検査概要(アクティブラーニング)	大川 龍之介
7	12/14	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学 I	一般検査概要	大川 龍之介
8	12/14	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 4	分析化学検査学 I	(実習用)実験器具の使い方、再現性	亀田 貴寛
9-10	12/14	15:40-18:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	分析化学検査学 I	(実習)実験器具の使い方、再現性	大川 龍之介, 亀田 貴寛
11	12/21	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学 I	尿の性状、取り扱い、定性検査	大川 龍之介
12	12/21	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学 I	尿糖検査	大川 龍之介

13	12/21	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 4	分析化学検査学Ⅰ	(実習用)尿中成分の定性・同定法(試験紙, 用手法)	亀田 貴寛
14-15	12/21	15:40-18:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	分析化学検査学Ⅰ	(実習)尿中成分の定性・同定法(試験紙, 用手法)	大川 龍之介, 亀田 貴寛
16	1/4	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学Ⅰ	尿タンパク, 尿潜血検査	大川 龍之介
17	1/4	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学Ⅰ	尿比重, 尿pH, 尿定性分析(胆汁色素, 白血球, 妊娠反応, ポルフィリン体, フェニルケトン体, アルカプトンなど)	大川 龍之介
18	1/4	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 4	分析化学検査学Ⅰ	(実習用)脳脊髄液中の細胞数の算定, 尿中タンパク質測定	亀田 貴寛
19-20	1/4	15:40-18:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	分析化学検査学Ⅰ	(実習)脳脊髄液中の細胞数の算定, 尿中タンパク質測定	大川 龍之介, 亀田 貴寛
21	1/11	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学Ⅰ	脳脊髄液検査	大川 龍之介
22	1/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学Ⅰ	尿以外の一般検査(便潜血, 喀痰, 穿刺液などの検査)	大川 龍之介
23	1/11	14:00-15:30	保健衛生学科講義室 4	分析化学検査学Ⅰ	(実習用)尿タンパク定量	亀田 貴寛
24-25	1/11	15:40-18:50	保健衛生学実習室 検査学実習室 1	分析化学検査学Ⅰ	(実習)尿タンパク定量	大川 龍之介, 亀田 貴寛

授業方法

講義と実習を行う。講義は座学のみならず, 任意の個人個人に質問しながらの講義とする。一部の授業は, 与えられたテーマでグループディスカッションを行い, 代表者がグループの意見を発表する(アクティブラーニング)。

授業内容

検体の取り扱い方, 尿中化学成分に関する種々の分析法とその臨床的解釈, 糞便・胃液・十二指腸液・脳脊髄液などの体液成分に含まれる成分分析法と臨床的解釈について解説する。また, 実習内容に関する講義および実習を行う。

成績評価の方法

学期末筆記試験および出席点, 講義時の積極性により評価する。実習はレポート, プレゼンテーションや実習時の積極性により評価する。学期末試験には当該学習内容に関する英語の問題や実習内容も出題する。

- 1) 学期末筆記試験 100 点
- 2) 実習レポート評価 100 点
- 3) 講義および実習時の出席点・積極性 100 点

成績評価の基準

1), 2)において, それぞれ60 点に達した場合に合格とする。最終的にどちらかでも不合格であった場合には, 分析化学検査学Ⅰを不合格とする。

成績は1)と2)の平均:90%, 3):10% として合算する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に授業内容を記載したファイルを配布するので, 必ず予習し, 特に不明な点を明確にして授業に臨むこと。講義・実習後, 不明な点はメールにてすぐに質問し, わからないままにしないこと。

試験の受験資格

授業に3分の2以上, 実習に4分の3以上出席し, 聴講・実験をした者。内容の都合上, 原則, 遅刻は認められない。zoom による講義の場合は, 講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合に出席とする。

教科書

一般検査学／三村邦裕, 宿谷賢一 編集:医歯薬出版, 2016

:医歯薬出版

参考書

臨床検査法提要 = Kanai's Manual of Clinical Laboratory Medicine／金井正光 監修,奥村伸生, 戸塚実, 矢富裕 編集:金原出版, 2015

他科目との関連

化学, 生化学で学んだ知識及び技術が一般検査を学ぶ上でも基礎となる。

履修上の注意事項 授業内容が前後する場合は事前に連絡する。 欠席・遅刻をしないこと。
連絡先(メールアドレス) 大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp 亀田 貴寛:kameda.alc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大川 龍之介:特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください。 亀田 貴寛:月曜日～金曜日 AM.9:00-PM7:00 3号館 16階助教室

時間割番号	013014A					
科目名	病原体検査学講義(Ⅰ)			科目ID	MT-130600-L	
担当教員	齋藤 良一[SAITO RYOICHI]					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Medical microbiology, Lecture(Ⅰ) 【科目責任者】齋藤 良一						
主な講義場所 オンライン講義にて行う。						
授業の目的、概要等 感染症の原因である微生物および微生物とその宿主(特に人間)との相互関係に関する学問である医学微生物学について学ぶ。また人間をとりまく環境中の微生物についても学習する。						
授業の到達目標 学生はこの講義を通して医学微生物学の基礎的知識を修得できる。 1)微生物の構造や細菌の代謝、遺伝、微生物の消毒、滅菌方法について説明できる。 2)微生物の病原因子や宿主の感染防御機構、感染症治療と予防・感染制御について説明できる。 3)医学微生物学の領域で問題となる主な病原微生物(細菌、真菌、ウイルス、寄生虫)とそれらが関わる感染症について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物学総論(1)	微生物学の概念と歴史, 微生物細胞の形態と構造	齋藤 良一
2	10/5	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物学総論(2)	微生物の分類・命名, 細菌の代謝, 細菌の培養	齋藤 良一
3	10/19	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物学総論(3)	細菌の増殖・生残・死滅, 滅菌と消毒	齋藤 良一
4	10/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物学総論(4)	微生物の遺伝, 環境と微生物	齋藤 良一
5	11/2	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物と免疫	免疫, 微生物の病原因子, 宿主の感染に対する抵抗性	齋藤 良一
6	11/9	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	感染症学総論(1)	主な病原微生物(ウイルス)と感染症	齋藤 良一
7	11/16	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	感染症学総論(2)	主な病原微生物(細菌と真菌)と感染症	齋藤 良一
8	11/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	感染制御、化学療法	化学療法, 感染症の予防とコントロール	貫井 陽子
授業方法 同期型講義:WebClass で事前配布した資料をもとに講義し、質疑応答やグループ討論を行う。 非同期型講義:WebClass で配布された資料を視聴後、提示された課題を期限内に提出する。						
授業内容 医学微生物学全般(細菌学、ウイルス学、真菌学、免疫学)にわたる基礎的な事項について講義を行う。感染症に関してもその概略を述べる。一部で先進的な微生物検査について概説する。						
成績評価の方法 定期試験成績(85 点)、課題内容(10 点)および授業態度(5 点)により総括的評価(100 点満点)を行う。定期試験は多肢選択問題で構成され、基本的な専門用語を英語で示す問題も一部に含まれる。						
成績評価の基準 「成績評価の方法」に示した項目の合計が 60 点以上の場合を合格とする。						
準備学習等についての具体的な指示 講義前に事前配布資料で予習し、関連する内容は教科書でも学習すること。						
試験の受験資格 本学の試験規則を満たす者。但し、出席管理は以下のように行う。 同期型講義:zoom のアクセス時間と講義中に行う小テストや質疑応答等により判断する。講義開始 30 分以上経過後のアクセスは欠席とみなす。 非同期型講義:動画視聴後に提示された課題を期限内に提出した場合、出席とする。						
教科書 臨床微生物学／松本哲哉 編集:医歯薬出版, 2017						

参考書 シンプル微生物学／小熊恵二, 堀田博, 若宮伸隆編集, 小熊, 恵二, 堀田, 博, 若宮, 伸隆, : 南江堂, 2018 標準微生物学／神谷茂, 錫谷達夫編集, 中込, 治, 神谷, 茂, 錫谷, 達夫, : 医学書院, 2018 イラストでわかる微生物学超入門：病原微生物の感染のしくみ／齋藤光正著, 齋藤, 光正, : 南山堂, 2018
他科目との関連 免疫学、生化学、病理学、公衆衛生学などの科目と密接な関係を持っている。
履修上の注意事項 微生物学の範囲は広く講義時間数は限られているので、毎回出席することが大切である。また講義内容の復習や講義で詳しく触れなかった事項も自主学習し、單元ごとに知識の定着を図って欲しい。講義・実習に関わる資料は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することの無いように十分気を付けること。
連絡先(メールアドレス) 齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp
オフィスアワー 齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	013017A						
科目名	検査管理学			科目ID	MT-130700-L		
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Clinical Laboratory Management							
【科目責任者】伊藤南							
主な講義場所							
Zoom による同期授業を実施する。							
授業の目的、概要等							
信頼性の高い検査情報を得るためには、臨床検査の方法を良くするだけではなく、検査の質を維持・向上する必要がある。検査管理の目的、誤差の評価、検査の標準化、測定値の評価、内部精度管理法、基準範囲、臨床判断基準、検査室の安全管理について学ぶ。検査の品質管理ともいって精度管理の考え方は臨床検査のみならず、ひろく研究・技術開発の様々な状況に通じる。							
授業の到達目標							
以下の各項目について、理解し、説明できること。							
①検査管理入門							
検査管理の目的 検査の種類、確定診断と鑑別診断							
検査室の目的							
②誤差の管理							
クオリティーマネージメント、WHOの定義、ISO15189							
度数分布、代表値、散布度の表示法、誤差の種類、真度、精密度、精確さ、正規分布							
③検査の標準化							
基準分析法、標準物質、許容誤差限界、トレーサビリティ、不確かさ							
④測定法の評価							
併行精度、室内中間精度、室間再現精度、室内精度、精密度プロファイル							
希釈直線性試験、添加回収試験、干渉試験、比較試験、安定性試験、PDCAサイクル							
⑤内部精度管理							
シューハート管理図、ウェストガードのマルチルール管理図							
個別データの管理、パニック値							
⑥基準範囲&臨床判断基準							
基準値、基準範囲、疾患率、臨床判断基準、病態識別値							
感度と特異度、カットオフ値、尤度比、適中率							
⑦臨床判断基準							
SnNout、SpPin、ROC 曲線							
コスト&ベネフィット、期待効用、治療閾値							
⑧検査室の安全管理							
リスクマネジメントとは？							
ヒヤリハット、ハインリッヒの法則、インシデントレポート							
検査情報の取り扱い、個人情報保護法							
これからの臨床検査技師に必要なこと							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/28	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	臨床検査の管理	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
2	10/5	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	誤差の管理	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
3	10/19	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	検査の標準化	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計

4	10/26	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	測定値の評価	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
5	11/2	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	内部精度管理	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
6	11/9	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	基準範囲	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
7	11/16	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	臨床判断基準	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計
8	11/30	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	検査管理学	検査室の安全管理	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、アンケートソフトによる解答集計

授業方法

Zoom による同期授業を実施する。配布資料、教科書をもとに講義する。配布資料は WebClass で事前に公開する。毎回、前回の講義内容を範囲として小テストを行う。講義中、アンケートソフトを利用した質疑やグループ討論を行う。

授業内容

①検査管理入門

臨床検査とは何か？

臨床検査の TPO

②誤差の管理

検査を管理するとはどういうことか？

測定値のばらつきをどう表すか？

③検査の標準化

測定値の標準化

④測定法の評価

精密さの評価

真度の評価

日常検査の評価

⑤内部精度管理

管理試料による管理

個別データによる管理

⑥基準範囲&臨床判断基準

健常な人のデータとは？

確実な診断とは？

疾患の有無を判断する指標

⑦臨床判断基準

疾患の有無を判断する

治療開始を判断する

⑧検査室の安全管理

リスクマネジメント

検査情報の取り扱い

次世代の臨床検査技師

成績評価の方法

小テストの成績と学期末筆記試験の成績により総合的に評価する。学期末筆記試験は多肢選択問題、記述訂正問題、記述問題により構成され、20%相当を英語で出題する。

成績評価の基準

学期末筆記試験の成績(80%)に小テストの成績(20%)を加えて総合成績(100 点満点)として科目の評価とする。総合成績が60点以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

①すでに統計学の教科書を持っているものは、教科書2は不要。

②1年生で学んだ「統計学」の内容を良く理解しておくこと。

③配布資料は各自で WebClass よりダウンロード、印刷しておくこと。当日の資料配布なし。
④講義前に、配布資料と教科書の関連範囲に目を通しておくこと(教科書との対応は授業明細の備考欄を参照)。
試験の受験資格 講義中に行う小テストおよびアンケート形式の質疑応答へ参加により出席確認とする。2／3以上の出席をもって受験資格とする。
教科書 検査総合管理学／高木康、三村邦裕:医歯薬出版, 2016 入門統計学／栗原伸一著.:オーム社, 2011-07
参考書 バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論／市原清志:南江堂, 1990 入門医療統計学／森實敏夫:東京図書, 2004 統計学が最強の学問である／西内啓:ダイヤモンド社, 2013 統計学図鑑／栗原伸一、丸山敦史 共著.:オーム社, 2017 臨床医学総論：臨床医学総論 放射性同位元素検査技術学 医用工学概論 情報科学・医療情報学 公衆衛生学／小山高敏、戸塚実編集；小山高敏 [ほか] 執筆,小山, 高敏,戸塚, 実:医学書院, 2013 検査機器総論・検査管理総論／横田浩充、大久保滋夫編集；大久保滋夫 [ほか] 執筆,横田, 浩充,大久保, 滋夫.:医学書院, 2013
他科目との関連 統計処理について、公衆衛生学、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)と関連する。 医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 能動的な講義への参加、講義時間を無駄に過ごさないことを希望する。講義資料は事前に WebClass で閲覧できるようにしてあるので予習すること。講義中ないし講義後の質問を歓迎する。受講に際しては画面の小さなスマホ等の使用を避けること。前回の講義の範囲で小テストを実施するので、必ず復習しておくこと。著作権の問題があるので Zoom 講義の撮影と講義資料の受講者以外への公開を禁ずる。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 昨年度のアンケートより改善点を探して確認します。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤 南:毎週月曜日 PM.1:00-PM.5:00 3号棟16階 生体機能支援システム学・教授室または研究室 事前にメール等で連絡してもらえば随時対応します。

時間割番号	013001					
科目名	先端医療技術論			科目ID	MT-130100-L	
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Advanced Laboratory Sciences 【科目責任者】伊藤 南						
主な講義場所 保健衛生学講義室4(3号館7階)						
授業の目的、概要等 検査技術学を専攻した学生が、一年次のうちに、自ら目指そうとしている専門性を理解するため、専攻の特徴について習得する。また、病院検査部・輸血部・病理部見学、研究室見学等を通じて専門分野の専門家を目指す意識を高め、カリキュラムの概要を理解した上で、検査技術学を専攻する学生として積極的に基礎知識を習得する。 スムーズに専門分野の学習に取り組めること、また、幅広い教養を身に付けた検査技術学分野の専門家を目指して教養教育に取り組めることを目的とする。						
授業の到達目標 検査技術学の概要と基礎分野、専門分野、臨地実習、卒業研究等の内容を理解し、大学における学習・研究活動に積極的に取り組む姿勢を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/13	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	先端医療技術論	先端医療技術論	伊藤 南
2	4/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	先端医療技術論	最先端の臨床検査とその利用	沢辺 元司, 角 勇樹
3-4	4/13	12:50-16:00	保健衛生学科講義室 4	先端医療技術論	病院見学	伊藤 南
5	4/13	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	先端医療技術論	臨床検査の現状	大川 龍之介
6-7	5/18	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 4	先端医療技術論	研究室見学	伊藤 南
8	5/18	12:50-14:20	保健衛生学科講義室 4	先端医療技術論	最先端の臨床検査とその利用	齋藤 良一, 西尾 美和子
授業内容 生体検査科学専攻の複数教職員が、医療における臨床検査の利用や最新の臨床検査について平易に解説する。更に病院検査部・輸血部・病理部見学、研究室見学を通して実際の医療における臨床検査の現状や大学における今後の学習・研究活動を体感する。						
成績評価の方法 レポート・出席状況により総合評価を行なう。						
成績評価の基準 出席を重視する						
準備学習等についての具体的な指示 随時指示する。						
教科書 特に必要ない(講義によっては参考資料を配布)						
履修上の注意事項 病院見学の際に白衣を着用のこと 見学の予定は後日連絡する						
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、						
オフィスアワー 伊藤 南:毎週月曜日 PM.1:00-PM.5:00 3号棟16階 生体機能支援システム学・教授室または研究室 事前にメール等で連絡してもらえば随時対応します。						

第 2 学年

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第2学年)

(前期)

3/29	月	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	火															
	水															
	木															
	金															
4/5	月	① 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	火	合同入学式10:35～ (集合時間・場所は別途連絡)						移動時間			【合】生化学講義(1)	同期型 (zoom)		【合】生化学講義(2)	同期型 (zoom)	
	水	遺伝子・染色体検査学講義(1)	同期型 (zoom)		【合】病理検査学講義(1)	同期型 (zoom)		Global Communication I (1)	同期型 (zoom)							
	木	【合】病理検査学講義(2)	同期型 (zoom)		移動時間			医用システム情報学実習 I (1)	登校(面接 授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (2)	登校(面接 授業)	7F 実習室	オリエンテーション	登校(面接 授業)	4
	金	医用システム情報学講義 I (1)	同期型 (zoom)		【合】生化学講義(3)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(1)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(2)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(3)	同期型 (zoom)	
4/12	月	② 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	火	【合】病理検査学講義(3)	同期型 (zoom)		【合】生化学講義(4)	同期型 (zoom)					分析化学検査学Ⅱ(3)	同期型 (zoom)		医用システム情報学講義 I (2)	同期型 (zoom)	
	水	遺伝子・染色体検査学講義(2)	同期型 (zoom)		【合】病理検査学講義(4)	同期型 (zoom)		Global Communication I (2)	同期型 (zoom)					【合】生化学講義(5)	同期型 (zoom)	
	木	10:00～12:00 抗体検査(保健管理センター)						医用システム情報学実習 I (3)	登校(面接 授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (4)	登校(面接 授業)	7F 実習室			
	金	【合】生化学講義(6)	同期型 (zoom)		医用システム情報学講義 I (3)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(4)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(5)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(6)	同期型 (zoom)	
4/16(金)18時～(zoom)																
[自]短期海外研修Bオリエンテーション(自由参加)																
4/19	月	③ 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	火	【合】病理検査学講義(5)	同期型 (zoom)		【合】生化学講義(7)	同期型 (zoom)		【合】生化学講義(8)	同期型 (zoom)		医用システム情報学講義 I (4)	同期型 (zoom)				
	水	遺伝子・染色体検査学講義(3)	同期型 (zoom)		【合】病理検査学講義(6)	同期型 (zoom)		Global Communication I (3)	同期型 (zoom)					【選】遺伝学(1)	同期型 (zoom)	
	木	【合】生理検査学講義 I (1)	同期型 (zoom)		移動時間			医用システム情報学実習 I (5)	登校(面接 授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (6)	登校(面接 授業)	7F 実習室			
	金	【合】生化学講義(9)	同期型 (zoom)		医用システム情報学講義 I (5)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(7)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(8)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(9)	同期型 (zoom)	
4/26	月	④ 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	火	【合】生理検査学講義 I (2)	同期型 (zoom)		【合同】臨床病態学 I (1)	同期型 (zoom)	webclass 併用	【合】生化学講義(10)	同期型 (zoom)		【合】生化学講義(11)	同期型 (zoom)		【選】English for Health Care Sciences I (1)	同期型 (zoom)	
	水	分析化学検査学Ⅱ(11)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅱ(12)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅱ(13)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅱ(14)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅱ(15)	同期型 (zoom)	
	木	【合】生化学講義(12)	同期型 (zoom)		【合】生化学講義(13)	同期型 (zoom)		Global Communication I (4)	同期型 (zoom)		【合】病理検査学講義(7)	同期型 (zoom)				
	金	昭和の日														
5/3	月	⑤ 8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	火	憲法記念日														
	水	みどりの日														
	木	こどもの日														
	金	【合】生理検査学講義 I (3)	同期型 (zoom)		【合】生理検査学講義 I (4)	同期型 (zoom)		遺伝子・染色体検査学講義(4)	非同期型 (webclass)		医用システム情報学実習 I (7)	登校(面接 授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (8)	登校(面接 授業)	7F 実習室
7	月	【合】生化学講義(15)	同期型 (zoom)		医用システム情報学講義 I (7)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(12)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(13)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(14)	同期型 (zoom)	

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第2学年)

5/10	⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】生理検査学講義Ⅰ(5)	同期型 (zoom)					分析化学検査Ⅱ(16)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(17)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(18)	同期型 (zoom)	
	11火	分析化学検査Ⅱ(19)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(20)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(21)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(22)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(23)	同期型 (zoom)	
	12水				【合】病理検査学講義(8)	同期型 (zoom)		Global CommunicationⅠ(6)	同期型 (zoom)		遺伝子・染色体検査学講義(5)	同期型 (zoom)				
	13木	【合】生理検査学講義Ⅰ(6)	同期型 (zoom)		移動時間	非同期型 (webclass)		医用システム情報学実習Ⅰ(9)	登校(面接 授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習Ⅰ(10)	登校(面接 授業)	7F 実習室			
14金		【選】分子生物学(1)	同期型 (zoom)		医用システム情報学講義Ⅰ(8)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(15)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(16)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(17)	同期型 (zoom)	

5/17	⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】生理検査学講義Ⅰ(7)	同期型 (zoom)		【合同】臨床病態学Ⅰ(2)	非同期型 (webclass)		【合同】臨床病態学Ⅰ(3)	非同期型 (webclass)					【選】English for Health Care SciencesⅠ(2)	同期型 (zoom)	
	18火	分析化学検査Ⅱ(24)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(25)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(26)3限14:00～	登校(面接 授業)		分析化学検査Ⅱ(27)4限15:40～	登校(面接 授業)		分析化学検査Ⅱ(28)5限17:20～	登校(面接 授業)	
	19水	病理検査学講義(9)	同期型 (zoom)		病理検査学講義(10)	同期型 (zoom)		Global CommunicationⅠ(7)	同期型 (zoom)		遺伝子・染色体検査学講義(6)	同期型 (zoom)		【選】遺伝学(2)	同期型 (zoom)	
	20木	病理検査学講義(11)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学講義(12)	登校(面接 授業)	実習室	医用システム情報学実習Ⅰ(11)	登校(面接 授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習Ⅰ(12)	登校(面接 授業)	7F 実習室			
21金		【選】分子生物学(2)	同期型 (zoom)		医用システム情報学講義Ⅰ(9)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(18)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(19)	同期型 (zoom)				

5/24	⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】生理検査学講義Ⅰ(8)	同期型 (zoom)		【合】生理検査学講義Ⅰ(9)	同期型 (zoom)		【合同】臨床病態学Ⅰ(4)	非同期型 (webclass)					【選】English for Health Care SciencesⅠ(3)	同期型 (zoom)	
	25火	分析化学検査Ⅱ(29)	非同期型 (webclass)		分析化学検査Ⅱ(30)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(31)3限14:00～	登校(面接 授業)		分析化学検査Ⅱ(32)4限15:40～	登校(面接 授業)		分析化学検査Ⅱ(33)5限17:20～	登校(面接 授業)	
	26水	病理検査学講義(13)	同期型 (zoom)		病理検査学講義(14)	同期型 (zoom)		Global CommunicationⅠ(8)	同期型 (zoom)							
	27木	【合】生理検査学講義Ⅰ(10)	同期型 (zoom)		移動時間			医用システム情報学実習Ⅰ(13)	登校(面接 授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習Ⅰ(14)	登校(面接 授業)	7F 実習室			
28金		【選】分子生物学(3)	同期型 (zoom)		医用システム情報学講義Ⅰ(10)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(20)	同期型 (zoom)		人体構造学実習(21)	同期型 (zoom)				

5/31	⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】生理検査学講義Ⅰ(11)	同期型 (zoom)		【合同】臨床病態学Ⅰ(5)	非同期型 (webclass)		【合同】臨床病態学Ⅰ(6)	非同期型 (webclass)					【選】English for Health Care SciencesⅠ(4)	同期型 (zoom)	
	6/1火	分析化学検査Ⅱ(34)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(35)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(36)3限14:00～	登校(面接 授業)		分析化学検査Ⅱ(37)4限15:40～	登校(面接 授業)		分析化学検査Ⅱ(38)5限17:20～	登校(面接 授業)	
	2水	病理検査学講義(15)	同期型 (zoom)		病理検査学講義(16)	同期型 (zoom)		Global CommunicationⅠ(9)	同期型 (zoom)		生理検査学実習Ⅰ(1)	同期型 (zoom)		生理検査学実習Ⅰ(2)	同期型 (zoom)	
	3木	【合】生理検査学講義Ⅰ(12)	同期型 (zoom)		移動時間			医用システム情報学実習Ⅰ(15)	登校(面接 授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習Ⅰ(16)	登校(面接 授業)	7F 実習室			
4金		【選】分子生物学(4)	同期型 (zoom)		医用システム情報学講義Ⅰ(11)	同期型 (zoom)		生理検査学実習Ⅰ(3)	同期型 (zoom)		生理検査学実習Ⅰ(4)	同期型 (zoom)		生理検査学実習Ⅰ(5)	同期型 (zoom)	

6/7	⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【選】遺伝学(3)	同期型 (zoom)		【合同】臨床病態学Ⅰ(7)	非同期型 (webclass)								【選】English for Health Care SciencesⅠ(5)	同期型 (zoom)	
	8火	分析化学検査Ⅱ(39)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(40)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(41)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(42)	同期型 (zoom)		分析化学検査Ⅱ(43)	同期型 (zoom)	
	9水	病理検査学講義(17)	同期型 (zoom)		病理検査学講義(18)	非同期型 (webclass)		Global CommunicationⅠ(10)	同期型 (zoom)		生理検査学実習Ⅰ(6)	同期型 (zoom)		生理検査学実習Ⅰ(7)	同期型 (zoom)	
	10木	【合】生理検査学講義Ⅰ(13)	同期型 (zoom)		【合】生理検査学講義Ⅰ(14)	同期型 (zoom)		遺伝子・染色体検査学講義(7)	同期型 (zoom)							
11金		【選】分子生物学(5)	同期型 (zoom)		医用システム情報学講義Ⅰ(12)	同期型 (zoom)		生理検査学実習Ⅰ(8)	同期型 (zoom)		生理検査学実習Ⅰ(9)	同期型 (zoom)				

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第2学年)

6/14	⑪	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】生理検査学講義 I (15)	同期型 (zoom)		遺伝子・染色体検査学講義 (8)	同期型 (zoom)		【合】臨床病態学 I (8)	非同期型 (webclass)		【合】臨床病態学 I (9)	非同期型 (webclass)		【選】English for Health Care Sciences I (6)	同期型 (zoom)	
	15 火	臨床病態学 I (10) チーム医療導入(他 職種連携教育) (M3,D3,N2,MT2)	未定		臨床病態学 I (11) チーム医療導入(他 職種連携教育) (M3,D3,N2,MT2)	未定					分析化学検査学 II (44)	非同期型 (webclass)		分析化学検査学 II (45)	同期型 (zoom)	
	16 水	【選】遺伝学 (4)	同期型 (zoom)		病理検査学講義 (19)	同期型 (zoom)		Global Communication I (11)	同期型 (zoom)		生理検査学実習 I	同期型 (zoom)		生理検査学実習 I	同期型 (zoom)	
	17 木	遺伝子・染色体検査学講義 (9)	同期型 (zoom)		移動時間			医用システム情報学実習 I (17)	登校(面接 授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (18)	登校(面接 授業)	7F 実習室			
	18 金	【選】分子生物学 (6)	同期型 (zoom)		【合同】臨床病態学 I (12)	非同期型 (webclass)		医用システム情報学講義 I (13)	同期型 (zoom)							

6/21	⑫	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月				【合同】臨床病態学 I (13)	非同期型 (webclass)		【選】遺伝学 (5)	非同期型 (webclass)		【選】遺伝学 (6)	同期型 (zoom)		【選】English for Health Care Sciences I (7)	同期型 (zoom)	
	22 火	分析化学検査学 II (46)	同期型 (zoom)		分析化学検査学 II (47)	同期型 (zoom)		分析化学検査学 II (48)	同期型 (zoom)		分析化学検査学 II (49)	同期型 (zoom)		分析化学検査学 II (50)	同期型 (zoom)	
	23 水	病理検査学講義 (20)	同期型 (zoom)		病理検査学講義 (21)	非同期型 (webclass)		Global Communication I (12)	同期型 (zoom)		生理検査学実習 I (12)	同期型 (zoom)		生理検査学実習 I (13)	同期型 (zoom)	
	24 木	遺伝子・染色体検査学講義 (10)	同期型 (zoom)		移動時間			医用システム情報学実習 I (19)	登校(面接 授業)	7F 実習室	医用システム情報学実習 I (20)	登校(面接 授業)	7F 実習室			
	25 金	【選】分子生物学 (7)	同期型 (zoom)		医用システム情報学講義 I (14)	同期型 (zoom)		生理検査学実習 I (14) (14:00～15:30)	登校(面接 授業)	7F 実習室	生理検査学実習 I (15) (15:40～17:10)	登校(面接 授業)	7F 実習室	生理検査学実習 I (16) (17:20～18:50)	登校(面接 授業)	7F 実習室

6/28	⑬	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月				【選】遺伝学 (7)	同期型 (zoom)		【選】遺伝学 (8)	同期型 (zoom)							
	29 火	【合】生理検査学講義 I (16)	同期型 (zoom)		【合】生理検査学講義 I (17)	同期型 (zoom)		遺伝子・染色体検査学講義 (11)	同期型 (zoom)							
	30 水	病理検査学講義 (22)	同期型 (zoom)		【合】生理検査学講義 I (18)	同期型 (zoom)		Global Communication I (13)	同期型 (zoom)							
	7/1 木	【合同】臨床病態学 I (14)	非同期型 (webclass)		【合同】臨床病態学 I (15)	同期型 (zoom)		医用システム情報学実習 I (21)	非同期型 (webclass)		医用システム情報学実習 I (22)	非同期型 (webclass)				
	2 金	【選】分子生物学 (8)	同期型 (zoom)		医用システム情報学講義 I (15)	同期型 (zoom)		生理検査学実習 I (17) (14:00～15:30)	登校(面接 授業)	7F 実習室	生理検査学実習 I (18) (15:40～17:10)	登校(面接 授業)	7F 実習室			

7/5	⑭	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	【合】生理検査学講義 I (19)	同期型 (zoom)		【合】生理検査学講義 I (20)	同期型 (zoom)		遺伝子・染色体検査学講義 (12)	非同期型 (webclass)					【選】English for Health Care Sciences I (8)	同期型 (zoom)	
	6 火	【合】生理検査学講義 I (21)	同期型 (zoom)		【合】生理検査学講義 I (22)	同期型 (zoom)		遺伝子・染色体検査学講義 (13)	非同期型 (webclass)							
	7 水	【合同】臨床病態学 I (16)	非同期型 (webclass)		臨床病態学 I (17)	非同期型 (webclass)		Global Communication I (14)	同期型 (zoom)							
	8 木	【合】生理検査学講義 I (23)	同期型 (zoom)		遺伝子・染色体検査学講義 (14)	同期型 (zoom)		移動時間			医用システム情報学実習 I (23)	登校(面接 授業)	4			
	9 金				遺伝子・染色体検査学講義 (15)	同期型 (zoom)										

7/12	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	前期定期試験														
	13 火	前期定期試験														
	14 水	前期定期試験														
	15 木	前期定期試験														
	16 金	前期定期試験														

【TOEFL/ITP】
7月の定期試験時に実施
Global Communication(I) (15) (16)

7/19	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	前期定期試験														
	20 火	前期定期試験														
	21 水	前期定期試験														
	22 木	海の日														
	23 金	スポーツの日														

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第2学年)

		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/26	月	前期定期試験														
27	火				人体構造学実習 (22)	登校(面接授業)	解剖実習室	人体構造学実習 (23)	登校(面接授業)	解剖実習室	人体構造学実習 (24)	登校(面接授業)	解剖実習室			
28	水															
29	木	オープンキャンパス(予定)														
30	金															
夏季休業 7/28(水)～																

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第2学年)

(後期)

9/6	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月															
	7	火														
	8	水	病理検査学講義(23)	同期型 (zoom)		病理検査学講義(24)	同期型 (zoom)		Global Communication 1(1)(17)	同期型 (zoom)						
	9	木	病理検査学講義(25)	同期型 (zoom)		病理検査学講義(26)	非同期型 (webclass)									
10	金		病理検査学実習(1)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(2)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(3)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(4)	登校(面接 授業)	実習室		
9/13	②	8:50～10:20		講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月		病理検査学実習(5)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(6)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(7)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(8)	登校(面接 授業)	実習室		
	14	火	生理検査学講義Ⅱ(1)	登校(面接 授業)		生理検査学実習Ⅱ(1)	登校(面接 授業)		移動時間							
	15	水	病理検査学講義(27)	非同期型 (webclass)		病理検査学講義(28)	非同期型 (webclass)		Global Communication 1(1)(18)	同期型 (zoom)						
	16	木	生理検査学講義Ⅱ(2)	同期型 (zoom)		生理検査学実習Ⅱ(2)	同期型 (zoom)									
17	金		病理検査学実習(9)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(10)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(11)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(12)	登校(面接 授業)	実習室		
9/20	③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月		敬老の日													
	21	火	生理検査学講義Ⅱ(3)	登校(面接 授業)		生理検査学実習Ⅱ(3)	登校(面接 授業)		移動時間							
	22	水	病原体検査学実習Ⅰ(1)	同期型 (zoom)					Global Communication 1(1)(19)	同期型 (zoom)						
	23	木		秋分の日												
24	金								病原体検査学実習Ⅰ(2)	同期型 (zoom)		病原体検査学実習Ⅰ(3)	同期型 (zoom)		病原体検査学実習Ⅰ(4)	同期型 (zoom)
9/27	④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月		病理検査学実習(13)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(14)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(15)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(16)	登校(面接 授業)	実習室		
	28	火	生理検査学講義Ⅱ(4)	登校(面接 授業)		生理検査学実習Ⅱ(4)	登校(面接 授業)		生化学実習(1)	登校(面接 授業)	7F実習室	生化学実習(2)	登校(面接 授業)	7F実習室	生化学実習(3)	登校(面接 授業)
	29	水	病理検査学講義(29)	同期型 (zoom)					Global Communication 1(1)(20)	同期型 (zoom)						
	30	木	病理検査学講義(30)	同期型 (zoom)										(選)AI 実践演習(1)	同期型 (zoom)	
10/1	金		生理検査学講義Ⅱ(5)	未定					病原体検査学実習Ⅰ(5)	同期型 (zoom)		病原体検査学実習Ⅰ(6)	同期型 (zoom)		病原体検査学実習Ⅰ(7)	同期型 (zoom)
10/4	⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月		病理検査学実習(17)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(18)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(19)	登校(面接 授業)	実習室	病理検査学実習(20)	登校(面接 授業)	実習室		
	5	火				生化学講義(16)	同期型 (zoom)		生化学実習(4)	同期型 (zoom)		生化学実習(5)	同期型 (zoom)		生化学実習(6)	同期型 (zoom)
	6	水							Global Communication 1(1)(21)	同期型 (zoom)						
	7	木												(選)AI 実践演習(2)	同期型 (zoom)	
8	金		生理検査学講義Ⅱ(6)	登校(面接 授業)		生理検査学実習Ⅱ(5)	登校(面接 授業)		病原体検査学実習Ⅰ(8)	同期型 (zoom)		病原体検査学実習Ⅰ(9)	同期型 (zoom)		病原体検査学実習Ⅰ(10)	同期型 (zoom)
10/11	⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月															
	12	火														
	13	水	[自]薬理学(1)	同期型 (zoom)		[自]薬理学(2)	同期型 (zoom)		Global Communication 1(1)(22)	同期型 (zoom)				海外研修報告会		
	14	木														
15	金		生理検査学実習Ⅱ(6)	登校(面接 授業)		生理検査学実習Ⅱ(7)	登校(面接 授業)		移動時間							

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第2学年)

10/18	⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	病理検査学実習(21)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(22)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(23)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(24)	登校(面接授業)	実習室			
	19	火			生化学講義(17)	非同期型(webclass)		生化学実習(7)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(8)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(9)	登校(面接授業)	実習室
	20	水	[自]薬理学(3)	同期型(zoom)	[自]薬理学(4)	同期型(zoom)		Global Communication 1(1)(23)	同期型(zoom)							
	21	木			免疫検査学講義(1)	同期型(zoom)								(選)AI 実践演習(3)	同期型(zoom)	
22	金	生理検査学講義Ⅱ(7)	未定		生理検査学実習Ⅱ(8)	未定		病原体検査学実習Ⅰ(11)	同期型(zoom)		病原体検査学実習Ⅰ(12)	同期型(zoom)		病原体検査学実習Ⅰ(13)	同期型(zoom)	
10/25	⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	病理検査学実習(25)	同期型(zoom)		病理検査学実習(26)	同期型(zoom)		病理検査学実習(27)	同期型(zoom)		病理検査学実習(28)	同期型(zoom)				
	26	火	免疫検査学講義(2)	非同期型(webclass)	生化学講義(18)	非同期型(webclass)		生化学実習(10)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(11)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(12)	登校(面接授業)	7F実習室
	27	水	[自]薬理学(5)	同期型(zoom)	[自]薬理学(6)	同期型(zoom)		Global Communication 1(1)(24)	同期型(zoom)							
	28	木	解剖体追悼式(予定・時間未定)													
29	金	生理検査学講義Ⅱ(8)	未定		生理検査学実習Ⅱ(9)	未定		病原体検査学実習Ⅰ(14)	同期型(zoom)		病原体検査学実習Ⅰ(15)	同期型(zoom)		病原体検査学実習Ⅰ(16)	同期型(zoom)	
11/1	⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態		14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	病理検査学実習(29)	同期型(zoom)		病理検査学実習(30)	同期型(zoom)		病理検査学実習(31)	同期型(zoom)		病理検査学実習(32)	同期型(zoom)				
	2	火	免疫検査学講義(3)	非同期型(webclass)	生化学講義(19)	非同期型(webclass)		生化学実習(13)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(14)	登校(面接授業)	7F実習室	生化学実習(15)	登校(面接授業)	7F実習室
	3	水	文化の日													
	4	木	免疫検査学講義(4)	非同期型(webclass)	免疫検査学講義(5)	非同期型(webclass)		病理検査学講義(31)	同期型(zoom)					(選)AI 実践演習(4)	同期型(zoom)	
5	金	生理検査学講義Ⅱ(9)	未定		生理検査学実習Ⅱ(10)	未定		病原体検査学実習Ⅰ(17)	登校(面接授業)		病原体検査学実習Ⅰ(18)	登校(面接授業)		病原体検査学実習Ⅰ(19)	登校(面接授業)	
11/8	⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	病理検査学実習(33)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(34)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(35)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(36)	登校(面接授業)	実習室			
	9	火	免疫検査学講義(6)	同期型(zoom)	生化学講義(20)	同期型(zoom)		生化学実習(16)	同期型(zoom)		生化学実習(17)	同期型(zoom)		生化学実習(18)	同期型(zoom)	
	10	水	[自]薬理学(7)	同期型(zoom)	[自]薬理学(8)	同期型(zoom)		Global Communication 1(1)(25)	同期型(zoom)							
	11	木	医学情報処理演習Ⅰ(1)	zoom又は登校	医学情報処理演習Ⅰ(2)	zoom又は登校	情報検査室	免疫検査学講義(7)	非同期型(webclass)		免疫検査学講義(8)	非同期型(webclass)		(選)AI 実践演習(5)	同期型(zoom)	
12	金	生理検査学講義Ⅱ(10)	登校(面接授業)		生理検査学実習Ⅱ(11)	登校(面接授業)		移動時間			免疫検査学講義(9)	同期型(zoom)		免疫検査学講義(10)	非同期型(webclass)	
11/15	⑪	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	病理検査学実習(37)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(38)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(39)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(40)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(41)	登校(面接授業)	実習室
	16	火	免疫検査学講義(11)	同期型(zoom)	生化学講義(21)	同期型(zoom)										
	17	水	[自]薬理学(9)	同期型(zoom)	[自]薬理学(10)	同期型(zoom)		Global Communication 1(1)(26)	同期型(zoom)							
	18	木	医学情報処理演習Ⅰ(3)	同期型(zoom)	医学情報処理演習Ⅰ(4)	同期型(zoom)										
19	金	生理検査学講義Ⅱ(11)	登校(面接授業)		生理検査学実習Ⅱ(12)	登校(面接授業)		移動時間			免疫検査学講義(12)	同期型(zoom)		免疫検査学講義(13)	同期型(zoom)	
11/22	⑫	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月															
	23	火	勤労感謝の日													
	24	水	[自]薬理学(11)	同期型(zoom)	[自]薬理学(12)	同期型(zoom)		Global Communication 1(1)(27)	同期型(zoom)							
	25	木	医学情報処理演習Ⅰ(5)	zoom又は登校	医学情報処理演習Ⅰ(6)	zoom又は登校	情報検査室	免疫検査学講義(14)	非同期型(webclass)					(選)AI 実践演習(6)	同期型(zoom)	
26	金	生理検査学講義Ⅱ(12)	登校(面接授業)		生理検査学実習Ⅱ(13)	登校(面接授業)		移動時間			免疫検査学講義(15)	同期型(zoom)		免疫検査学講義(16)	同期型(zoom)	

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第2学年)

11/29	⑬	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
月		病理検査学実習(42)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(43)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(44)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(45)	登校(面接授業)	実習室	病理検査学実習(46)	登校(面接授業)	実習室
30	火	免疫検査学講義(17)	同期型(zoom)		生化学講義(22)	同期型(zoom)										
12/1	水							Global Communication 1(28)	同期型(zoom)							
2	木	医学情報処理演習 I (7)	zoom 又は登校	情報検査室	医学情報処理演習 I (8)	zoom 又は登校	情報検査室									
3	金	生理検査学講義 II (13)	同期型(zoom)		生理検査学実習 II (14)	同期型(zoom)		免疫検査学講義(18)	同期型(zoom)		免疫検査学講義(19)	同期型(zoom)		(選)Learning Medical English(1)	同期型(zoom)	

12/6	⑭	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
月								【未定】薬害講演			【未定】薬害講演					
7	火	免疫検査学講義(20)	同期型(zoom)		生化学講義(23)	同期型(zoom)										
8	水	B肝ワクチン接種3回目(10:30～12:30)						Global Communication 1(29)	同期型(zoom)		(選)English for Health Care Sciences II (1)	同期型(zoom)		(選)English for Health Care Sciences II (2)	同期型(zoom)	
9	木	医学情報処理演習 I (9)	zoom 又は登校	情報検査室	医学情報処理演習 I (10)	zoom 又は登校	情報検査室							(選)AI 実践演習(7)	同期型(zoom)	
10	金	生理検査学講義 II (14)	同期型(zoom)		生理検査学実習 II (15)	同期型(zoom)		免疫検査学講義(21)	同期型(zoom)		免疫検査学講義(22)	同期型(zoom)				

12/13	⑮	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
月											(選)English for Health Care Sciences II (3)	同期型(zoom)				
14	火	免疫検査学講義(23)	同期型(zoom)													
15	水	[自]薬理学(13)	同期型(zoom)		[自]薬理学(14)	同期型(zoom)		Global Communication 1(30)	同期型(zoom)		(選)English for Health Care Sciences II (4)	同期型(zoom)		(選)Learning Medical English(2)	同期型(zoom)	
16	木	医学情報処理演習 I (11)	zoom 又は登校	情報検査室	医学情報処理演習 I (12)	zoom 又は登校	情報検査室							(選)AI 実践演習(8)	同期型(zoom)	
17	金	生理検査学講義 II (15)	同期型(zoom)		生理検査学実習 II (16)	同期型(zoom)		免疫検査学講義(24)	同期型(zoom)		免疫検査学講義(25)	同期型(zoom)				

12/20	⑯	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
月											(選)Learning Medical English(3)	同期型(zoom)		(選)Learning Medical English(4)	同期型(zoom)	
21	火	免疫検査学講義(26)	同期型(zoom)													
22	水	[自]薬理学(15)	同期型(zoom)		[自]薬理学(16)	同期型(zoom)					(選)Learning Medical English(5)	同期型(zoom)		(選)Learning Medical English(6)	同期型(zoom)	
23	木															
24	金										(選)English for Health Care Sciences II (5)	同期型(zoom)		(選)English for Health Care Sciences II (6)	同期型(zoom)	

冬季休業 12/20(月)～ 又は 12/27(月)～

1/3	⑰	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
月																
4	火	免疫検査学講義(27)	同期型(zoom)													
5	水							Global Communication 1(31)	同期型(zoom)		(選)Learning Medical English(7)	同期型(zoom)		(選)Learning Medical English(8)	同期型(zoom)	
6	木	医学情報処理演習 I (13)	zoom 又は登校	情報検査室	医学情報処理演習 I (14)	zoom 又は登校	情報検査室									
7	金	生理検査学講義 II (16)	登校(面接授業)		生理検査学実習 II (17)	登校(面接授業)					免疫検査学講義(28)	非同期型(webclass)		免疫検査学講義(29)	非同期型(webclass)	

1/10	⑱	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
月		成人の日														
11	火	免疫検査学講義(30)	同期型(zoom)													
12	水							Global Communication 1(32)	同期型(zoom)		(選)English for Health Care Sciences II (7)	同期型(zoom)		(選)English for Health Care Sciences II (8)	同期型(zoom)	
13	木	医学情報処理演習 I (15)	zoom 又は登校	情報検査室												
14	金	生理検査学実習 II (18)	登校(面接授業)		生理検査学実習 II (19)	登校(面接授業)										

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第2学年)

	①														
1/17	月	後期定期試験													
18	火	後期定期試験													
19	水	後期定期試験													
20	木	後期定期試験													
21	金	後期定期試験													

	②														
1/24	月	補講・再試													
25	火	補講・再試													
26	水	補講・再試													
27	木	補講・再試													
28	金	補講・再試													

	③														
1/31	月	補講・再試													
2/1	火	補講・再試													
2	水	補講・再試													
3	木	補講・再試													
4	金	補講・再試													

春季休業 2/7(月)～

時間割番号	013004					
科目名	人体構造学実習			科目ID	MT-250200-E	
担当教員	星 治, 藤代 瞳[HOSHI OSAMU, FUJISHIRO Hitomi]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Anatomy, Laboratory						
【科目責任者】星治						
主な講義場所						
保健衛生学実習室(3号館7階) 解剖実習室(3号館地下1階)						
授業の目的、概要等						
人体構造学は正常なからだの形態と構造を細胞から器官レベルまで研究する学問で、医学の最も基礎的な領域である。						
授業の到達目標						
からだを構成している細胞から器官にいたる各単位について、基本的な構造を理解することを目標とする。さらに、検査技術学を学ぶためにあたって必要な内容を講義するだけでなく、実物観察により理解を深めることも重視する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/9	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	組織学実習	総論Ⅰ	星 治, 藤代 瞳
4-6	4/16	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	組織学実習	総論Ⅱ	星 治, 藤代 瞳
7-9	4/23	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	組織学実習	各論Ⅰ	星 治, 藤代 瞳
10-11	4/30	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	組織学実習	各論Ⅱ	星 治, 藤代 瞳
12-14	5/7	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	組織学実習	各論Ⅲ	星 治, 藤代 瞳
15-17	5/14	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	組織学実習	各論Ⅳ	星 治, 藤代 瞳
18-19	5/21	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	解剖学実習Ⅰ	心臓、肝臓、腎臓の観察	星 治, 藤代 瞳
20-21	5/28	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	解剖学実習Ⅱ	骨学実習	星 治, 藤代 瞳
22-24	7/27	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	解剖学実習Ⅲ	解剖実習体見学	星 治, 藤代 瞳
授業内容						
2年次前期に行う。実習ならびに見学実習を行い、人体の構造の把握に努める。実質臓器に関しては実物標本の観察を通して、人体の構造に関する洞察力を深める。						
成績評価の方法						
出席状況(10%)実習課題に対するレポートの評価(90%)により、総合的に判定を行う。各実習担当教員の採点が不合格の際には、全体として合格にならない場合がある。						
準備学習等についての具体的な指示						
事前に配布する実習書に関連した内容について十分な予習を行う。						
教科書						
バーチャルスライド組織学／駒崎伸二著 駒崎 伸二, 羊土社, 2020						
バーチャルスライド組織学 著/駒崎伸二 羊土社						
参考書						
牛木辰男:入門組織学 南江堂 井上貴央(監訳):人体解剖学(構造と機能:ミクロからマクロまで)西村書店						
他科目との関連						
人体の様々な病態を理解するためには、人体の構造を熟知しなければならない。このため人体構造学は他の多くの科目と関連している。特に、生理検査学(Ⅱ)、病理検査学、臨床病態学とは密接な関連がある。						
履修上の注意事項						
必ず白衣を着用し、担当教員の指示に従う。						
連絡先(メールアドレス)						
星 治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp						
藤代 瞳:fujishiro.aps@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
星 治オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階						

時間割番号	013005						
科目名	病理検査学講義			科目ID	MT-230300-L		
担当教員	沢辺 元司, 副島 友莉恵[SAWABE MOTOJI, SOEJIMA YURIE]						
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Pathological Technology, Lecture							
【科目責任者】沢辺 元司							
授業の目的、概要等							
病理検査学とは疾病の本態を解析、解明するにあたり必要な学問であり、基礎と臨床との両者にまたがった医学・医療の基本となる分野である。本講義では、前半に病理学総論として疾病病変の基礎を理解し、後半に病理学各論として臓器ごとの疾病や病理学的変化を具体的に学ぶ。さらに病理検査、細胞診検査などの検査法を学び、病理検査学実習や臨地実習への基盤を作っていただきたい。							
授業の到達目標							
到達目標は、以下のようなことである。							
・病理検査学総論では、疾病病変の共通の変化、病態の本質、その病因を系統的に把握し説明できる。							
・病理検査学各論では、臓器ごとの主な疾病についてその成因、臓器変化について説明できる。							
・疾病の診断や病因・病態の解明に寄与し得る病理学的検査法を説明できる。							
・病理検査学の学習を通して疾病の本態を理解し、医学・医療の基本的知識・思考を習得することを目標とする。							
・教科書の基本的用語に併記してある英語を読み書きできる。							
(1) 総論							
第1回:病気の原因(病因)と疾患の関係を理解する。							
ストレスに対する細胞反応・細胞障害・細胞死、組織の治癒・再生、主な代謝障害を理解する。							
第2回:全身、局所の様々な循環障害を理解する。							
第3回:様々な炎症のメカニズム、感染症による炎症を理解する。							
第4回:免疫現象、アレルギーのメカニズムを理解する。							
第5,6回:悪性腫瘍の本態と病態、代表的な悪性腫瘍について理解する。							
第7回:老化、先天異常、放射線による障害と細胞変化について理解する。							
第8回:本邦における子宮頸癌についての現状を理解し意見を論じる。							
(2) 各論							
第10-22回:各臓器における疾患の病態、病理学的特徴について理解する。							
(3) 病理検査学							
第11,12回:病理解剖例の観察により、臓器の肉眼的病理所見を理解する。							
第9,23-25回:病理検査学の概要、検査法の原理について理解する。							
第26回:電子顕微鏡を用いた病理検査について、原理、工程、応用を理解する。							
第27,28回:細胞診検査の概要と臓器ごとの細胞所見について理解する。							
(4) 病理検査学の発展							
第29,30,31回:病理学的手法を用いた研究・検査法の概要について理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	病理学・病因論・退行性病変ほか	序論・病理学・病因・進行性病変・退行性病変・代謝障害	沢辺 元司, 副島 友莉恵	①webclass で事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表
2	4/8	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	循環障害	循環障害	沢辺 元司, 副島 友莉恵	①webclass で事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表
3	4/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	炎症・感染症	炎症・感染症	沢辺 元司, 副島 友莉恵	①webclass で事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表

4	4/14	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	免疫	免疫	沢辺 元司, 副島 友莉 恵	①webclass で事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表
5	4/19	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	腫瘍病理総論	腫瘍病理総論	沢辺 元司, 副島 友莉 恵	①webclass で事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表
6	4/21	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	腫瘍病理各論	腫瘍病理各論	沢辺 元司, 副島 友莉 恵	①webclass で事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表
7	4/28	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	老化・先天異常・放射線病理学	老化・先天異常・放射線病理学	沢辺 元司, 副島 友莉 恵	①webclass で事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表
8	5/12	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	子宮頸癌講演	子宮頸癌の動向	渡部 享宏, 沢辺 元司	グループ討論をし意見を発表する
9	5/19	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	病理検査学	病理検査学序論	沢辺 元司	①webclass で事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表
10	5/19	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	呼吸器	呼吸器疾患1	明石 巧	講義後に webclass で多肢選択式問題に回答
11	5/20	08:50-10:20	保健衛生学 実習室	実習	実習(病理解剖例 臓器観察)	沢辺 元司, 新宅 洋, 副島 友莉 恵	臓器内眼観察
12	5/20	10:30-12:00	保健衛生学 実習室	実習	実習(病理解剖例 臓器観察)	沢辺 元司, 新宅 洋, 副島 友莉 恵	臓器内眼観察
13	5/26	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	呼吸器	呼吸器疾患2・胸膜疾患・縦隔疾患	明石 巧	講義後に webclass で多肢選択式問題に回答
14	5/26	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	循環器	循環器疾患	沢辺 元司	①webclass で事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表
15	6/2	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	消化器1	消化管疾患	熊谷 二郎	講義後に webclass で多肢選択式問題に回答
16	6/2	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	消化器2	肝胆膵疾患	熊谷 二郎	講義後に webclass で多肢選択式問題に回答
17	6/9	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	泌尿器	泌尿器疾患	大橋 健一	講義後に webclass で多肢選択式問題に回答
18	6/9	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	乳腺	乳腺疾患	本間 尚子	動画視聴後に webclass で多肢選択式問題に回答
19	6/16	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	造血器	造血器疾患	山本 浩平	講義後に webclass で多肢選択式問題に回答
20	6/23	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	生殖器	生殖器疾患	大橋 健一	講義後に webclass で多肢選択式問題に回答
21	6/23	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	神経系	中枢神経・筋肉疾患	山田 哲夫	動画視聴後に webclass で多肢選択式問題に回答
22	6/30	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	内分泌	内分泌疾患	沢辺 元司	①webclass で事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表

23	9/8	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	病理検査学	病理検査学各論 1	副島 友莉 恵	事前配布課題の発表
24	9/8	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	病理検査学	病理検査学各論 2	副島 友莉 恵	事前配布課題の発表
25	9/9	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	病理検査学	病理検査学各論 3	副島 友莉 恵	事前配布課題の発表
26	9/9	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	電子顕微鏡	電子顕微鏡検査	矢野 哲也	動画視聴後に webclass で多肢選択式問題に 回答
27	9/15	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	細胞診1	細胞診序論	梅澤 敬	動画視聴後に webclass で多肢選択式問題に 回答
28	9/15	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	細胞診2	細胞診各論	梅澤 敬	動画視聴後に webclass で多肢選択式問題に 回答
29	9/29	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	病理学的研 究法	病理学的研究・検 査法の紹介	大橋 健一	講義中に質問をする
30	9/30	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	病理学的研 究法	病理学的研究・検 査法の紹介	北川 昌伸	講義中に質問をする
31	11/4	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	病理学的研 究法	病理学的研究・検 査法の紹介	沢辺 元司	講義中に質問をする

授業方法

●同期授業

・総論(1-7回)、各論(9,14,22回) :

事前学習として、webclass の指定された動画を各自閲覧しておく。

授業開始時に事前学習内容の確認テストを webclass で実施する。

事前配布した課題について学習し、zoom でグループごとに討論し、Google スライドにまとめて発表、質疑応答を行う。

・各論(10,13,15-17,19, 20回) : zoom 講義後に webclass で確認テストを実施する。

・各論(23-25回) : 事前に配布した課題について学習し、グループごとにまとめ、パワーポイントで発表する。

・動画は復習に使用できるよう一定期間 webclass 上に閲覧可能な状態に置いておく。ただし、ブレイクアウトルームの内容は録画されない。

●非同期授業

・各論(18,21,26-28) : 授業日程の 18 時まで動画を観覧し、webclass の確認テストを終了すること。

・質問等はメールや webclass の掲示板を利用し対応する。重要な内容については同期授業の際、全員に伝える。

(前期前半 / 総論) : 看護学専攻と合同講義

(前期後半および後期 / 各論) : 検査技術学専攻のみ

授業内容

授業スケジュールに各回の内容は示してある。

成績評価の方法

病理検査学講義の評価は、確認テストならびに筆記試験(前期定期試験、後期定期試験)によって行う。

1) 確認テスト

非同期授業では動画視聴後に確認テストを行う。

同期授業では授業開始時または講義後に確認テストを行う。

2) 筆記試験

前期試験範囲: 授業明細における No.1-8, 10-22 の講義内容

後期試験範囲: 授業明細における No.9, 23-31 の講義と実習内容

定期試験の約 10% に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

評価は確認テスト(20%)、筆記試験(80%)とし、60%以上を合格とする。また、この点数を本科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

人体構造学講義で基本的な体の形態と構造を学習済みのものとして扱う。

「医歯薬出版 病理学/病理検査学」の教科書が見やすくまとまっているため、予習、復習に役立てること。

試験の受験資格 2/3 以上の出席。出欠の確認は、同期授業(zoom)の場合は講義の最初から最後まで参加している記録、非同期授業の場合は webclass 動画の視聴記録および確認テストの提出により行う。 特別な事情で授業に参加できない場合は、授業前に科目責任者または保健衛生教務係にメールで連絡をすること。緊急の場合には電話でもよいがその後メールすること。連絡ができないような特別な場合にはその限りではない。以上の十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 病理学/病理検査学／松原修 [ほか] 著, 松原, 修, 鴨志田, 伸吾, 大河戸, 光章, 小松, 京子, 古田, 則行.: 医歯薬出版, 2016
参考書 スタンダード病理学／沢辺元司, 長坂徹郎編, 沢辺, 元司, 長坂, 徹郎, 大西, 俊造, 梶原, 博毅, 神山, 隆一.: 文光堂, 2015 細胞診のすすめ方：基礎から学ぶ／西国広編著, 西, 国広.: 松浪硝子工業, 2018 細胞診を学ぶ人のために／坂本穆彦編, 坂本, 穆彦.: 医学書院, 2011 Robbins basic pathology／Vinay Kumar, Abul K. Abbas, Jon C. Aster ; artist, James A. Perkins, Kumar, Vinay, Abbas, Abul K., Aster, Jon C., Perkins, James A., Robbins, Stanley L. (Stanley Leonard).: Elsevier, 2018 メディックメディア社の「病気が見える」シリーズはビジュアルであり、病態の理解に役立つので推薦する。
他科目との関連 病理検査学は医学・医療の基本となる分野であり、人体構造学、生理学といった基礎的な科目から臨床病態学などの臨床的な科目とも密接に関連している。
履修上の注意事項 講義画面の撮影は禁止する。講義動画、講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。
備考 昨年のアンケートよりの改善点 アクティブラーニングを多く取り入れ、質問の受け付けと対応法を周知する。
参照ホームページ 授業で用いた資料の多くは webclass で公開するので自学自習に役立てること。
連絡先(メールアドレス) 沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370 副島 友莉恵:soejima.mp@tmd.ac.jp
オフィスアワー 沢辺 元司オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること 湯島キャンパス 3 号館 16 階 副島 友莉恵オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。 3 号館 16 階 生体検査系助教室

時間割番号	013006					
科目名	病理検査学実習			科目ID	MT-250500-E	
担当教員	沢辺 元司, 副島 友莉恵[SAWABE MOTOJI, SOEJIMA YURIE]					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Pathological Technology, Laboratory Practices						
【科目責任者】沢辺 元司						
授業の目的、概要等						
病理検査学実習では、病理検査学講義の総論・各論での学習を踏まえて、疾病病変の肉眼観察、標本作製、標本観察を行い、病理検査学的知識・思考と共に疾病の診断、更には病因・病態の解明に寄与し得るような病理学的検査法の基本とその応用を習得することを目標とする。						
授業の到達目標						
到達目標は、以下のようなことである。						
・病理組織標本の作製法、各種染色法の意義を理解し説明できる。						
・疾病病変を肉眼的、組織学的に観察し、正常構造と比較して所見を説明できる。						
・悪性腫瘍の細胞異型を組織学的に確認することができる。						
・細胞診標本作製、観察し、特徴的な所見を説明できる。						
・免疫組織化学的染色法の工程と評価を理解し説明できる。						
第1回: 病理解剖例を観察し、肉眼所見を説明することができる。						
標本作成における固定～パラフィン包埋操作を説明することができる。						
第2回: 包埋、薄切の原理を理解し、説明することができる。						
第3回: HE 染色, EVG 染色の原理、染色法を説明することができる。						
EVG 染色による器質化肺炎、大動脈解離の特徴を正常組織と比較して説明することができる。						
第4回: 膠原線維染色, アミロイド染色の原理、染色法を説明することができる。						
マッソン・トリクローム染色による肝硬変、心筋梗塞の特徴を正常組織と比較して説明することができる。						
コンゴ赤染色によるアミロイドーシスの特徴を説明することができる。						
第5回: PAS 染色, アルシアン青染色, アルシアン青-PAS 二重染色の原理、染色法を説明することができる。						
PAS 染色による糸球体腎炎、肺アスペルギルスの特徴を説明することができる。						
アルシアン青-PAS 二重染色による胃癌の特徴を正常組織と比較して説明することができる。						
第6回: 鍍銀染色、ベルリン青染色の原理、染色法を説明することができる。						
鍍銀染色による脾腫の特徴を正常組織と比較して説明することができる。						
ベルリン青染色によるヘモジデローシスの特徴を説明することができる。						
第7回: クリューバ・バレラ染色の原理、染色法を説明することができる。						
クリューバ・バレラ染色による脳梗塞の特徴を正常組織と比較して説明することができる。						
第8回: 婦人科細胞診で特徴的な細胞像を理解し説明することができる。						
第9回: 呼吸器細胞診で特徴的な細胞像を理解し説明することができる。						
細胞診標本の作製法を説明することができる。						
パパニコロウ染色, チール・ネールゼン染色の原理、染色法を説明することができる。						
チール・ネールゼン染色による結核の特徴を説明することができる。						
第10回: 体腔液・その他の細胞診で特徴的な細胞像を理解し説明することができる。						
凍結切片作製法および脂肪染色の原理、染色法を説明することができる。						
オイル赤染色による脂肪肝の特徴を説明することができる。						
第11回: 免疫組織化学染色の原理、染色法を説明することができる。						
免疫染色の特徴的な所見を説明することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-4	9/10	08:50-16:10	保健衛生学実習室	切り出し、固定～脱水	病理解剖例観察、臓器切り出し、固定～脱水	沢辺 元司, 副島 友莉恵

5-8	9/13	08:50-16:10	保健衛生学実習室	標本作製(包埋、薄切)	パラフィン包埋、薄切	副島 友莉恵
9-12	9/17	08:50-16:10	保健衛生学実習室	標本作製(H&E、EVG 染色)、標本観察	H&E 染色、EVG 染色、薄切、スケッチ	沢辺 元司、 副島 友莉恵
13-16	9/27	08:50-16:10	保健衛生学実習室	標本作製(マッソ・トリクロム、コンゴ赤染色)、標本観察	マッソ・トリクロム染色、コンゴ赤染色、薄切、スケッチ	沢辺 元司、 副島 友莉恵
17-20	10/4	08:50-16:10	保健衛生学実習室	標本作製(PAS 反応、アルシアン青-PAS 染色)、標本観察	PAS 反応、アルシアン青-PAS 染色、薄切、スケッチ	沢辺 元司、 副島 友莉恵
21-24	10/18	08:50-16:10	保健衛生学実習室	標本作製(渡辺の鍍銀法、ベルリン青染色)、標本観察	渡辺の鍍銀法、ベルリン青染色、薄切、スケッチ	沢辺 元司、 副島 友莉恵
25-28	10/25	08:50-16:10	遠隔授業(同期型)	婦人科細胞診	婦人科細胞診、組織標本観察、スケッチ	沢辺 元司、 梅澤 敬、 副島 友莉恵
29-32	11/1	08:50-16:10	遠隔授業(同期型)	呼吸器、体腔液、その他細胞診	呼吸器、体腔液、その他細胞診標本観察、スケッチ	沢辺 元司、 中嶋 裕、 副島 友莉恵
33-36	11/8	08:50-16:10	保健衛生学実習室	細胞診標本作製、凍結切片作製、標本観察(チール・ネルゼン染色、オイル赤 O 染色)	パパンコロウ染色、チール・ネルゼン染色、凍結切片作製、オイル赤 O 染色	沢辺 元司、 中嶋 裕、 副島 友莉恵
37-41	11/15	08:50-17:50	保健衛生学実習室	標本作製(キューバ・パレラ染色)、免疫組織化学染色	キューバ・パレラ染色、免疫組織化学的染色法、スケッチ	沢辺 元司、 副島 友莉恵
42-46	11/29	08:50-17:50	保健衛生学実習室	標本作製(キューバ・パレラ染色)、免疫組織化学染色	キューバ・パレラ染色、免疫組織化学的染色法、スケッチ	沢辺 元司、 副島 友莉恵

授業方法

病理検査学実習では、実習の説明やスケッチのポイントを事前に webclass に載せておくので、実習前に必ず視聴し予習してくる。また、病理検査学実習書の手順は穴埋め式になっているため、実習前に予習し埋めてくる。実習では切出し、薄切、染色など技術的な項目について行う。標本観察は各自の PC でバーチャルスライドを用いて観察し、正常組織と比較して病変のスケッチをする。スケッチは次回の実習時に提出しチェックを受ける。また実習は 2 グループに分かれて最終日以外は半日ずつ行うため時間厳守とする。

授業内容

授業スケジュールに各回の内容は示してある。

成績評価の方法

病理検査学実習の評価は、実習への参加、小試験、スケッチ、細胞診の課題発表、実習態度により行う。
小試験は、毎回、前回の実習内容について行う。スケッチは上手下手でなく、所見の特徴を捉え簡潔な説明を加えることが大事である。
実習や細胞診課題発表は班員との共同作業であるため、協調して行ってほしい。

成績評価の基準

まず、実習への出席が 3/4 以上必要である。小試験、スケッチを点数で評価し、60%に達した場合には合格とする。さらに実習態度を評価に加える。

準備学習等についての具体的な指示

実習前までに、実習の説明、スケッチのポイントについての動画視聴を webclass で行う。また、実習書の手順を教科書で予習し穴埋めしてくる。予習が不完全であると、何をやっているかわからないまま手を動かし、間違えたり、意味のない実習になってしまう。また復習も行い知識を定着させること。

試験の受験資格

原則として出席すること。3/4(9 回)以上は必須。出欠は実習開始時の小試験、実習中に確認し、さらにスケッチの提出でも確認する。時

間内に作業が完了することができるように実習の手順を設定している。2 グループに分け半日ずつ行うため遅刻や早退にも注意すること。 特別な事情で実習に参加できない場合は、実習前に科目責任者または保健衛生教務係にメールで連絡をすること。緊急の場合には電話でもよいがその後メールすること。連絡ができないような特別な場合にはその限りではない。以上の十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じて補講やレポートでの対応を行うこととする。
教科書 病理学/病理検査学／松原修 [ほか] 著, 松原, 修, 鴨志田, 伸吾, 大河戸, 光章, 小松, 京子, 古田, 則行, : 医歯薬出版, 2016
参考書 組織病理アトラス／小池盛雄 [ほか] 編集 ; 青笹克之 [ほか] 執筆, 小池, 盛雄, 恒吉, 正澄, 深山, 正久, 森永, 正二郎, 青笹, 克之, : 文光堂, 2005 細胞診のすすめ方 : 基礎から学ぶ／西国広編著, 西, 国広, : 松浪硝子工業, 2018 細胞診を学ぶ人のために／坂本穆彦編, 坂本, 穆彦, : 医学書院, 2011
他科目との関連 人体構造学、組織学の科目でまず正常の構造を理解しておく必要がある。さらに臨床病態学などの臨床的な科目への関連も考えながら学んでいただきたい。
履修上の注意事項 講義画面の撮影は禁止する。講義動画、実習書、講義資料、参考資料などは著作権の関係上、外部に流出することのないよう十分気を付けること。また、病理解剖例肉眼観察に関することを SNS 等へ書き込みした場合には、厳しい処分を行う。これらの諸注意は、実習前説明でも行う。
備考 昨年のアンケートよりの改善点 スケッチチェックの日時については、後日予定表を提示する。
参照ホームページ 授業で用いた資料の多くは webclass で公開するので自学自習に役立てること。
連絡先(メールアドレス) 沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370 副島 友莉恵:soejima.mp@tmd.ac.jp
オフィスアワー 沢辺 元司オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること 湯島キャンパス 3 号館 16 階 副島 友莉恵オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。 3 号館 16 階 生体検査系助教室

時間割番号	013007				
科目名	生化学講義			科目 ID	MT-230600-L
担当教員	鈴木 喜晴[SUZUKI NOBUHARU]				
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名: Biochemisty					
【科目責任者】鈴木喜晴					
主な講義場所					
zoom による遠隔授業(同期型)					
授業の目的、概要等					
生化学は生体に関するあらゆる学問の基礎と言っても過言ではない。長い歴史の過程で数多くの関連知見が得られ、現在も目覚ましい科学技術の発展と共に、生化学は進歩し続けている。本講義では、特に生体高分子の構造、反応、機能に着目し、細胞や組織、個体レベルでの生命現象の理解を深めることを目的とする。また、様々な生化学に関わる最新の基礎研究にも触れ、当該研究分野の現状を学ぶ。さらに、英語による解説ビデオ等から、当該分野における国際的な重要性についても理解を深める。アクティブラーニングとして、各章の終わりに演習問題を行い習得度を確認する。					
授業の到達目標					
国家試験に対応できる基礎知識の習得をする。さらに関連分野での基礎研究や臨床研究に応用できる実践的な知識も身につける。各章での具体的な目標は以下の通りである。					
1章:細胞の構造と構成要素について理解する。生化学における化学、物理学、遺伝学、進化論の基礎を理解する。					
2章:水の分子レベルでの性質と機能を学ぶ。					
3章:アミノ酸の種類と性質を理解し整理する。タンパク質の一次構造を学ぶ。					
4章:タンパク質の二次構造、三次構造、四次構造を理解する。					
5章:タンパク質の相互作用とその評価方法を学ぶ。					
6章:触媒としての酵素の機能をエネルギー論や基質特異性から学ぶ。					
7章:糖質の構造と機能を理解する。糖質の同定法や機能解析法を学ぶ。					
8章:核酸の構造と機能を理解する。核酸の同定法や機能解析法(PCR など)を学ぶ。					
9章:脂質の構造と機能を理解する。脂質の同定法や機能解析法を学ぶ。					
10章:高エネルギーリン酸化合物や生物学的酸化還元反応を担う分子について学ぶ。					
11章:解糖、糖新生、ペントースリン酸経路の仕組みを学ぶ。					
12章:解糖と糖新生の協調的調節機構を学ぶ。グリコーゲンの代謝(分解と合成)の仕組みを理解する。					
13章:クエン酸回路の仕組みを学ぶ。					
14章:脂質の異化(脂肪酸反応)を理解する。					
15章:アミノ酸の異化について学ぶ。					
16章:ミトコンドリアでの電子伝達経路の仕組みを学ぶ。					
17章:脂肪酸の生合成経路を理解する。					
18章:アミノ酸やアミノ酸派生体、ヌクレオチドの生合成経路を学ぶ。					
19章:各種ホルモンの分泌器官、性質、作用を整理・理解する。					
20章:遺伝子、染色体、ゲノムの構造を学ぶ。					
21章: DNA の複製、修復、組換えの仕組みを学ぶ。					
22章: RNA の種類と合成経路、機能を整理・理解する。					
23章:タンパク質の合成経路の仕組みを学ぶ。					
24章:遺伝子発現調節の概要と詳細を理解する。					
25章:組換え DNA 技術の基礎と応用について学ぶ。					
26章:生体膜の構造と機能を学ぶ。					
27章:細胞のシグナル伝達の基本原理と代表的な経路について学ぶ。					

授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/5	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	オリエンテーション ／1章 生化学の基礎	本講義についての説明／1章 細胞の基礎;化学の基礎;遺伝学の基礎;進化論の基礎	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
2	4/5	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	2章 水／3章 アミノ酸、ペプチドおよびタンパク質	2章 水系における弱い相互作用;水、弱酸、弱塩基のイオン化;生物系の pH 変化に対する緩衝作用;反応物としての水;生物の水環境への適合性／3章 アミノ酸;ペプチドとタンパク質;タンパク質研究法;タンパク質の構造 一次構造	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
3	4/9	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	4章 タンパク質の三次元構造／5章 タンパク質の機能	4章 タンパク質構造の概念;タンパク質の二次構造;タンパク質の三次構造と四次構造;タンパク質の変性とフォールディング／5章 リガンドに対するタンパク質の可逆的結合;タンパク質とリガンドの間の相補的相互作用	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
4	4/12	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	6章 酵素	6章 酵素の発見;酵素の作用機構;酵素反応速度論による作用機構の研究;酵素反応の例;調節酵素	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
5	4/14	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	7章 糖質と糖鎖生物学／8章 スクレオチドと核酸	7章 単糖と二糖;多糖;複合糖質:プロテオグリカン、糖タンパク質、スフィンゴ糖脂質;情報分子としての糖質:シュガーコード;糖質研究／8章 基本事項;核酸の構造;核酸の化学;スクレオチドの他の機能	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
6	4/16	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	9章 脂質	9章 貯蔵脂質;膜に存在する構造脂質;シグナル分子、補因子および色素としての脂質;脂質研究	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
7	4/19	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	10章 生体エネルギー論と生化学反応のタイプ／11章 解糖、糖新生およびペントースリン酸経路	10章 ホスホリル基転移とATP;生物学的な酸化還元反応／11章 解糖;解糖への供給経路;嫌気的条件下でのピルビン酸代謝運命:発酵;糖新生;グルコース酸化のペントースリン酸経路	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
8	4/19	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	12章 代謝調節の原理	12章 解糖と糖新生の協調的調節;動物におけるグリコーゲン代謝;グリコーゲンの合成と分解の協調的調節	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する

9	4/23	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	13章 クエン酸回路 ／14章 脂肪酸の 異化	13章 アセチル CoA(活性酢酸) の生成;クエン酸回路の反応;ク エン酸回路の調節／14章 脂肪 の消化、動員および運搬;脂肪酸 の酸化;ケトン体	鈴木 喜晴	アクティブラーニン グ:各章の内容解説 後に zoom または WebClass にて演習 問題に回答する
10	4/26	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	15章 アミノ酸の酸 化と尿素の生成	15章 アミノ酸の代謝運命;窒素 排泄と尿素回路;アミノ酸の分解 経路	鈴木 喜晴	アクティブラーニン グ:各章の内容解説 後に zoom または WebClass にて演習 問題に回答する
11	4/26	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	16章 酸化的リン酸 化	16章 ミトコンドリアにおける呼吸 鎖;ATP 合成;酸化的リン酸化の 調節;ミトコンドリア遺伝子;その 起源と変異の影響	鈴木 喜晴	アクティブラーニン グ:各章の内容解説 後に zoom または WebClass にて演習 問題に回答する
12	4/28	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	17章 脂質の生合 成／18章 アミノ 酸、ヌクレオチドお よび関連分子の生 合成	17章 脂肪酸とエイコサノイドの 生合成;トリアシルグリセロール の生合成;膜リン脂質の生合成; コレステロール、ステロイド、イソ プレノイドの生合成／18章 アミノ 酸の生合成;アミノ酸に由来する 分子;ヌクレオチドの生合成と分 解	鈴木 喜晴	アクティブラーニン グ:各章の内容解説 後に zoom または WebClass にて演習 問題に回答する
13	4/28	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	19章 哺乳類の代 謝のホルモンによ る調節と統合／20 章 遺伝子と染色体	19章 ホルモン:多様な機能のた めの多様な構造;インスリンと糖 尿病／20章 染色体の成分;DNA のスーパーコイル形成;染色体の 構造	鈴木 喜晴	アクティブラーニン グ:各章の内容解説 後に zoom または WebClass にて演習 問題に回答する
14	4/30	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	21章 DNA 代謝／ 22章 RNA 代謝	21章 DNA 複製;DNA 修復;DNA 組換え／22章 RNA の DNA 依存 的合成;RNA プロセッシング;RNA 依存性の RNA と DNA の合成	鈴木 喜晴	アクティブラーニン グ:各章の内容解説 後に zoom または WebClass にて演習 問題に回答する
15	5/7	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	23章 タンパク質代 謝／24章 遺伝子 発現調節	23章 遺伝暗号;タンパク質合成; タンパク質のターゲティングと分 解／24章 遺伝子発現調節の原 理;真核生物における遺伝子発現 調節	鈴木 喜晴	アクティブラーニン グ:各章の内容解説 後に zoom または WebClass にて演習 問題に回答する
16	10/5	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	25章 DNA を基盤と する情報技術	25章 遺伝子と遺伝子産物に関 する研究;DNA 組換え技術による タンパク質機能の理解	鈴木 喜晴	アクティブラーニン グ:各章の内容解説 後に zoom または WebClass にて演習 問題に回答する
17	10/19	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	生化学実習の補足 説明①	生化学実習の補足説明	鈴木 喜晴	
18	10/26	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	生化学実習の補足 説明②	生化学実習の補足説明	鈴木 喜晴	
19	11/2	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	生化学実習の補足 説明③	生化学実習の補足説明	鈴木 喜晴	

20	11/9	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	26 章 生体膜と輸 送	26 章 生体膜の組成と構造; 生体 膜のダイナミクス; 生体膜を横切 る溶質の輸送	鈴木 喜晴	アクティブラーニン グ: 各章の内容解説 後に zoom または WebClass にて演習 問題に回答する
21	11/16	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	予備	予備	鈴木 喜晴	
22	11/30	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	27 章 バイオシグ ナリング	27 章 シグナル伝達の基本的な 特徴; G タンパク質共役受容体と セカンドメッセンジャー; 受容体チ ロシキナーゼ; 受容体グアニル 酸シクラーゼ; cGMP と PKG; 開口 型イオンチャネル; 核内ホルモン 受容体による転写調節; プロテ インキナーゼによる細胞周期の調 節; その他	鈴木 喜晴	アクティブラーニン グ: 各章の内容解説 後に zoom または WebClass にて演習 問題に回答する
23	12/7	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	生化学的・分子生物 学的解析法を用い た基礎研究	蛍光タンパク質による新規検査技 術の開発、中枢神経系の髄鞘形 成メカニズムに関する研究	鈴木 喜晴	

授業方法

同期授業: 講義スライドや資料、ビデオを用いて解説しながら進める。本講義内容は主に参考書1、2「レーニンジャーの生化学(上、下)」に沿って「授業の到達目標」の下に進めて行き、国家試験対策を意識して、参考書3「最新臨床検査学講座 生化学」も利用する。アクティブラーニングとして、各章の終わりに演習問題を行い理解度を確認する。その他講義内容に応じて、口頭での設問や考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。

非同期授業: 本講義と深く関連し、同時に開講される生化学実習に有用な資料やビデオ等を WebClass 上あるいは WebClass からダウンロードして学習できるようにする。

授業内容

授業スケジュールを参照

成績評価の方法

前期・後期ともに、各々の期間での同期型講義(zoom)の合計回数の3分の2以上の出席を必要とする。

前期

章末演習問題: 3 問中 2 問以上正解で 1 点 × 21 章[初日(4 月 5 日)の講義分は適用しない]=21 点

出席点: 出席 1 回で 0.6 点 × 15=9 点

期末筆記試験(本試験): 70 点

合計: 100 点

後期

章末演習問題: 3 問中 2 問以上正解で 4 点 × 3 章=12 点

出席点: 同期型授業の出席 1 回で 4 点 × 4=16 点

期末筆記試験(本試験): 72 点

合計: 100 点

* 期末試験後、平均点、最高点、最低点を考慮して、点数配分に多少の変更があり得る。

成績評価の基準

上記の「成績評価の方法」に従い、前期、後期ともに 60 点以上で合格とする。60 点未満の場合、再試験(筆記試験)を行い、60 点以上で合格とする。

前期と後期の同期型講義の回数の割合(前期: 15 回=79%、後期: 4 回=21%)を、前期と後期の点数に掛け、通年の成績(満点=100 点)とする。

例) 前期=75 点、後期=80 点の場合、 $75 \times 0.79 + 80 \times 0.21 = 76$ 点

準備学習等についての具体的な指示 毎回講義の前に WebClass から講義資料をダウンロードし、参考書等も利用して準備学習を行うこと。本講義は主に参考書1、2「レーニンジャーの新生化学(上、下)」に沿って「授業の到達目標」の下に進めて行くと、国家試験対策に限れば、参考書3「最新臨床検査学講座 生化学」の方がより適していると思われる。各自の学習目的、レベルに合わせて、自主学習用の参考書を選択すること。 また、本科目は、高校や教養部の生物・化学の内容をある程度修得していることを前提とした専門科目である。その修得度に達していない受講者は、自主的に学習し、講義内容を理解できるよう努力する必要がある。
試験の受験資格 前期末と後期末にそれぞれ筆記試験を行う。試験の受験資格は、前期・後期ともに、各々の期間での同期型講義(zoom)の合計回数の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。遅刻や早退となる際は、必ず科目責任者にメールで連絡し、理由を説明すること。連絡の無い遅刻や早退は出席回数を 0.5 回とする。勘案すべき事情があり、受験資格の出席数が足りない場合は、その旨科目責任者にメールで連絡をすること。
参考書 レーニンジャーの新生化学：生化学と分子生物学の基本原理[上]／レーニンジャー，ネルソン，コックス [著]，川崎敏祐 監修，中山和久 編集，Lehninger, Albert L, Nelson, David Lee, 1942-, Cox, Michael M, 川崎, 敏祐, 1941-, 中山, 和久, 1959-, : 廣川書店, 2019 レーニンジャーの新生化学：生化学と分子生物学の基本原理[下]／レーニンジャー，ネルソン，コックス [著]，川崎敏祐 監修，中山和久 編集，Lehninger, Albert L, Nelson, David Lee, 1942-, Cox, Michael M, 川崎, 敏祐, 1941-, 中山, 和久, 1959-, : 廣川書店, 2019 最新臨床検査学講座 生化学／原諄吉 他編：医歯薬出版，2021
他科目との関連 分子生物学、細胞生物学、生理学、遺伝学、遺伝子・染色体検査学、臨床化学検査学などに関連する。
履修上の注意事項 講義資料、講義動画、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。
備考 章末演習問題を設けることで、アクティブラーニングと講義の予習を促す点を前年度より改善している。
連絡先(メールアドレス) 鈴木 喜晴 nsuzbb@tmd.ac.jp
オフィスアワー 鈴木 喜晴 オフィスアワーは特に定めない 3 号館 16 階

時間割番号	013008						
科目名	生化学実習				科目ID	MT-250700-E	
担当教員	鈴木 喜晴[SUZUKI NOBUHARU]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Biochemistry, Laboratory							
【科目責任者】鈴木喜晴							
主な講義場所							
保健衛生学実習室(3号館7階)							
zoom による遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等							
生化学基礎実験法として、遺伝子発現解析法について学ぶ。							
・各器官で特異的に発現する遺伝子を予測し仮説を立て、実験で検証する。							
・遺伝子の構造・性質と、それに基づく核酸の精製法・検出法(PCR)を学ぶ。							
授業の到達目標							
臨床検査に必要な基礎生化学手法(特に核酸解析法)を習得する。さらに関連分野での基礎研究や臨床研究に応用できる実践的な技術も身につける。							
各回での目標は以下の通りである。							
1回目:動物組織からの核酸(DNA、RNA)精製を習得する。							
2回目:NCBI データベースを利用した遺伝子情報の検索方法を学び、解析対象の遺伝子を決定する。							
3回目:RNA を逆転写して cDNA を作製する方法を学ぶ。解析対象遺伝子の配列から PCR 用プライマーの配列をデザインする方法を学ぶ。							
4回目:cDNA とゲノム DNA を鋳型とした PCR 法を習得する。							
5回目:アガロース電気泳動による PCR 産物の解析法を習得する。							
6回目:PCR 結果から遺伝子発現を考察する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	9/28	13:00-17:50	保健衛生学実習室	1. 核酸の精製	1. 動物組織からのゲノム DNA と RNA の抽出と精製	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験を進める。
4-6	10/5	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	2. 解析遺伝子の決定	2. NCBI データベースを用いた解析遺伝子の決定	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:グループディスカッションを行う。
7-9	10/19	13:00-17:50	保健衛生学実習室	3. RNA の逆転写反応／4. PCR プライマーの設計	3. 逆転写反応による RNA から cDNA の合成／4. 解析遺伝子の塩基配列からのプライマーのデザイン	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験を進める。グループディスカッションを行う。
10-12	10/26	13:00-17:50	保健衛生学実習室	5. PCR	5. cDNA とゲノム DNA を鋳型とした解析遺伝子の PCR による増幅	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験を進める。
13-15	11/2	13:00-17:50	保健衛生学実習室	6. アガロース電気泳動	6. アガロース電気泳動による PCR 産物の解析	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験を進める。

16-18	11/9	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	7. 結果報告	7. PCR の結果と考察の報告	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:グループディスカッションを行う。
授業方法 実習書と資料を用いて実習課題の説明を行い、班毎に実習を進める。アクティブラーニングとして、原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験を進める。さらに、解析遺伝子の決定やPCR用プライマーのデザイン、結果報告の際、グループディスカッション等のアクティブラーニングを行い習得度を高める。							
授業内容 授業スケジュールを参照							
成績評価の方法 原則、全出席を必要とする。 実習に取り組む姿勢(予習や復習に基づく原理や手順の理解度、積極性、グループメンバーとの協力姿勢など):40点 レポート:60点							
成績評価の基準 上記の「成績評価の方法」に従い、60点以上で合格とする。							
準備学習等についての具体的な指示 毎回事前にWebClassから実習書や資料をダウンロードし、実習当日までに予習をしておくこと。							
試験の受験資格 試験は行わないが、成績評価のためには、原則、全出席を必要とする。遅刻や早退となる際は、必ず科目責任者に連絡して理由を説明すること。勘案すべき事情のために欠席した場合は、その旨科目責任者に連絡をすること。							
他科目との関連 生化学的実験手法は、臨床化学、遺伝子検査学、免疫検査学、血液検査学、病原体検査学等の他の分野の検査法や研究方法の基礎となる。							
履修上の注意事項 講義資料、講義動画、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。実習室での対面実習の際は、白衣を着用すること。実験機の周りは常に整理整頓し、特に毒物・劇物に指定されている化学物質の取り扱いについては、説明を良く聞き、十分に注意すること。実習に関する事以外での携帯電話・スマートフォンの使用は慎むこと。							
備考 前年度のアンケート結果を参考にして、zoom 遠隔授業でのグループディスカッションの日程を減らし、実習室での対面実習とグループディスカッションを増やした。							
連絡先(メールアドレス) 鈴木 喜晴nsuzbb@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 鈴木 喜晴オフィスアワーは特に定めない 3号館16階							

時間割番号	013009C					
科目名	分析化学検査学Ⅱ			科目ID	MT-230900-L	
担当教員	大川 龍之介, 亀田 貴寛[OKAWA RYUNOSUKE, KAMEDA Takahiro]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	4	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Analytical Chemistry, Lecture(Ⅱ)						
【科目責任者】大川 龍之介						
主な講義場所						
別途シラバスに記載						
授業の目的、概要等						
講義および実習を通じて、臨床化学検査について学習する。臨床化学検査においては、患者から採取した主に血液に含まれる各種の成分を生化学的に定量する方法や技術を習得するとともに、得られた客観的な検査情報(検査値)が患者の診療に果たす役割について学習する。また、精確な検査を行うために必要な検査法の原理、異常反応の発見法や対処法に関する知識を習得すると共に、考える力を身に着ける。実習では具体的な項目の測定を通じて、検査の妥当性確認、終点分析、初速度分析、電気泳動による分析についての測定技術を身に着ける。						
授業の到達目標						
・臨床化学検査の現状と課題の概要が説明できる						
・検査の基礎特性(再現性、直線性、など)を解析する方法について説明できる						
・定量分析法の基礎(分光光度法、電気泳動法など)について説明できる						
・血清酵素活性の測定法の概要、各種項目の意義、測定原理が説明できる						
・糖尿病関連検査の測定法とそれぞれの意義について説明できる						
・血清中主要蛋白の測定法とそれぞれの意義について説明できる						
・血清中微量蛋白の臨床的意義を説明できる						
・比色計を用いた定量分析ができる						
・妥当性確認試験ができる						
・酵素活性分析ができる						
・LD アインザイム分析、および判読ができる						
・酵素法によるグルコースの測定ができる						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1	4/6	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	臨床化学検査の概要	大川 龍之介	
2	4/6	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	定量分析法の基礎①(検査の妥当性確認)	大川 龍之介	
3	4/12	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	定量分析法の基礎②(分光光度分析法②[基礎、化学的分析法])	大川 龍之介	
4-6	4/13	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	(実習)基礎特性試験(1):クレアチニン(Jaffe 法)試薬作製、除タンパク操作の影響	大川 龍之介, 亀田 貴寛	実習、グループワーク
7	4/20	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	定量分析法の基礎③(分光光度分析法②[酵素学的分析法])	大川 龍之介	
8-10	4/20	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	(実習)基礎特性試験(2):クレアチニン(Jaffe 法)同時再現性、添加回収試験	大川 龍之介, 亀田 貴寛	実習、グループワーク
11	4/27	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	定量分析法の基礎④(分光光度法③[酵素活性測定法])	大川 龍之介	
12	4/27	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	定量分析法の基礎⑤(分光光度法④ 計測の仕方(終点分析法, 初速度分析法))	大川 龍之介	
13-15	4/27	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	(実習)基礎特性試験(3):クレアチニン(Jaffe 法)直線性、検出限界	大川 龍之介, 亀田 貴寛	実習、グループワーク

16-18	5/10	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	(実習)基礎特性試験(4):クレアチニン(Jaffe 法、酵素法)相關	大川 龍之介、 亀田 貴寛	実習、グループワーク
19	5/11	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	定量分析法の基礎⑥(その他の分析法:電気化学分析法、電気泳動法、クロマトグラフ法など)	大川 龍之介	
20	5/11	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	測定値の変動要因(生理的、技術的、特殊な検体)	大川 龍之介	
21-23	5/11	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	(実習)酵素(1):ALP活性(緩衝液pHの影響)	大川 龍之介、 亀田 貴寛	実習、グループワーク
24-25	5/18	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	(実習)まとめ(1)(プレゼンテーション)(第1回~第4回)	大川 龍之介、 亀田 貴寛	実習、グループワーク、発表会
26-28	5/18	14:00-18:50	保健衛生学 実習室 検査学実習 室1	(実習)酵素(2):AST、ALT	大川 龍之介、 亀田 貴寛	実地実習
29	5/25	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	糖質①(糖質の種類と機能、関連検査)非同期型	大川 龍之介	
30	5/25	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	糖質②(糖質の種類と機能、関連検査)同期型	大川 龍之介	アクティブラーニング
31-33	5/25	14:00-18:50	保健衛生学 実習室 検査学実習 室1	(実習)酵素(3):LDアイソザイム	大川 龍之介、 亀田 貴寛	実地実習
34	6/1	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	分析化学検査学のまとめ①(病院検査部における臨床化学検査の実際)	大川 龍之介、 亀田 貴寛、 菅根 伸治	
35	6/1	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	酵素①(血中酵素概論、AST、ALT、LD)	大川 龍之介	
36-38	6/1	14:00-18:50	保健衛生学 実習室、検査 学実習室1	(実習)糖質:グルコース(酵素法)(共存物質の影響)	大川 龍之介、 亀田 貴寛	実地実習
39	6/8	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	酵素②(ALP、 γ GT、コリンエステラーゼ)	大川 龍之介	
40	6/8	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	酵素③(アミラーゼ、CK、その他)	大川 龍之介	
41-43	6/8	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	(実習)糖質:グルコース(酵素法)(ムタローゼの影響)	大川 龍之介、 亀田 貴寛	実習、グループワーク
44	6/15	14:40-16:10	遠隔授業 (非同期型)	蛋白質①(概要、総蛋白、アルブミン、蛋白分画、免疫グロブリン、その他のタンパク)非同期	大川 龍之介	
45	6/15	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	蛋白質②(概要、総蛋白、アルブミン、蛋白分画、免疫グロブリン、その他のタンパク)同期型	大川 龍之介	アクティブラーニング
46	6/22	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	分析化学検査学のまとめ②(病院検査部における臨床化学検査の実際)	大川 龍之介、 亀田 貴寛、 小野 佳一	
47	6/22	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床化学検査データによる病態解析①(アクティブラーニング)	大川 龍之介	アクティブラーニング
48-50	6/22	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	(実習)まとめ(2)(プレゼンテーション)(第5回~第9回)	大川 龍之介、 亀田 貴寛	実習、グループワーク、発表会

授業方法 講義(同期および非同期)と実習を行う。講義は座学のみならず、任意の個人個人に質問しながらの講義とする。一部の授業は、与えられたテーマでグループディスカッションをして、代表者がグループの意見を発表する(アクティブラーニング)。
授業内容 分析技術の進歩が著しい中であって、最新の知識・技術的内容を取り入れる。一方、時代とともに古典的検査になっても、成分分析の考え方の基本や現代の技術および将来の展開への理解を助けるものについても学べるよう配慮する。また、得られた検査結果を単に定量値として報告するだけでなく、検査情報として臨床へ提供できるように、検査値による病態解析能力を育成する内容とする。
成績評価の方法 学期末筆記試験および出席点、講義時の積極性により評価する。実習はレポート、プレゼンテーションや実習時の積極性により評価する。学期末試験には当該学習内容に関する英語の問題や実習内容も出題する。 1) 学期末筆記試験 100 点 2) 実習レポート評価 100 点 3) 講義および実習時の出席点・積極性 100 点 4) 非同期型講義の課題・振り返り試験 100 点
成績評価の基準 1), 2)において、それぞれ 60 点に達した場合に合格とする。最終的にどちらかでも不合格であった場合には、分析化学検査学Ⅱを不合格とする。 成績は1)と2)の平均:80%, 3):10%, 4):10%として合算する。
準備学習等についての具体的な指示 事前に授業内容を記載したファイルを配布するので、必ず予習し、特に不明な点を明確にして授業に臨むこと。講義・実習後、不明な点はメールにてすぐに質問し、わからないままにしないこと。
試験の受験資格 授業に3分の2以上、実習に4分の3以上出席し、聴講・実験をした者。内容の都合上、原則、遅刻は認められない。zoom による講義の場合は、講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合に出席とする。非同期型講義の場合は、その際に課された課題を提示された期限までに提出したことをもって出席とする。非同期型講義の次の同期型講義の初めに、振り返り試験を行う。
教科書 臨床化学検査学／浦山修、奥村伸生、戸塚実、松下誠 編集:医歯薬出版、2017、2018
参考書 臨床検査法提要 = Kanai's Manual of Clinical Laboratory Medicine／金井正光 監修、奥村伸生、戸塚実、矢富裕 編集:金原出版、2015
他科目との関連 教養課程で学習した化学、専門課程で学習する生化学が本科目の背景となる。検査管理総論および分析化学検査学Ⅰは本科目と深いかわりがある。また、検査結果の解釈のためには生理学や血液学などの知識も必要である。
履修上の注意事項 非常勤講師の都合で授業内容が前後する場合は事前に連絡する。欠席・遅刻をしないこと。
連絡先(メールアドレス) 大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp 亀田 貴寛:kameda.alc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大川 龍之介:特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください。 亀田 貴寛:月曜日～金曜日 AM9:00-PM7:00 3号館 16階助教室

時間割番号	013010						
科目名	医用システム情報学講義(Ⅰ)			科目ID	MT-231000-L		
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Clinical Laboratory Management							
【科目責任者】伊藤南							
主な講義場所							
Zoom による同期授業を実施する。							
授業の目的、概要等							
信頼性の高い検査情報を得るためには、臨床検査の方法を良くするだけではなく、検査の質を維持・向上する必要がある。検査管理の目的、誤差の評価、検査の標準化、測定値の評価、内部精度管理法、基準範囲、臨床判断基準、検査室の安全管理について学ぶ。検査の品質管理ともいうべき精度管理の考え方は臨床検査のみならず、ひろく研究・技術開発の様々な状況に通じる。							
授業の到達目標							
以下の各項目について、理解し、説明できること。							
①検査管理入門							
検査管理の目的 検査の種類、確定診断と鑑別診断							
検査室の目的							
②誤差の管理							
クオリティーマネジメント、WHOの定義、ISO15189							
度数分布、代表値、散布度の表示法、誤差の種類、真度、精密度、精確さ、正規分布							
③検査の標準化							
基準分析法、標準物質、許容誤差限界、トレーサビリティ、不確かさ							
④測定法の評価							
併行精度、室内中間精度、室間再現精度、室内精度、精密度プロファイル							
希釈直線性試験、添加回収試験、干渉試験、比較試験、安定性試験、PDCAサイクル							
⑤内部精度管理							
シューハート管理図、ウェストガードのマルチルール管理図							
個別データの管理、パニック値							
⑥基準範囲&臨床判断基準							
基準値、基準範囲、疾患率、臨床判断基準、病態識別値							
感度と特異度、カットオフ値、尤度比、適中率							
⑦臨床判断基準							
SnNout、SpPin、ROC 曲線							
コスト&ベネフィット、期待効用、治療閾値							
⑧検査室の安全管理							
リスクマネジメントとは？							
ヒヤリハット、ハインリッヒの法則、インシデントレポート							
検査情報の取り扱い、個人情報保護法							
これからの臨床検査技師に必要なこと							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅰ)	電気現象の物理	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事前課題、アンケート形式の質問
2	4/12	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅰ)	抵抗	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事前課題、アンケート形式の質問
3	4/16	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講義(Ⅰ)	コンデンサ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事前課題、アンケート形式の質問

4	4/19	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講 義(Ⅰ)	コイル	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事 前課題、アンケート形式の質問
5	4/23	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講 義(Ⅰ)	電気と磁気的作用	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事 前課題、アンケート形式の質問
6	4/30	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講 義(Ⅰ)	交流と複素数イン ピーダンス	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事 前課題、アンケート形式の質問
7	5/7	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講 義(Ⅰ)	受動回路の性質	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事 前課題、アンケート形式の質問
8	5/14	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講 義(Ⅰ)	周波数による信号 フィルタ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事 前課題、アンケート形式の質問
9	5/21	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講 義(Ⅰ)	電気の安全対策	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事 前課題、アンケート形式の質問
10	5/28	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講 義(Ⅰ)	ダイオード	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事 前課題、アンケート形式の質問
11	6/4	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講 義(Ⅰ)	トランジスタ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事 前課題、アンケート形式の質問
12	6/11	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講 義(Ⅰ)	トランジスタ増幅回 路	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事 前課題、アンケート形式の質問
13	6/18	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講 義(Ⅰ)	FET とオペアンプ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事 前課題、アンケート形式の質問
14	6/25	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講 義(Ⅰ)	オペアンプの増幅 回路	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事 前課題、アンケート形式の質問
15	7/2	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学講 義(Ⅰ)	生体電気計測	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事 前課題、アンケート形式の質問

授業方法

Zoomによる同期授業を実施する。配布資料、教科書をもとに講義する。配布資料は事前学習できるようにWebClassで公開する。毎回、前回の講義内容を範囲として小テストを行う。講義中、アンケートソフトを利用した質疑やグループ討論を行う。

授業内容

①検査管理入門

臨床検査とは何か？

臨床検査のTPO

②誤差の管理

検査を管理するとはどういうことか？

測定値のばらつきをどう表すか？

③検査の標準化

測定値の標準化

④測定法の評価

精密さの評価

真度の評価

日常検査の評価

⑤内部精度管理

管理試料による管理

個別データによる管理

⑥基準範囲&臨床判断基準

健常な人のデータとは？

確実な診断とは？

疾患の有無を判断する指標

⑦臨床判断基準

疾患の有無を判断する

治療開始を判断する ⑧検査室の安全管理 リスクマネジメント 検査情報の取り扱い 次世代の臨床検査技師
成績評価の方法 小テストの成績と学期末筆記試験の成績により総合的に評価する。学期末筆記試験は多肢選択問題、記述訂正問題、記述問題により構成され、20%相当を英語で出題する。
成績評価の基準 学期末筆記試験の成績(80%)に小テストの成績(20%)を加えて総合成績(100点満点)として科目の評価とする。総合成績が60点以上のものを合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 ①すでに統計学の教科書を持っているものは、教科書2は不要。 ②1年生で学んだ「統計学」の内容を良く理解しておくこと。 ③配布資料は各自でWebClassよりダウンロードしておくこと。 ④講義前に、配布資料と教科書の関連範囲に目を通しておくこと(教科書との対応は授業明細の備考欄を参照)。
試験の受験資格 講義中に行う小テストおよびアンケート形式の質疑応答へ参加により出席確認とする。2/3以上の出席をもって受験資格とする。
教科書 検査総合管理学／高木康、三村邦裕:医歯薬出版、2016 入門統計学／栗原伸一著.:オーム社、2011-07
参考書 バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論／市原清志:南江堂、1990 入門医療統計学／森實敏夫:東京図書、2004 統計学が最強の学問である／西内啓:ダイヤモンド社、2013 統計学図鑑／栗原伸一、丸山敦史 共著.:オーム社、2017 臨床医学総論：臨床医学総論 放射性同位元素検査技術学 医用工学概論 情報科学・医療情報学 公衆衛生学／小山高敏、戸塚実編集；小山高敏 [ほか] 執筆,小山、高敏,戸塚、実:医学書院、2013 検査機器総論・検査管理総論／横田浩充、大久保滋夫編集；大久保滋夫 [ほか] 執筆,横田、浩充,大久保、滋夫:医学書院、2013
他科目との関連 統計処理について、公衆衛生学、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)と関連する。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 能動的な講義への参加、講義時間を無駄に過ごさないことを希望する。講義資料は事前にWebClassで閲覧できるようにしてあるので予習すること。講義中ないし講義後の質問を歓迎する。受講に際しては画面の小さなスマホ等の使用を避けること。前回の講義の範囲で小テストを実施するので、必ず復習しておくこと。著作権の問題があるのでZoom講義の撮影と講義資料の受講者以外への公開を禁ずる。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートをWebClassで実施する。 昨年度のアンケートより改善点を探して確認します。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤 南:毎週月曜日 PM.1:00-PM.5:00 3号棟16階 生体機能支援システム学・教授室または研究室 事前にメール等で連絡してもらえば随時対応します。

時間割番号	013011						
科目名	医用システム情報学実習(Ⅰ)			科目ID	MT-251100-E		
担当教員	伊藤 南, 本間 達[ITO MINAMI, HOMMA SATORU]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Medical Measurement, System and Information, Laboratory(Ⅰ)							
【科目責任者】伊藤南							
主な講義場所							
保健衛生学実習室(3号館7階)							
授業の目的、概要等							
本実習は医用システム情報学講義(Ⅰ)を基礎としており、生理検査学講義・実習の中で用いる 医用機材を操作する基礎技術の習得を目的とする。生理検査学・化学検査学等で使用する各種の検査・診断・治療機器を操作するうえで、必要となる電気回路、電子回路、デジタル回路、生体の電気特性、安全管理法の基礎を理解し、修得する。日常生活では直接触れる機会が少ないと思われるので、実習を通じて体験的な理解を目指す。実験レポート作成方法を修得する。							
授業の到達目標							
①ガイダンス:臨床検査の中で医用工学の技術が必要な場合があることを理解する。							
②測定の基礎:基本的な電気現象の測定法の違いを理解し、実践できる。							
③テストの制作と動作確認:はんだ付けの技術を習得し、実用に耐えるテストを作成できる。							
④テストの使用法:測定する電気現象の違いにより適切な測定レンジを使用して測定がおこなえる。							
⑤数学的関連講義:測定した結果を正しく演算処理するための有効数字の概念を理解する。							
⑥レポートの作成法:レポート作成に伴う文章の構成および基本的な様式を理解する。							
⑦医用機器の安全と脈波の測定:電気が人体に及ぼす影響と安全対策について測定を通じて理解する。							
⑧オシロスコープの基礎:電気現象を可視化するオシロスコープの基本的な使用法を習得する。							
⑨ダイオードの特性:基本的な半導体の性質および電源回路の基礎を理解する。							
⑩デジタル回路の性質:論理演算を実現する電気回路の特性を理解し、これを用いた演算回路の動作を理解する。							
⑪CRフィルタ回路の特性:検査機器の時定数回路の基本であるCRフィルタ回路の特性を、測定を通じて理解する。							
⑫増幅回路の同相弁別比:生体の電気現象を測定する際に混入する雑音を取り除く性能を表す同相弁別比について、測定を通じて理解する。							
⑬小試験:国家資格試験出題範囲の基礎知識を習得し、問題を解答できる。							
①基本的な電気現象を理解し、安全に測定する方法を修得する。②生体電気信号の処理に利用される電子回路による計測技術を修得する。③医用機器に使用される各種フィルタ回路についての知識を、実習を通して修得する。④患者の安全を維持するための基礎的な知識について修得する。⑤実験内容を論理的な実験レポートにまとめる方法を学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/8	13:00-16:10	保健衛生学 実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	ガイダンス・測定の基礎	伊藤 南, 本間 達	対面での実技指導 e-learningによる学習
3-4	4/15	13:00-16:10	保健衛生学 実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	テストの制作と動作確認	伊藤 南, 本間 達	対面での実技指導 e-learningによる学習
5-6	4/22	13:00-16:10	保健衛生学 実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	テストの使用法	伊藤 南, 本間 達	対面での実技指導 e-learningによる学習
7-8	5/6	14:40-17:50	保健衛生学 実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	数学的関連講義・レポートの作成法	伊藤 南, 本間 達	対面での実技指導 e-learningによる学習
9-10	5/13	13:00-16:10	保健衛生学 実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	医用機器の安全と脈波の測定	伊藤 南, 本間 達	対面での実技指導 e-learningによる学習
11-12	5/20	13:00-16:10	保健衛生学 実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	レポート指導・再実験	伊藤 南, 本間 達	対面での実技指導 e-learningによる学習
13-14	5/27	13:00-16:10	保健衛生学 実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	オシロスコープの基礎	伊藤 南, 本間 達	対面での実技指導 e-learningによる学習

15-16	6/3	13:00-16:10	保健衛生学 実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	ダイオードの特性	伊藤 南, 本間 達	対面での実技指導 e-learning による学習
17-18	6/17	13:00-16:10	保健衛生学 実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	デジタル回路の性質	伊藤 南, 本間 達	対面での実技指導 e-learning による学習
19-20	6/24	13:00-16:10	保健衛生学 実習室	医用システム情報学実習(Ⅰ)	CR フィルタ回路の特性	伊藤 南, 本間 達	対面での実技指導 e-learning による学習
21-22	7/1	13:00-16:10	遠隔授業 (非同期型)	医用システム情報学実習(Ⅰ)	増幅回路の同相弁別比 の測定	伊藤 南, 本間 達	e-learning による学習
23	7/8	14:40-16:10	保健衛生学 科講義室 4	医用システム情報学実習(Ⅰ)	小試験	伊藤 南, 本間 達	

授業方法

実習内容の詳細や手順は授業で説明する。
配布資料は事前学習できるように WebClass で公開する。
実習課題ごとに個人またはグループで実験レポートを提出する。
実験レポートを添削指導する。実験内容が不十分な場合は再実験する場合もある。
実習課題と並行して Web-Learning を行う
実習指導は主に本間達(生体機能システム学)が担当する。

授業内容

- ①テストの制作、使用方法
- ②オシロスコープ、電源装置の使用法
- ③実験レポートの作成方法
- ④医用機器を安全に使う、脈波の計測
- ⑤ダイオードの特性計測
- ⑥デジタル回路をつくる、その性質を調べる
- ⑦CR回路特性の計測
- ⑧差動増幅回路の同相弁別比を求める

成績評価の方法

実際に自分で手を動かすことが重要である。実習への参加度合いと実習課題のレポート内容を重視する。実習課題のレポート内容、最終回の演習課題の成績、Web-Learning、実習での参加状況により総合的に評価する。

成績評価の基準

実習課題のレポート内容(40%)、最終回の演習課題の成績(20%)、Web-Learning(20%)、自習での参加状況(20%)を加えて総合成績(100 点満点)として科目の評価とする。総合成績が 60 点以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に配布する資料、教科書に目を通して、実習内容を理解した上で参加する。
資料は Web Class を通じて配布する。

試験の受験資格

3/4以上の実習への出席および全提出課題のレポートの提出をもって受験資格とする。

教科書

医用工学：医療技術者のための電気・電子工学(第二版)／若松秀俊、本間達 著、共立出版、2016

参考書

臨床医学総論：臨床医学総論 放射性同位元素検査技術学 医用工学概論 情報科学・医療情報学 公衆衛生学／小山高敏、戸塚実編集、小山高敏 [ほか] 執筆、小山、高敏、戸塚、実：医学書院、2013

【教材】SANWA 教材用テスト組立キット KIT-8D

他科目との関連

医用システム情報学講義(Ⅰ)と補完する。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。

履修上の注意事項

火傷や感電事故を防ぐため、実習中は教員の指示にしたがうこと。服装は作業しやすいものとする。

備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 昨年度のアンケートより改善点を探して確認します。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、 本間 達:hommtec@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 南:毎週月曜日 PM.1:00-PM.5:00 3号棟16階 生体機能支援システム学・教授室または研究室 事前にメール等で連絡してもらえば随時対応します。

時間割番号	013012A					
科目名	生理検査学講義(Ⅰ)			科目ID	MT-231300-L	
担当教員	星 治, 藤代 瞳[HOSHI OSAMU, FUJISHIRO Hitomi]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	3	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Physiological Laboratory Science,Lecture(Ⅰ)						
【科目責任者】星治						
授業の目的、概要等						
生理学は人体の各構成要素の機能がどのようなメカニズムで発現し、全体として統合されているかを、追求する学問である。生理検査学(Ⅰ)はその内容の講義・実習を行うものである。						
授業の到達目標						
人体の各構成要素の機能の基本的事項を、解剖学の知識を基盤に理解することを目指す。正常な人体の機能を理解することは、疾病による人体の機能の変化を理解する上でも 検査技術学を修得する上でも重要なことである。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/22	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	総論	生理学の概念、意義	星 治
2	4/26	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	体液	体液とその調節	星 治
3	5/6	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	血液と生体防御(2)	血液とその成分、血液型、リンパ液、組織液、生体防御	星 治
4	5/6	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	血液と生体防御(1)	血液とその成分、血液型、リンパ液、組織液、生体防御	星 治
5	5/10	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	循環の生理(1)	心臓の機能、循環の調節のしくみ、循環器系の基本検査	星 治
6	5/13	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	循環の生理(2)	心臓の機能、循環の調節のしくみ、循環器系の基本検査	星 治
7	5/17	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	呼吸の生理	呼吸器の機能、呼吸の調節、呼吸器系の検査	星 治
8	5/24	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	消化と吸収	消化液のその作用、栄養吸収と水分吸収、腸管運動、肝臓のはたらき	星 治
9	5/24	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	体温調節	体温、熱の産生、放熱、発汗のしくみ	星 治
10	5/27	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	内分泌の機能(1)	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星 治
11	5/31	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	内分泌の機能(2)	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星 治
12	6/3	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	尿の生成と排泄(1)	腎臓の機能と尿の生成	藤代 瞳
13	6/10	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	尿の生成と排泄(2)	腎臓の機能と尿の生成	藤代 瞳
14	6/10	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	栄養と代謝(1)	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝	藤代 瞳
15	6/14	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	筋肉の機能	筋肉の分類とその機能 骨格筋収縮のしくみ	星 治
16	6/29	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	栄養と代謝(2)	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝	藤代 瞳

17	6/29	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	生殖機能(1)	男性生殖機能(精子形成)	藤代 瞳
18	6/30	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	生殖機能(2)	女性生殖機能(排卵、受精、着床)、妊娠と分娩	藤代 瞳
19	7/5	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	神経、シナプス	神経生理の基礎、活動電位、神経線維の種類、興奮の伝達、シナプス	星 治
20	7/5	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	神経系の機能(1)	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星 治
21	7/6	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	神経系の機能(2)	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星 治
22	7/6	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	感覚の生理(1)	感覚の一般的性質、視覚	星 治
23	7/8	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	感覚の生理(2)	聴覚、平衡感覚、味覚	星 治
授業内容 生体の機能は基本的機能と高次機能に大別される。基本的機能は動物と植物の両者に共通に認められる機能で、呼吸、血液循環、消化と吸収、代謝、排泄、内分泌等の生体の維持に関する機能がこれに属する。一方、高次機能は動物において発達、特殊化した機能を意味し、運動、神経、感覚等がこれに属する。これらの生体の機能について順次、要点を講義する。また、一部演習も行う。						
成績評価の方法 小テストの成績(10%)、学期末筆記試験の成績(90%)により総合的に評価する。一部、英文による出題もある。						
準備学習等についての具体的な指示 指定の教科書を事前に読むこと。特に、講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。						
教科書 シンプル生理学(改訂第8版)／貴邑 富久子 著・文・その他根来 英雄 著・文・その他貴邑 富久子根来 英雄：南江堂、2021-03-26						
参考書 本郷利憲、廣重力、豊田順一、熊田衛 編集：標準生理学、医学書院						
他科目との関連 人体の構造の理解を基盤に、それらのさまざまな機能の基本的事項を理解するのが生理検査学(Ⅰ)である。生理検査学(Ⅰ)は人体構造学と表裏一体をなすとともに、生理検査学(Ⅱ)に連続するものである。また、薬理学、生化学、臨床病態学とも密接な関係がある。						
履修上の注意事項 人体構造学を基盤に講義する。講義時間数が限られているので、講義に関連した領域について自習することが必要である。						
連絡先(メールアドレス) 星 治: o-hoshi.aps@tmd.ac.jp 藤代 瞳: fujishiro.aps@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 星 治 オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階						

時間割番号	013049A						
科目名	生理検査学講義(Ⅱ)				科目ID	MT-232700-L	
担当教員	角 勇樹, 赤座 実穂[SUMI YUKI, AKAZA MIHO]						
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Physiological Laboratory Science, Lecture(Ⅱ) 【科目責任者】角 勇樹							
授業の目的、概要等							
生理検査用機器を駆使して被検者からいろいろな生理的情報を取得・解析し、そのデータを疾病の診断・治療に役立たせる生理検査学を学ぶ。生理検査に携わる検査技師には機器の操作、生体現象の記録、データの整理・解析のみならず、疾病に対しての医学的知識が要求され、疾患に対しての理解を深める。							
授業の到達目標							
各種生理検査法における原理の習得し適応について理解、測定結果の解釈ができるようになる。 電気機器に接することが多いので、機器障害への迅速な対応や安全対策、正しい結果が得られない場合のトラブルシューティングも学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
2	9/16	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
3	9/21	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
4	9/28	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
5	10/1	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
6	10/8	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
7	10/22	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
8	10/29	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
9	11/5	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
10	11/12	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照

11	11/19	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
12	11/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
13	12/3	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
14	12/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
15	12/17	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理検査学Ⅱ	生理検査学	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
16	1/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)				
授業方法 講義、演習(アクティブラーニングを含む)							
授業内容 生理検査学の内容は多岐にわたる。循環器系検査、呼吸器系検査、神経・筋機能検査、超音波検査、MRI、サーモグラフィー、無散瞳眼底検査、平衡機能検査(眼振電図検査、重心動揺検査)などについて学ぶ。							
成績評価の方法 授業中に行う演習、レポート提出、実習試験、筆記試験にて生理検査学の知識・理解の達成度を評価する。講義中の態度も評価の対象とする。							
成績評価の基準 演習および学期末定期試験による試験点数を基本とし、講義中の態度などを加味して点数を増減し、基準にしたがって成績評価を行う。							
準備学習等についての具体的な指示 生理学講義の範囲は広いので、学内・学外の多くの専門家に講義を依頼している。講義のテーマに関する準備学習をしておくこと。 生理検査学は人を対象とする検査であり、コミュニケーション能力に加え、人と接する上での最低限の礼儀・倫理感が必要とされる。受講態度にも留意すること。							
教科書 呼吸機能検査技術教本／一般社団法人日本臨床衛生検査技師会／監：株式会社じほう，2016 生理機能検査学／大久保善朗 [ほか] 著，大久保 善朗：医歯薬出版，2010							
参考書 各担当講師が Webclass に資料を upload する場合がある。							
他科目との関連 解剖学，生理検査学Ⅰ，医学概論，総合講義，臨床病態学，医用機器・工学，心臓生理学などと関連。							
履修上の注意事項 遅れずに出席すること。 詳細な割り当ておよび日程は講義の際に配布する。							
参照ホームページ 生理検査は人を対象とした動的な検査であり、各種ホームページにて動画や図表、イラストを参照すると理解が進む場合がある。							
連絡先(メールアドレス) 角 勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 角 勇樹:毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17:00 3号館 16 階 呼吸器神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください)							

時間割番号	013013A					
科目名	生理検査学実習(Ⅰ)			科目ID	MT-251500-E	
担当教員	星 治, 藤代 瞳[HOSHI OSAMU, FUJISHIRO Hitomi]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Physiological Laboratory Science, Laboratory(Ⅰ) 【科目責任者】星治						
主な講義場所 保健衛生学実習室(3号館7階), 検査実習室2(3号館8階)Zoom 講義						
授業の目的、概要等 生理学は人体の各構成要素の機能がどのようなメカニズムで発現し, 全体として統合されているかを, 追求する学問である。生理検査学(Ⅰ)はその内容の講義・実習を行うものである。						
授業の到達目標 人体の各構成要素の機能の基本的事項を解剖学の知識を基盤に理解することを目標とする。正常な人体の機能を理解することは, 疾病による人体の機能の変化を理解する上でも検査技術学を修得する上でも重要なことである。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	6/2	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	生理検査学	生理検査学導入	星 治, 藤代 瞳
3-5	6/4	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	生理検査学各論	糖尿病教室	星 治, 藤代 瞳
6-7	6/9	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	腹部内臓の検査	腹部エコー検査に関する模型製作	星 治, 藤代 瞳
8-9	6/11	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	生理検査学各論	生理検査学演習	星 治, 藤代 瞳
10-11	6/16	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	生理検査学各論	生理検査学演習	星 治, 藤代 瞳
12-13	6/23	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	生理検査学各論	生理検査学演習	星 治, 藤代 瞳
14-16	6/25	14:00-18:50	保健衛生学実習室	腹部内臓の機能検査Ⅰ 循環器系の機能検査Ⅰ	腹部内臓の生理学的検査Ⅰ(腹部超音波) 頸部の超音波検査Ⅰ	星 治, 藤代 瞳
17-18	7/2	14:00-17:10	保健衛生学実習室	腹部内臓の機能検査Ⅱ 循環器系の機能検査Ⅱ	腹部内臓の生理学的検査Ⅱ(腹部超音波) 頸部の超音波検査Ⅱ	星 治, 藤代 瞳
授業内容 2年次前期に行う。講義で学習した生体のメカニズムに関する基本的事項について, 実習を通じて理解することを目標とする。						
成績評価の方法 出席状況(10%)実習課題に対するレポートの評価(90%)により, 総合的に判定を行う。各実習担当教員の採点が不合格の際には, 全体として合格にならない場合がある。						
準備学習等についての具体的な指示 事前に配布する実習書に関連した内容について十分な予習を行う。						
教科書 貴巴富久子, 根来英雄:シンプル生理学, 南江堂						
参考書 本郷利憲, 廣重力, 豊田順一, 熊田衛 編集:標準生理学, 医学書院						
他科目との関連 人体の構造を理解し, それらのさまざまな機能の基本的事項を理解するのが生理検査学(Ⅰ)である。生理検査学(Ⅰ)は人体構造学と表裏一体をなすとともに, 生理検査学(Ⅱ)に連続するものである。また, 薬理学, 生化学, 臨床病態学とも密接な関係がある。						
履修上の注意事項 必ず白衣を着用し, 担当教員の指示に従うこと。						
連絡先(メールアドレス) 星 治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp 藤代 瞳:fujishiro.aps@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 星 治オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階						

時間割番号	013050A						
科目名	生理検査学実習(Ⅱ)			科目ID	MT-252800-E		
担当教員	角 勇樹, 赤座 実穂[SUMI YUKI, AKAZA MIHO]						
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Physiological Laboratory Science, Lecture(Ⅱ) 【科目責任者】角 勇樹							
主な講義場所 保健衛生学講義室5(3号館7階)、スキルスラボ(MD タワー地下1 階)							
授業の目的、概要等 生理検査用機器を駆使して被検者からいろいろな生理的情報を取得・解析し、そのデータを疾病の診断・治療に役立たせる生理検査学を学ぶ。生理検査に携わる検査技師には機器の操作、生体現象の記録、データの整理・解析のみならず、疾病に対しての医学的知識が要求され、疾患に対しての理解を深める。							
授業の到達目標 各種生理検査法における原理の習得し適応について理解、測定結果の解釈ができるようになる。 電気機器に接することが多いので、機器障害への迅速な対応や安全対策、正しい結果が得られない場合のトラブルシューティングも学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/14	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
2	9/16	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
3	9/21	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
4	9/28	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
5	10/8	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
6-7	10/15	08:50-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
8	10/22	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
9	10/29	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
10	11/5	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
11	11/12	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
12	11/19	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
13	11/26	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
14	12/3	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
15	12/10	10:30-12:00	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
16	12/17	10:30-	検査学実習室3	生理検査学実習Ⅱ	実習:心電図・心エコー・腹部エコー・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照

		12:00	室 3	習 II	一・呼吸機能・脳波・末梢神経	赤座 実穂	いは webclass の日程表を参照
17	1/7	10:30- 12:00	検査学実習 室 3	生理検査学実 習 II	実習:心電図・心エコー・腹部エコー 一・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかにつ いては webclass の日程表を参照
18- 19	1/14	08:50- 12:00	検査学実習 室 3	生理検査学実 習 II	実習:心電図・心エコー・腹部エコー 一・呼吸機能・脳波・末梢神経	角 勇樹 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかにつ いては webclass の日程表を参照
授業方法 実習、演習(アクティブラーニングを含む)							
授業内容 生理学検査学の内容は多岐にわたる。循環器系検査, 呼吸器系検査, 神経・筋機能検査, 超音波検査, MRI, サーモグラフィー, 無散瞳眼底検査, 平衡機能検査(眼振電図検査, 重心動揺検査)などについて学ぶ。							
成績評価の方法 授業中に行う演習、レポート提出、実習試験、筆記試験にて生理検査学の知識・理解の達成度を評価する。講義中の態度も評価の対象とする。							
成績評価の基準 演習および学期末定期試験による試験点数を基本とし、講義中の態度などを加味して点数を増減し、基準にしたがって成績評価を行う。							
準備学習等についての具体的な指示 生理学講義の範囲は広いので、学内・学外の多くの専門家に講義を依頼している。講義のテーマに関する準備学習をしておくこと。 生理検査学は人を対象とする検査であり、コミュニケーション能力に加え、人と接する上での最低限の礼儀・倫理感が必要とされる。受講態度にも留意すること。							
試験の受験資格 基本的には実習全出席(参加しないと理解できない。百聞は一見にしかず。)							
教科書 呼吸機能検査技術教本／一般社団法人日本臨床衛生検査技師会／監:株式会社じほう 生理機能検査学／大久保善朗 [ほか] 著,大久保 善朗.; 医歯薬出版, 2010							
参考書 各担当講師が Webclass に資料を upload する場合がある。							
他科目との関連 解剖学, 生理検査学 I, 医学概論, 総合講義, 臨床病態学, 医用機器・工学, 心臓生理学などと関連。							
履修上の注意事項 遅れずに出席すること。 詳細な割り当ておよび日程は講義の際に配布する。							
参照ホームページ 生理検査は人を対象とした動的な検査であり、各種ホームページにて動画や図表、イラストを参照すると理解が進む場合がある。							
連絡先(メールアドレス) 角 勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 角 勇樹:毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17:00 3号館 16 階 呼吸器・神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください)							

時間割番号	013015						
科目名	病原体検査学実習(Ⅰ)			科目ID	MT-251700-E		
担当教員	岩永 史朗, 熊谷 貴, 齋藤 良一[IWANAGA Shirou, KUMAGAI TAKASHI, SAITO RYOICHI]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: microbiology, Laboratory(Ⅰ)							
【科目責任者】齋藤 良一							
主な講義場所							
同期型遠隔授業							
対面実習: 保健衛生学科実習室(3号館7階)							
授業の目的、概要等							
病原体検査学(Ⅰ)は、医学部のカリキュラムでは医動物学と呼ばれている分野である。ここでは、人体に寄生して直接病害を起こす動物や、感染症などを媒介する動物とヒトの関わり合いについて講義・実習を行う。ヒトに病害を与える動物には、原生動物から脊椎動物まで、全ての動物群が含まれる。これらを大きく分けると、人体内部に寄生して病害を与える動物を扱う寄生虫学とよばれる分野と、ヒトの体表に寄生して病原体を媒介したり、咬傷や刺傷を与えたりする動物を研究する衛生動物学とよばれる分野がある。							
授業の到達目標							
扱う動物の種類が全ての動物群にわたり非常に広いため、講義で取り上げるものは現在国内で問題になっている寄生虫や疾病媒介動物を中心に講義と実習を行う。この他、熱帯地域の発展途上国で未だ多くの人々を苦しめている熱帯病や海外旅行者が感染する可能性のある輸入寄生虫症の問題についても講義する。これらの寄生虫や衛生害虫の発育史、感染経路などをよく理解し、国際社会においても貢献しうる人材を養成することを目標のひとつとしている。							
・線虫類によって起きる病気について理解する。							
・食品媒介吸虫症及び輸入吸虫症について理解する。							
・消化管寄生原虫類によって起きる病気について理解する。							
・消化管寄生条虫類と組織寄生条虫類について理解する。							
・線虫類の寄生虫の虫卵、成虫の形態およびその観察法を理解する。							
・熱帯輸入原虫症について理解する。							
・吸虫類及び条虫類の成虫、虫卵の形態およびその観察法を理解する。							
・消化管寄生原虫類の形態を理解する。							
・マラリア原虫の同定ができるようになる。							
・組織寄生原虫の形態およびその観察法を理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/22	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	【講義】医動物学 総論	医動物学総論を理解し、寄生虫学・衛生動物学の基本について理解する。また、国際的な寄生虫感染症の動向についても理解する。	岩永 史朗	
2-4	9/24	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	【講義】線虫類によって起きる病気	消化管寄生線虫類によって起きる病気について説明する。また、幼虫移行症の原因となる動物由来線虫類によって起きる疾患について説明する。	岩永 史朗	
5-7	10/1	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	【講義】条虫類によって起きる病気、吸虫類によって引き起こされる病気 消化管寄生原虫類によって起きる病気	消化管寄生条虫類と組織寄生条虫類について説明する。また、食品媒介吸虫症及び輸入吸虫症について説明する。消化管寄生原虫について説明する。	岩永 史朗	
8-10	10/8	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	【講義】組織寄生原虫類によって	組織寄生原虫類について説明する。また、疾患を媒介する衛生動物について、説明する。	新澤 直明	

				起る病気及び 医学上重要な衛 生生物学			
11-13	10/2 2	1300-17:50	遠隔授業 (同期型)	【遠隔実習】線虫 類	線虫類の寄生虫の虫卵、成虫を観察する。	熊谷 貴	AL-VSと動画を 用いた同期型 遠隔実習
14-16	10/2 9	1300-17:50	遠隔授業 (同期型)	【遠隔実習】吸虫 類及び条虫類	吸虫類及び条虫類の成虫、虫卵を観察する。	熊谷 貴	AL-VSと動画を 用いた同期型 遠隔実習
17-19	11/5	1300-17:50	保健衛生 学実習室	【対面実習】寄生 原虫類による病 気、糞便検査法	マラリアやトリパノソマ、リーシュマニアな どの熱帯輸入原虫症を観察する。糞便検査 の実技を行う。	熊谷 貴	AL顕微鏡観察 と糞便検査の 実技を学習す る対面実習

授業方法

講義は、同期型遠隔授業を行い、各単元毎に説明を行い、質疑応答に答える。

実習は、ヴァーチャルスライドを用いた同期型実習と、顕微鏡観察と糞便検査実技を行う対面実習にて実施する。

授業内容

各回の講義の資料をあらかじめ提示しておくので予習しておくこと。その対象となる寄生虫に関する生物学、臨床的側面、社会医学的側面などについて総合的に解説を行う。

実習は、事前に実習書を提示するので予習を行うこと。同期型遠隔実習では、実習の説明を聞いた後に、ヴァーチャルスライドを用いて虫卵等を探しスケッチをする。その場で不明な点や、見つけられな等はzoomを通して質疑応答を行う。スケッチを行い、実習後にレポートとして提出を行う。

対面実習では、実際に顕微鏡による観察を行い、スケッチする。糞便検査の実技を行い、顕微鏡観察も行う。レポートはスケッチを元に、実習後に提出を行う。

成績評価の方法

次の2つの項目で評価を行う。

- (1) 記述試験: 80%: 講義全般のうち、重要事項について国家試験問題に模して選択形式で行われる。10%は必ず、英文により出題される。
- (2) レポート: 20%: 実習レポートの5段階評価により判定する。

成績評価の基準

「成績評価の方法」に示す各項目の成績の合計により評価を行う。試験等により到達目標に達しているかを評価し、60%以上の到達が確認された場合を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

1. 講義は予め WebClass で配布される講義資料を熟読の上、出席する。講義はそれを前提に進める。
2. 実習には白衣を着用し、授業開始前に顕微鏡を実習テーブルに準備しておくこと。
3. スケッチは B5 版スケッチブック(ケント紙)(推奨)を用意し、2B 鉛筆及び色鉛筆を準備する。

試験の受験資格

同期型遠隔講義に関しては、出席管理は zoom のアクセス時間により行う。30 分以上経過してのアクセスは欠席とみなす。

実習は3回しか行わないために、理由なき欠席は筆記試験の受験資格を与えない。

参考書

医動物学／平山謙二著, 平山 謙二, : 医歯薬出版, 2016

寄生虫学テキスト／上村清, 井関基弘, 木村英作, 福本宗嗣 著, : 文光堂, 2008

医動物学／吉田幸雄, 有蘭直樹 著, : 南山堂, 2013

他科目との関連

寄生虫は、あらゆる組織、細胞などに寄生するため、その検査方法や原因の究明には他の多くの教科の知識を必要とする。例えば、動物については、分類学、生態学、生理学などと密接に関連する。寄生を受ける人体側については、解剖学、組織学、病理学はもとより、血清学、血液学などの知識も必要とする。また、人の生活に関連して公衆衛生学との関連も深い。

履修上の注意事項

受講上の注意: 講義のみでは寄生虫や有害動物について十分に理解することが困難であるため、実物標本やスライド写真を供覧して解

説を行う。講義回数に限られているので毎回出席することが大切である。
備考 実習では感染性病原体を扱うこともあるので白衣は必ず持参すること、B5 版スケッチブック(1枚ずつ切り離せる形式のもの)と色鉛筆および鉛筆(2B)を持参すること。2020 年度は、完全同期型遠隔実習であったが、直接顕微鏡で観察したい、zoom では画像が不鮮明ということ considering、2021 年度はヴァーチャルスライドによる同期型遠隔授業と対面実習のハイブリット型にしている。
連絡先(メールアドレス) 齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp 熊谷 貴 tkuma.vip@tmd.ac.jp 岩永 史朗 iwanaga.vip@tmd.ac.jp
オフィスアワー 齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること) 熊谷 貴 随時(必ず事前に連絡を入れること) 岩永 史朗 随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	013053A						
科目名	免疫検査学講義			科目ID	MT-232900-L		
担当教員	齋藤 良一[SAITO RYOICHI]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Clinical Immunology, Lecture							
【科目責任者】 齋藤 良一							
主な講義場所							
オンライン講義にて行う。							
授業の目的、概要等							
免疫検査学は免疫学的手法を臨床検査に応用する学問である。ほとんどあらゆる疾患における臨床検査に免疫学的手法は利用されており、その原理や意義について学ぶ。輸血や臓器移植に必須である輸血検査学についても学ぶ。また、自己免疫疾患、免疫不全症、感染症、悪性腫瘍など、免疫機能の異常が直接的に関わる疾患については、それらの病態についても理解する。 しかし、臨床検査法は年々改良されて、より優れた方法に代わられている。そのような変化に対応するため、また自ら新しい検査法の開発を目指す研究に取り組むために、最も大切なことは免疫学の基本をしっかりと学んで応用力を養うことである。							
授業の到達目標							
1. 自然免疫と獲得免疫のそれぞれについて、構成要素と機能を説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫の違い、および相互作用について説明できる。 3. 免疫担当細胞の種類とそれぞれの機能について説明できる。 4. 中枢リンパ組織と末梢リンパ組織の構造と機能を説明できる。 5. リンパ節と脾臓の構造を図示し、どの部位でどのような機能が営まれているか説明できる。 6. MHC 分子の構造と機能について図示して説明できる。 7. MHC 分子の多型とその免疫学的意義について説明できる。 8. IgG の基本構造を図示し、各部位の機能を説明できる。 9. 免疫グロブリンの各クラスの構造、機能、およびその血中濃度について説明できる。 10. B 細胞が多様な特異性をもつ抗体を産生できる機序について説明できる。 11. T 細胞が多様な特異性をもつ抗原レセプターを産生できる機序について説明できる。 12. モノクローナル抗体の作製法の原理を説明できる。 13. T 細胞レセプターについて、構造、機能、共刺激分子との関係等を説明できる。 14. TH1 細胞と TH2 細胞が産生するサイトカインと機能について説明できる。 15. 主なサイトカインの機能について説明できる。 16. B 細胞と T 細胞の相互作用について図示して説明できる。 17. 感染巣に病原体に特異的なリンパ球が集集するメカニズムを説明できる。 18. 一次免疫応答と二次免疫応答について説明できる。 19. 補体系の経路と機能について説明できる。 20. 自然免疫および獲得免疫における自己寛容のしくみについて説明できる。 21. 梅毒の主な検査法と結果の解釈について説明できる。 22. 急性 A 型肝炎の経過における血清学的検査結果の推移を図示して説明できる。 23. 急性 B 型肝炎の経過における血清学的検査結果の推移を図示して説明できる。 24. B 型肝炎ウイルスキャリアーの血清学的検査結果の推移を図示して説明できる。 25. M 蛋白の原因疾患、検出方法、性質について説明できる。 26. 主な腫瘍マーカーを、陽性率の高い腫瘍の例とともに列挙できる。 27. アレルギーのメカニズムと代表的病態について説明できる。 28. 全身性エリテマトーデスと関節リウマチのそれぞれについて、よくみられる検査所見を列挙できる。 29. 組織特異的自己免疫疾患を、よくみられる自己抗体とともに列挙できる。 30. 全身性自己免疫疾患を、よくみられる自己抗体とともに列挙できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考

1	10/21	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	概論	齋藤 良一	
2	10/26	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学	免疫系の構成要素、自然免疫	長谷川 温彦	第1章
3	11/2	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学	獲得免疫における抗原の補足と提示、獲得免疫における抗原の認識	長谷川 温彦	第1章
4	11/4	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学	獲得免疫における抗原の認識、細胞性免疫	長谷川 温彦	第1章
5	11/4	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学	獲得免疫における液性免疫、免疫寛容	長谷川 温彦	第1章
6	11/9	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	輸血療法とは、輸血用血液製剤の種類と特性	梶原 道子	第4章
7	11/11	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学	感染症(1)	齋藤 良一	第2章-I
8	11/11	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学	感染症(2)	齋藤 良一	第2章-I
9	11/12	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	組織特異的自己免疫疾患	窪田 哲朗	第2章-II~V
10	11/12	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学	課題学習	齋藤 良一	
11	11/16	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	輸血の適応と製剤の選択	梶原 道子	第4章
12	11/19	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	腫瘍性疾患、アレルギー	窪田 哲朗	第2章-II~V
13	11/19	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	全身性自己免疫疾患	窪田 哲朗	第2章-II~V
14	11/25	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学	課題学習	齋藤 良一	
15	11/26	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫不全症	窪田 哲朗	第2章-II~V
16	11/26	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の原理(1)	窪田 哲朗	第3章-A
17	11/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	輸血前に必要な検査	梶原 道子	第4章
18	12/3	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の原理(2)	窪田 哲朗	第3章-A
19	12/3	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の原理(3)	窪田 哲朗	第3章-A
20	12/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	血液型とその検査	梶原 道子	第4章
21	12/10	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の実際(1)	齋藤 良一	第3章-B-I
22	12/10	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の実際(2)	窪田 哲朗	第3章-B-II~VI
23	12/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	赤血球抗体検査、交差適合試験	梶原 道子	第4章
24	12/17	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の実際(3)	窪田 哲朗	第3章-B-II~VI
25	12/17	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	免疫学的検査の実際(4)	窪田 哲朗	第3章-B-II

			期型)				～VI
26	12/21	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	自己免疫性溶血性貧血と自己抗体、輸血副作用、自己血輸血	梶原 道子	第4章
27	1/4	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	血液型不適合妊娠と新生児溶血性疾患、HLA 検査	梶原 道子	第4章
28	1/7	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学	課題学習	齋藤 良一	
29	1/7	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学	課題学習	齋藤 良一	
30	1/11	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	免疫検査学	血小板抗原、顆粒球抗原、移植	梶原 道子	第4章
授業方法 同期型講義: WebClass で事前配布した資料をもとに講義し、小テストや質疑応答、グループ討論等を行う。 非同期型講義: WebClass で配布された資料を視聴後、提示された課題を期限内に提出する。							
授業内容 「授業スケジュール」参照							
成績評価の方法 定期試験成績(85点)、小テスト・課題内容(10点)および授業態度(5点)により総合的評価(100点満点)を行う。定期試験は多肢選択問題で構成され、基本的な専門用語を英語で示す問題も一部に含まれる。							
成績評価の基準 「成績評価の方法」に示した項目の合計が60点以上の場合を合格とする。							
準備学習等についての具体的な指示 教科書に沿って進めるので、毎回予習と復習をし、分からない点は質問して下さい。							
試験の受験資格 本学の試験規則を満たす者。但し、出席管理は以下のように行う。 同期型講義: zoom のアクセス時間と講義中に行う小テストや質疑応答等により判断する。講義開始 30 分以上経過後のアクセスは欠席とみなす。 非同期型講義: 動画視聴後に提示された課題を期限内に提出した場合、出席とする。							
教科書 免疫検査学／窪田哲朗 [ほか] 編著: 医歯薬出版, 2020							
参考書 Cellular and Molecular Immunology／Abbas A K, et al.: Elsevier, 2018							
履修上の注意事項 毎回出席することが大切である。また講義内容の復習や講義で詳しく触れなかった事項も自主学習し、単元ごとに知識の定着を図って欲しい。講義・実習に関わる資料は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することの無いように十分気を付けること。							
連絡先(メールアドレス) 齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること)							

時間割番号	013016						
科目名	遺伝子・染色体検査学講義			科目ID	MT-231800-L		
担当教員	鈴木 喜晴[SUZUKI NOBUHARU]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Medical Genetics and Human Genome Science, Lecture							
【科目責任者】鈴木喜晴							
主な講義場所							
遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等							
近年のゲノムサイエンスの進歩に伴い、疾患を遺伝子レベルで理解し、診断・治療を行うことが常用化されて来ている。本講義では、遺伝子・染色体レベルでの分子遺伝学の基礎を学び、変異等によって正常な機能が障害されることによる疾患の分子メカニズムを理解する。さらに遺伝子や染色体の解析技術を学び、疾患ごとの検査法を学習する。また、遺伝子の発現や機能に関わる最新の基礎研究にも触れ、当該研究分野の現状を学ぶ。さらに、英語による解説ビデオ等から、当該分野における国際的な重要性についても理解を深める。アクティブラーニングとして、各回の終わりに演習問題を行い習得度を確認する。							
授業の到達目標							
国家試験に対応できる基礎知識の習得をする。さらに関連分野での基礎研究や臨床研究に応用できる実践的な知識も身につける。各回での目標は以下の通りである。							
1回目:ゲノムについて理解する。新型コロナウイルス検査をはじめとする感染症の遺伝子検査を理解する。							
2回目:遺伝子の基礎を理解する。							
3回目:染色体の基礎を理解する。							
5回目:臨床遺伝学について学ぶ。							
6回目:造血器腫瘍と先天異常を理解・整理する。							
7回目:分子病理学的診断と標的治療について理解する。遺伝子多型について学ぶ。							
8回目:遺伝子検査法(遺伝子検査の種類、検体の取扱い、核酸抽出、核酸の電気泳動)を理解・整理する。							
9回目:遺伝子検査法(核酸増幅)を理解する。							
10回目:遺伝子検査法(遺伝子検査の解析法)について学ぶ。							
11回目:染色体検査法(細胞培養法、標本作成法、分染法)を理解・整理する。							
14回目:染色体検査法(核型分析、FISH 法、検出機器)について理解する。							
15回目:倫理や品質保証認証について理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	1. ゲノム／2 感染症の遺伝 子検査	1. ゲノムとは;ゲノム医療;先端 技術の概要;データベースの種類 と検索法／2. 検査の種類;検査 の方法(PCRによる生菌検出法); 新型コロナウイルス検査	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:内容解 説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
2	4/14	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	3. 遺伝子の基 礎	3. 核酸の構造;遺伝子の構造; DNA の複製と修復機構;遺伝子 の発現と制御;蛋白質のプロセシ ング;ノンコーディング RNA;遺伝 子変異・修飾と多型;エピジェネテ イクス;癌;遺伝子治療;ファーマコ ゲノミクス	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:内容解 説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
3	4/21	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	4. 染色体の基 礎	4. 染色体の構造;染色体の構成; 細胞周期と遺伝子染色体;細胞分 裂;配偶子から受精・着床	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:内容解 説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
4	5/6	13:00-14:30	遠隔授業	予備	予備	鈴木 喜晴	

			(非同期型)				
5	5/12	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	5. 臨床遺伝学	5. メンデル遺伝; 非メンデル遺伝; 染色体異常の発生機序	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
6	5/19	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	6. 造血器腫瘍 ／7. 先天異常	6. WHO 分類; 分子標的薬; リンパ球の分化と遺伝子再構成／7. 染色体異常症候群	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
7	6/10	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	8. 分子病理学的診断と標的治療／9. 遺伝子多型	8. 病型分類と遺伝子染色体変異; 治療薬選択に関わる遺伝子検査; 家族性腫瘍／9. 遺伝子多型解析の意義; 多型の種類と検出法	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
8	6/14	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	10-1. 遺伝子検査法 1	10-1. 遺伝子関連検査の種類; 検体の取り扱い; 遺伝子検査に必要なもの; 核酸抽出; 核酸の電気泳動	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
9	6/17	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	10-2. 遺伝子検査法 2	10-2. 核酸増幅	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
10	6/24	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	10-3. 遺伝子検査法 3	10-3. 解析	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
11	6/29	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	11-1. 染色体検査法 1	11-1. 細胞培養法; 標本作成法; 分染法	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
12	7/5	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	予備	予備	鈴木 喜晴	
13	7/6	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	予備	予備	鈴木 喜晴	
14	7/8	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	11-2. 染色体検査法 2	11-2. 核型分析; 蛍光 in situ ハイブリダイゼーション法; FISH 法; 検出機器	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
15	7/9	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	12. 倫理／13. 品質保証認証	12. 遺伝倫理; インフォームド・コンセント／13. 遺伝子関連検査の品質保証; 染色体検査の品質保証	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する

授業方法

同期授業: 講義スライドや資料、ビデオを用いて解説しながら進める。本講義は主に教科書1「遺伝子・染色体検査技術教本」の図表を用いて、教科書1と2「臨床検査学講座 遺伝子・染色体検査学」の内容に沿って解説して行く。アクティブラーニングとして、各回の終わりに演習問題を行い理解度を確認する。その他講義内容に応じて、口頭での設問や考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。

授業内容

授業スケジュールを参照

成績評価の方法

同期型講義(zoom)の合計回数の3分の2以上の出席を必要とする。

各回演習問題: 3問中2問以上正解で2点(1問正解で1点)×12回=24点(12点)

出席点: 同期型授業の出席1回で0.5点×12=6点

期末筆記試験(本試験): 70点

合計: 100点

* 期末試験後、平均点、最高点、最低点を考慮して、点数配分に多少の変更があり得る。
成績評価の基準 上記の「成績評価の方法」に従い、60 点以上で合格とする。60 点未満の場合、再試験(筆記試験)を行い、60 点以上で合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 毎回講義の前に WebClass から講義資料をダウンロードし、参考書等も利用して準備学習を行うこと。本講義は主に教科書1「遺伝子・染色体検査技術教本」の図表を用いて、教科書1と2「臨床検査学講座 遺伝子・染色体検査学」の内容に沿って解説して行く。各自の学習目的(例:国家試験対策等)や学習方法に合わせて、自主学習用の教科書を選択すること。
試験の受験資格 前期末に筆記試験を行う。試験の受験資格は、同期型講義(zoom)の合計回数の3分の2以上の出席を必要とする。遅刻や早退となる際は、必ず科目責任者にメールで連絡し、理由を説明すること。連絡の無い遅刻や早退は出席回数を0.5回とする。勘案すべき事情があり、受験資格の出席数が足りない場合は、その旨科目責任者にメールで連絡をすること。
教科書 遺伝子・染色体検査技術教本／日本臨床衛生検査技師会 監修,日本臨床衛生検査技師会,:丸善出版, 2019 遺伝子・染色体検査学／東田修二編集,東田, 修二,:医歯薬出版, 2021
他科目との関連 分子生物学, 生化学, 遺伝学, 細胞生物学、血液検査学、臨床病態学などに関連する。
履修上の注意事項 講義資料、講義動画、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。
備考 各回に演習問題を設けることで、アクティブラーニングと講義の予習を促す点を前年度より改善している。
連絡先(メールアドレス) 鈴木 喜晴nsuzbb@tmd.ac.jp
オフィスアワー 鈴木 喜晴オフィスアワーは特に定めない 3号館16階

時間割番号	013018						
科目名	医学情報処理演習(Ⅰ)			科目ID	MT-252000-S		
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Principles and Practice of Medical Information Processing(Ⅱ)							
【科目責任者】伊藤南							
主な講義場所							
Zoom による同期授業を実施する。							
授業の目的、概要等							
臨床検査や科学研究において大量のデータを取り扱う機会が増えている。大量のデータを効率的に処理するだけでなく、統計学的な考え方に沿ってデータの意味するところを正しく理解することが求められている。本演習では、根拠に基づく医療(EBM)の考え方や実践法を学び、それを支える医療データベース、文献データベースの利用方法を修得する。生物統計学の基本的な考え方を学ぶ。表計算ソフト(エクセル)を利用して、データの関連性や因果関係を解析する方法を学ぶ。医療データの解析に欠かせない、ロジスティック曲線や生存曲線の解析について学ぶ。今後ますます必要性が高まるとされる、多変量解析やベイズ統計の基本的な考え方を学ぶ。							
授業の到達目標							
下記の項目について理解し説明できる。下記の演習項目を適切に利用できる。							
①根拠に基づく医療(EBM)							
医学的根拠についての3つの立場、コクランの考え方、EBM宣言、EBMの実践方法							
②フェアな比較							
フィッシャーの3原則、乱塊法、因子、水準、順序効果、交絡							
信頼区間、点推定と区間推定、標本数の決め方、比率の検定							
③二因子の関係をみる							
McNemar 検定、1標本t検定、Wilcoxon の符号付き順位和検定							
フィッシャーの正確確率検定、カイニ乗適合度検定							
④二因子の分散分析							
繰り返しのある2元配置分散分析							
分散分析							
因果関係、症例対照研究、横断研究、コホート研究、無作為化比較試験							
⑤相関と回帰							
相関と回帰、ピアソンの相関係数、標準化偏回帰係数、自由度調整済み決定係数							
多重共線性、オーバーフィッティング、ダミー変数							
相関解析、重回帰分析							
⑥多変量解析(Ⅰ)							
最尤法、最適モデルの選択の考え方							
ポアソン回帰、ロジスティック回帰							
ソルバーによる数値解析							
⑦多変量解析(Ⅱ)							
生存曲線、生存率、打ち切り観察、Kaplan-Meier 積極限法、危険率関数							
ログランク統計量、比例ハザードモデル							
演習～EZRIによる生存曲線の計算							
⑧ベイズ推定							
ベイズの定理、ベイズ更新、ベイズ推定							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	11/11	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅰ)	データを整理する	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
3-4	11/18	08:50-12:00	遠隔授業	医学情報処理演習(Ⅰ)	データの代表値をみる	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト

			(同期型)				ト、メールによる添削指導
5-6	11/25	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅰ)	データの分布をみる	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
7-8	12/2	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅰ)	偶然誤差を表す	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
9-10	12/9	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅰ)	度数分布の比較	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
11-12	12/16	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅰ)	2群の平均の比較	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
13-14	1/6	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅰ)	多群の平均の比較	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
15	1/13	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅰ)	統計の利用	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導

授業方法

教科書、配付資料をもとに講義および演習を行う。配布資料は事前学習できるように WebClass で公開する。毎回、前回の講義内容を範囲として小テストを行う。演習の予習復習を目的に課題提出を求める。

授業内容

①EBM

演習の目的

医学的根拠

根拠に基づく医療(EBM)

演習～データの集計、平均値の比較

②フェアな比較

実験デザイン

パラメトリック検定の補足

演習～度数分布の比較

③二因子の関係を見る

演習～対応のある二群のデータの比較

演習～独立性の検定

④2因子の分散分析

演習～分散分析

因果関係と研究法

⑤相関と回帰

演習～相関解析、単回帰分析

演習～重回帰分析

⑥多変量解析(Ⅰ)

最尤法

演習～数値解析

最適モデルの選択

演習～ポアソン回帰

⑦多変量解析(Ⅱ)

演習～ロジスティック回帰

演習～生存曲線、Cox 回帰

演習～交絡の回避

⑧ベイズ推定

適中率とベイズ定理

統計のまとめ

成績評価の方法

小テストの成績と学期末試験(総合演習)の成績により総合的に評価する。学期末試験は情報検索室においておこない、記述訂正問題、

記述問題、演習課題により構成される。
成績評価の基準 学期末試験(総合演習)の成績(80%)に小テスト(20%)を加えて総合成績(100点満点)として科目の評価とする。総合成績が60点以上のものを合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 ①配布資料は WebClass よりダウンロードしておくこと。 ②講義前に、配布資料と教科書の関連範囲に目を通しておくこと(教科書との対応は授業明細の備考欄を参照)。 ③統計検定の方法や手順については事前に確認しておくこと。 ④前回までの演習内容を理解していることを前提にして次の演習を行うので、よく復習してから参加すること。
試験の受験資格 講義中に行う小テストおよびアンケート形式の質疑応答へ参加により出席確認とする。2/3以上の出席および全演習課題の提出をもって受験資格とする。
教科書 入門統計学：検定から多変量解析・実験計画法まで／栗原伸一 著、：オーム社、2011
参考書 統計学図鑑／栗原伸一、丸山敦史 共著、：オーム社、2017 医療情報 医療情報システム編／日本医療情報学会医療情報技師育成部会／編集、：篠原出版新社、2013 バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論／市原清志 著、：南江堂、1990 医学統計データを読む：医学・医療に必要な統計学活用方法／ベス・ドーンソン、ロバート・G.トラップ 著、澤智博、森田茂穂 監訳、：メディカル・サイエンス・インターナショナル、2006
他科目との関連 医学情報処理演習(Ⅰ)と合わせて、臨床検査や研究に必要な統計検定の方法を一通りカバーする。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 ①表計算ソフトはマイクロソフト社の Excel2016 を使用する。 ②演習中に作成したファイルを保存するためのUSBメモリを各自用意する(1GB 程度、医用システム情報学実習(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅱ)でも使用する)。 ③すでに別の統計学の教科書を持っている場合は、教科書を購入する必要はない。 ④日数が少ないので出席回数に注意すること。 ⑤能動的な講義への参加、講義時間を無駄に過ごさないことを希望する。講義資料は事前に WebClass で閲覧できるようにしてあるので予習すること。講義中ないし講義後の質問を歓迎する。受講に際しては画面の小さなスマホ等の使用を避けること。前回の講義の範囲で小テストを実施するので、必ず復習しておくこと。著作権の問題があるので Zoom 講義の撮影と講義資料の受講者以外への公開を禁ずる。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 昨年度のアンケートより改善点を探して確認します。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤 南:毎週月曜日 PM.1:00-PM.5:00 3号棟16階 生体機能支援システム学・教授室または研究室 事前にメール等で連絡してもらえば随時対応します。

時間割番号	013022						
科目名	臨床病態学(Ⅰ)				科目ID	MT-232400-L	
担当教員	角 勇樹, 赤座 実穂[SUMI YUKI, AKAZA MIHO]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Clinical Medicine(Ⅰ)							
【科目責任者】角 勇樹							
授業の目的、概要等							
生体における疾患およびその病因・病態について学ぶ、臨床医学入門のための講義である。							
授業の到達目標							
臨床検査にて異常所見を呈する原因、病態を理解することを目的としている。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/26	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型), 遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(1)	内科疾患総論Ⅰ	角 勇樹, 赤座 実穂	Zoomにてオリエン テーション 内科総 論については webclassにて自習
2	5/17	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(2)	内科疾患総論Ⅱ	角 勇樹 赤座 実穂	非同期 webclassに て自習
3	5/17	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(3)	外科学総論	角 勇樹 赤座 実穂	非同期 webclassに て自習
4	5/24	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(4)	耳鼻咽喉科疾患総論	角 勇樹 赤座 実穂	非同期 webclassに て自習
5	5/31	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(5)	乳腺疾患総論	角 勇樹 赤座 実穂	非同期 webclassに て自習
6	5/31	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(6)	代謝疾患総論	角 勇樹 赤座 実穂	非同期 webclassに て自習
7	6/7	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(7)	形成外科疾患総論	角 勇樹 赤座 実穂	非同期 webclassに て自習
8	6/14	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(8)	整形外科疾患総論	角 勇樹 赤座 実穂	非同期 webclassに て自習
9	6/14	14:40-16:10	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(9)	消化器疾患総論	角 勇樹 赤座 実穂	非同期 webclassに て自習
10- 11	6/15	08:50-12:00	未定	チーム医療導入(他 職種連携教育)	M3D3N2MT2を対象とした患者中 心の医療を考えるワークショップ を行える。	角 勇樹 赤座 実穂	同期か非同期か未 定
12	6/18	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(11)	婦人科疾患総論	角 勇樹 赤座 実穂	非同期 webclassに て自習
13	6/21	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(10)	眼科疾患総論	角 勇樹 赤座 実穂	非同期 webclassに て自習
14	7/1	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(12)	腎疾患総論	角 勇樹 赤座 実穂	非同期 webclassに て自習
15	7/1	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床病態学Ⅰ(13)	アレルギー疾患総論	角 勇樹 赤座 実穂	同期 Zoom
16	7/7	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(14)	皮膚科疾患総論	角 勇樹 赤座 実穂	非同期 webclassに て自習
17	7/7	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅰ(15)	精神科疾患総論	角 勇樹 赤座 実穂	非同期 webclassに て自習

授業方法 各診療科より講師を招き、専門領域の内容について講義を行う。 講師によりアクティブラーニング形式になる場合がある。
授業内容 基本的には講義であるが、方法は各講師により異なる。 実習は行わない。 講義内容は各診療科専門領域概論である。
成績評価の方法 筆記試験および出席点により評価する。受講態度も評価に含める。
成績評価の基準 マークシートによる筆記試験を基本とし、出席点、受講態度点の加味して増減して、基準に従い成績評価を行う。
準備学習等についての具体的な指示 各専門診療科講師は一度しか講義を担当しない。 一期一会の機会であり、重要性を認識して講義に臨むこと。 質問は、メールなどで積極的に行うこと。
教科書 日本臨床検査医学会「臨床検査のガイドライン JSLM2012」 以下のサイトからダウンロード可能（クリックして各項目閲覧可能） http://jslm.info/GL2012/00-1.pdf
参考書 臨床検査技師ブルー・ノート：臨床検査総論、臨床検査医学総論、臨床生理学、臨床化学、病理組織細胞学／芝 紀代子 編集、芝 紀代子、メジカルビュー社、2021-03-31 最新臨床検査学講座 病態学／臨床検査医学総論：医歯薬出版 各担当講師がホームページや Webclass にスライドをアップする事が多い。
他科目との関連 医療従事者として取得すべき基礎知識であり臨床医学の基本科目である。 一部は看護学専攻学生との共同講義である。
履修上の注意事項 必ず授業に出席し、分からないことは些細なことでも積極的に質問すること。
参照ホームページ 疾患について正しく理解を深めるためには、各学会より発行されているガイドラインや患者向け説明を参照すると良い。
連絡先(メールアドレス) 角 勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp
オフィスアワー 角 勇樹:毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17:00 3号館 16 階 呼吸器神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください)

時間割番号	013082						
科目名	Global Communication(I)				科目ID	MT-213100-L	
担当教員	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS[SAWABE MOTOJI, JANELLE RENEE MOROSS]						
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
遠隔授業(同期型)、Zoom ID/Passcode は WebClass 参照							
授業の目的、概要等							
授業のスタイルは小グループで、最近の保健関連のトピック・課題について討論する形式とする。英語のネイティブスピーカーが討議を進める。							
授業の到達目標							
到達目標は海外留学に興味のある学生に国際的保健トピック・課題についての知識を増し、トピックに関する自分の意見を持ち、英語で包括的にそれを表現するのを助けることとする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	How to state your opinion and disagree politely (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	
2	4/14	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	The role of a Medical Technologist (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テストは WebClass で行う
3	4/21	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Health and race (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テストは WebClass で行う
4	4/28	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Nutrition (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テストは WebClass で行う
5	4/30	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Exercise (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テストは WebClass で行う
6	5/12	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Virus (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テストは WebClass で行う
7	5/19	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	PCR Testing (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テストは WebClass で行う
8	5/26	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	What is HIV/AIDS (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テストは WebClass で行う
9	6/2	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Bacteria (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テストは WebClass で行う
10	6/9	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	HAIs (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テストは WebClass で行う
11	6/16	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Antibiotic Resistance (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テストは WebClass で行う

12	6/23	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	What is a cell? (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
13	6/30	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Apoptosis (WebClass に資 料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
14	7/7	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	口頭試問と作文	口頭試問と作文	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	口頭試問と作文
15	7/28	10:30-12:00		TOEFL			
16	7/28	13:00-14:30		TOEFL			
17	9/8	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Lab and diagnostic errors (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
18	9/15	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Blood types (WebClass に 資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
19	9/22	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	CBC (WebClass に資料 がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
20	9/29	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Anemia (WebClass に資料 がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
21	10/6	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Leukemia (WebClass に資 料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
22	10/1 3	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Cholesterol (WebClass に 資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
23	10/2 0	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Toxicology (WebClass に 資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
24	10/2 7	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Bone marrow (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
25	11/1 0	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Synovial fluid (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
26	11/1 7	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Urine (WebClass に資料 がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
27	11/2 4	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Spinal fluid (WebClass に 資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
28	12/1	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Sputum (phlegm) (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
29	12/8	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Stool (feces) (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う

						ZABETH	
30	12/1 5	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Parasites (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
31	1/5	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Genetic testing (WebClass に資料がある)	グループ討論、 個人の予習	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	小テストは WebClass で行う
32	1/12	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	口頭試問と作文	口頭試問と作文	WARREN ASHLEY RO BERT, WARREN L ELI ZABETH	口頭試問と作文

授業方法

全ての学習活動は英語で行われる

1. 生物倫理、臨床統計学に関する専門的医学知識の獲得に関する小グループ討論
2. 一般的な医学英語ボキャブラリー、語句、発音を教授する。前の週に行ったボキャブラリークイズを行う
3. 毎週の作文課題により作文技術の向上の機会を与える
4. オンライン調査とプレゼンテーションスキルを向上させる機会。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

成績は出席、宿題および授業活動への積極的参加を元に評価する。

成績評価の基準

出席 5%、
小テスト、宿題作文、オラル期末試験 30%、
授業への積極的参加 50%、
TOEFL/ITP の結果 15%

準備学習等についての具体的な指示

宿題は常に授業前に行うこと、課題は WebClass から入手すること

試験の受験資格

口頭試問と作文、前期と後期の最後のレッスンに行います。

教科書

この科目では教科書を用いない。教員は文章、語句練習、包括的質問を WebClass に準備してある。

備考

授業最終日から、科目についてのアンケートが webclass でできるようになっている。アンケートに回答しない場合は、定期試験の可否を含む成績が webclass に表示されない。
昨年のアンケート結果に基づいて、グループとペアの練習パートナーはズームによって自動化され、毎週変更されます。

連絡先(メールアドレス)

沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370
JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

沢辺 元司オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること
湯島キャンパス 3 号館 16 階
JANELLE RENEE MOROSS:毎週金曜日 PM 12:00-14:00 1 号館—4 階 教授室

第 3 学年

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第3学年)

(前期)

3/29		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月															
	30	火														
	31	水														
	4/1	木														
2	金															

4/5	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月							医用システム情報学講義Ⅱ(1)	同期型 (zoom)		血液検査学講義(1)	同期型 (zoom)		血液検査学講義(2)	同期型 (zoom)	
	6	火				血液検査学講義(3)	同期型 (zoom)									
	7	水				[選]生体医工学(1)	同期型 (zoom)			[選]生体医工学(2)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(1)	同期型 (zoom)		
	8	木						生理検査学実習Ⅲ オリエンテーション	同期型 (zoom)		病原体検査学講義Ⅱ (1)	同期型 (zoom)		病原体検査学講義Ⅱ (2)	非同期型 (webclass)	
9	金	生理検査学実習Ⅲ(1)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(2)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	病原体検査学講義Ⅱ (3)	非同期型 (webclass)		病原体検査学講義Ⅱ (4)	非同期型 (webclass)		病原体検査学講義Ⅱ (5)	非同期型 (webclass)	

4/12	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	医用システム情報学講義Ⅱ(2)	同期型 (zoom)		血液検査学講義(4)	同期型 (zoom)		血液検査学実習(1)	同期型 (zoom)		血液検査学実習(2)	同期型 (zoom)		血液検査学実習(3)	同期型 (zoom)	
	13	火	分析化学検査学Ⅲ(1)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ(2)	同期型 (zoom)		移動時間 14:30～16:00抗体検査(保健管理センター) 抗体検査終了後、情報検索室へ		医用システム情報学実習Ⅱ(1)	登校(面接 授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(2)	登校(面接 授業)	情報検索室
	14	水	病原体検査学講義Ⅱ (6)	非同期型 (webclass)		血液検査学講義(5)	同期型 (zoom)		[選]生体医工学(3)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(2)	同期型 (zoom)			
	15	木	生理検査学実習Ⅲ(3)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(4)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	移動時間					病原体検査学講義Ⅱ (7)	同期型 (zoom)	
	16	金	生理検査学実習Ⅲ(5)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(6)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	病原体検査学講義Ⅱ (9)	非同期型 (webclass)		病原体検査学講義Ⅱ (10)	非同期型 (webclass)		病原体検査学講義Ⅱ (11)	非同期型 (webclass)

4/16(金)18時～(zoom)

[自]短期海外研修Cオリエンテーション(自由参加)

4/19	③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30		講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]心電図判読(1)	同期型 (zoom)		血液検査学講義(6)	同期型 (zoom)		血液検査学実習(4)	同期型 (zoom)		血液検査学実習(5)	同期型 (zoom)		血液検査学実習(6)	同期型 (zoom)	
	20	火				医用システム情報学講義Ⅱ(3)	同期型 (zoom)		移動時間		医用システム情報学実習Ⅱ(3)	登校(面接 授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(4)	登校(面接 授業)	情報検索室
	21	水	病原体検査学講義Ⅱ (12)	非同期型 (webclass)		血液検査学講義(7)	同期型 (zoom)		[選]生体医工学(4)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(3)	同期型 (zoom)		[選]遺伝学(1)	同期型 (zoom)
	22	木	生理検査学実習Ⅲ(7)	非同期型 (webclass)		生理検査学実習Ⅲ(8)	非同期型 (webclass)		病原体検査学講義Ⅱ (13)	非同期型 (webclass)		病原体検査学講義Ⅱ (14)	非同期型 (webclass)		病原体検査学講義Ⅱ (15)	同期型 (zoom)
23	金	病原体検査学講義Ⅱ (16)	非同期型 (webclass)		血液検査学講義(8)	同期型 (zoom)		病原体検査学講義Ⅱ (17)	同期型 (zoom)		病原体検査学講義Ⅱ (18)	同期型 (zoom)		病原体検査学講義Ⅱ (19)	非同期型 (webclass)	

4/26	④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]心電図判読(2)	同期型 (zoom)		血液検査学講義(9)	同期型 (zoom)		血液検査学実習(7)	同期型 (zoom)		血液検査学実習(8)	同期型 (zoom)		血液検査学実習(9)	同期型 (zoom)	
	27	火	病原体検査学講義Ⅱ (20)	非同期型 (webclass)		医用システム情報学講義Ⅱ(4)	同期型 (zoom)		移動時間		医用システム情報学実習Ⅱ(5)	登校(面接 授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(6)	登校(面接 授業)	情報検索室
	28	水	分析化学検査学Ⅲ(3)	非同期型 (webclass)		分析化学検査学Ⅲ(4)	非同期型 (webclass)		分析化学検査学Ⅲ(5)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ(6)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ(7)	同期型 (zoom)
29	木	昭和の日														
30	金	生理検査学実習Ⅲ(9)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(10)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	分析化学検査学Ⅲ(8)	非同期型 (webclass)		分析化学検査学Ⅲ(9)	非同期型 (webclass)		分析化学検査学Ⅲ(10)	非同期型 (webclass)	

5/3	⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	憲法記念日														
	4	火	みどりの日													
	5	水	こどもの日													
	6	木	生理検査学実習Ⅲ(11)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(12)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	移動時間					病原体検査学講義Ⅱ (21)	同期型 (zoom)	
7	金	病原体検査学講義Ⅱ (23)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ(11)	同期型 (zoom)		病原体検査学実習Ⅱ (1) (14:00～15:30)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	病原体検査学実習Ⅱ (2) (15:40～17:10)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	病原体検査学実習Ⅱ (3) (17:20～18:50)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1
								病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:14:00～16:00に3号館 検査学実習室1、Bグループ:16:00～18:00に3号館 検査学実習室1)								

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第3学年)

⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態		14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/10 月	[選]心電図判読(3)	同期型(zoom)		血液検査学講義(10)	非同期型(webclass)		血液検査学実習(10)	登校(面接授業)	3号館 検査学実習室1	血液検査学実習(11)	登校(面接授業)	3号館 検査学実習室1	血液検査学実習(12)	登校(面接授業)	3号館 検査学実習室1
11 火				医用システム情報学講義Ⅱ(5)	同期型(zoom)		移動時間			医用システム情報学実習Ⅱ(7)	登校(面接授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(8)	登校(面接授業)	情報検索室
12 水				[選]生体医工学(5)	同期型(zoom)		[選]生体医工学(6)	同期型(zoom)		Global Communication(Ⅱ)(4)	同期型(zoom)				
13 木	生理検査学実習Ⅲ(13)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(14)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	病原体検査学実習Ⅱ(4)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(5)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(6)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
	病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:3号館 検査学実習室1、Bグループ:非同期型(webclass))														
14 金	[選]分子生物学(1)	同期型(zoom)		血液検査学講義(11)	同期型(zoom)		病原体検査学実習Ⅱ(7) (14:00～15:30)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(8) (15:40～17:10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(9) (17:20～18:50)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
	病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:3号館 検査学実習室1、Bグループ:非同期型(webclass))														

⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/17 月	[選]心電図判読(4)	同期型(zoom)		医用システム情報学講義Ⅱ(6)	同期型(zoom)		血液検査学実習(13)	同期型(zoom)		血液検査学実習(14)	同期型(zoom)		血液検査学実習(15)	同期型(zoom)	
18 火	生理検査学講義Ⅲ(1)	同期型(ZOOM),非同期型(webclass)					移動時間			医用システム情報学実習Ⅱ(9)	登校(面接授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(10)	登校(面接授業)	情報検索室
19 水	分析化学検査学Ⅲ(12)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅲ(13)	同期型(zoom)		[選]生体医工学(7)	同期型(zoom)		Global Communication(Ⅱ)(5)	同期型(zoom)		[選]遺伝学(2)	同期型(zoom)	
20 木	分析化学検査学Ⅲ(14)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅲ(15)	同期型(zoom)		病原体検査学実習Ⅱ(10) (14:00～15:30)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(11) (15:40～17:10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(12) (17:20～18:50)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
	病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:非同期型(webclass)、Bグループ:3号館 検査学実習室1)														
21 金	[選]分子生物学(2)	同期型(zoom)		移動時間			病原体検査学実習Ⅱ(13)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(14)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(15)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
	病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:非同期型(webclass)、Bグループ:3号館 検査学実習室1)														

⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/24 月	[選]心電図判読(5)	同期型(zoom)		血液検査学講義(13)	同期型(zoom)		血液検査学実習(16)	同期型(zoom)		血液検査学実習(17)	同期型(zoom)		血液検査学実習(18)	同期型(zoom)	
25 火	生理検査学講義Ⅲ(2)	同期型(ZOOM),非同期型(webclass)		医用システム情報学講義Ⅱ(7)	同期型(zoom)		移動時間			医用システム情報学実習Ⅱ(11)	登校(面接授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(12)	登校(面接授業)	情報検索室
26 水				血液検査学講義(12)	同期型(zoom)		[選]生体医工学(8)	同期型(zoom)		Global Communication(Ⅱ)(6)	同期型(zoom)				
27 木	生理検査学実習Ⅲ(15)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(16)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	病原体検査学実習Ⅱ(16)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(17)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(18)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
	病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:3号館 検査学実習室1、Bグループ:非同期型(webclass))														
28 金	[選]分子生物学(3)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅲ(16)	非同期型(webclass)		病原体検査学実習Ⅱ(19)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(20)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(21)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
	病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:3号館 検査学実習室1、Bグループ:非同期型(webclass))														

⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/31 月	[選]心電図判読(6)	同期型(zoom)					血液検査学実習(19)	登校(面接授業)	3号館 検査学実習室1	血液検査学実習(20)	登校(面接授業)	3号館 検査学実習室1	血液検査学実習(21)	登校(面接授業)	3号館 検査学実習室1
6/1 火	[選]心電図判読(7)	同期型(zoom)		医用システム情報学講義Ⅱ(8)	同期型(zoom)		移動時間			医用システム情報学実習Ⅱ(13)	登校(面接授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(14)	登校(面接授業)	情報検索室
2 水	生理検査学実習Ⅲ(17)	同期型(zoom)		生理検査学実習Ⅲ(18)	同期型(zoom)					Global Communication(Ⅱ)(7)	同期型(zoom)		[選]生体医工学(9)	同期型(zoom)	
3 木	生理検査学講義Ⅲ(3)	同期型(ZOOM),非同期型(webclass)		生理検査学講義Ⅲ(4)	同期型(ZOOM),非同期型(webclass)		病原体検査学実習Ⅱ(22) (14:00～15:30)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(23) (15:40～17:10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(24) (17:20～18:50)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
	病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:非同期型(webclass)、Bグループ:3号館 検査学実習室1)														
4 金	[選]分子生物学(4)	同期型(zoom)		血液検査学講義(14)	同期型(zoom)		病原体検査学実習Ⅱ(25) (14:00～15:30)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(26) (15:40～17:10)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1	病原体検査学実習Ⅱ(27) (17:20～18:50)	登校(面接授業) / 非同期型(webclass)	3号館 検査学実習室1
	病原体検査学実習Ⅱ(Aグループ:非同期型(webclass)、Bグループ:3号館 検査学実習室1)														

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第3学年)

6/7	⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]遺伝学(3)	同期型 (zoom)		移動時間			血液検査学実習(22)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	血液検査学実習(23)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	血液検査学実習(24)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1
8	火	生理検査学実習Ⅲ(19)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(20)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	血液検査学実習(25)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	血液検査学実習(26)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	血液検査学実習(27)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1
9	水	生理検査学実習Ⅲ(21)	同期型 (zoom)		生理検査学実習Ⅲ(22)	同期型 (zoom)					Global Communication(Ⅱ)(8)	同期型 (zoom)		[選]生体医工学(10)	同期型 (zoom)	
10	木	生理検査学講義Ⅲ(5)	同期型 (ZOOM),非同期 型 (webclass)		生理検査学講義Ⅲ(6)	同期型 (ZOOM),非同期 型 (webclass)		病原体検査学実習 Ⅱ (28)	同期型 (zoom)		病原体検査学実習 Ⅱ (29)	同期型 (zoom)		病原体検査学実習 Ⅱ (30)	同期型 (zoom)	
11	金	[選]分子生物学(5)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ(17)	同期型 (zoom)		病原体検査学実習 Ⅱ (31)	同期型 (zoom)		病原体検査学実習 Ⅱ (32)	同期型 (zoom)		病原体検査学実習 Ⅱ (33)	同期型 (zoom)	

6/14	⑪	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]心電図判読(8)	同期型 (zoom)		医用システム情報学実習Ⅱ(15)	同期型 (zoom)		血液検査学実習(28)	同期型 (zoom)		血液検査学実習(29)	同期型 (zoom)		血液検査学実習(30)	同期型 (zoom)	
15	火	生理検査学講義Ⅲ(7)	同期型 (ZOOM),非同期 型 (webclass)		医用システム情報学実習Ⅱ(16)	同期型 (zoom)		移動時間			医用システム情報学実習Ⅱ(17)	登校(面接 授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(18)	登校(面接 授業)	情報検索室
16	水	[選]遺伝学(4)	同期型 (zoom)		血液検査学講義(15)	同期型 (zoom)		[選]生体医工学(11)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(9)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(10)	同期型 (zoom)	
17	木	生理検査学講義Ⅲ(8)	同期型 (ZOOM),非同期 型 (webclass)		生理検査学講義Ⅲ(9)	同期型 (ZOOM),非同期 型 (webclass)		免疫検査学実習(1)	同期型 (zoom)		免疫検査学実習(2)	同期型 (zoom)		免疫検査学実習(3)	同期型 (zoom)	
18	金	[選]分子生物学(6)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ(18)	同期型 (zoom)		免疫検査学実習(4)	同期型 (zoom)		免疫検査学実習(5)	同期型 (zoom)		免疫検査学実習(6)	同期型 (zoom)	

6/21	⑫	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月							[選]遺伝学(5)	非同期型 (webclass)		[選]遺伝学(6)	同期型 (zoom)				
22	火	生理検査学実習Ⅲ(23)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(24)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	医用システム情報学実習Ⅱ(19)	登校(面接 授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(20)	登校(面接 授業)	情報検索室			
23	水	医用システム情報学実習Ⅱ(21)	同期型 (zoom)		[選]生体医工学(12)	同期型 (zoom)		[選]生体医工学(13)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(11)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(12)	同期型 (zoom)	
24	木	生理検査学講義Ⅲ(10)	同期型 (ZOOM),非同期 型 (webclass)		生理検査学講義Ⅲ(11)	同期型 (ZOOM),非同期 型 (webclass)		免疫検査学実習(7)	同期型 (zoom)		免疫検査学実習(8)	同期型 (zoom)		免疫検査学実習(9)	同期型 (zoom)	
25	金	[選]分子生物学(7)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ(19)	同期型 (zoom)		免疫検査学実習(10)	同期型 (zoom)		免疫検査学実習(11)	同期型 (zoom)		免疫検査学実習(12)	同期型 (zoom)	

6/28	⑬	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月				[選]遺伝学(7)	同期型 (zoom)		[選]遺伝学(8)	同期型 (zoom)							
29	火	生理検査学実習Ⅲ(25)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(26)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	医用システム情報学実習Ⅱ(22)	登校(面接 授業)	情報検索室	医用システム情報学実習Ⅱ(23)	登校(面接 授業)	情報検索室			
30	水				[選]生体医工学(14)	同期型 (zoom)		[選]生体医工学(15)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(13)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(14)	同期型 (zoom)	
7/1	木	生理検査学講義Ⅲ(12)	同期型 (ZOOM),非同期 型 (webclass)		生理検査学講義Ⅲ(13)	同期型 (ZOOM),非同期 型 (webclass)		免疫検査学実習(13) (14:00～15:30)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	免疫検査学実習(14) (15:40～17:10)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	免疫検査学実習(15) (17:20～18:50)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1
2	金	[選]分子生物学(8)	同期型 (zoom)		免疫検査学実習(16)	非同期型 (webclass)		免疫検査学実習(17)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	免疫検査学実習(18)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	免疫検査学実習(19)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1

7/5	⑭	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	分析化学検査学Ⅲ(20)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ(21)	同期型 (zoom)		遺伝子検査学実習(1)	同期型 (zoom)		遺伝子検査学実習(2)	同期型 (zoom)		遺伝子検査学実習(3)	同期型 (zoom)	
6	火	生理検査学実習Ⅲ(27)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(28)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	遺伝子検査学実習(4)	登校(面接 授業)	8F実習室	遺伝子検査学実習(5)	登校(面接 授業)	8F実習室	遺伝子検査学実習(6)	登校(面接 授業)	8F実習室
7	水	免疫検査学実習(20)	非同期型 (webclass)		移動時間			分析化学検査学Ⅲ(22)	登校(面接 授業)		分析化学検査学Ⅲ(23)	登校(面接 授業)		分析化学検査学Ⅲ(24)	登校(面接 授業)	
8	木	免疫検査学実習(21)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	免疫検査学実習(22)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	免疫検査学実習(23)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	免疫検査学実習(24)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	免疫検査学実習(25)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1
9	金	免疫検査学実習(26)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	免疫検査学実習(27)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	免疫検査学実習(28)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	免疫検査学実習(29)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1	免疫検査学実習(30)	登校(面接 授業)	3号館 検査学実習 室1

7/12	⑮	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	分析化学検査学Ⅲ(25)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ(26)	同期型 (zoom)		遺伝子検査学実習 (7) (14:00～15:30)	登校(面接 授業)	8F実習室	遺伝子検査学実習 (8) (15:40～17:10)	登校(面接 授業)	8F実習室	遺伝子検査学実習 (9) (17:20～18:50)	登校(面接 授業)	8F実習室
13	火	生理検査学実習Ⅲ(29)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ(30)	登校(面接 授業)	8F実習 室3 講義室3	遺伝子検査学実習(10)	登校(面接 授業)	8F実習室	遺伝子検査学実習(11)	登校(面接 授業)	8F実習室	遺伝子検査学実習(12)	登校(面接 授業)	8F実習室
14	水	生理検査学講義Ⅲ(14)	同期型 (ZOOM),非同期 型 (webclass)		生理検査学講義Ⅲ(15)	同期型 (ZOOM),非同期 型 (webclass)		分析化学検査学Ⅲ (27) 3限14:00～	登校(面接 授業)		分析化学検査学Ⅲ (28) 4限15:40～	登校(面接 授業)		分析化学検査学Ⅲ (29) 5限17:20～	登校(面接 授業)	
15	木	分析化学検査学Ⅲ(30)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ(31)	同期型 (zoom)		分析化学検査学Ⅲ (32) 3限14:00～	登校(面接 授業)		分析化学検査学Ⅲ (33) 4限15:40～	登校(面接 授業)		分析化学検査学Ⅲ (34) 5限17:20～	登校(面接 授業)	
16	金	分析化学検査学Ⅲ(35)	非同期型 (webclass)		分析化学検査学Ⅲ(36)	非同期型 (webclass)		分析化学検査学Ⅲ (37) 3限14:00～	登校(面接 授業)		分析化学検査学Ⅲ (38) 4限15:40～	登校(面接 授業)		分析化学検査学Ⅲ (39) 5限17:20～	登校(面接 授業)	

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第3学年)

7/	19	⑮	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月					移動時間			分析化学検査学Ⅲ (40)	登校(面接授業)		分析化学検査学Ⅲ (41)	登校(面接授業)		分析化学検査学Ⅲ (42)	登校(面接授業)	
	20	火	生理検査学実習Ⅲ (31)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	生理検査学実習Ⅲ (32)	登校(面接授業)	8F実習室3 講義室3	遺伝子検査学実習 (13)	登校(面接授業)	8F実習室	遺伝子検査学実習 (14)	登校(面接授業)	8F実習室	遺伝子検査学実習 (15)	登校(面接授業)	8F実習室
	21	水	分析化学検査学Ⅲ (43)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅲ (44)	同期型(zoom)		移動時間			Global Communication(Ⅱ)(15) TOEFL/ITP	登校(面接授業)	2	Global Communication(Ⅱ)(16) TOEFL/ITP	登校(面接授業)	2
	22	木	海の日														
23	金		スポーツの日														

7/	26	⑯	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月					移動時間			分析化学検査学Ⅲ (45)	登校(面接授業)		分析化学検査学Ⅲ (46)	登校(面接授業)		分析化学検査学Ⅲ (47)	登校(面接授業)	
	27	火				移動時間			分析化学検査学Ⅲ (48)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅲ (49)	同期型(zoom)		分析化学検査学Ⅲ (50)	同期型(zoom)	
	28	水	オープンキャンパス準備														
	29	木	オープンキャンパス予定														
30	金																

	⑮	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
8/2	月	前期定期試験														
3	火	前期定期試験														
4	水	前期定期試験														
5	木	前期定期試験														
6	金	前期定期試験														
夏季休業 8/10(火)～																

8/	9	⑱	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00		講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	振替休日															
	10	火															
	11	水															
	12	木															
13	金																

8/	16	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	17	火															
	18	水															
	19	木															
20	金																

8/	23	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	24	火															
	25	水															
	26	木															
27	金																

(後期)																	
9/	6	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月																
	7	火															
	8	水															
	9	木	前期定期試験(再試)														
10	金		前期定期試験(再試)														

	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
9/13	月	前期定期試験(再試)															
14	火	前期定期試験(再試)															
15	水	前期定期試験(再試)												臨地実習説明会		登校(面接授業)	2
16	木	国家模試(合同)														登校(面接授業)	1,2
17	金							接遇研修	同期型 (zoom)		接遇研修	同期型 (zoom)					

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第3学年)

	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/20	月	敬老の日														
21	火															
22	水													卒業研究Ⅰ説明会	未定	
23	木	秋分の日														
24	金							Global Communication(Ⅱ)(17)	同期型 (zoom)							
	③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/27	月	[選]アドバンスド生理機能検査学(1)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(1)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(1)	非同期型 (webclass)		臨床病態学Ⅱ(2)	非同期型 (webclass)				
28	火	隣地実習①														
29	水															
30	木															
10/1	金	[選]電子顕微鏡学(1)	同期型 (zoom)		[選]電子顕微鏡学(2)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(18)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(19)	同期型 (zoom)				
	④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/4	月	[選]アドバンスド生理機能検査学(2)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(2)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(3)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(4)	非同期型 (webclass)				
5	火	隣地実習②														
6	水															
7	木															
8	金	[選]電子顕微鏡学(3)	同期型 (zoom)		[選]電子顕微鏡学(4)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(20)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(21)	同期型 (zoom)				
	⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/11	月															
12	火	創立記念行事														
13	水	隣地実習③												海外研修報告会		
14	木															
15	金															
	⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/18	月	[選]アドバンスド生理機能検査学(3)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(3)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(5)	非同期型 (webclass)		医学情報処理演習Ⅱ(1)	zoom 又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅱ(2)	zoom 又は登校	情報検索室
19	火	隣地実習④														
20	水															
21	木															
22	金	[選]電子顕微鏡学(5)	同期型 (zoom)		[選]電子顕微鏡学(6)	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ)(22)	同期型 (zoom)							
	⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/25	月	[選]アドバンスド生理機能検査学(4)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(4)	非同期型 (webclass)		臨床病態学Ⅱ(6)	非同期型 (webclass)		医学情報処理演習Ⅱ(3)	zoom 又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅱ(4)	zoom 又は登校	情報検索室
26	火	隣地実習⑤														
27	水															
28	木															
29	金	[選]電子顕微鏡学(7)	同期型 (zoom)		[選]電子顕微鏡学(8)	同期型 (zoom)	3	Global Communication(Ⅱ)(23)	同期型 (zoom)	2						

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第3学年)

11/1	⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]アドバンスド生理機能検査学(5)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(5)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(7)	非同期型 (webclass)							
	2	火 隣地実習⑥														
	3	水 文化の日														
	4	木 隣地実習⑥														
5	金															

11/8	⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月				臨床病態学Ⅱ(8)	非同期型 (webclass)		臨床病態学Ⅱ(9)	非同期型 (webclass)							
	9	火 隣地実習⑦														
	10	水 隣地実習⑦														
	11	木 隣地実習⑦														
12	金	医学情報処理演習Ⅱ(5)	zoom 又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅱ(6)	zoom 又は登校	情報検索室	Global Communication(Ⅱ) (24) ※14:00～ 15:30	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ) (25) ※15:40～ 17:10	同期型 (zoom)				

11/15	⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	臨床病態学Ⅱ(10)	非同期型 (webclass)		臨床病態学Ⅱ(11)	非同期型 (webclass)		進路指導ガイダンス	同期型 (zoom)		進路指導ガイダンス	同期型 (zoom)		進路指導ガイダンス	同期型 (zoom)	
	16	火 隣地実習⑧														
	17	水 隣地実習⑧														
	18	木 隣地実習⑧														
19	金	医学情報処理演習Ⅱ(7)	zoom 又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅱ(8)	zoom 又は登校	情報検索室	Global Communication(Ⅱ) (26) ※14:00～ 15:30	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ) (27) ※15:40～ 17:10	同期型 (zoom)				

11/22	⑪	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	隣地実習⑨														
	23	火 勤労感謝の日														
	24	水 隣地実習⑨														
	25	木 隣地実習⑨														
26	金	医学情報処理演習Ⅱ(9)	zoom 又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅱ(10)	zoom 又は登校	情報検索室	Global Communication(Ⅱ) (28) ※14:00～ 15:30	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅰ					

11/29	⑫	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	卒業研究Ⅰ				各研究室		臨床病態学Ⅱ(12)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅰ			各研究室		
		[選]アドバンスド生理機能検査学(6)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(6)	同期型 (zoom)										
30	火	隣地実習⑩														
12/1	水															
2	木															
3	金	医学情報処理演習Ⅱ(11)	zoom 又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅱ(12)	zoom 又は登校	情報検索室	Global Communication(Ⅱ) (29) ※14:00～ 15:30	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅰ	各研究室	[選]Learning Medical English(1)	同期型 (zoom)		

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第3学年)

		⑬	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/6	月	卒業研究Ⅰ					各研究室	臨床病態学Ⅱ(13)		非同期型 (webclass)		卒業研究Ⅰ				各研究室	
	7	卒業研究Ⅰ					各研究室										
8	水	卒業研究Ⅰ								各研究室	卒業研究Ⅰ				各研究室		
											[選]English for Health Care Sciences Ⅱ(1)	同期型 (zoom)		[選]English for Health Care Sciences Ⅱ(2)	同期型 (zoom)		
9	木	卒業研究Ⅰ														各研究室	
10	金	医学情報処理演習Ⅱ(13)	zoom 又は登校	情報検索室	医学情報処理演習Ⅱ(14)	zoom 又は登校	情報検索室	Global Communication(Ⅱ) (30) ※14:00～ 15:30	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅰ						

12/13	⑭	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
	月	[選]アドバンスド生理機能検査学(7)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(7)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(14)	非同期型 (webclass)		[選]English for Health Care Sciences Ⅱ(3)	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅰ	各研究室			
	卒業研究Ⅰ				各研究室		卒業研究Ⅰ				各研究室							
	卒業研究Ⅰ																	
	14	火	卒業研究Ⅰ															
	15	水	卒業研究Ⅰ							各研究室	卒業研究Ⅰ							
[選]English for Health Care Sciences Ⅱ(4)			同期型 (zoom)		[選]Learning Medical English(2)	同期型 (zoom)												
16	木	卒業研究Ⅰ														各研究室		
17	金	卒業研究Ⅰ	各研究室	医学情報処理演習Ⅱ(15)	zoom 又は登校	情報検索室	Global Communication(Ⅱ) (31) ※14:00～ 15:30	同期型 (zoom)		Global Communication(Ⅱ) (32) ※15:40～17:10	同期型 (zoom)		卒業研究Ⅰ					

12/20	⑮	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室						
		[選]アドバンスド生理機能検査学(8)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(8)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(15)	非同期型 (webclass)	各研究室	[選]Learning Medical English(3)	同期型 (zoom)		[選]Learning Medical English(4)	同期型 (zoom)							
		卒業研究Ⅰ									卒業研究Ⅰ							各研究室				
	21	卒業研究Ⅰ														各研究室						
	22	水	卒業研究Ⅰ								各研究室	卒業研究Ⅰ										
												[選]Learning Medical English(5)	同期型 (zoom)		[選]Learning Medical English(6)			同期型 (zoom)				
	23	木	卒業研究Ⅰ														各研究室					
24	金	卒業研究Ⅰ									各研究室		[選]English for Health Care SciencesⅡ(5)	同期型 (zoom)		[選]English for Health Care SciencesⅡ(6)	同期型 (zoom)					

冬季休業 12/27(月)～

	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/3	月															
4	火	卒業研究Ⅰ													各研究室	
5	水	卒業研究Ⅰ							各研究室	卒業研究Ⅰ						
										[選] Learning Medical English(7)	同期型 (zoom)		[選] Learning Medical English(8)	同期型 (zoom)		
6	木	卒業研究Ⅰ													各研究室	
7	金															

	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
1/10	月																
	11	火	卒業研究Ⅰ													各研究室	
	12	水	卒業研究Ⅰ						各研究室	卒業研究Ⅰ							
										[選]English for Health Care SciencesⅡ(7)	同期型(zoom)		[選]English for Health Care SciencesⅡ(8)	同期型(zoom)			
	13	木	卒業研究Ⅰ													各研究室	
14	金																

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第3学年)

	①															
1/17	月	後期定期試験														
18	火	後期定期試験														
19	水	後期定期試験														
20	木	後期定期試験														
21	金	後期定期試験														
	②															
1/24	月	補講・再試														
25	火	補講・再試														
26	水	補講・再試														
27	木	補講・再試														
28	金	補講・再試														
春季休業 1/31(月)～																
		8:50～10:20		講義室	10:30～12:00		講義室	13:00～14:30		講義室	14:40～16:10		講義室	16:20～17:50		講義室
1/31	月															
2/1	火															
2	水															
3	木															
4	金															

時間割番号	013043					
科目名	血液検査学講義			科目ID	MT-330300-L	
担当教員	西尾 美和子[NISHIO Miwako]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Clinical Laboratory Hematology, Lecture						
【科目責任者】西尾 美和子						
授業の目的、概要等						
血液成分の産生機構・形態・機能についての基本事項を習得し、各種血液疾患における血液検査学の意義を習得する。						
授業の到達目標						
血液検査学は、従来形態学を母地として発展してきたが、今日では、生化学、細胞生物学、細胞遺伝学、分子生物学などが広く取り入れられている。このような多角度からの知識や技術を十分に理解し、かつ応用できることを目標とする。						
各授業題目の到達目標は、時間割にある各授業題目の授業内容に記述してある内容を説明できること、とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/5	14:40-17:50	遠隔授業 (同期型)	採血	採血行為の範囲・採血の種類 採血に際しての注意事項 採血の部位と手段、乳幼児の採血	西尾 美和子
3	4/6	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	血液の基礎	血液の成分、血球の形態と機能、血球の産生と崩壊	西尾 美和子
4	4/12	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	白血球の産生、白血球異常	白血球の産生、白血球異常	東田 修二
5	4/14	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	白血病	急性白血病・慢性白血病の病態	東田 修二
6	4/19	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫	骨髄異形成症候群・多発性骨髄腫・悪性リンパ腫の病態	東田 修二
7	4/21	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	血小板、血液凝固	血小板の機能、血液凝固制御機構	伊藤 真以
8	4/23	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	線溶、出血性疾患	血液凝固制御機構、線溶制御機構、出血性疾患	伊藤 真以
9	4/26	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	血栓性疾患、播種性血管内凝固症候群(DIC)	血栓性疾患、播種性血管内凝固症候群(DIC)	伊藤 真以
10	5/10	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	貧血	貧血症の分類、鉄欠乏性貧血・再生不良性貧血・溶血性貧血・巨赤芽球性貧血の病態	西尾 美和子
11	5/14	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	血液検査学(1)	血球に関する検査	西尾 美和子
12	5/24	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	血液検査学(2)	形態に関する検査	西尾 美和子
13	5/26	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	血液検査学(3)	血小板に関する検査、凝固・線溶検査	西尾 美和子
14	6/4	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	ウイルスと血液疾患	EB ウイルスなどウイルスが関わる血液疾患の病態	今留 謙一、 西尾 美和子
15	6/16	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	総括		西尾 美和子
授業方法						
・同期授業						
スライドを用いた講義を zoom によって行う。						
またアクティブラーニングの一環として、提示した症例や課題についてグループで討論する。						

質問は適宜チャットで受けるが、授業後に zoom 上で対応する時間を設ける。
授業内容 総論において、各血液成分の内容と、機能について概説する。また、血球の産生部位、産生機構などについて説明する。 各論においては、血球成分については、赤血球・白血球・血小板のそれぞれについて、形態学、機能を習得する。また、止血・凝固線溶系については、その機能について習得する。 代表的な血液疾患について、その病態生理を理解するとともに、診断・治療・経過における血液検査学の意義を習得する。造血幹細胞移植の基礎についても理解する。 ○血液細胞の起源・分化、赤血球の生成と異常について理解する。 ○白血球: その生成と異常について理解する。 ○血栓・止血: 止血の機序と異常について理解する。
成績評価の方法 血液検査学講義の評価は、筆記試験によって行う。 記述式問題と多肢選択式問題から構成される。
成績評価の基準 筆記試験の結果による。 授業態度(アクティブラーニングの参加)を評価に加えることもある。 期末試験に英語問題も出題するので、教科書に英語も併記してある基本的用語は記述出来るようにしておく。
準備学習等についての具体的な指示 教科書の講義予定内容の箇所を読んでおくとい。講義と復習で内容の理解が深まる。
試験の受験資格 2/3 以上の出席が定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。
教科書 血液検査学／奈良信雄、小山高敏 ほか著: 医歯薬出版, 2017-02 アンダーソン血液学アトラス／小山高敏: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2014-11
参考書 臨床医学総論: 臨床医学総論 放射性同位元素検査技術学: 医用工学概論 情報科学・医療情報学 公衆衛生学／小山高敏、戸塚実 編集: 医学書院, 2013
他科目との関連 血液検査学は講義だけで習得されるものではなく、実習による習得がより重要である。また、臨床化学・病理検査学・免疫検査学との関連も深い。
履修上の注意事項 講義では、血球の形態・造血幹細胞の動態などはよりよく理解できるようスライドを多く供覧する。その他教科書等では得られない知識や応用のきく理解を習得できるよう講義を行うので、必ず遅刻せずに出席してほしい。
連絡先(メールアドレス) 西尾 美和子:mnishio.lmg@tmd.ac.jp

時間割番号	013044						
科目名	血液検査学実習				科目ID	MT-350500-E	
担当教員	西尾 美和子[NISHIO Miwako]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Clinical Laboratory Hematology, Laboratory							
【科目責任者】西尾 美和子							
主な講義場所							
ZOOM または 保健衛生学実習室 1 及び 2(3 号館 8 階)							
授業の目的、概要等							
血液成分の産生機構・形態・機能についての基本事項を習得し、各種血液疾患における血液検査学の意義を習得する。							
授業の到達目標							
血液検査学実習では、血液検査学総論・各論で学習したことをふまえて、血液検査の基本とともに、日進月歩の新しい知識や技術に対応できる応用力・理解力が習得されることを目標とする。							
各実習題目の到達目標は、時間割にある各実習題目の授業内容に記述してある検査を正しく測定できること、とする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/12	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	採血法 血沈、 白血球数 網赤 血球数	採血行為の範囲・種類と注意、採血部位と手技、乳幼児の採血、血液検体の扱い方、血漿・血清の分離法を習得し、よく使われる器具と抗凝固剤について学ぶ。 赤血球沈降速度・赤血球浸透圧抵抗試験・白血球数・網赤血球数測定法について学ぶ。	西尾 美和子	
4-6	4/19	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	血小板の関係する検査	血小板数 出血時間、毛細血管抵抗試験 血小板凝集能の検査法を習得する。	西尾 美和子	
7-9	4/26	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	凝固関係の検査	活性化部分トロンボプラスチン時間・プロトロンビン時間・フィブリノゲン値測定法を習得する。	西尾 美和子	
10-12	5/10	13:00-17:50	検査学実習室 1	赤血球に関する検査	赤血球数・ヘマトクリット値・ヘモグロビン濃度測定法、赤血球指数算定法、赤血球の大きさの測定について学ぶ。	西尾 美和子	対面授業
13-15	5/17	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	末梢血塗抹標本の見方(1)	正常人末梢血塗抹標本を観察し、血球像の観察法を身につける。	西尾 美和子	
16-18	5/24	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	骨髓血の見方(1)	骨髓穿刺液標本の作成法を学び、正常骨髓像を観察し、骨髓像の観察法を習得する。	西尾 美和子	
19-21	5/31	13:00-17:50	検査学実習室 1	血液塗抹標本作製と染色	末梢血塗抹標本の作製法と普通染色(ライト、ギムザ染色)法・特殊染色法を習得する。	西尾 美和子	対面授業
22-24	6/7	13:00-17:50	検査学実習室 1	末梢血塗抹標本の見方(2)	各種患者末梢血塗抹標本の観察を行い、病的血球像の判別を学ぶ。	西尾 美和子	対面授業
25-27	6/8	13:00-17:50	検査学実習室 1	骨髓像の見方(2)	各種患者骨髓液塗抹標本の観察を行い、病的骨髓像の判別を学ぶ。	西尾 美和子	対面授業
28-30	6/14	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	自動化された血液検査	自動血球計数器 白血球分類装置などについて原理と測定の実際を習得する。	西尾 美和子	
授業方法							
・遠隔授業(同期型)							
スライドを用いた講義・実習を zoom によって行う。							
またアクティブラーニングの一環として、提示した症例や課題についてグループで討論する。							
質問は適宜チャットで受けるが、授業後に zoom 上で対応する時間を設ける。							

・対面実習 実習はクラスを2つに分けて5/10, 5/31, 6/7, 6/8に実施する。レポート・スケッチの提出を持って参加したものとみなす。
授業内容 授業スケジュール参照
成績評価の方法 実習であるので、基本的には、実習項目毎にレポートやスケッチの提出を求め、これを重視するが、血液検査学講義の定期試験に実習内容を含めることがある。
成績評価の基準 血液検査学実習の評価は、レポートやスケッチなどの各提出物を評価する。
準備学習等についての具体的な指示 教科書の実習予定内容の箇所を読んでおくとい。血液検査学講義を十分に学習しておくことが求められる。
教科書 血液検査学／奈良信雄〔ほか〕著、奈良、信雄、小山、高敏、東、克巳、近藤、弘、三村、邦裕、小河原、はつ江、西岡、淳二、：医歯薬出版、2016 アンダーソン血液学アトラス／シャウナ C.アンダーソン ヤング、ケイラ B.ポールセン 著、小山高敏 訳、：メディカル・サイエンス・インターナショナル、2014 血液検査学講義と同じ、血液検査学(医歯薬出版)を用いる。
他科目との関連 血液検査学講義参照。
連絡先(メールアドレス) 西尾 美和子 mnishio.lmg@tmd.ac.jp

時間割番号	013089					
科目名	分析化学検査学Ⅲ			科目ID	MT-352400-Z	
担当教員	大川 龍之介, 亀田 貴寛[OKAWA RYUNOSUKE, KAMEDA Takahiro]					
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3	単位数	4	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Analytical Chemistry, Lecture Ⅲ						
【科目責任者】大川 龍之介						
主な講義場所						
別途シラバスに記載						
授業の目的、概要等						
臨床化学検査, 放射性同位元素技術学について学習する。臨床化学検査においては, 患者から採取した主に血液に含まれる各種の成分を生化学的に定量する方法を習得するとともに, 得られた客観的な検査情報(検査値)が患者の診療に果たす役割について学習する。放射性同位元素技術では, 原子の構造と放射能, 放射線と物質との相互作用, アルファ線, ベータ線, ガンマ線などの性質, 放射能, 放射線の単位, 放射性同位元素の製造, 分離と精製及び安全管理について理解する。						
授業の到達目標						
・非蛋白性窒素測定の方法と臨床的意義を説明できる ・リポ蛋白の種類別に、その構造、代謝について説明できる ・アポリポ蛋白の種類とそれぞれの機能について説明できる ・血清脂質の測定法と臨床的意義について説明できる ・電解質の測定法と臨床的意義を説明できる ・微量元素の測定法と臨床的意義を説明できる ・下垂体ホルモン、甲状腺ホルモン、副腎皮質ホルモンの分泌調節と疾患との関わりを説明できる ・カルシウム調節ホルモン、性腺ホルモン、睪ホルモン、等の分泌調節と疾患との関わりを説明できる ・ICG、クレアチニンクリアランス検査の概要を説明できる ・病院検査部の臨床化学検査の実際について、その概要を説明できる ・病院検査部の標準化について、その概要を説明できる ・臨床化学データを用いた基礎的な病態解析ができる ・放射性同位元素のエネルギー単位について説明できる ・放射性同位元素のα、β崩壊について説明できる ・放射性同位元素の原子構造について説明できる ・放射性同位元素のα、β線の性質について説明できる ・放射性同位元素のγ線、X線と物質の相互作用について説明できる ・X線の発生方法と線量の単位について説明できる ・放射性同位元素の安全取扱法と管理法について説明できる ・放射線の測定方法について説明できる ・放射性医薬品を用いた in vivo 検査の概要が説明できる						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1	4/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	脂質①(種類と機能)	大川 龍之介	
2	4/13	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	脂質②(種類と機能)	大川 龍之介	
3-4	4/28	08:50-12:00	遠隔授業(非同期型)	(実習)脂質①ゲルろ過法によるリポタンパクの分離, コレステロール(酵素法, 界面活性剤の影響)	大川 龍之介, 亀田 貴寛	実習、提示資料を基に課題テストを解く
5-7	4/28	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	(実習)脂質②各分画の脂質測定, リポタンパク電気泳動	大川 龍之介, 亀田 貴寛	実習、グループワーク
8-10	4/30	13:00-17:50	遠隔授業(非同期型)	(実習)脂質③SDS-PAGE, WB による apoE	大川 龍之介, 亀田 貴寛	実習、提示資料を基

			同期型)	フェノタイプ判定(前半)		に課題テストを解く
11	5/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	(実習)脂質③SDS-PAGE, WB による apoE フェノタイプ判定(後半)	大川 龍之介, 亀田 貴寛	実習、グループワーク
12-13	5/19	08:50-12:00	遠隔授業(同期型)	(実習)脂質③SDS-PAGE, WB による apoE フェノタイプ判定(後半)	大川 龍之介, 亀田 貴寛	実習、グループワーク
14	5/20	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	脂質③(脂質の検査と病態)	大川 龍之介	
15	5/20	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	脂質④(脂質の検査と病態)	大川 龍之介	
16	5/28	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	非蛋白性窒素①(アンモニア, 尿素窒素, クレアチニン, 尿酸, ビリルビン)非同期型	大川 龍之介	
17	6/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	放射性同位元素検査技術学①(放射線、放射性同位元素の物理学)	大川 龍之介, 原 正幸, 亀田 貴寛	
18	6/18	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	放射性同位元素検査技術学②(放射線、放射性同位元素の物理学II)	大川 龍之介, 原 正幸, 亀田 貴寛	
19	6/25	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	放射性同位元素検査技術学③(放射性同位元素の化学、放射線生物学)	大川 龍之介, 原 正幸, 亀田 貴寛	
20	7/5	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	放射性同位元素検査技術学④(自然放射線、放射線の人体に及ぼす影響)	大川 龍之介, 原 正幸, 亀田 貴寛	
21	7/5	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	放射性同位元素検査技術学⑤(放射線、放射性同位元素取扱のための関係法令)	大川 龍之介, 原 正幸, 亀田 貴寛	
22-24	7/7	13:00-17:50	検査学実習室1	(実習)放射線実習① A 班 /(実習)尿沈渣 B 班	大川 龍之介, 亀田 貴寛, 原 正幸, 田中 雅美	実地実習、2グループに分かれて行う
25	7/12	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	非蛋白性窒素②(アンモニア, 尿素窒素, クレアチニン, 尿酸, ビリルビン)同期型	大川 龍之介	アクティブラーニング
26	7/12	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	電解質と微量元素①(Na, K, Cl, カルシウム, 無機リン)	大川 龍之介	
27-29	7/14	14:00-18:50	検査学実習室1	(実習)放射線実習① B 班 /(実習)尿沈渣 A 班	大川 龍之介, 亀田 貴寛, 原 正幸, 田中 雅美	実地実習、2グループに分かれて行う
30	7/15	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	電解質と微量元素②(マグネシウム, 血清鉄, 血清銅, 亜鉛, 重炭酸イオン)	大川 龍之介	
31	7/15	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学のまとめ①(病院検査部における臨床化学検査の実際)	大川 龍之介, 川崎 健治, 亀田 貴寛	
32-34	7/15	14:00-18:50	検査学実習室1	(実習)蛋白質・血清タンパク電気泳動, 免疫固定法(前半)	大川 龍之介, 亀田 貴寛	実地実習、2グループに分かれて行う
35	7/16	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	ホルモン 非同期	大川 龍之介	
36	7/16	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	機能検査(経口ブドウ糖負荷試験, ICG, クレアチニンクリアランス), RCPC 非同期	大川 龍之介	
37-39	7/16	14:00-18:50	検査学実習室1	(実習)蛋白質・血清タンパク電気泳動, 免疫固定法(後半)	大川 龍之介, 亀田 貴寛	実地実習、2グループに分かれて行う
40-42	7/19	13:00-17:50	検査学実習室1	(実習)放射線実習② A 班 /(実習)カルシウム測定(OCPC 法) B 班	大川 龍之介, 亀田 貴寛, 原 正幸	実地実習、2グループに分かれて行う
43	7/21	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	分析化学検査学のまとめ②(今後の臨床化学検査に求められること)	大川 龍之介	
44	7/21	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	RCPC 発表(アクティブラーニング)	大川 龍之介	アクティブラーニング
45-47	7/26	13:00-17:50	検査学実習室1	(実習)放射線実習② B 班 /(実習)カルシウム測定(OCPC 法) A 班	大川 龍之介, 亀田 貴寛, 原 正幸	実地実習、2グループに分かれて行う

48-50	7/27	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	(実習)まとめ(プレゼンテーション)	大川 龍之介, 亀田 貴寛	実習、グループワーク、発表会
授業方法 講義と実習を行う。講義は座学のみならず、任意の個人個人に質問しながらの講義とする。一部の授業は、与えられたテーマでグループディスカッションをして、代表者がグループの意見を発表する(アクティブラーニング)。						
授業内容 分析技術の進歩が著しい中であって、最新の知識・技術的内容を取り入れる。一方、時代とともに古典的検査になっても、成分分析の考え方の基本や現代の技術および将来の展開への理解を助けるものについても学べるよう配慮する。また、得られた検査結果を単に定量値として報告するだけでなく、検査情報として臨床へ提供できるように、検査値による病態解析能力を育成する内容とする。 放射性同位元素技術学では、検査技術の学習の前提としてRIIについての基礎知識を養成する。検査法を試料測定法と体外測定法に大別し、原理と実際について習得させる。						
成績評価の方法 学期末筆記試験および出席点、講義時の積極性により評価する。実習はレポート、プレゼンテーションや実習時の積極性により評価する。学期末試験には当該学習内容に関する英語の問題や実習内容も出題する。 1) 学期末筆記試験(分析化学) 100 点 2) 学期末筆記試験(放射性同位元素技術学) 100 点 3) 実習レポート評価 100 点 4) 講義および実習時の出席点・積極性 100 点 5) 非同期型講義の課題・振り返り試験 100 点						
成績評価の基準 1), 2), 3)において、それぞれ60点に達した場合に合格とする。最終的にいずれか一つでも不合格であった場合には、分析化学検査学Ⅲを不合格とする。 成績は[[1):70%, 2):30%]と3)の平均]:80%と 4):10%, 5):10%として合算する。						
準備学習等についての具体的な指示 事前に授業内容を記載したファイルを配布するので、必ず予習し、特に不明な点を明確にして授業に臨むこと。講義・実習後、不明な点はメールにてすぐに質問し、わからないままにしないこと。						
試験の受験資格 授業に3分の2以上、実習に4分の3以上出席し、聴講・実験をした者。内容の都合上、原則、遅刻は認められない。zoom による講義の場合は、講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合に出席とする。非同期型講義の場合は、その際に課された課題を提示された期限までに提出したことをもって出席とする。非同期型講義の次の同期型講義の初めに、振り返り試験を行う。						
教科書 臨床化学検査学／浦山修, 奥村伸生, 戸塚実, 松下誠 編集:医歯薬出版, 2017 放射性同位元素検査技術学／小野口昌久, 川井恵一, 絹谷清剛 編集:医歯薬出版, 2018						
参考書 臨床検査法提要 = Kanai's Manual of Clinical Laboratory Medicine／金井正光 監修, 奥村伸生, 戸塚実, 矢富裕 編集:金原出版, 2015						
他科目との関連 教養課程で学習した化学、専門課程で学習する生化学が本科目の背景となる。検査管理総論および分析化学検査学IおよびIIは本科目と深いかわりがある。放射性同位元素技術学に関しても、RIを用いるという特殊性を除けば基本的に同様である。また、検査結果の解釈のためには生理学や血液学などの知識も必要である。						
履修上の注意事項 非常勤講師の都合で授業内容が前後する場合は事前に連絡する。欠席・遅刻をしないこと。						
連絡先(メールアドレス) 大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp 亀田 貴寛:kameda.alc@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 大川 龍之介:特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください。 亀田 貴寛:月曜日～金曜日 AM9:00-PM7:00 3号館 16 階助教室						

時間割番号	013047				
科目名	医用システム情報学講義(Ⅱ)			科目ID	MT-330800-L
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名:Medical Measurement, System and Information, Lecture(Ⅱ)					
【科目責任者】伊藤南					
主な講義場所					
Zoom による同期授業を実施する。					
授業の目的、概要等					
社会のIT化が進む中、現代の医療は情報通信技術の支え無くしてはもはや成立しえず、情報科学がもたらす成果を十分理解し、それを十分活用することが必要である。臨床検査技師として知っていてほしい、情報量の表現、情報のデジタル化、コンピュータ、通信ネットワークの基本的な原理や知識を学ぶ。医療のIT化の例として電子カルテや病院情報システムについて学ぶ。					
授業の到達目標					
下記の項目について、基本的な考え方を理解し説明できる。					
①情報科学入門					
情報科学、チューリング、ノイマン、シャノン、ウィーナー、ENIAC					
②情報量					
情報の計量化、情報量、自己エントロピー、平均情報量、結合エントロピー					
条件付きエントロピー、相互情報量、冗長度					
③アナログとデジタル					
情報の容量、ビット列、デジタル情報とアナログ情報					
誤り検出符号、誤り訂正符号、標本化、量子化、A/D 変換、					
エイリアシング、サンプリング定理、ナイキスト周波数、量子化雑音					
ビットマップ画像、ベクトル画像、通信路の容量、データの圧縮、JPEG					
④コンピュータ					
仮想化と階層化、OS、カーネル、基本ソフトと応用ソフト、プログラミング言語					
ノイマン型コンピュータの5大要素、CPU、レジスタ、コマンド、割り込み処理					
メインメモリ、RAM、ROM、インターフェイス					
⑤ネットワーク					
二進数、2の補数、文字コード、コード化					
LAN、ルータ、MACアドレス、IPアドレス、イーサネット、TCP/IP プロトコル					
IP ルーティング、パケット通信、IPマスカレード、ドメインネームシステム					
⑥インターネットとセキュリティ					
ブリッジ、ハブ、グローバルアドレス、DNS					
インターネットの仕組み、WWW、HTTP、URL、HTML					
クライアントサーバーシステム、オンライントランザクション処理					
サイバー攻撃、ネットワークの情報セキュリティ対策、セキュリティホール					
ウイルスワクチン、ファイアウォール、プロキシサーバ					
⑦通信暗号システム					
守秘、電子署名、電子認証、暗号化と復号化、カエサル暗号、RSA型暗号					
対称暗号システム、非対称暗号システム、鍵配送問題、ディフィーヘルマンの鍵交換					
チャレンジアンドレスポンス認証、ハンドシェイクプロトコル、ハッシュ関数					
⑧医療のIT化～電子カルテから病院情報システムへ					
カルテ情報、電子カルテの3原則、SOAP方式、クリティカルパス、PACS					
部門システム、オーダリングシステム、病院情報システム					
⑨病院情報システムの導入と個人情報					
病院情報システムの導入					

個人情報の定義、プライバシー権、OECD8原則、個人情報保護法
インフォームドコンセント、オプトアウト、匿名化

⑩医療情報のセキュリティ

情報セキュリティのCIA、情報セキュリティの安全管理措置

医療過誤防止、電子タグの利用、ウェアラブルセンサ

⑪ITによるサポート

日本版EHR、生涯カルテ、地域連携病院ネットワーク、遠隔医療

AIによる医療支援

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/5	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学 講義(Ⅱ)	情報科学入門	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事前課題、アンケート形式の質問
2	4/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学 講義(Ⅱ)	情報量	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事前課題、アンケート形式の質問
3	4/20	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学 講義(Ⅱ)	アナログとデジタル	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事前課題、アンケート形式の質問
4	4/27	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学 講義(Ⅱ)	コンピュータ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事前課題、アンケート形式の質問
5	5/11	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学 講義(Ⅱ)	ネットワーク	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事前課題、アンケート形式の質問
6	5/17	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学 講義(Ⅱ)	インターネットとセキュリティ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事前課題、アンケート形式の質問
7	5/25	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学 講義(Ⅱ)	通信信号システム	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事前課題、アンケート形式の質問
8	6/1	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム情報学 講義(Ⅱ)	電子カルテから病院情報システムへ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、事前課題、アンケート形式の質問

授業方法

Zoomによる同期授業を実施する。配布資料、教科書をもとに講義する。配布資料はWebClassで事前に公開する。毎回、前回の講義内容を範囲として小テストを行う。講義中、アンケートソフトを利用した質疑やグループ討論を行う。

授業内容

①情報科学入門

ITとは何か?

情報科学の始まり

②情報量

情報量の計量化

エントロピーの定義

③アナログとデジタル

アナログ量とデジタル量

A/D変換とデータの圧縮

④コンピュータ

仮想化と階層化

ノイマン型コンピュータ

CPU、メモリ、インターフェイス

⑤ネットワーク

デジタルな表現

ネットワークの通信

⑥インターネット

ネットワークの大規模化

インターネットのセキュリティ

⑦通信暗号システム 暗号 守秘、電子署名、電子認証 インターネットのセキュリティ ⑧電子カルテから病院情報システムへ カルテ情報 電子カルテ 病院情報システム ⑨病院情報システムの導入と個人情報 電子カルテと病院情報システムの導入 個人情報の取り扱い 個人情報の利用 ⑩情報のセキュリティ 病院における情報管理 医療過誤のリスク管理 ⑪ITによるサポート これからの医療体制 AIによる医療支援
成績評価の方法 小テストの成績と学期末筆記試験の成績により総合的に評価する。学期末筆記試験は多肢選択問題、記述訂正問題、記述問題により構成され、20%相当を英語で出題する。
成績評価の基準 学期末筆記試験の成績(80%)に小テストの成績(20%)を加えて総合成績(100点満点)として科目の評価とする。総合成績が60点以上のものを合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 ①配布資料は各自で WebClass よりダウンロードしておくこと。 ②講義前に、配布資料と教科書の関連範囲に目を通しておくこと(教科書との対応は授業明細の備考欄を参照)。
試験の受験資格 講義中に行う小テストおよびアンケート形式の質疑応答へ参加により出席確認とする。2/3以上の出席をもって受験資格とする。
教科書 情報科学／松戸隆之 著、:医歯薬出版、2006
参考書 医療情報 情報処理技術編／日本医療情報学会医療情報技術師育成部会／編集:篠原出版新社、2013
他科目との関連 医用システム情報学実習(Ⅱ)と補完する。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 ①講義回数が少ないので出席日数に注意すること。②医療のIT化(Ⅱ～Ⅳ)は医用システム情報学実習(Ⅱ)の時間に講義する(3回、実習の授業明細を参照)。③医療情報システムは最近急速に発展している。新聞・テレビのマスメディア等に、先端的な事例が報告されているので、日頃からこれらに関心を持つことが望ましい。④能動的な講義への参加、講義時間を無駄に過ごさないことを希望する。講義資料は事前にWebClassで閲覧できるようにしてあるので予習すること。講義中ないし講義後の質問を歓迎する。受講に際しては画面の小さなスマホ等の使用を避けること。前回の講義の範囲で小テストを実施するので、必ず復習しておくこと。著作権の問題があるのでZoom講義の撮影と講義資料の受講者以外への公開を禁ずる。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。昨年度のアンケートより改善点を探して確認します。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤 南:毎週月曜日 PM.1:00-PM.5:00 3号棟16階 生体機能支援システム学・教授室または研究室 事前にメール等で連絡してもらえば随時対応します。

時間割番号	013048						
科目名	医用システム情報学実習(Ⅱ)			科目ID	MT-350900-E		
担当教員	伊藤 南, 本間 達[ITO MINAMI, HOMMA SATORU]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Medical Measurement, System and Information, Laboratory(Ⅱ)							
【科目責任者】伊藤南							
主な講義場所							
情報検索室(M&D タワー4階)							
授業の目的、概要等							
医療のIT化に際して、臨床検査もコンピュータとは無縁ではいられず、それを十分に理解し活用することが必要である。臨床検査技師として知っていてほしい、コンピュータの動作原理やプログラミングの基本的な考え方を学ぶ。日常生活では直接関わる機会が少ないと思われるので、実習を通じて体験的な理解を目指す。							
授業の到達目標							
①プログラミングの基礎: コンピュータのプログラム作成の流れを理解し実践できるようになる。							
②入出力関数: プログラムに対する文字(情報)の入力とプログラムから文字(情報)を出力する関数の動作を理解し、これを用いたプログラムを構築できる。							
③分岐関数: 条件によってプログラムの動作を分岐する関数の動作を理解し、これを用いたプログラムを構築できる。							
④繰り返し処理: ループ関数の動作を理解し、これを用いたプログラムを構築できる。							
⑤数値関数: 数値的演算を実現する関数の動作を理解し、これを用いたプログラムを構築できる。							
⑥ポインタ: コンピュータのメモリ管理の概念とこれを取り扱うポインタの動作を理解し、これを用いたプログラムを構築できる。							
⑦グラフィック関数: グラフィックを画面上に描画する関数の動作を理解し、これを用いたプログラムを構築できる。							
⑧グラフ描画: グラフィック関数を組みあわせて画面上にグラフを描画するためのプログラムを構築できる。							
⑨演算処理: 複数の数値的な演算関数やループ関数、分岐処理を組みあわせて、加算平均や最小二乗法などの演算をおこなうためのプログラムを構築できる。							
⑩総合演習: 様々な関数の組み合わせにより、与えられた目的を実現するためのプログラムを構築できる。							
実習中に作成したプログラムを提出課題にまとめ、その内容を口頭で説明できる。							
以下の項目について理解し、説明できる。							
①プログラムの基礎 MS-DOS、Cコンパイラの動作、main 関数とは							
②入出力関数 printf 関数、scanf 関数、getc 関数、変数の型変換、エスケープシーケンス							
③条件分岐 if-else 構文、switch-case 構文							
④繰り返し処理 for-while 構文							
⑤三角関数、指数・対数関数、文字列処理関数							
⑥ポインタ ファイル操作							
⑦グラフィック関数 line 関数、circle 関数、pset 関数							
⑧グラフ描画 折れ線図や散布図の作成							
⑨演算処理 加算平均、最小二乗法							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業科目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/13	14:40-17:50	情報検索室	医用システム 情報学実習 (Ⅱ)	プログラミングの基礎	伊藤 南 本間 達	対面でのプログラミング添削指導 e-learning による学習
3-4	4/20	14:40-17:50	情報検索室	医用システム 情報学実習 (Ⅱ)	入出力関数 分岐関数	伊藤 南 本間 達	対面でのプログラミング添削指導 e-learning による学習
5-6	4/27	14:40-17:50	情報検索室	医用システム 情報学実習 (Ⅱ)	繰り返し処理	伊藤 南 本間 達	対面でのプログラミング添削指導 e-learning による学習

7-8	5/11	14:40-17:50	情報検索室	医用システム 情報学実習 (Ⅱ)	数値関数 ポインタ	伊藤 南 本間 達	対面でのプログラミング添削指導 e-learning による学習
9-10	5/18	14:40-17:50	情報検索室	医用システム 情報学実習 (Ⅱ)	数値関数 ポインタ	伊藤 南 本間 達	対面でのプログラミング添削指導 e-learning による学習
11-12	5/25	14:40-17:50	情報検索室	医用システム 情報学実習 (Ⅱ)	演算処理	伊藤 南 本間 達	対面でのプログラミング添削指導 e-learning による学習
13-14	6/1	14:40-17:50	情報検索室	医用システム 情報学実習 (Ⅱ)	演算処理 演算処理	伊藤 南 本間 達	対面でのプログラミング添削指導 e-learning による学習
15	6/14	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム 情報学実習 (Ⅱ)	講義 病院情報システムの 導入 個人情報の取り扱い	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、 事前課題、アンケート形式の質問
16	6/15	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	医用システム 情報学実習 (Ⅱ)	講義 情報のセキュリティ	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、 事前課題、アンケート形式の質問
17-18	6/15	14:40-17:50	情報検索室	医用システム 情報学実習 (Ⅱ)	グラフィック関数 グラフ描 画	伊藤 南 本間 達	対面でのプログラミング添削指導 e-learning による学習
19-20	6/22	13:00-16:10	情報検索室	医用システム 情報学実習 (Ⅱ)	グラフィック関数 グラフ描画	伊藤 南 本間 達	対面でのプログラミング添削指導 e-learning による学習
21	6/23	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	医用システム 情報学実習 (Ⅱ)	講義 これからの医療体制 AIによる医療支援	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、 事前課題、アンケート形式の質問
22-23	6/29	13:00-16:10	情報検索室	医用システム 情報学実習 (Ⅱ)	総合演習	伊藤 南 本間 達	対面でのプログラミング添削指導 e-learning による学習

授業方法

配布した実習用テキストをもとに課題の計算処理を行うプログラムを作成する。実習内容の詳細や手順は授業で説明する。
個人ごとに実習課題のレポートを提出する。
レポートについて口頭試問を行い、添削指導する。内容が不十分な場合は再提出を求める場合もある。
直接の指導は主に本間達(生体機能支援システム学)が担当する。

授業内容

実習全体を通じて、①コンピュータのプログラミングに必要な、OS 操作実習を行う。②C言語による初歩的なプログラム作成の演習課題を行う。プログラミングの特徴は、プログラムの書式を守りながら、既存のプログラムを発展させて、変幻自在な処理を実現できることにある。単にプログラミング法の知識を習得するだけではなく、そうした基本的原理を状況に合わせて応用する考え方を養う。

成績評価の方法

演習では自分でプログラム内容を創意工夫することが重要であり、実習課題レポートの内容を重視する。実習課題のレポート内容、実習での参加状況(20%)により総合的に評価する。

成績評価の基準

実習課題のレポート内容(80%)、出席状況(20%)を加えて総合成績(100 点満点)として科目の評価とする。総合成績が 60 点以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

プログラム作成には時間がかかるので、早めに課題をこなす。

試験の受験資格

3/4以上の実習への出席および全提出課題のレポートの提出をもって受験資格とする。

教科書 実習用のテキストを事前に配布する。
他科目との関連 医用システム情報学講義(Ⅱ)と補完する。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 作成したプログラムを記録するために 1GB 以上の新品の USB メモリを各自で用意する(医学情報処理演習(Ⅰ)でを使用したもので可)。実習の時間内で3回講義(医療の IT 化)を行う。教室が違うので注意する。講義の評価は医用システム情報学講義(Ⅱ)で行う。
備考 インターネット参照などによる剽窃の事例が後を絶たないが、本実習では一切認めないので注意すること。 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 昨年度のアンケートより改善点を探して確認します。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、 本間 達:hommtec@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 南:毎週月曜日 PM.1:00-PM.5:00 3号棟16階 生体機能支援システム学・教授室または研究室 事前にメール等で連絡してもらえば随時対応します。

時間割番号	013087						
科目名	生理検査学講義(Ⅲ)			科目ID	MT-332500-L		
担当教員	角 勇樹, 赤座 実穂[SUMI YUKI, AKAZA MIHO]						
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Physiological Laboratory Science, Lecture(Ⅱ) 【科目責任者】角 勇樹							
主な講義場所 保健衛生学講義室3(3号館8階)、スキルスラボ(MD タワー地下1 階)							
授業の目的、概要等 生理検査用機器を駆使して被検者からいろいろな生理的情報を取得・解析し、そのデータを疾病の診断・治療に役立たせる生理検査学を学ぶ。生理検査に携わる検査技師には機器の操作、生体現象の記録、データの整理・解析のみならず、疾病に対しての医学的知識が要求され、疾患に対しての理解を深める。							
授業の到達目標 各種生理検査法における原理の習得し適応について理解、測定結果の解釈ができるようになる。 電気機器に接することが多いので、機器障害への迅速な対応や安全対策、正しい結果が得られない場合のトラブルシューティングも学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/18	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどちらかについてはwebclass の日程表を参照
2	5/25	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどちらかについてはwebclass の日程表を参照
3	6/3	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどちらかについてはwebclass の日程表を参照
4	6/3	10:30-12:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどちらかについてはwebclass の日程表を参照
5	6/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどちらかについてはwebclass の日程表を参照
6	6/10	10:30-12:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどちらかについてはwebclass の日程表を参照
7	6/15	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどちらかについてはwebclass の日程表を参照
8	6/17	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどちらかについてはwebclass の日程表を参照
9	6/17	10:30-12:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどちらかについてはwebclass の日程表を参照
10	6/24	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどちらかについてはwebclass の日程表を参照

							webclass の日程表を参照
11	6/24	10:30-12:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
12	7/1	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
13	7/1	10:30-12:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
14	7/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
15	7/14	10:30-12:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	生理機能検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、伝導検査	角 勇樹	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
授業方法							
講義、演習(アクティブラーニングを含む)							
授業内容							
生理検査学の内容は多岐にわたる。循環器系検査、呼吸器系検査、神経・筋機能検査、超音波検査、MRI、サーモグラフィー、無散瞳眼底検査、平衡機能検査(眼振電図検査、重心動揺検査)などについて学ぶ。							
成績評価の方法							
授業中に行う演習、レポート提出、実習試験、筆記試験にて生理検査学の知識・理解の達成度を評価する。講義中の態度も評価の対象とする。							
成績評価の基準							
演習および学期末定期試験による試験点数を基本とし、講義中の態度などを加味して点数を増減し、基準にしたがって成績評価を行う。							
準備学習等についての具体的な指示							
生理学講義の範囲は広いので、学内・学外の多くの専門家に講義を依頼している。講義のテーマに関する準備学習をしておくこと。 生理検査学は人を対象とする検査であり、コミュニケーション能力に加え、人と接する上での最低限の礼儀・倫理感が必要とされる。受講態度にも留意すること。							
教科書							
呼吸機能検査技術教本／一般社団法人日本臨床衛生検査技師会／監：株式会社じほう、2010 生理機能検査学／大久保善朗 [ほか] 著 大久保 善朗、医歯薬出版、2010							
参考書							
各担当講師が Webclass に資料を upload する場合がある。							
他科目との関連							
解剖学、生理検査学Ⅰ、医学概論、総合講義、臨床病態学、医用機器・工学、心臓生理学などに関連。							
履修上の注意事項							
遅れずに出席すること。 詳細な割り当ておよび日程は講義の際に配布する。							
参照ホームページ							
生理検査は人を対象とした動的な検査であり、各種ホームページにて動画や図表、イラストを参照すると理解が進む場合がある。							
連絡先(メールアドレス)							
角 勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
角 勇樹:毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17:00 3号館 16 階 呼吸器・神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください)							

時間割番号	013088						
科目名	生理検査学実習(Ⅲ)				科目ID	MT-352600-E	
担当教員	角 勇樹, 赤座 実穂[SUMI YUKI, AKAZA MIHO]						
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Physiological Laboratory Science, Laboratory (Ⅱ)							
【科目責任者】角 勇樹							
主な講義場所							
保健衛生学講義室3(3号館8階)、スキルスラボ(MD タワー地下1 階)ほか							
授業の目的、概要等							
生理検査用機器を駆使して被検者からいろいろな生理的情報を取得・解析し、そのデータを疾病の診断・治療に役立たせる生理検査学を体得する。電気機器に接することが多いので、機器障害への迅速な対応や安全対策も学ぶ。生理検査は直接人体に接する検査法であるので、倫理性やコミュニケーション能力も要求される。検査時における患者へ配慮や急変時の対応についても学ぶ。							
授業の到達目標							
生理検査学講義(Ⅱ)の教育目標を参照。							
生理検査機器の取り扱いの実技、および生理検査法の手順を修得する。検査時の患者の急変への対応や検査機器障害への迅速な対応や安全対策を学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	08:50-10:20	保健衛生学科講義室3, 検査学実習室3	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
2	4/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室3, 検査学実習室3	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
3	4/15	08:50-10:20	保健衛生学科講義室3, 検査学実習室3	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
4	4/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室3, 検査学実習室3	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
5	4/16	08:50-10:20	保健衛生学科講義室3, 検査学実習室3	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
6	4/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室3, 検査学実習室3	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
7	4/22	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
8	4/22	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
9	4/30	08:50-10:20	保健衛生学科講義室3, 検査学実習室3	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
10	4/30	10:30-12:00	保健衛生学科講義室3, 検査学実	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳	角 勇樹, 赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程

27	7/6	08:50-10:20	保健衛生学科講義室3, 検査学実習室3	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹、赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
28	7/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室3, 検査学実習室3	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹、赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
29	7/13	08:50-10:20	保健衛生学科講義室3, 検査学実習室3	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹、赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
30	7/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室3, 検査学実習室3	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹、赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
31	7/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室3, 検査学実習室3	生理検査学実習	呼吸機能、心電図、腹部エコー、心エコー、脳波、神経伝導検査	角 勇樹、赤座 実穂	登校、同期、非同期のどれかについては webclass の日程表を参照
32	7/20	10:30-12:00					
授業方法 シミュレーターや人形、あるいは人に対して実際に検査を行う。最も効率的な学習法は人に教えることであるので、学生同士で教え合う形式もとっている。							
授業内容 循環器系検査、神経・筋機能検査、呼吸器系検査、超音波検査などの生理検査法について実習を行う。							
成績評価の方法 実習への出席状況・服装・実習態度と共に、各実習にはレポート・スケッチの提出を求める。実技試験を行い、実践能力を評価する。また、マークシート試験により理解度を評価する。							
成績評価の基準 総合的に評価する。							
準備学習等についての具体的な指示 生理検査では、患者の苦痛を最低限にするための努力が必要とされる。実習開始までに検査の内容・意味・手順は理解しておくこと。また、自分が得た知識を人に教えることは、自らの理解を深める上で重要であると共に、コミュニケーション能力を養う訓練でもある。指導を担当する際は上記の点に留意して準備すること。							
教科書 呼吸機能検査技術教本／一般社団法人日本臨床衛生検査技師会／監：株式会社じほう、2010 生理機能検査学／大久保善朗 [ほか] 著、大久保 善朗、医歯薬出版、2010							
他科目との関連 生理検査学実習(Ⅰ)、生理検査学実習(Ⅱ)、臨地実習と関連する。							
履修上の注意事項 遅れずに出席すること。自ら機器を手にとってみること、被検者の心理面にも十分注意すること。被験者が病院の患者や身内だと思って実習を行うこと。詳細な実習日程は講義の際に配布する。							
参照ホームページ 生理検査は人を対象とした動的な検査であり、各種ホームページにて動画や図表、イラストを参照すると理解が進む場合がある。							
連絡先(メールアドレス) 角 勇樹 ysumi.pulm@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 角 勇樹: 毎週 月・金 曜日 AM9:00-PM17:00 3号館16階 呼吸器神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください)							

時間割番号	013051A						
科目名	病原体検査学講義(Ⅱ)				科目ID	MT-331300-L	
担当教員	齋藤 良一[SAITO RYOICHI]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Clinical microbiology, Lecture(Ⅱ) 【科目責任者】齋藤 良一							
主な講義場所 オンライン講義にて行う。							
授業の目的、概要等 第1年次に学んだ病原体検査学講義Ⅰの内容をもとに、医学的に重要な微生物(細菌、真菌、ウイルス)の詳しい特徴と感染症の診断・治療に寄与するような微生物学的検査法を学ぶ。							
授業の到達目標 学生はこの講義を通して下記の知識を修得できる。 1)微生物検査の概要とバイオハザードについて説明できる 2)病原細菌の分類、感染の伝播および病原性のメカニズム、検査室で使用する分離・同定法や薬剤感受性試験法について説明できる 3)医学真菌学領域で重要な真菌の分類、検査室で使用する分離・同定法や薬剤感受性試験法について説明できる 4)検体採取法や検体別の微生物検査法、分子生物学的手法を用いた迅速検出法について説明できる 5)ウイルスの分類、感染の伝播および病原性のメカニズム、検査室で使用する分離・同定法について説明できる 6)医療関連感染とそれに関わる疫学解析、またその制御について説明できる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	臨床微生物検査総論	臨床微生物検査の概要、バイオハザード	齋藤 良一	同期
2	4/8	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	通性嫌気性グラム陽性球菌(1)	Staphylococcus 属	齋藤 良一	
3	4/9	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	通性嫌気性グラム陽性球菌(2)	Streptococcus 属, Enterococcus 属	齋藤 良一	
4	4/9	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	好気性グラム陽性桿菌(1)	Listeria 属, Corynebacterium 属など	齋藤 良一	
5	4/9	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	好気性グラム陽性桿菌(2)	Bacillus 属, Mycobacterium 属(1)	齋藤 良一	
6	4/14	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	好気性グラム陽性桿菌(3)	Mycobacterium 属(2), Nocardia 属	齋藤 良一	
7	4/15	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	中間テスト、解説	前回までの講義内容	齋藤 良一	同期
8	4/15	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	通性嫌気性グラム陰性桿菌(1)	Enterobacteriaceae(1)	齋藤 良一	同期
9	4/16	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	通性嫌気性グラム陰性桿菌(2)、グラム陰性球菌	Enterobacteriaceae(2), Neisseria 属, Moraxella 属	齋藤 良一	
10	4/16	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	通性嫌気性グラム陰性桿菌(3)	Vibrionaceae 属	齋藤 良一	
11	4/16	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	ブドウ糖非発酵好気性グラム陰性桿菌	Pseudomonas 属, Burkholderia 属など	齋藤 良一	
12	4/21	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	通性嫌気性グラム陰性小桿菌	Pasteurella 属, Haemophilus 属, Actinobacillus 属など	齋藤 良一	
13	4/22	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	好気性グラム陰性桿菌	Bordetella 属, Brucella 属, Francisella 属, Legionella 属など	齋藤 良一	
14	4/22	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	偏性嫌気性菌	偏性嫌気性菌	齋藤 良一	

15	4/22	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	微好気性グラム陰性らせん菌	Campylobacter 属, Helicobacter 属, Treponema 属, Borrelia 属, Leptospira 属など	齋藤 良一	同期
16	4/23	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	化学療法薬と薬剤耐性菌(1)	抗菌薬, 薬剤感受性検査法	齋藤 良一	
17	4/23	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	薬剤耐性菌(2), 細菌(その他)	細菌の薬剤耐性機構, マイコプラズマ, リケッチア, クラミジア	齋藤 良一	同期
18	4/23	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	臨床微生物検査法	医療機関検査室で行われる検体別検査法	齋藤 良一	同期
19	4/23	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	真菌(1)	主要な真菌症と起因菌(1)	齋藤 良一	
20	4/27	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	真菌(2)	主要な真菌症と起因菌(2)	齋藤 良一	
21	5/6	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	ウイルス(1)	DNA ウイルスと感染症(1)	齋藤 良一	同期
22	5/6	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	ウイルス(2)	RNA ウイルスと感染症(2)	齋藤 良一	同期
23	5/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	感染症のコントロールと疫学	医療機関における感染防止対策, 疫学解析	齋藤 良一	同期
授業方法							
同期型講義: WebClass で事前配布した資料をもとに講義し、小テストや質疑応答、グループ討論を行う。 非同期型講義: WebClass で配布された資料を視聴後、提示された課題を期限内に提出する。							
授業内容							
臨床微生物学全般にわたる基礎的な内容に加え、発展的な内容についても講義を行う。感染症に関してもその概略を述べるだけでなく、先進的な微生物検査法を合わせて講義する。							
成績評価の方法							
定期試験成績(85点)、小テスト・課題内容(10点)および授業態度(5点)により総合的評価(100点満点)を行う。定期試験は多肢選択問題で構成され、基本的な専門用語を英語で示す問題も一部に含まれる。							
成績評価の基準							
「成績評価の方法」に示した項目の合計が60点以上の場合を合格とする。							
準備学習等についての具体的な指示							
病原体検査学講義Ⅰの内容を復習しておく必要がある。また講義前に事前配布資料で予習し、関連する内容は教科書でも学習すること。							
試験の受験資格							
本学の試験規則を満たす者。但し、出席管理は以下のように行う。 同期型講義: zoom のアクセス時間と講義中に行う小テストや質疑応答等により判断する。講義開始 30 分以上経過後のアクセスは欠席とみなす。 非同期型講義: 動画視聴後に提示された課題を期限内に提出した場合、出席とする。							
教科書							
臨床微生物学／松本哲哉 編集: 医歯薬出版, 2017							
参考書							
標準微生物学／神谷茂, 錫谷達夫編集, 中込 治, 神谷 茂, 錫谷 達夫: 医学書院, 2018 シンプル微生物学／小熊惠二, 堀田博, 若宮伸隆編集, 小熊 惠二, 堀田 博, 若宮 伸隆: 南江堂, 2018 臨床微生物検査技術教本／日本臨床衛生検査技師会監修, 日本臨床衛生検査技師会: 丸善出版, 2017							
他科目との関連							
免疫学、生化学、病理学、公衆衛生学のほか、臨床医学(感染症学、感染制御学)などの科目と密接な関係を持っている。							
履修上の注意事項							
臨床微生物学の範囲は広く講義時間数は限られているので、毎回出席することが大切である。また講義内容の復習や講義で詳しく触れなかった事項も自主学習し、單元ごとに知識の定着を図って欲しい。講義・実習に関わる資料は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することの無いように十分気を付けること。							
連絡先(メールアドレス)							
齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること)							

時間割番号	013052					
科目名	病原体検査学実習(Ⅱ)			科目ID	MT-351400-E	
担当教員	齋藤 良一, 太田 悠介[SAITO RYOICHI, OOTA Yuusuke]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Clinical microbiology, Laboratory(Ⅱ)						
【科目責任者】齋藤 良一						
主な講義場所						
オンライン実習のほか、検査学実習室1(3号館8階)を使用する。						
授業の目的、概要等						
病原体検査学講義ⅠとⅡの内容をもとに、細菌、真菌およびウイルス感染症の診断・治療に貢献する基本的な微生物学的検査法を学ぶ。更に、先進的な微生物学的検査法についても概説する。						
授業の到達目標						
学生はこの実習を通して下記の知識と技術を修得できる。						
1)病原細菌の染色法や分離・同定法、薬剤感受性試験法を実践できる						
2)臨床検体の採取法や現在、検査室で行われる微生物検査法を実践できる						
3)臨床で分離頻度が高い病原真菌の染色法や分離・同定法について実践できる						
4)ウイルスの同定法や抗体検査法について実践できる						
5)病原体同定等の遺伝子検査の基盤技術を説明できる						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	5/7	14:00-18:50	検査学実習室1	染色法	グラム染色, 芽胞染色, 抗酸菌染色	齋藤 良一, 太田 悠介
4-6	5/13	13:00-17:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	発育コロニーの細菌同定(1)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	齋藤 良一, 太田 悠介
7-9	5/14	14:00-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	発育コロニーの細菌同定(2)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	齋藤 良一, 太田 悠介
10-12	5/20	14:00-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	発育コロニーの細菌同定(3)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	齋藤 良一, 太田 悠介
13-15	5/21	13:00-17:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	発育コロニーの細菌同定(4)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	齋藤 良一, 太田 悠介
16-18	5/27	13:00-17:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	臨床検体中の細菌同定(1)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	齋藤 良一, 太田 悠介
19-21	5/28	13:00-17:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	臨床検体中の細菌同定(2)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	齋藤 良一, 太田 悠介
22-24	6/3	14:00-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	臨床検体中の細菌同定(3)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	齋藤 良一, 太田 悠介
25-27	6/4	14:00-18:50	検査学実習室1, 遠隔授業(非同期型)	臨床検体中の細菌同定(4)	染色, 分離・培養, 同定, 薬剤感受性など	齋藤 良一, 太田 悠介
28-30	6/10	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	臨床検体中の細菌同定(5)	プレゼンテーション作成	齋藤 良一, 太田 悠介
31-33	6/11	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	臨床検体中の細菌同定(6), まとめ	課題発表	齋藤 良一, 太田 悠介
授業方法						
Zoomによる同期型実習と対面実習にて実施する。双方の形式においてグループごとに課題に取り組み、得られた結果をまとめ・発表し、最後に全体で討論を行う。						
授業内容						
「授業スケジュール」参照						
成績評価の方法						

課題内容、出席状況およびグループ討論参加等の実習態度により総括的評価を行う。
成績評価の基準 実習に4分の3以上出席しており、かつ課題内容(80%)と実習態度(20%)の評価を合算後、最終的に60%以上であった場合を合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 病原体検査学講義ⅠおよびⅡの内容を復習してから望む必要がある。また実習に関連する内容は予め実習書や教科書で確認しておくこと。
試験の受験資格 本学の専門科目履修規則を満たす者。出席管理は実習開始時ならびに実習中に確認する。
教科書 臨床微生物学／松本哲哉 編集：医歯薬出版、2017
参考書 臨床微生物検査技術教本／日本臨床衛生検査技師会監修、日本臨床衛生検査技師会：丸善出版、2017 臨床微生物検査ハンドブック／小栗豊子編集、小栗 豊子：三輪書店、2017
他科目との関連 臨床医学(感染症学、感染制御学)などの科目と密接な関係を持っている。
履修上の注意事項 1)病原微生物を扱うため実習中は細心の注意を払うこと 2)実習中は配布されたガウンを着用すること 3)各作業の終了時に速乾性擦式消毒薬等で手指消毒すること 4)スケッチのため色鉛筆を準備する その他、講義・実習に関わる資料は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することの無いように十分気を付けること。
連絡先(メールアドレス) 齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp 太田 悠介 y-ota.micr@tmd.ac.jp
オフィスアワー 齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること) 太田 悠介 随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	013054					
科目名	免疫検査学実習			科目 ID	MT-351700-E	
担当教員	齋藤 良一, 太田 悠介, 井上 久美 [SAITO RYOICHI, OTA YUSUKE, INOUE KUMI]					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Clinical Immunology, Laboratory						
【科目責任者】 齋藤 良一						
主な講義場所						
オンライン実習のほか、保健衛生学実習室1(3号館8階)で行う。						
授業の目的、概要等						
臨床検査に用いられる免疫学的方法の代表的なものについて、方法、原理、意義を理解する。						
授業の到達目標						
1. 免疫電気泳動の方法、意義を理解し、実施できる。						
2. ELISA の方法を理解し、実施できる。						
3. 抗核抗体検査の方法、意義を理解し、実施できる。						
4. フローサイトメトリーの方法を理解する。						
5. 輸血検査の基礎(血液型検査、不規則抗体検査)を理解し、実施できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	6/17	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	免疫検査学実習 1-3	flow cytometry(1)	齋藤 良一, 太田 悠介, 井上 久美
4-6	6/18	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	免疫検査学実習 4-6	flow cytometry(2)	齋藤 良一, 太田 悠介, 井上 久美
7-9	6/24	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	免疫検査学実習 7-9	輸血検査(1)	齋藤 良一, 太田 悠介, 井上 久美
10-12	6/25	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	免疫検査学実習 10-12	輸血検査(2)	齋藤 良一, 太田 悠介, 井上 久美
13-15	7/1	14:00-18:50	検査学実習室 1	免疫検査学実習 13-15	免疫電気泳動(1)／血液型検査(1)	齋藤 良一, 太田 悠介, 井上 久美
16	7/2	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学実習 16	免疫電気泳動(1)／血液型検査(1)予備	齋藤 良一, 太田 悠介, 井上 久美
17-19	7/2	13:00-17:50	検査学実習室 1	免疫検査学実習 17-19	免疫電気泳動(2)／血液型検査(2)	齋藤 良一, 太田 悠介, 井上 久美
20	7/7	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	免疫検査学実習 20	免疫電気泳動(2)／血液型検査(2)予備	齋藤 良一, 太田 悠介, 井上 久美
21-25	7/8	08:50-17:50	検査学実習室 1	免疫検査学実習 21-25	ELISA(1)／抗核抗体(1)	齋藤 良一, 太田 悠介, 井上 久美
26-30	7/9	08:50-17:50	検査学実習室 1	免疫検査学実習 26-30	ELISA(2)／抗核抗体(2)	齋藤 良一, 太田 悠介, 井上 久美
授業方法						
対面実習および Zoom による同期型実習にて行う。双方の形式において、グループごとに課題に取り組む、得られた結果をまとめ・発表し、最後に全体で討論を行う。						
成績評価の方法						
定期試験成績(70 点)、課題内容(20 点)およびグループ討論参加態度(10 点)により総合的評価(100 点満点)を行う。定期試験は多肢選択問題で構成され、基本的な専門用語を英語で示す問題も一部に含まれる。						
成績評価の基準						
実習に 4 分の 3 以上出席しており、かつ定期試験成績(60%)、課題内容(30%)および実習態度(10%)の評価を合算後、最終的に 60%以上であった場合を合格とする。						

準備学習等についての具体的な指示

免疫検査学講義の内容を再度復習しておく必要がある。更に実習内容を毎回予習、復習をすること。

試験の受験資格

本学の専門科目履修規則を満たす者。出席管理は実習開始時ならびに実習中に確認する。

教科書

免疫検査学／窪田哲朗 [ほか] 編著, 医歯薬出版, 2019

参考書

Cellular and Molecular Immunology／Abbas A K, et al.: Elsevier, 2018

履修上の注意事項

講義・実習に関わる資料は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することの無いように十分気を付けること。

連絡先(メールアドレス)

齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp

太田 悠介 y-ota.micr@tmd.ac.jp

オフィスアワー

齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること)

太田 悠介 随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	013055B						
科目名	遺伝子検査学実習			科目ID	MT-351900-E		
担当教員	鈴木 喜晴[SUZUKI NOBUHARU]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Medical Genetics, Laboratory							
【科目責任者】鈴木喜晴							
主な講義場所							
検査学実習室1(3号館8階)							
zoomによる遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等							
遺伝子検査学と遺伝子工学の基礎実験法を学び、様々な検査法や研究方法に共通する原理と手技を習得する。 ・疾患の原因となる塩基置換・欠失等の検出・解析方法を習得する。 ・遺伝子工学的技術を用いて組換えタンパク質を作製する方法を学ぶ。							
授業の到達目標							
臨床検査に必要な遺伝子解析技術を習得する。さらに関連分野での基礎研究に応用できる実践的な技術も身につける。 各回での目標は以下の通りである。 1回目:2回目以降の実習を有意義に遂行できるよう本実習の目的と内容を十分に理解する。 2回目:シーケンス解析とPCR-RFLP 解析のための PCR 法、核酸精製法、制限酵素反応を習得する。さらに組換えタンパク質作製のためのギブソンアセンブリ法を学ぶ。 3回目:シーケンス解析方法を学ぶ。PCR-RFLP 解析のアガロース電気泳動を習得する。 4回目:組換えタンパク質作製のためのアルカリプレップ法とトランスフェクション法を学ぶ。 5回目:結果を考察・発表し、総括する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	7/5	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	オリエンテーション	本実習の目的と内容の説明	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:グループディスカッションを行う。
4-6	7/6	13:00-17:50	検査学実習室1	1. シーケンス解析法-1/2. PCR-RFLP 法-1/3. 組換えタンパク質作製法-1	1-1, 2-1, 3-1. PCR 法と PCR 産物 (DNA 断片)の精製/2-1. 制限酵素反応/3-1. ギブソンアセンブリ法	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験を進める。
7-9	7/12	14:00-18:50	検査学実習室1	1. シーケンス解析法-2/2. PCR-RFLP 法-2	1-2. ダイターミネーター法結果の解析/2-2. アガロース電気泳動	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験を進める。
10-12	7/13	13:00-17:50	検査学実習室1	3. 組換えタンパク質作製法-2	3-2. アルカリプレップ法、トランスフェクション法	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験を進める。
13-15	7/20	13:00-17:50	検査学実習室1	3. 組換えタンパク質作製法-3/結果発表	3-3. 組換えタンパク質の検出(蛍光顕微鏡観察)/結果の報告	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験を進める。グル

							ープディスカッション を行う。	
授業方法 実習書と資料を用いて実習課題の説明を行い、班毎に実習を進める。アクティブラーニングとして、原理や手順の説明を理解した上で、自らの手を動かして実験を進める。さらに、解析遺伝子の決定や PCR 用プライマーのデザイン、結果報告の際、グループディスカッション等のアクティブラーニングを行い習得度を高める。								
授業内容 授業スケジュールを参照								
成績評価の方法 原則、全出席を必要とする。 実習に取り組む姿勢(予習や復習に基づく原理や手順の理解度、積極性、グループメンバーとの協力姿勢など):40 点 レポート:60 点								
成績評価の基準 上記の「成績評価の方法」に従い、60 点以上で合格とする。								
準備学習等についての具体的な指示 毎回事前に WebClass から実習書や資料をダウンロードし、実習当日までに予習をしておくこと。								
試験の受験資格 試験は行わないが、成績評価のためには、原則、全出席を必要とする。遅刻や早退となる際は、必ず科目責任者に連絡して理由を説明すること。勘案すべき事情のために欠席した場合は、その旨科目責任者に連絡をすること。								
他科目との関連 遺伝子検査学的実験手法は、生化学、臨床化学、免疫検査学、血液検査学、病原体検査学等の他の分野の検査法や研究方法の基礎となる。								
履修上の注意事項 講義資料、講義動画、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。 実習室での対面実習の際は、白衣を着用すること。実験機の周りは常に整理整頓し、特に毒物・劇物に指定されている化学物質の取り扱いについては、説明を良く聞き、十分に注意すること。実習に関する事以外での携帯電話・スマートフォンの使用は慎むこと。								
備考 前年度のアンケート結果を参考にして、zoom 遠隔授業でのグループディスカッションを減らし、実習室での対面実習とグループディスカッションを増やした。								
連絡先(メールアドレス) 鈴木 喜晴 nsuzbb@tmd.ac.jp								
オフィスアワー 鈴木 喜晴 オフィスアワーは特に定めない 3 号館 16 階								

時間割番号	013057A						
科目名	医学情報処理演習(Ⅱ)			科目ID	MT-451200-S		
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Principles and Practice of Medical Information Processing(Ⅱ)							
【科目責任者】伊藤南							
主な講義場所							
Zoom による同期授業を実施する。							
対面での講義が可能になれば情報検索室を使用する。							
授業の目的、概要等							
臨床検査や科学研究において大量のデータを取り扱う機会が増えている。大量のデータを効率的に処理するだけでなく、統計学的な考え方に沿ってデータの意味するところを正しく理解することが求められている。本演習では、根拠に基づく医療(EBM)の考え方や実践法を学び、それを支える医療データベース、文献データベースの利用方法を修得する。生物統計学の基本的な考え方を学ぶ。表計算ソフト(エクセル)を利用して、データの関連性や因果関係を解析する方法を学ぶ。医療データの解析に欠かせない、ロジスティック曲線や生存曲線の解析について学ぶ。今後ますます必要性が高まると思われる、多変量解析やベイズ統計の基本的な考え方を学ぶ。							
授業の到達目標							
下記の項目について理解し説明できる、適切に利用できる。							
①根拠に基づく医療(EBM)							
医学的根拠についての3つの立場、コクランの考え方、EBM宣言、EBMの実践方法							
②フェアな比較							
フィッシャーの3原則、乱塊法、因子、水準、順序効果、交絡							
信頼区間、点推定と区間推定、標本数の決め方、比率の検定							
③二因子の関係をみる							
McNemar 検定、1標本t検定、Wilcoxon の符号付き順位和検定							
フィッシャーの正確確率検定、カイ二乗適合度検定							
④二因子の分散分析							
繰り返しのある2元配置分散分析							
分散分析のデザイン							
因果関係、症例対照研究、横断研究、コホート研究、無作為化比較試験							
⑤相関と回帰							
相関と回帰、ピアソンの相関係数、標準化偏回帰係数、自由度調整済み決定係数							
多重共線性、オーバーフィッティング、ダミー変数							
相関解析、重回帰分析							
⑥多変量解析(Ⅰ)							
最尤法、最適モデルの選択の考え方							
ソルバーによる数値解析							
ポアソン回帰							
⑦多変量解析(Ⅱ)							
ロジスティック回帰、傾向スコアマッチング							
生存曲線、生存率、打ち切り観察、Kaplan-Meier 積極限法、危険率関数							
ログランク統計量、比例ハザードモデル							
EZRIによる生存曲線の計算							
⑧ベイズ推定							
ベイズの定理、ベイズ更新、ベイズ推定							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/18	14:40-17:50	情報検索室 遠隔	医学情報処理演習(Ⅱ)	EBM	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト

			授業(同期型)				ト、メールによる添削指導
3-4	10/25	14:40-17:50	情報検索室 遠隔 授業(同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	フェアな比較	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
5-6	11/12	08:50-12:00	情報検索室 遠隔 授業(同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	2因子の関係を見る	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
7-8	11/19	08:50-12:00	情報検索室 遠隔 授業(同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	2因子の分散分析	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
9-10	11/26	08:50-12:00	情報検索室 遠隔 授業(同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	相関と回帰	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
11-12	12/3	08:50-12:00	情報検索室 遠隔 授業(同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	多変量解析(Ⅰ)	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
13-14	12/10	08:50-12:00	情報検索室 遠隔 授業(同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	多変量解析(Ⅱ)	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
15	12/17	10:30-12:00	情報検索室 遠隔 授業(同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	ベイズ推定	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導

授業方法

教科書、配付資料をもとに講義および演習を行う。配布資料は事前学習できるように WebClass で公開する。毎回、前回の講義内容を範囲として小テストを行う。演習の予習復習を目的に課題提出を求める。

授業内容

①EBM

演習の目的
医学的根拠
根拠に基づく医療(EBM)
演習～データの集計、平均値の比較

②フェアな比較

実験デザイン
パラメトリック検定の補足
演習～度数分布の比較

③二因子の関係を見る

演習～対応のある二群のデータの比較
演習～独立性の検定

④2因子の分散分析

演習～分散分析
因果関係と研究法

⑤相関と回帰

演習～相関解析、単回帰分析
演習～重回帰分析

⑥多変量解析(Ⅰ)

最尤法
演習～数値解析
最適モデルの選択
演習～ポアソン回帰

⑦多変量解析(Ⅱ)

演習～ロジスティック回帰
演習～生存曲線、Cox 回帰

⑧ベイズ推定

適中率とベイズ定理
統計のまとめ

成績評価の方法

小テストの成績と学期末試験(総合演習)の成績により総合的に評価する。学期末試験は情報検索室においておこない、記述訂正問題、記述問題、演習課題により構成される。
成績評価の基準 学期末試験(総合演習)の成績(80%)に小テスト(20%)を加えて総合成績(100点満点)として科目の評価とする。総合成績が60点以上のものを合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 ①配布資料は WebClass よりダウンロードしておくこと。 ②講義前に、配布資料と教科書の関連範囲に目を通しておくこと(教科書との対応は授業明細の備考欄を参照)。 ③統計検定の方法や手順については事前に確認しておくこと。 ④前回までの演習内容を理解していることを前提にして次の演習を行うので、よく復習してから参加すること。
試験の受験資格 講義中に行う小テストおよびアンケート形式の質疑応答へ参加により出席確認とする。2/3以上の出席および全演習課題の提出をもって受験資格とする。
教科書 入門統計学：検定から多変量解析・実験計画法まで／栗原伸一 著、：オーム社、2011
参考書 統計学図鑑／栗原伸一、丸山敦史 共著、：オーム社、2017 医療情報 医療情報システム編／日本医療情報学会医療情報技師育成部会／編集、：篠原出版新社、2013 バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論／市原清志 著、：南江堂、1990 医学統計データを読む：医学・医療に必要な統計学活用法／ベス・ドーソン、ロバート・G.トラップ 著、澤智博、森田茂穂 監訳、：メディカル・サイエンス・インターナショナル、2006
他科目との関連 医学情報処理演習(Ⅰ)と合わせて、臨床検査や研究に必要な統計検定の方法を一通りカバーする。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 ①表計算ソフトはマイクロソフト社の Excel2016 を使用する。 ②演習中に作成したファイルを保存するためのUSBメモリを各自用意する(1GB 程度、医用システム情報学実習(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅱ)でも使用する)。 ③すでに別の統計学の教科書を持っている場合は、教科書を購入する必要はない。 ④日数が少ないので出席回数に注意すること。 ⑤能動的な講義への参加、講義時間を無駄に過ごさないことを希望する。講義資料は事前に WebClass で閲覧できるようにしてあるので予習すること。講義中ないし講義後の質問を歓迎する。受講に際しては画面の小さなスマホ等の使用を避けること。前回の講義の範囲で小テストを実施するので、必ず復習しておくこと。著作権の問題があるので Zoom 講義の撮影と講義資料の受講者以外への公開を禁ずる。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 昨年度のアンケートより改善点を探して確認します。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤 南:毎週月曜日 PM.1:00-PM.5:00 3号棟16階 生体機能支援システム学・教授室または研究室 事前にメール等で連絡してもらえば随時対応します。

時間割番号	013058A						
科目名	臨床病態学(Ⅱ)				科目ID	MT-431300-L	
担当教員	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂[KAKINUMA SEI, SUMI YUKI, AKAZA MIHO]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Clinical Medicine(Ⅱ)							
【科目責任者】柿沼 晴							
主な講義場所							
2021 年度は全てオンライン授業で行う。							
授業の目的、概要等							
今までに学んだ臨床検査をどのように臨床に用いるのか、疾患の病因・病態の理解と共に臨床医学の観点から学ぶことを目的とする。							
授業の到達目標							
各臓器別に、どのような疾患・病態において臨床検査の異常が見られるのか理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/27	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	臨床病態Ⅱ(1)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclass の連絡を確認すること。
2	9/27	14:40-16:10	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態Ⅱ(2)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclass の連絡を確認すること。
3	10/4	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	臨床病態Ⅱ(3)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclass の連絡を確認すること。
4	10/4	14:40-16:10	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態Ⅱ(4)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclass の連絡を確認すること。
5	10/1 8	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態Ⅱ(5)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclass の連絡を確認すること。
6	10/2 5	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態Ⅱ(6)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclass の連絡を確認すること。
7	11/1	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態Ⅱ(7)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclass の連絡を確認すること。
8	11/8	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態Ⅱ(8)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclass の連絡を確認すること。
9	11/8	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態Ⅱ(9)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclass の連絡を確認すること。
10	11/1 5	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態Ⅱ(10)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclass の連絡を確認すること。
11	11/1 5	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態Ⅱ(11)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclass の連絡を確認すること。

12	11/2 9	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	臨床病態Ⅱ(12)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴 角 勇樹 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclassの連絡を確認すること。
13	12/6	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態Ⅱ(13)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴 角 勇樹 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclassの連絡を確認すること。
14	12/1 3	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態Ⅱ(14)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴 角 勇樹 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclassの連絡を確認すること。
15	12/2 0	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態Ⅱ(15)	臨床病態Ⅱ	柿沼 晴 角 勇樹 赤座 実穂	同期・非同期は講師により異なり、変更されることがあるので、webclassの連絡を確認すること。

授業方法

各領域の専門診療科より講師を招き、オムニバス形式で各々の臨床病態学概論について講義を行う。担当講師と講義形式に関しては、別途連絡(WebclassとZoomを併用)するので、教務・webclassでの連絡を確認すること。

授業内容

講義のみで実習は行わない。

講義内容は各診療科専門領域概論である。

講義によって、WebclassとZoomを併用して実施する。

時間割については、別途教務・webclassにおける連絡の通りとするので、確認すること。

成績評価の方法

筆記試験により成績評価を行う。

成績評価の基準

単位判定はモジュール全体で行う。

筆記試験における評点により評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

臨床病態学(Ⅰ)で講義があった科目内容については復習しておくこと。

今までに学んだ検査項目について、それが異常値を示す主な疾患について復習しておくこと。

試験の受験資格

本学規定の出席基準に満たない場合は試験の受験資格を欠く。

モジュールの単位判定

臨床病態学(Ⅱ)モジュール全体で単位判定を行う。

参考書

臨床医学総論/臨床検査医学総論/奈良信雄, 高木康, 和田隆志 編集, 医歯薬出版, 2015

ハリソン内科学 第5版 Vol2/デニスLカスパー ほか 編, 福井次矢, 黒川清 日本語版監, デニスLカスパー, フクツグヤ, クロカワキヨシ, : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2017-03-16

はじめの一歩の病態・疾患学: 病態生理から治療までわかる/林洋編, 林, 洋, : 羊土社, 2018

連絡先(メールアドレス)

柿沼 晴: skakinuma.gast@tmd.ac.jp

オフィスアワー

柿沼 晴: 毎週 火曜または金曜日 9:00-17:00 3号館16階 疾患生理機能解析学分野教授室
(基本的に、来室前にメールで予約することが望ましい)

時間割番号	013060A					
科目名	臨地実習			科目ID	MT-471400-E	
担当教員	齋藤 良一, 太田 悠介[SAITO RYOICHI, OOTA Yuusuke]					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	7	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Clinical Practice						
【科目責任者】齋藤 良一						
授業の目的、概要等						
今まで学んできた知識や技術が実践現場でどのように生かせるのか、あるいは生かさなければならないのかを、実習を通じて理解する。各臨床検査部門を小グループに分けてローテートし、実際に検査の現場である医学部附属病院検査部、病理部、輸血部等で実習や見学を行う。						
授業の到達目標						
臨床検査技師として必要な基本的実践技術を習得するとともに、検査機器の取扱法、精度管理法、検査情報管理法など、検査室の運営に関する必要な知識を習得する。また、臨床検査の現場を体験することによって、医療における検査室の重要性を理解し、合わせて患者への対応の仕方を学び、医療チームの一員としての自覚と責任感を養う。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
2	9/28	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
3	9/28	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
4	9/28	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
5	9/28	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
6	9/29	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
7	9/29	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
8	9/29	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
9	9/29	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
10	9/29	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
11	9/30	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
12	9/30	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
13	9/30	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
14	9/30	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
15	9/30	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
16	10/5	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
17	10/5	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
18	10/5	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
19	10/5	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
20	10/5	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
21	10/6	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
22	10/6	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
23	10/6	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
24	10/6	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
25	10/6	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
26	10/7	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
27	10/7	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
28	10/7	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
29	10/7	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
30	10/7	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一

127	11/24	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
128	11/24	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
129	11/24	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
130	11/24	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
131	11/25	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
132	11/25	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
133	11/25	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
134	11/25	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
135	11/25	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
136	11/30	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
137	11/30	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
138	11/30	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
139	11/30	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
140	11/30	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
141	12/1	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
142	12/1	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
143	12/1	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
144	12/1	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
145	12/1	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
146	12/2	08:50-10:20		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
147	12/2	10:30-12:00		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
148	12/2	13:00-14:30		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
149	12/2	14:40-16:10		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一
150	12/2	16:20-17:50		臨地実習	臨地実習手帳参照	太田 悠介, 齋藤 良一

授業方法

小グループによるクルブス、実習、検査見学

授業内容

- 1) 病原体検査学（医学部附属病院検査部）
- 2) 免疫検査学（医学部附属病院検査部、輸血・細胞治療センター）
- 3) 血液検査学（医学部附属病院検査部）
- 4) 分析化学検査学（医学部附属病院検査部）
- 5) 生理検査学（医学部附属病院検査部）
- 6) 病理検査学（医学部附属病院病理部）
- 7) 学内・学外関連施設におけるチーム医療実習（3～4人の少人数グループに分けて、病院内外の保健、医療、福祉の現場で実習を行い、チーム医療における臨床検査技術のさまざまな役割を学ぶ。）

成績評価の方法

臨地実習指導者の評価を参考に、各教科目の担当教員が評価を行い、その評価を総合的に判定する。

準備学習等についての具体的な指示

講義で習った基本的事項について復習した上で実習に臨むこと。

臨地実習書に具体的なスケジュールが記載されている。

教科書

各教科目の担当教員が指示する。

参考書

臨地実習ガイドライン 2013 - 日本臨床衛生検査技師会

www.jamt.or.jp/data/asset/docs/臨地実習ガイドライン%202013.pdf

他科目との関連

これまでに履修した知識が、現場でどのように活用されているかを学ぶ。

履修上の注意事項

病院内は公の場であるから、身だしなみや態度に十分気をつけること。私語は慎むこと。遅刻は厳禁。

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先(メールアドレス)

齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp

太田 悠介 y-ota.micr@tmd.ac.jp

オフィスアワー

齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること)

太田 悠介 随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	013061A				
科目名	卒業研究Ⅰ			科目ID	MT-463100-S
担当教員	星 治[HOSHI OSAMU]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名: Undergraduate Research					
【科目責任者】星 治					
授業の目的、概要等					
指導教員と相談の上、それぞれテーマに沿って研究を行い、その結果を4年生時に、卒業論文として提出するとともに、卒業研究発表会において口頭発表する準備を行う。					
授業の到達目標					
臨床検査および関連分野の研究にふれることによって、論文の読み方、実験の進め方、研究結果のまとめ方、口頭発表の方法等の基本を学ぶ。さらに一連の過程を通して、科学的思考法を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容
1-2	11/26	14:40-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
3-4	11/29	08:50-12:00		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
5-6	11/29	14:40-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
7	12/3	14:40-16:10		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
8-9	12/6	08:50-12:00		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
10-11	12/6	14:40-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
12	12/6	14:40-16:10		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
13	12/6	16:20-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
14-15	12/7	08:50-12:00		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
16-18	12/8	08:50-14:30		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
19-23	12/9	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
24-25	12/10	14:40-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
26	12/13	16:20-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
27-31	12/14	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
32-34	12/15	08:50-14:30		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
35-39	12/16	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
40	12/17	08:50-10:20		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
41	12/17	16:20-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
42-45	12/21	08:50-16:10		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
46-48	12/22	08:50-14:30		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
49-53	12/23	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
54-56	12/24	08:50-14:30		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
57-61	1/4	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
62-64	1/5	08:50-14:30		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
65-69	1/6	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
70-74	1/11	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
75	1/12	08:50-10:20		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
76-77	1/12	10:30-14:30		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
78-82	1/13	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ
83-87	1/14	08:50-17:50		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ

授業内容 研究内容と指導法は指導教員に一任する。 1) 研究テーマの選択 研究指導者名, 受け入れ人数, テーマ等の一覧を学生に提示し, 学生の希望を尊重しつつ指導教員を決定する。 2) 研究期間は4年の前期までとする。 3) 卒業研究論文の提出と研究発表 卒業論文はA4用紙の両面を用い, 図表を含めて3枚以内。文献はおおむね10編以内。表紙は無し。用語は日本語を用い, 文字は全て印字をすることとし, 文字, 図, 表ともそのまま製本できる状態であること。 論文形式で, 要旨, はじめに, 方法, 結果, 考察, 文献の順で記載すること。
成績評価の方法 成績評価方法 直接指導する教員が評価する。
準備学習等についての具体的な指示 本学の倫理研修を必ず受講し, 修了していること。
参考書 研究指導教員に指定された書籍・論文を参考にする。
他科目との関連 3年生までに履修した様々な科目と, また大学院進学後の様々な科目とも関連がある。
履修上の注意事項 所属する研究室のきまりや約束事を必ず守ること。遅刻をしないこと。研究には積極的に参加すること。
備考 卒業研究指導者となることができるのは, 本学生体検査科学専攻の教員および, 保健衛生学科の教育に関わった実績のある教員とする。
連絡先(メールアドレス) 星 治 o-hoshi.aps@tmd.ac.jp
オフィスアワー 星 治 オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	013083						
科目名	Global Communication(Ⅱ)				科目ID	MT-312200-L	
担当教員	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS[SAWABE MOTOJI, JANELLE RENEE MOROSS]						
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
遠隔授業(同期型)、Zoom ID/Passcode は WebClass 参照							
授業の目的、概要等							
授業のスタイルは小グループで、最近の保健関連のトピック・課題について討論する形式とする。英語のネイティブスピーカーが討議を進める。							
授業の到達目標							
到達目標は海外留学に興味のある学生に国際的保健トピック・課題についての知識を増し、トピックに関する自分の意見を持ち、英語で包括的にそれを表現するのを助けることとする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Introduction to class and how to state your opinion and disagree politely (WebClass に資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	
2	4/14	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	The role of a Medical Technologist (WebClass に資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(小テストは WebClass で行う)
3	4/21	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Lab and Diagnostic Errors (WebClass に資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(小テストは WebClass で行う)
4	5/12	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Virus (WebClass に資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(小テストは WebClass で行う)
5	5/19	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	PCR testing (WebClass に資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(小テストは WebClass で行う)
6	5/26	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Bacteria (WebClass に資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(小テストは WebClass で行う)
7	6/2	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	HAIs (WebClass に資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(小テストは WebClass で行う)
8	6/9	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Antibiotic resistance (WebClass に資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH, WARREN ASHLEY ROBERT	(小テストは WebClass で行う)
9	6/16	14:40-16:10	遠隔授業	Metabolic Syndrome	発表: グループ1	JANELLE RENEE MOR	(小テストは

			(同期型)			OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	WebClass で 行う)
10	6/16	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Metabolic Syndrome (WebClass に資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	
11	6/23	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	COPD	発表:グループ 2	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	(小テストは WebClass で 行う)
12	6/23	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	COPD (WebClass に資料が ある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	
13	6/30	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	口頭試問と作文	口頭試問と作文	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	口頭試問と作 文
14	6/30	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	口頭試問と作文	口頭試問と作文	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	口頭試問と作 文
15	7/21	14:40-16:10		TOEFL			
16	7/21	16:20-17:50		TOEFL			
17	9/24	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Thyroid function (WebClass に資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	(小テストは WebClass で 行う)
18	10/1	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Pulmonary function	発表:グループ 3	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	(小テストは WebClass で 行う)
19	10/1	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Pulmonary function (WebClass に資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	
20	10/8	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	GI function	発表:グループ 4	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	(小テストは WebClass で 行う)
21	10/8	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	GI function (WebClass に資 料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	
22	10/22	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Pancreas (WebClass に資 料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	(小テストは WebClass で 行う)

23	10/29	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	Pancreas	発表:グループ 5	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	
24	11/12	14:00-15:30	遠隔授業 (同期型)	Renal function	発表:グループ 6	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	(小テストは WebClass で 行う)
25	11/12	15:40-17:10	遠隔授業 (同期型)	Renal function (WebClass に 資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	
26	11/19	14:00-15:30	遠隔授業 (同期型)	Liver function	発表:グループ 7	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	(小テストは WebClass で 行う)
27	11/19	15:40-17:10	遠隔授業 (同期型)	Liver function (WebClass に 資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	
28	11/26	14:00-15:30	遠隔授業 (同期型)	Genitourinary (WebClass に 資料がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	(小テストは WebClass で 行う)
29	12/3	14:00-15:30	遠隔授業 (同期型)	Genitourinary	発表:グループ 8	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	
30	12/10	14:00-15:30	遠隔授業 (同期型)	Parasites (WebClass に資料 がある)	グループ討論、 ロールプレイ、 個人の予習	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	(小テストは WebClass で 行う)
31	12/17	14:00-15:30	遠隔授業 (同期型)	Parasites	発表:グループ 9	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	
32	12/17	15:40-17:10	遠隔授業 (同期型)	口頭試問と作文	口頭試問と作文	JANELLE RENEE MOR OSS, WARREN L ELIZA BETH, WARREN ASHLE Y ROBERT	口頭試問と作 文

授業方法

全ての学習活動は英語で行われる

1. 生物倫理、臨床統計学に関する専門的医学知識の獲得に関する小グループ討論
2. 一般的な医学英語ボキャブラリー、語句、発音を教授する。前の週に行ったボキャブラリークイズを行う
3. 毎週の作文課題により作文技術の向上の機会を与える
4. オンライン調査とプレゼンテーションスキルを向上させる機会。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法 成績は出席、宿題および授業活動への積極的参加を元に評価する。
成績評価の基準 出席 5%、 小テスト、宿題作文、オラル期末試験 30%、 授業への積極的参加 50%、 TOEFL/ITP の結果 15%
準備学習等についての具体的な指示 宿題は常に授業前に行うこと、課題は WebClass から入手すること
試験の受験資格 口頭試問と作文、前期と後期の最後のレッスンに行います。
教科書 この科目では教科書を用いない。教員は文章、語句練習、包括的質問を WebClass に準備してある。
備考 授業最終日から、科目についてのアンケートが webclass でできるようになっている。アンケートに回答しない場合は、定期試験の合否を含む成績が webclass に表示されない。 昨年のアンケート結果に基づいて、グループとペアの練習パートナーはズームによって自動化され、毎週変更されます。
連絡先(メールアドレス) 沢辺 元司 m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370 JANELLE RENEE MOROSS jmoross.isc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 沢辺 元司 オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること 湯島キャンパス 3号館 16 階 JANELLE RENEE MOROSS: 毎週金曜日 PM 12:00-14:00 1号館-4 階 教授室

第 4 学年

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第4学年)

(前期) ※卒業研究の時間帯に選択科目及び自由科目を受講してもよい。

3/29	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月															
	30	火														
	31	水														
4/1	木	卒業研究														各研究室
2	金															

4/5	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
	月	卒業研究														各研究室	
	6	火	卒業研究										各研究室				
	7	水	医学情報処理演習Ⅱ(1)	同期型(zoom)		医学情報処理演習Ⅱ(2)	同期型(zoom)		卒業研究		各研究室	総合講義(1)	同期型(zoom)		卒業研究		各研究室
	8	木	卒業研究														各研究室
9	金	公衆衛生学実習(1) 恵田	登校(面接授業)	7F実習室 講義室 4,5	公衆衛生学実習(2) 恵田	登校(面接授業)	7F実習室 講義室 4,5	公衆衛生学実習(3) 恵田	登校(面接授業)	7F実習室 講義室 4,5	公衆衛生学実習(4) 恵田	登校(面接授業)	7F実習室 講義室 4,5	卒業研究		各研究室	

4/12	③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	卒業研究		各研究室	臨床病態学Ⅱ(1)	同期型(zoom)		卒業研究							各研究室	
	13	火	卒業研究		各研究室	総合講義(2)	同期型(zoom)		卒業研究							各研究室
	14	水	医学情報処理演習Ⅱ(3)	同期型(zoom)		医学情報処理演習Ⅱ(4)	同期型(zoom)		卒業研究	各研究室	公衆衛生学講義(1)	同期型(zoom)		公衆衛生学講義(2)	同期型(zoom)	
	15	木	卒業研究												各研究室	
	16	金	卒業研究	各研究室	公衆衛生学実習(5) 白岡	登校(面接授業)	7F実習室 講義室 4,5	公衆衛生学実習(6) 白岡	登校(面接授業)	7F実習室 講義室 4,5	公衆衛生学実習(7) 白岡	登校(面接授業)	7F実習室 講義室 4,5	公衆衛生学実習(8) 白岡	登校(面接授業)	7F実習室 講義室 4,5

4/16(金)18時～(zoom)

[自]短期海外研修Dオリエンテーション(自由参加)

4/19	④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]心電図判読(1)	同期型(zoom)		臨床病態学Ⅱ(2)	同期型(zoom)		卒業研究						各研究室		
	卒業研究		各研究室													
	20	火	卒業研究												各研究室	
	21	水	医学情報処理演習Ⅱ(5)	同期型(zoom)		医学情報処理演習Ⅱ(6)	同期型(zoom)		卒業研究				[選]遺伝学(1)	同期型(zoom)		
												卒業研究	各研究室			
22	木	卒業研究												各研究室		
23	金	卒業研究							各研究室	公衆衛生学実習(9) 白岡	同期型(zoom)		公衆衛生学実習(10) 白岡	同期型(zoom)		

4/26	⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]心電図判読(2)	同期型(zoom)		臨床病態学Ⅱ(3)	非同期型(webclass)		卒業研究				各研究室	[選]English for Health Care Sciences I(1)	同期型(zoom)		
	卒業研究		各研究室	卒業研究				各研究室								
	27	火	卒業研究		各研究室	総合講義(3)	同期型(zoom)		卒業研究							各研究室
	28	水	公衆衛生学講義(3)	同期型(zoom)		公衆衛生学講義(4)	同期型(zoom)		卒業研究	各研究室	公衆衛生学講義(5)	同期型(zoom)		公衆衛生学講義(6)	同期型(zoom)	
29	木	昭和の日														
30	金	卒業研究							各研究室	公衆衛生学実習(11)	同期型(zoom)		公衆衛生学実習(12)	同期型(zoom)		

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第4学年)

	⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室		
5/3	月	憲法記念日																
	4	火	みどりの日															
	5	水	こどもの日															
6	木	卒業研究													各研究室			
7	金	卒業研究								各研究室	公衆衛生学実習(13)		同期型 (zoom)		公衆衛生学実習(14)		同期型 (zoom)	

	⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
5/10	月	[選]心電図判読(3)	同期型 (zoom)		卒業研究										各研究室		
		卒業研究		各研究室													
11	火	卒業研究													各研究室		
12	水	医学情報処理演習Ⅱ(7)	同期型 (zoom)		医学情報処理演習Ⅱ(8)	同期型 (zoom)		卒業研究	各研究室	公衆衛生学講義(7)	同期型 (zoom)		公衆衛生学講義(8)	同期型 (zoom)			
13	木	卒業研究													各研究室		
14	金	[選]分子生物学(1)	同期型 (zoom)	3	卒業研究				各研究室	公衆衛生学実習(15)		同期型 (zoom)		公衆衛生学実習(16)		同期型 (zoom)	
		卒業研究		各研究室													

	⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
5/17	月	[選]心電図判読(4)	同期型 (zoom)		総合講義(4)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(4)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(5)	非同期型 (webclass)		[選]English for Health Care Sciences I(2)	同期型 (zoom)		
	卒業研究	各研究室		卒業研究										各研究室			
18	火	卒業研究													各研究室		
19	水	医学情報処理演習Ⅱ(9)	同期型 (zoom)		医学情報処理演習Ⅱ(10)	同期型 (zoom)		卒業研究						[選]遺伝学(2)	同期型 (zoom)		
		卒業研究		各研究室								卒業研究		各研究室			
20	木	卒業研究													各研究室		
21	金	[選]分子生物学(2)	同期型 (zoom)		卒業研究				各研究室	公衆衛生学実習(17)		同期型 (zoom)		公衆衛生学実習(18)		同期型 (zoom)	
		卒業研究		各研究室													

	⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
5/24	月	[選]心電図判読(5)	同期型 (zoom)		卒業研究				各研究室	臨床病態学Ⅱ(6)	非同期型 (webclass)		[選]English for Health Care Sciences I(3)	同期型 (zoom)			
	卒業研究	各研究室							卒業研究				各研究室				
25	火	卒業研究													各研究室		
26	水	医学情報処理演習Ⅱ(11)	同期型 (zoom)		医学情報処理演習Ⅱ(12)	同期型 (zoom)		卒業研究	各研究室	公衆衛生学講義(9)	同期型 (zoom)		公衆衛生学講義(10)	同期型 (zoom)			
27	木	卒業研究													各研究室		
28	金	[選]分子生物学(3)	同期型 (zoom)		卒業研究				各研究室	公衆衛生学実習(19)		同期型 (zoom)		公衆衛生学実習(20)		同期型 (zoom)	
		卒業研究		各研究室													

	⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室							
5/31	月	[選]心電図判読(6)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(7)	非同期型 (webclass)		臨床病態学Ⅱ(8)	同期型 (zoom)		卒業研究	各研究室		[選]English for Health Care Sciences I(4)	同期型 (zoom)								
	卒業研究	各研究室		卒業研究										各研究室									
6/1	火	[選]心電図判読(7)	同期型 (zoom)		卒業研究										各研究室								
		卒業研究		各研究室																			
2	水	医学情報処理演習Ⅱ(13)	同期型 (zoom)		医学情報処理演習Ⅱ(14)	同期型 (zoom)		卒業研究	各研究室	公衆衛生学講義(11)	同期型 (zoom)		公衆衛生学講義(12)	同期型 (zoom)									
3	木	卒業研究													各研究室								
4	金	[選]分子生物学(4)	同期型 (zoom)		卒業研究				各研究室	移動時間				公衆衛生学実習(21)		登校(面接授業)	4						
		卒業研究		各研究室																			

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第4学年)

6/7	⑪	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室			
	月	[選]遺伝学(3)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(9)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(10)	非同期型 (webclass)		卒業研究	各研究室	[選]English for Health Care Sciences I(5)	同期型 (zoom)					
		卒業研究	各研究室																
8	火	卒業研究													各研究室				
9	水	医学情報処理演習Ⅱ(15)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(11)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(12)	非同期型 (webclass)		卒業研究				各研究室				
10	木	卒業研究													各研究室				
11	金	[選]分子生物学(5)	同期型 (zoom)		移動時間			公衆衛生学実習(22)		同期型 (zoom)		公衆衛生学実習(23)		同期型 (zoom)		公衆衛生学実習(24)		同期型 (zoom)	
		卒業研究	各研究室																

6/14	⑫	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
	月	[選]心電図判読(8)	同期型 (zoom)		臨床病態学Ⅱ(13)	同期型 (zoom)		卒 業 研 究				各研究室	[選]English for Health Care Sciences I (6)	同期型 (zoom)			
		卒業研究	各研究室										卒業研究	各研究室			
	15	火	卒 業 研 究													各研究室	
	16	水	[選]遺伝学(4)	同期型 (zoom)		卒業研究				各研究室	公衆衛生学講義(13)	同期型 (zoom)		卒業研究	各研究室		
	卒業研究	各研究室															
17	木	卒 業 研 究													各研究室		
18	金	[選]分子生物学(6)	同期型 (zoom)		卒 業 研 究										各研究室		
		卒業研究	各研究室														

	⑬	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
6/21	月	総合講義(5)			臨床病態学Ⅱ (14)	非同期型 (webclass)		[選]遺伝学 (5)	非同期型 (webclass)		[選]遺伝学 (6)	同期型 (zoom)		[選]English for Health Care Sciences I (7)	同期型 (zoom)		
								卒業研究		各研究室		卒業研究		各研究室		卒業研究	
22	火	卒業研究														各研究室	
23	水	卒業研究				各研究室		公衆衛生学講義(14)	同期型 (zoom)		公衆衛生学講義(15)	同期型 (zoom)		公衆衛生学講義(16)	同期型 (zoom)		
24	木	卒業研究														各研究室	
25	金	[選]分子生物学(7)	同期型 (zoom)		卒業研究											各研究室	
		卒業研究		各研究室													

6/28	⑭	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	臨床病態学Ⅱ (15)	非同期型 (webclass)		[選]遺伝学(7)	同期型 (zoom)		[選]遺伝学(8)	同期型 (zoom)		卒業研究				各研究室	
					卒業研究	各研究室		卒業研究	各研究室							
29	火	総合講義 (6～10):包括医療統合教育(チーム医療入門)														
30	水	総合講義 (11～15):包括医療統合教育(チーム医療入門)														
7/1	木	総合講義(16～20)国試模試7月分													登校(面接 授業)	2
2	金	[選]分子生物学(8)	同期型 (zoom)		卒業研究										各研究室	
		卒業研究	各研究室													

	⑮	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/5	月	卒業研究												[選]English for Health Care Sciences I (8)	同期型 (zoom)	
														卒業研究		各研究室
6	火	卒業研究												各研究室		
7	水															
8	木															
9	金															

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第4学年)

	①															
7/12	月	前期定期試験														
13	火	前期定期試験														
14	水	前期定期試験														
15	木	前期定期試験														
16	金	前期定期試験														
	②	8:50～10:20		講義室	10:30～12:00		講義室	13:00～14:30		講義室	14:40～16:10		講義室	16:20～17:50		講義室
7/19	月	前期定期試験														
20	火	前期定期試験														
21	水	前期定期試験														
22	木	海の日														
23	金	スポーツの日														
夏季休業 7/26(月)～																
		8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/26	月	前期定期試験														
27	火															
28	水															
29	木	オープンキャンパス(予定)														
30	金															
(後期)																
	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/6	月	卒業研究発表会 準備 保健衛生学講義室1(3号館18階)														
7	火	卒業研究発表会 保健衛生学講義室1(3号館18階)														
8	水															
9	木															
10	金															
	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/13	月															
14	火															
15	水															
16	木	総合講義(21～25) 国試模試9月分												登校(面接授業)	1,2	
17	金							総合講義(26)			総合講義(27)			総合講義(28)		
	③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/20	月	敬老の日														
21	火															
22	水															
23	木	秋分の日														
24	金							医療概論・関係法規(1)	同期型(zoom)							

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第4学年)

9/27	④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
	月	[選]アドバンスド生理解能検査学(1)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(1)	同期型 (zoom)											
	28	火															
	29	水															
	30	木												(選)AI 実践演習(1)	同期型 (zoom)		
10/1	金	[選]電子顕微鏡学(1)	同期型 (zoom)		[選]電子顕微鏡学(2)	同期型 (zoom)		総合講義(29)			総合講義(30)			総合講義(31)			
10/4	⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
	月	[選]アドバンスド生理解能検査学(2)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(2)	同期型 (zoom)		総合講義(32)									
	5	火															
	6	水															
	7	木												(選)AI 実践演習(2)	同期型 (zoom)		
8	金	[選]電子顕微鏡学(3)	同期型 (zoom)		[選]電子顕微鏡学(4)	同期型 (zoom)		医療概論・関係法規(2)	同期型 (zoom)								
10/11	⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
	月																
	12	火	創立記念行事														
	13	水												海外研修報告会			
	14	木															
15	金							医療概論・関係法規(3)	同期型 (zoom)								
10/18	⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
	月	[選]アドバンスド生理解能検査学(3)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(3)	同期型 (zoom)		総合講義(33)			総合講義(34)			総合講義(35)			
	19	火															
	20	水															
	21	木												(選)AI 実践演習(3)	同期型 (zoom)		
22	金	[選]電子顕微鏡学(5)	同期型 (zoom)		[選]電子顕微鏡学(6)	同期型 (zoom)		医療概論・関係法規(4)	同期型 (zoom)								
10/25	⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
	月	[選]アドバンスド生理解能検査学(4)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(4)	非同期型 (webclass)		総合講義(36)			総合講義(37)			総合講義(38)			
	26	火															
	27	水															
	28	木															
29	金	[選]電子顕微鏡学(7)	同期型 (zoom)		[選]電子顕微鏡学(8)	同期型 (zoom)		医療概論・関係法規(5)	同期型 (zoom)								
11/1	⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
	月	[選]アドバンスド生理解能検査学(5)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(5)	同期型 (zoom)		総合講義(39)			総合講義(40)			総合講義(41)			
	2	火															
	3	水	文化の日														
	4	木												(選)AI 実践演習(4)	同期型 (zoom)		
5	金							医療概論・関係法規(6)	同期型 (zoom)								
11/8	⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室	
	月							総合講義(42)			総合講義(43)			総合講義(44)			
	9	火															
	10	水															
	11	木												(選)AI 実践演習(5)	同期型 (zoom)		
12	金	総合講義(45～49)国試模試11月分														登校(面接 授業)	1

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第4学年)

11/15	⑪	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月							総合講義(50)			総合講義(51)			総合講義(52)		
	16	火														
	17	水														
	18	木														
19	金							医療概論・関係法規(7)	同期型 (zoom)							
11/22	⑫	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	総合講義(53)(Ⅰ)			総合講義(54)(Ⅰ)											
	23	火	勤労感謝の日													
	24	水														
	25	木												(選)AI 実践演習(6)	同期型 (zoom)	
	26	金						医療概論・関係法規(8)	同期型 (zoom)							
11/29	⑬	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]アドバンスド医療機能検査学(6)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(6)	同期型 (zoom)										
	30	火														
	12/1	水						総合講義(55)(Ⅱ)試験	登校(面接 授業)	4	総合講義(56)(Ⅱ)試験	登校(面接 授業)	4			
	2	木														
3	金							医療概論・関係法規(9)	同期型 (zoom)							
12/6	⑭	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月															
	7	火														
	8	水						総合講義(57)(Ⅱ)試験	登校(面接 授業)	4	総合講義(58)(Ⅱ)試験	登校(面接 授業)	4			
	9	木												(選)AI 実践演習(7)	同期型 (zoom)	
10	金							医療概論・関係法規(10)	同期型 (zoom)							
12/13	⑮	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]アドバンスド医療機能検査学(7)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(7)	同期型 (zoom)										
	14	火														
	15	水														
	16	木												(選)AI 実践演習(8)	同期型 (zoom)	
17	金															
12/20	⑯	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月	[選]アドバンスド医療機能検査学(8)	同期型 (zoom)		[選]心臓生理学(8)	同期型 (zoom)										
	21	火														
	22	水														
	23	木														
24	金															
冬季休業 12/27(月)～																
1/3	⑰	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
	月															
	4	火														
	5	水						総合講義(再試)	登校(面接 授業)	4	総合講義(再試)	登校(面接 授業)	4			
	6	木														
7	金	総合講義(59～63)国試模試(合同)1月分													登校(面接 授業)	1

2021年度専門科目時間割(検査技術学専攻:第4学年)

	①														
1/10	月	成人の日													
11	火	後期定期試験													
12	水	後期定期試験													
13	木	後期定期試験													
14	金	後期定期試験													

	②														
1/17	月	補講・再試													
18	火	補講・再試													
19	水	補講・再試													
20	木	補講・再試													
21	金	補講・再試													

	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/24	月															
25	火															
26	水															
27	木															
28	金	総合講義(64～68)国試模試2月分													登校(面接授業)	1

春季休業 1/31(月)～

卒業式 3/25(金)

時間割番号	013057						
科目名	医学情報処理演習(Ⅱ)			科目ID	MT-451200-S		
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Principles and Practice of Medical Information Processing(Ⅱ)							
【科目責任者】伊藤南							
主な講義場所							
Zoom による同期授業を実施する。							
授業の目的、概要等							
臨床検査や科学研究において大量のデータを取り扱う機会が増えている。大量のデータを効率的に処理するだけでなく、統計学的な考え方に沿ってデータの意味するところを正しく理解することが求められている。本演習では、根拠に基づく医療(EBM)の考え方や実践法を学び、それを支える医療データベース、文献データベースの利用方法を修得する。生物統計学の基本的な考え方を学ぶ。表計算ソフト(エクセル)を利用して、データの関連性や因果関係を解析する方法を学ぶ。医療データの解析に欠かせない、ロジスティック曲線や生存曲線の解析について学ぶ。今後ますます必要性が高まるとされる、多変量解析やベイズ統計の基本的な考え方を学ぶ。							
授業の到達目標							
下記の項目について理解し説明できる、適切に利用できる。							
①根拠に基づく医療(EBM)							
医学的根拠についての3つの立場、コクランの考え方、EBM宣言、EBMの実践方法							
②フェアな比較							
フィッシャーの3原則、乱塊法、因子、水準、順序効果、交絡							
信頼区間、点推定と区間推定、標本数の決め方、比率の検定							
③二因子の関係をみる							
McNemar 検定、1標本t検定、Wilcoxon の符号付き順位和検定							
フィッシャーの正確確率検定、カイ二乗適合度検定							
④二因子の分散分析							
繰り返しのある2元配置分散分析							
分散分析のデザイン							
因果関係、症例対照研究、横断研究、コホート研究、無作為化比較試験							
⑤相関と回帰							
相関と回帰、ピアソンの相関係数、標準化偏回帰係数、自由度調整済み決定係数							
多重共線性、オーバーフィッティング、ダミー変数							
相関解析、重回帰分析							
⑥多変量解析(Ⅰ)							
最尤法、最適モデルの選択の考え方							
ソルバーによる数値解析							
ポアソン回帰							
⑦多変量解析(Ⅱ)							
ロジスティック回帰、傾向スコアマッチング							
生存曲線、生存率、打ち切り観察、Kaplan-Meier 積極限法、危険率関数							
ログランク統計量、比例ハザードモデル							
EZRIによる生存曲線の計算							
⑧ベイズ推定							
ベイズの定理、ベイズ更新、ベイズ推定							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/7	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	EBM	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導

3-4	4/14	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	フェアな比較	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
5-6	4/21	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	二因子の関係をみる	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
7-8	5/12	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	二因子の分散分析	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
9-10	5/19	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	相関と回帰分析	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
11-12	5/26	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	多変量解析(Ⅰ)	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
13-14	6/2	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	多変量解析(Ⅱ)	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導
15	6/9	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	医学情報処理演習(Ⅱ)	ベイズ推定	伊藤 南	配布資料の事前公開、小テスト、メールによる添削指導

授業方法

教科書、配付資料をもとに講義および演習を行う。配布資料は事前学習できるように WebClass で公開する。毎回、前回の講義内容を範囲として小テストを行う。演習の予習復習を目的に課題提出を求める。

授業内容

①EBM

演習の目的

医学的根拠

根拠に基づく医療(EBM)

演習～データの集計、平均値の比較

②フェアな比較

実験デザイン

パラメトリック検定の補足

演習～度数分布の比較

③二因子の関係をみる

演習～対応のある二群のデータの比較

演習～独立性の検定

④2因子の分散分析

演習～分散分析

因果関係と研究法

⑤相関と回帰

演習～相関解析、単回帰分析

演習～重回帰分析

⑥多変量解析(Ⅰ)

最尤法

演習～数値解析

最適モデルの選択

演習～ポアソン回帰

⑦多変量解析(Ⅱ)

演習～ロジスティック回帰

演習～生存曲線、Cox 回帰

⑧ベイズ推定

適中率とベイズ定理

統計のまとめ

成績評価の方法

小テストの成績と学期末試験(総合演習)の成績により総合的に評価する。学期末試験は情報検索室においておこない、記述訂正問題、記述問題、演習課題により構成される。
成績評価の基準 学期末試験(総合演習)の成績(80%)に小テスト(20%)を加えて総合成績(100点満点)として科目の評価とする。総合成績が60点以上のものを合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 ①配布資料は WebClass よりダウンロードしておくこと。 ②講義前に、配布資料と教科書の関連範囲に目を通しておくこと(教科書との対応は授業明細の備考欄を参照)。 ③統計検定の方法や手順については事前に確認しておくこと。 ④前回までの演習内容を理解していることを前提にして次の演習を行うので、よく復習してから参加すること。
試験の受験資格 講義中に行う小テストおよびアンケート形式の質疑応答へ参加により出席確認とする。2/3以上の出席および全演習課題の提出をもって受験資格とする。
教科書 入門統計学：検定から多変量解析・実験計画法まで／栗原伸一 著、：オーム社、2011
参考書 統計学図鑑／栗原伸一、丸山敦史 共著、：オーム社、2017 医療情報 医療情報システム編／日本医療情報学会医療情報技師育成部会／編集、：篠原出版新社、2013 バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論／市原清志 著、：南江堂、1990 医学統計データを読む：医学・医療に必要な統計学活用法／ベス・ドーソン、ロバート・G.トラップ 著、澤智博、森田茂穂 監訳、：メディカル・サイエンス・インターナショナル、2006
他科目との関連 医学情報処理演習(Ⅰ)と合わせて、臨床検査や研究に必要な統計検定の方法を一通りカバーする。医用工学は臨床検査学の周辺領域を広くカバーし、臨床検査を支えている。検査管理学、医用システム情報学(Ⅰ)(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅰ)(Ⅱ)は、医用工学に関わる一連の講義、演習、実習として構成する。個別の検査機器の取り扱いについては生理検査学講義・実習等の教科を参照すること。
履修上の注意事項 ①表計算ソフトはマイクロソフト社の Excel2016 を使用する。 ②演習中に作成したファイルを保存するためのUSBメモリを各自用意する(1GB 程度、医用システム情報学実習(Ⅱ)、医学情報処理演習(Ⅱ)でも使用する)。 ③すでに別の統計学の教科書を持っている場合は、教科書を購入する必要はない。 ④日数が少ないので出席回数に注意すること。 ⑤能動的な講義への参加、講義時間を無駄に過ごさないことを希望する。講義資料は事前に WebClass で閲覧できるようにしてあるので予習すること。講義中ないし講義後の質問を歓迎する。受講に際しては画面の小さなスマホ等の使用を避けること。前回の講義の範囲で小テストを実施するので、必ず復習しておくこと。著作権の問題があるので Zoom 講義の撮影と講義資料の受講者以外への公開を禁ずる。
備考 科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。 昨年度のアンケートより改善点を探して確認します。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤 南:毎週月曜日 PM.1:00-PM.5:00 3号棟16階 生体機能支援システム学・教授室または研究室 事前にメール等で連絡してもらえば随時対応します。

時間割番号	013019A						
科目名	公衆衛生学講義			科目ID	MT-232100-L		
担当教員	緒方 泰子, 廣山 奈津子[OGATA YASUKO, HIROYAMA NATSUKO]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する 保健師、看護師						
英文名: Pablic Health, Lecture							
【科目責任者】緒方泰子							
【担当教員】緒方泰子、廣山奈津子							
主な講義場所							
・遠隔授業(同期型)							
・対面の場合は、保健衛生学講義室5(3号館7階)ほか							
授業の目的、概要等							
疾病を予防し人々の健康増進に資する科学的な手法を含む、幅広い学問体系より成る公衆衛生学について、基本的な知識・技術を習得する。臨床検査技師として、将来、多職種と連携しながら国民の健康の保持増進に資する活動をしていくために、保健・医療・福祉の制度や動向、人々の健康に影響する環境要因、生活習慣等について理解する。							
授業の到達目標							
公衆衛生学の膨大な領域の中から、将来、医療の一翼を担う臨床監査技師として必要不可欠な知識を効率よく学習でき、自ら課題を課し、それを自己解決できる能力を養う上での基礎知識を習得することを目標とする。							
<授業の到達目標>							
1)健康・予防の概念、衛生統計について理解し説明できる。							
2)母子・成人・高齢者保健について理解し説明できる。							
3)精神保健、産業保健、学校保健について理解し説明できる。							
4)健康教育について理解し説明できる。							
5)社会保障と医療・介護について理解し説明できる。							
6)疫学及び疫学研究、感染症の予防、健康と環境について理解し説明できる。							
7)栄養保健について理解し説明できる。							
8)国際機関の役割、国際協力等について理解し説明できる。							
9)1)～8)の知識を組み合わせ、多職種連携に応用していく態度を身につける。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	公衆衛生概論等	公衆衛生概論、健康の定義、予防の概念など:WHOによる健康の定義、ICFの考え方、一次予防、二次予防、三次予防の考え方	緒方 泰子, 廣山 奈津子 大久保豪先生	リフレクションペーパー等を用いたアクティブラーニングを行う。
2	4/14	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	感染症	日本における感染症対策の仕組み(平時および流行拡大時)、予防接種の仕組み	緒方 泰子, 廣山 奈津子 大久保豪先生	リフレクションペーパー等を用いたアクティブラーニングを行う。
3-4	4/28	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	母子・成人・老人保健	母子・成人・高齢者のライフステージにおける国内の主要な保健統計、健康課題、保健政策、公衆衛生の専門職による活動	緒方 泰子, 廣山 奈津子 霜越多麻美先生	リフレクションペーパー等を用いたアクティブラーニングを行う。
5	4/28	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	疫学1	疫学とは・疫学指標など:疫学的考え方、特に重要な疫学指標(罹患率、有病割合)	緒方 泰子, 廣山 奈津子 大久保豪先生	リフレクションペーパー等を用いたアクティブラーニングを行う。
6	4/28	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	疫学2	疫学研究の種類・バイアス・交絡:観察研究(横断研究、コホート研究、症例対照研究)と介入研究及び情報バイアス、選択バイアス、交絡	緒方 泰子, 廣山 奈津子 大久保豪先生	リフレクションペーパー等を用いたアクティブラーニングを行う。

7	5/12	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	スクリーニ ング	スクリーニングの基本的考え方、スクリー ニングの効果評価方法	緒方 泰子, 廣山 奈津子 大久保豪先生	リフレクションペー ー等を用いたアクティ ブラーニングを行う。
8	5/12	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	医療・介護 制度 1	医療提供体制: 医療施設の法的位置づけ やその種類、医師・看護師の人数や分布、 医療計画	緒方 泰子, 廣山 奈津子 大久保豪先生	リフレクションペー ー等を用いたアクティ ブラーニングを行う。
9-10	5/26	14:40-17:50	遠隔授業 (同期型)	精神保健・ 産業保健	精神保健・産業保健: 精神的健康、ライフサ イクルにおける精神保健、精神保健福祉対 策、薬物依存、職場のストレス・暴力、産業 疲労、トータル・ヘルス・プロモーション	緒方 泰子, 廣山 奈津子 小宮浩美先生	リフレクションペー ー等を用いたアクティ ブラーニングを行う。
11	6/2	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	医療・介護 制度 2	医療保険制度: 公的医療保険制度の理念と 仕組み、その課題	緒方 泰子, 廣山 奈津子 大久保豪先生	リフレクションペー ー等を用いたアクティ ブラーニングを行う。
12	6/2	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	医療・介護 制度 3	介護保険制度: 介護保険制度の理念と仕組 み、その課題(特に医療保険制度との比較 から)	緒方 泰子, 廣山 奈津子 大久保豪先生	リフレクションペー ー等を用いたアクティ ブラーニングを行う。
13	6/16	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	栄養保健	栄養保健: 食品衛生、栄養に関する主要統 計など	緒方 泰子, 廣山 奈津子 吉成知也先生	リフレクションペー ー等を用いたアクティ ブラーニングを行う。
14	6/23	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	国際保健	国際保健: 国際機関の役割とは何か、日本 の公的な国際協力と民間の国際協力	緒方 泰子, 廣山 奈津子 大久保豪先生	リフレクションペー ー等を用いたアクティ ブラーニングを行う。
15	6/23	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	学校保健	学校保健: 学校保健の組織と運営、学校保 健活動、環境管理、安全管理など	緒方 泰子, 廣山 奈津子 関由起子先生	リフレクションペー ー等を用いたアクティ ブラーニングを行う。
16	6/23	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	健康教育	健康教育: 家庭、学校、職場、地域における 健康教育	緒方 泰子, 廣山 奈津子 関由起子先生	リフレクションペー ー等を用いたアクティ ブラーニングを行う。

授業方法

Zoom を用いた同期型授業を行う。講義の他に、グループワーク、リフレクションペーパー等を通してアクティブラーニングを行う。

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1) 出席状況

※出席とは同期型授業等への参加をさす。

2) 課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

※原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。

※授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加度合い。

3) 期末テスト

※授業で学んだ英語を試験に引用することもあるため、よく理解しておく必要がある。

成績評価の基準

1) 出席状況(30%)

2) 課題への取り組み姿勢・授業への参加態度(30%)

3) 期末テスト(40%)

準備学習等についての具体的な指示

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書などで予習をしてもらうことが望ましい。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 3/4 以上出席していること。

参考書

臨床医学総論：臨床医学総論 放射性同位元素検査技術学：医用工学概論 情報科学・医療情報学 公衆衛生学／小山高敏 戸塚実
編集：医学書院，2013

・(財)厚生統計協会：国民衛生の動向，厚生指標臨時増刊，(財)厚生統計協会，東京

他科目との関連

全ての他領域科目と相互に関連する科目であり、さらに法律、工学、心理学、統計学、経済学、人文科学等や行政と密接な関係がある。

履修上の注意事項

内容が多岐にわたるため講義・実習共に欠席するとその部分の再講習は不可能で、欠落箇所の穴埋めは難しい。広い社会常識が求められるので、マスメディアにおける医療問題にはよく注意しておくこと。

備考

※2020 年度は本科目の開講はなし

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館 19 階

廣山 奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

緒方 泰子オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

廣山 奈津子:平日 AM10:00 -PM5:00 3号館 15 階 高齢社会看護システム管理学分野 教員室 3

時間割番号	013020A						
科目名	公衆衛生学実習			科目ID	MT-252200-E		
担当教員	緒方 泰子, 廣山 奈津子[OGATA YASUKO, HIROYAMA NATSUKO]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する 保健師、看護師						
英文名:Public Health, Laboratory							
【科目責任者】緒方 泰子							
主な講義場所							
・遠隔授業(同期型)							
・対面の場合は、保健衛生学講義室5(3号館7階)ほか							
授業の目的、概要等							
少子高齢化や新型コロナウイルスの流行等を背景に、個人レベルでも、行政レベルでも、予防医学のひとつの流れである公衆衛生学の重要性和その手法はますます高まる。今後、臨床検査技師となる受講者が、検査技術学にとどまらず、人々の望ましい生活習慣の獲得・普及に向けて多職種と協働しながらその役割を担っていけるよう、公衆衛生学に関わる基本的な知識や技術を習得する。							
人間を取り巻く環境・社会要因と人間の健康・疾患との関わりを考え、それを健康の維持・増進・疾患の予防・早期発見・早期治療に役立てるために必要な知識・技術を習得する。健康上の諸現象を疫学的に把握し、それが健康の保持増進、疾患予防の上でいかに利用されているかを理解する。国民の健康保持・増進のための制度・組織についての知識を習得する。							
授業の到達目標							
公衆衛生学の膨大な領域の中から、将来医療に携わる学生が必要不可欠な知識を効率よく学習でき、自ら課題を課し、それを自己解決できる能力を養う上での基礎知識を習得することを目標とする。							
<到達目標>							
1)公衆衛生学実習に伴う基本的概念について理解する。							
2)公衆衛生に必要な各種環境測定について理解し、実際に器具を用いて測定できる。							
3)疫学に必要な知識を獲得し、寄与危険度などの適切な計算ができる。							
4)臨床検査技師として求められる公衆衛生学の基礎的知識を獲得する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/9	08:50-12:00	保健衛生学実習室 保健衛生学科講義室 4, 保健衛生学科講義室 5	環境測定	①公衆衛生学実習における基本的概念、実習で求められる学習課題等を理解する。②室内環境測定の原理・特徴について学び、測定機器の使い方を学ぶ。測定機器を用いて、各所の測定を行う。	緒方 泰子, 廣山 奈津子 原田直昌先生	実技を通じたアクティブラーニングを実施する。
3-4	4/9	13:00-16:10	保健衛生学実習室 保健衛生学科講義室 4, 保健衛生学科講義室 5	環境測定	①公衆衛生学実習における基本的概念、実習で求められる学習課題等を理解する。②室内環境測定の原理・特徴について学び、測定機器の使い方を学ぶ。測定機器を用いて、各所の測定を行う。	緒方 泰子, 廣山 奈津子 原田直昌先生	実技を通じたアクティブラーニングを実施する。
5-6	4/16	10:30-14:30	保健衛生学実習室 保健衛生学科講義室 4, 保健衛生学科講義室 5	化学物質	化学物質による健康影響と規制基準についてその基準の設定や根拠について学ぶ。	緒方 泰子, 廣山 奈津子 吉岡範幸先生	実技を通じたアクティブラーニングを実施する。
7-8	4/16	14:40-17:50	保健衛生学実習室 保健衛生学科講義室 4, 保健衛生学科講義室 5	上・下水道	上下水道のシステムとその規制基準について学び、身近な水の水質分析を行う。	緒方 泰子, 廣山 奈津子 吉岡範幸先生	実技を通じたアクティブラーニングを実施する。

9-10	4/23	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	保護具	保護具の原理、特徴について学び、マスクフィッティングテストを行う	緒方 泰子、 廣山 奈津子 吉岡範幸先生	
11-12	4/30	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	疫学演習 1	疫学とは何か、疾病の頻度を表す様々な疫学指標について学ぶ。	緒方 泰子、 廣山 奈津子 平田あや先生	
13-14	5/7	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	疫学演習 2	疫学研究方法(記述疫学、横断研究、コホート研究、症例対照研究、介入研究)、偏りと交絡について学ぶ。	緒方 泰子、 廣山 奈津子 平田あや先生	
15-16	5/14	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	疫学演習 3	スクリーニングについて、スクリーニング検査の評価や有効性を理解する。	緒方 泰子、 廣山 奈津子 平田あや先生	
17-18	5/21	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	疫学演習 4	疫学演習 1-3 の内容に基づいた総合演習を行う。	緒方 泰子、 廣山 奈津子 平田あや先生	
19-20	5/28	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	公衆衛生学 実習(まとめ 1)	臨床検査技師国家試験対策問題の演習を行う。出題傾向を知り、知識の整理に役立てる。	緒方 泰子、 廣山 奈津子 平田あや先生	
21	6/4	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	公衆衛生学 実習(まとめ 2)	臨床検査技師の国家試験受験をもとに公衆衛生学実習に関する理解を深める(試験問題を解く)	緒方 泰子、 廣山 奈津子	
22-24	6/11	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	全体総括	授業全体を通じた評価・まとめを行う。	緒方 泰子、 廣山 奈津子 吉岡範幸先生	

授業方法

対面による実習と Zoom を用いた同期型授業を行う。

環境測定といった実技等を通してアクティブラーニングを実施する。

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1) 出席状況

・出席とは同期型授業および対面による授業への参加をさす。

2) 課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

・原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。

・授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加度合い。

3) 期末テスト

・テキストや配布資料等に記載された英語(単語や文章)をそのまま試験に引用することがある。よく理解しておく必要がある。実施日・実施方法については、授業中または WebClass 等を通じて伝える。

4) 課題レポート

・課題内容について個別にレポートを作成・提出する。課題は授業中または WebClass 等を通じて提示する。

成績評価の基準

1) 出席状況(30%)

2) 演習への取り組み姿勢・授業への参加態度(20%)

3) テスト(30%)

4) 課題レポート(20%)

準備学習等についての具体的な指示

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書などで予習をしてもらうことが望ましい。

試験の受験資格 本学試験規則に準じ、授業に3/4以上出席していること。
参考書 臨床医学総論：臨床医学総論 放射性同位元素検査技術学：医用工学概論 情報科学・医療情報学 公衆衛生学／小山高敏 戸塚実 編集：医学書院、2013 ・(財)厚生統計協会：国民衛生の動向，厚生指標臨時増刊，(財)厚生統計協会，東京 ・眞野喜洋ほか：臨床検査学講座 公衆衛生学，医歯薬出版，東京
他科目との関連 全ての他領域科目と相互に関連する科目でありさらに法律，工学，心理学，統計学，経済学，人文科学等や行政と密接な関係がある。
履修上の注意事項 内容が多岐にわたるため講義・実習共に欠席するとその部分の再講習は不可能であり、欠落箇所の穴埋めは難しい。また，広い社会常識が求められるので、マスメディアにおける医療問題にはよく注意しておくこと。
備考 1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom等の画面を撮影することを禁止する。 3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 4)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。 5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。 ※2020年度は本科目の開講はなし
連絡先(メールアドレス) 緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館19階 廣山 奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp
オフィスアワー 緒方 泰子オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。 廣山 奈津子:平日 AM10:00 -PM5:00 3号館15階 高齢社会看護システム管理学分野 教員室3

時間割番号	013021A						
科目名	医療概論・関係法規				科目ID	MT-232300-L	
担当教員	鈴木 喜晴[SUZUKI NOBUHARU]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する 医師						
英文名: Medical Ethics, Laws and Regulations							
【科目責任者】鈴木喜晴							
主な講義場所							
遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等							
医療概論では医学・医療を取り巻く社会情勢や医学研究を概観し医学とは何かを考える。関係法規では臨床検査および検査技術に関する法規をはじめ、医事法規、薬事法規、保健衛生法規、予防衛生法規、環境衛生法規、労働衛生法規、社会保障・福祉関連法規などについて学ぶ。							
授業の到達目標							
医学・医療とは何かを理解し、医学医療のあり方を考える力、高い倫理観を持ち、医療に携わるにふさわしい感性を養う。また医療職に関わる法規を理解することを目標とする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/24	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	1. 法 の 概 念 2. 労働衛生法規	1. 法の概念;法令の種類;法の読み方;臨床検査技師関係法規とその種類 2. 労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法(労災保険法)	鈴木 喜晴	演習問題や口頭での設問、考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。
2	10/8	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	3. 臨床検査技師の役割と使命 4. 臨床検査技師等に関する法律	3. 臨床検査技師とは:臨床検査技師の役割と使命、期待される姿;臨床検査技師における心構えと一般的な注意 4. 総則;免許;試験;業務;罰則	亀田 貴寛	演習問題や口頭での設問、考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。
3	10/15	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	5. 医療安全管理学 6. 医事法規	5. 医療倫理、法規の概念、医療安全、法的知識と責任範囲 6. 医療法 内部精度管理、外部精度管理調査など;保健師助産師看護師法;診療放射線技師法;臨床工学技士法;個人情報保護法;臨床研究法	伊藤 南, 本間 達	演習問題や口頭での設問、考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。
4	10/22	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	7. 薬事法規	7. 毒物及び劇物取締法;医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(医薬品医療機器等法)医薬品医療機器総合機構(PMDA);麻薬及び向精神薬取締法;大麻取締法	星 治, 藤代 瞳	演習問題や口頭での設問、考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。
5	10/29	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	8. 医学とは何か: 医療・医学の歴史、臨床検査とは 9. 臨床検査における心構えと一般的注意 10. 臨床生理学の総論 11. 医事法規 12. 保健	8. 医療における倫理:医療倫理、個人情報の取扱い方、他 9. 医療の展望:チーム医療、ティラード医療、他 10. 検査の目的と業務範囲;検査の注意事項;患者の心理と対応 11. 医師法 12. 地域保健法;母子保健法;健康増進法、他	角 勇樹, 柿沼 晴, 赤座 実穂	演習問題や口頭での設問、考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。

				衛生法規			
6	11/5	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	13. 予防衛生法規	13. 感染症の予防及び感染症患者 に対する医療に関する法律<感染症 法>; 予防接種法; 検疫法	齋藤 良一	演習問題や口頭で の設問、考えを問う 等のアクティブラー ニングも活用する。
7	11/19	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	14. 関連法規: JAS 法、景品表示法、 特定商取引法 15. 環境衛生法規	15. 食品衛生法; 環境基本法; 公害 健康被害の補償等に関する法律	西尾 美和子	演習問題や口頭で の設問、考えを問う 等のアクティブラー ニングも活用する。
8	11/26	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	16. 医事法規 17. 社会保障・福祉関 連法規	16. 死体解剖保存法 17. 生活保護 法; 障害者基本法; 障害者自立支援 法	沢辺 元司, 副島 友莉恵	演習問題や口頭で の設問、考えを問う 等のアクティブラー ニングも活用する。
9	12/3	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	予備		鈴木 喜晴	
10	12/10	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	予備		鈴木 喜晴	
授業方法 本講義は主に教科書1「臨床検査学講座 関係法規」の内容に沿って進めて行くが、各回担当の教員によって、講義スライドや資料、あるいはビデオを用いた解説をしながら進める。演習問題や口頭での設問、考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。							
成績評価の方法 合計回数の3分の2以上の出席を必要とする。 期末筆記試験(満点=100点)によって成績評価を行う。							
成績評価の基準 上記の「成績評価の方法」に従い、60点以上で合格とする。60点未満の場合、再試験(筆記試験)を行い、60点以上で合格とする。							
準備学習等についての具体的な指示 本講義は主に教科書1「臨床検査学講座 関係法規」の内容に沿って進めて行くが、各回の担当教員の指示に従って準備学習を行うこと。							
試験の受験資格 期末筆記試験を行う。試験の受験資格は、同期型講義(zoom)の合計回数の3分の2以上の出席を必要とする。遅刻や早退となる際は、必ずその回の担当教員にメールで連絡し、理由を説明すること。勘案すべき事情があり、受験資格の出席数が足りない場合は、その旨科目責任者にメールで連絡をすること。							
教科書 臨床検査学講座 関係法規／宮島喜文 他編: 医歯薬出版, 2021							
他科目との関連 臨床検査技師の職務に関わる全ての科目と関連する。							
履修上の注意事項 講義資料、講義動画、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。							
連絡先(メールアドレス) 鈴木 喜晴 nsuzbb@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 鈴木 喜晴 オフィスアワーは特に定めない 3号館16階							

時間割番号	013058						
科目名	臨床病態学Ⅱ			科目ID	MT-431300-L		
担当教員	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂[KAKINUMA SEI, SUMI YUKI, AKAZA MIHO]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Clinical MedicineⅡ							
【科目責任者】柿沼 晴							
主な講義場所							
2021 年度は全てオンライン授業で行う。							
授業の目的、概要等							
今までに学んだ臨床検査をどのように臨床に用いるのか、疾患の病因・病態の理解と共に臨床医学の観点から学ぶことを目的とする。							
授業の到達目標							
各臓器別に、どのような疾患・病態において臨床検査の異常が見られるのか理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床病態学Ⅱ(1)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclass に掲載するので、確認すること。
2	4/19	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床病態学Ⅱ(2)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclass に掲載するので、確認すること。
3	4/26	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅱ(3)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclass に掲載するので、確認すること。
4	5/17	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	臨床病態学Ⅱ(4)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclass に掲載するので、確認すること。
5	5/17	14:40-16:10	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅱ(5)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclass に掲載するので、確認すること。
6	5/24	14:40-16:10	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅱ(6)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclass に掲載するので、確認すること。
7	5/31	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅱ(7)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclass に掲載するので、確認すること。
8	5/31	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	臨床病態学Ⅱ(8)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclass に掲載するので、確認すること。
9	6/7	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床病態学Ⅱ(9)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclass に掲載するので、確認すること。
10	6/7	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅱ(10)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclass に掲載するので、確認すること。
11	6/9	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床病態学Ⅱ(11)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclass に掲載するので、確認すること。

12	6/9	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅱ(12)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclassに掲載するので、確認すること。
13	6/14	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床病態学Ⅱ(13)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclassに掲載するので、確認すること。
14	6/21	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅱ(14)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclassに掲載するので、確認すること。
15	6/28	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	臨床病態学Ⅱ(15)	臨床病態学Ⅱ	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂	同期型か非同期型かは、講義・講師により異なる。webclassに掲載するので、確認すること。

授業方法

各領域の専門診療科より講師を招き、オムニバス形式で各々の臨床病態学概論について講義を行う。担当講師と講義形式に関しては、別途連絡(WebclassとZoomを併用)するので、教務・webclassでの連絡を確認すること。

授業内容

講義のみで実習は行わない。

講義内容は各診療科専門領域概論である。

講義によって、WebclassとZoomを併用して実施する。

時間割については、別途教務・webclassより連絡の通りとする。

成績評価の方法

筆記試験により成績評価を行う。

成績評価の基準

単位判定はモジュール全体で行う。

筆記試験における評点により評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

臨床病態学(Ⅰ)で講義があった科目内容については復習しておくこと。

今までに学んだ検査項目について、それが異常値を示す主な疾患について復習しておくこと。

試験の受験資格

本学規定の出席基準に満たない場合は試験の受験資格を欠く。

モジュールの単位判定

臨床病態学(Ⅱ)モジュール全体で単位判定を行う。

参考書

臨床医学総論/臨床検査医学総論／奈良信雄, 高木康, 和田隆志 編集, 医歯薬出版, 2015

ハリソン内科学 第5版 Vol2/デニスLカスパー ほか 編, 福井次矢, 黒川清 日本語版監, デニスLカスパー, フクツグヤ, クロカワキヨシ, : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2017-03-16

はじめの一歩の病態・疾患学 : 病態生理から治療までわかる／林洋編, 林 洋, : 羊土社, 2018

連絡先(メールアドレス)

柿沼 晴: skakinuma.gast@tmd.ac.jp

オフィスアワー

柿沼 晴: 毎週 火曜または金曜日 9:00-17:00 3号館16階 疾患生理機能解析学分野教授室
(基本的に、来室前にメールで予約することが望ましい)

時間割番号	013085						
科目名	総合講義			科目ID	MT-433000-L		
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]						
開講時期	2021 年度通年	対象年次	4	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: General Medical Technology							
【科目責任者】伊藤 南							
主な講義場所							
保健衛生学講義室1(3号館18階)							
授業の目的、概要等							
これまで学んできた集大成ならびに国家試験受験の準備として、各分野の総合的かつ重点的なまとめを行なう。社会に出る準備として、臨床検査関連の第一線で活躍されている先生方に up-to-date な知識や技術に関する講義のほか、臨床検査の現状と求められる臨床検査技師像について講義していただく。他の医療分野について学び、医療の一分野としての臨床検査について理解を深める。							
授業の到達目標							
検査技術学専攻を卒業後、どのような職種に進もうとも、臨床検査技師の資格を取得しておくことが肝要である。専門科目の講義、実習の大半を終了し、臨地実習を行っている4年生の後期に、もう一度臨床検査学の全般にわたる科目について、重要、かつ、up-to-date な臨床検査学に関する知識を整理しつつ講義を行い、確実な知識として身に付けることを目標とする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	総合講義	村田満先生 臨床検査医学と病院検査部-最近の動向-	伊藤 南	
2	4/13	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	総合講義	東田修二先生 本学検査部の業務、精度管理、先進医療 -臨地実習とキャリアパス設計のために-	伊藤 南	
3	4/27	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	総合講義	矢富裕先生 検体検査の品質・精度に係わる医療法等の改正	伊藤 南	
4	5/17	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	総合講義	三村邦裕先生 各種認定資格とこれからの臨床検査	伊藤 南	
5	6/21	08:50-10:20		総合講義	チーム医療入門事前勉強会(チーム医療入門担当委員)	伊藤 南	
6-10	6/29	08:50-17:50		総合講義	チーム医療入門	伊藤 南	
11-15	6/30	08:50-17:50		総合講義	チーム医療入門	伊藤 南	
16-20	7/1	08:50-17:50	保健衛生学科講義室2	総合講義	模擬試験(7月分)	伊藤 南	
21-25	9/16	08:50-17:50	保健衛生学科講義室2 保健衛生学科講義室1	総合講義	模擬試験(9月分)	伊藤 南	3年生も受講
26	9/17	13:00-14:30		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
27	9/17	14:40-16:10		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
28	9/17	16:20-17:50		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
29	10/1	13:00-14:30		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
30	10/1	14:40-16:10		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
31	10/1	16:20-17:50		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
32	10/4	13:00-14:30		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
33	10/18	13:00-14:30		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
34	10/18	14:40-16:10		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
35	10/18	16:20-17:50		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
36	10/25	13:00-14:30		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	

37	10/25	14:40-16:10		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
38	10/25	16:20-17:50		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
39	11/1	13:00-14:30		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
40	11/1	14:40-16:10		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
41	11/1	16:20-17:50		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
42	11/8	13:00-14:30		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
43	11/8	14:40-16:10		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
44	11/8	16:20-17:50		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
45-49	11/12	08:50-17:50	保健衛生学 科講義室 1	総合講義	模擬試験(11 月分)	伊藤 南	
50	11/15	13:00-14:30		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
51	11/15	14:40-16:10		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
52	11/15	16:20-17:50		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
53	11/22	08:50-10:20		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
54	11/22	10:30-12:00		総合講義	後日 webclass に掲載	伊藤 南	
55-56	12/1	13:00-16:10	保健衛生学 科講義室 4	総合講義	卒業試験	伊藤 南	
57-58	12/8	13:00-16:10	保健衛生学 科講義室 4	総合講義	卒業試験	伊藤 南	
59-60	1/5	13:00-16:10	保健衛生学 科講義室 4	総合講義	卒業試験	伊藤 南	
61-65	1/7	08:50-17:50	保健衛生学 科講義室 1	総合講義	模擬試験(1 月分)	伊藤 南	
66-70	1/28	08:50-17:50	保健衛生学 科講義室 1	総合講義	模擬試験(2 月分)	伊藤 南	

授業内容

各講義科目の担当教員がそれぞれの専門分野の特徴を包含しながら、生体検査科学専攻教員が講義を行う。外部より、さらに、臨床検査学に関する最新の知識について専門家から学ぶ。また、医学科、歯学科、口腔保健学科の学生と共に、チュートリアル方式のグループワーク「チーム医療入門」と行う。詳細日程は別途掲示する。

成績評価の方法

総合講義試験を4年生の卒業認定のための最終試験として行う。

成績評価の基準

原則として、正解が出題数の60点以上の者を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

随時指示する。

教科書

特に指定しない。

参考書

これまで講義で使用されてきた教科書。

他科目との関連

基礎ならびに専門の臨床検査に関係する全ての科目が関連している。

履修上の注意事項

全講義の出席を原則とする。出席不足のものは総合講義試験(Ⅰ)、総合講義試験(Ⅱ)の受験を認めない。また、7月、9月、11月、1月、2月に実施する国家試験形式の模擬試験(有料)を必ず受験すること。

連絡先(メールアドレス)

伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、

オフィスアワー

伊藤 南:毎週月曜日 PM.1:00-PM.5:00 3号棟16階 生体機能支援システム学・教授室または研究室
事前にメール等で連絡してもらえば随時対応します。

時間割番号	013061				
科目名	卒業研究			科目 ID	MT-463100-S
担当教員	星 治[HOSHI OSAMU]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	10
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名: Undergraduate Research					
【科目責任者】星 治					
授業の目的、概要等					
指導教員と相談の上、それぞれテーマに沿って研究を行い、その結果を卒業論文として提出するとともに、卒業研究発表会において口頭発表する。					
授業の到達目標					
臨床検査および関連分野の研究にふれることによって、論文の読み方、実験の進め方、研究結果のまとめ方、口頭発表の方法等の基本を学ぶ。さらに一連の過程を通して、科学的思考法を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容
1-5	4/1	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
6-10	4/2	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
11-15	4/5	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
16-19	4/6	08:50-16:10		卒業研究	卒業研究
20	4/7	13:00-14:30		卒業研究	卒業研究
21-25	4/8	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
26	4/9	16:20-17:50		卒業研究	卒業研究
27	4/12	08:50-10:20		卒業研究	卒業研究
28-30	4/12	13:00-17:50		卒業研究	卒業研究
31	4/13	08:50-10:20		卒業研究	卒業研究
32-34	4/13	13:00-17:50		卒業研究	卒業研究
35	4/14	13:00-14:30		卒業研究	卒業研究
36-40	4/15	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
41	4/16	08:50-10:20		卒業研究	卒業研究
42-44	4/19	13:00-17:50		卒業研究	卒業研究
45-49	4/20	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
50-52	4/21	13:00-17:50		卒業研究	卒業研究
53-57	4/22	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
58-60	4/23	08:50-14:30		卒業研究	卒業研究
61-63	4/26	13:00-17:50		卒業研究	卒業研究
64-66	4/27	13:00-17:50		卒業研究	卒業研究
67-69	4/30	08:50-14:30		卒業研究	卒業研究
70-74	5/6	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
75-77	5/7	08:50-14:30		卒業研究	卒業研究
78-81	5/10	10:30-17:50		卒業研究	卒業研究
82-86	5/11	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
87	5/12	13:00-14:30		卒業研究	卒業研究
88-92	5/13	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
93	5/14	08:50-10:20		卒業研究	卒業研究

94	5/14	13:00-14:30		卒業研究	卒業研究
95	5/17	16:20-17:50		卒業研究	卒業研究
96-100	5/18	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
101-103	5/19	13:00-17:50		卒業研究	卒業研究
104-108	5/20	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
109-111	5/21	08:50-14:30		卒業研究	卒業研究
112-114	5/24	08:50-14:30		卒業研究	卒業研究
115	5/24	16:20-17:50		卒業研究	卒業研究
116-120	5/25	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
121	5/26	13:00-14:30		卒業研究	卒業研究
122-126	5/27	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
127-129	5/28	08:50-14:30		卒業研究	卒業研究
130	5/31	08:50-10:20		卒業研究	卒業研究
131-132	5/31	14:40-17:50		卒業研究	卒業研究
133-137	6/1	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
138	6/2	13:00-14:30		卒業研究	卒業研究
139-143	6/3	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
144-147	6/4	08:50-16:10		卒業研究	卒業研究
148-149	6/7	14:40-17:50		卒業研究	卒業研究
150-154	6/8	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
155-156	6/9	14:40-17:50		卒業研究	卒業研究
157-161	6/10	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
162-163	6/11	08:50-12:00		卒業研究	卒業研究
164-166	6/14	13:00-17:50		卒業研究	卒業研究
167-171	6/15	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
172	6/16	08:50-10:20		卒業研究	卒業研究
173-174	6/16	10:30-14:30		卒業研究	卒業研究
175	6/16	16:20-17:50		卒業研究	卒業研究
176-180	6/17	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
181-185	6/18	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
186-187	6/21	13:00-16:10		卒業研究	卒業研究
188-192	6/22	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
193	6/23	08:50-10:20		卒業研究	卒業研究
194-198	6/24	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
199-203	6/25	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
204-207	6/28	10:30-17:50		卒業研究	卒業研究
208-212	7/2	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
213-217	7/5	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
218-222	7/6	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
223-227	7/7	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
228-232	7/8	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
233-237	7/9	08:50-17:50		卒業研究	卒業研究
238-242	9/7	08:50-17:50		卒業研究発表会	卒業研究発表会

授業内容

研究内容と指導法は指導教員に一任する。

1) 研究テーマの選択

研究指導者名、受け入れ人数、テーマ等の一覧を学生に提示し、学生の希望を尊重しつつ指導教員を決定する。

2) 研究期間は4年の前期とする。

3) 卒業研究論文の提出と研究発表

卒業論文は A4 用紙の両面を用い、図表を含めて3枚以内。文献はおおむね 10 編以内。表紙は無し。用語は日本語を用い、文字は全て印字をすることとし、文字、図、表ともそのまま製本できる状態であること。

論文形式で、要旨、はじめに、方法、結果、考察、文献の順で記載すること。

提出期限

成績評価の方法

績評価方法

指導教員による評価(80 点)と研究発表会における評価委員による評価(20 点)とを合わせて総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

研究をするにあたり、本学の倫理研修を受講し、修了していること。

参考書

研究指導教員に指定された書籍・論文を参考にする。

他科目との関連

3 年生までに履修した様々な科目と、また大学院進学後の様々な科目とも関連がある。

履修上の注意事項

所属する研究室のきまりや約束事を必ず守ること。遅刻をしないこと。研究には積極的に参加すること。

備考

卒業研究指導者となることができるのは、本学生体検査科学専攻の教員および、保健衛生学科の教育に関わった実績のある教員とする。

連絡先(メールアドレス)

星 治 o-hoshi.aps@tmd.ac.jp

オフィスアワー

星 治 オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。

湯島キャンパス3号館16階

選択科目/自由科目

選択科目および自由科目の履修について

1. 選択科目

東京医科歯科大学医学部履修規則別表1、保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程に記載されているとおり、選択科目は第2学年、第3学年、または第4学年において、合計6単位以上修得しなければならない。第4学年においては、そのうち2単位以上修得しなければならない。

なお、今年度開講選択科目一覧の表の中の選択科目以外に、四大学連合複合領域コースとして開講されている科目の中の、東京工業大学または一橋大学の教員による講義を受講した場合に、それらの科目を4単位を上限として選択科目の一部とみなすことができる。その際には、あらかじめ定められた出願受付期間中（4月上旬）に複合領域コースの「願書」と「履修届」を提出しておくことが必要であり、詳細は教務係に問い合わせること。

また、臨地実習の時間帯に選択科目を受講することはできないが、卒業研究の時間帯には指導教員の了解を得た上で受講することができる。

2. 自由科目

自由科目は卒業要件に含まれない。第4学年においては卒業研究の時間帯に指導教員の了解を得た上で受講してもよい。

3. 受講手続（1. 2. 共通）

1) 履修登録

「前期・通年開講科目」及び「後期開講科目」共、それぞれの学期の初めの定められた期間に履修登録すること。

2) 履修科目の変更

教務係が登録内容を集計し、申請状況を掲示するので、登録の誤りがある場合は、指定された期間内に教務係に申し出ること（以後変更不可）。

3) 授業

各科目とも、学期最初の授業より出席をとるので、履修予定の科目については最初から出席すること。

[補足説明]

- ・ 選択科目および自由科目は、履修登録を行わなければ履修することができない。
- ・ 複合領域コースの科目を受講するためには、複合領域コースの「願書」と「履修届」の提出が必要。

検査 2 ～ 4 年生 各位

選択科目履修登録について

(平成 28 年度から、選択必修科目は選択科目に、自由選択科目は自由科目に、呼称が変更になりました。)

選択科目・自由科目は、履修登録を行わなければ履修することができません。

履修登録前に、「**選択科目および自由科目の履修について**」と対象科目のシラバスをよく読んでください。

(**抜粋※選択科目は第2学年、第3学年、または第4学年において、合計6単位以上修得しなければならない。**)

(**※第4学年においては、そのうち2単位以上修得しなければならない。**)

【申請方法】・・・webclass より申請

【申請場所】・・・webclass⇒教務係等からのお知らせ⇒選択科目⇒ 2021年度 前期選択科目 履修登録フォーム

(事務連絡先) 保健衛生教務係

gakumu2.adm@tmd.ac.jp

2021 年度開講 選択科目・自由科目一覧【検査技術学専攻】

1. 選択科目

	番号	授業科目	単位認定教員 (所属)	主な開講 日時	単位	今年度 履修可能 学年
前期	1	遺伝学	稲澤 譲治 難治疾患研究所 (分子細胞遺伝学分野)	月曜 水曜	1	2・3・4
	2	English for Health Care Science (I)	沢辺 元司 医歯学総合研究科 (分子病理検査学分野)	月曜 5 限	1	2・4 (12名程度)
	3	生体医工学	三林 浩二 生体材料工学研究所 (センサ医工学分野)	水曜 3 限	2	3
	4	分子生物学	後藤 利保 難治疾患研究所 (分子細胞生物学分野)	金曜 1 限	1	2・3・4
	5	心電図判読	柿沼 晴 医歯学総合研究科 (疾患生理機能解析学分野)	火曜 2 限	1	3・4
後期	6	心臓生理学	笹野 哲郎 医歯学総合研究科 (循環制御内科学分野)	月曜 1 限	1	3・4
	7	アドバンスド生理機能検査学	角 勇樹 医歯学総合研究科 (呼吸器・神経系解析学分野)	月曜 2 限	1	3・4
	8	English for Health Care Science (II)	沢辺 元司 医歯学総合研究科 (分子病理検査学分野)	水曜 4 限	1	2・3 (12名程度)
	9	電子顕微鏡学	星 治 医歯学総合研究科 (形態・生体情報解析学分野)	金曜 2 限	1	3・4
	10	Learning Medical English (2019年度入学者からは選択科目)	沢辺 元司 医歯学総合研究科 (分子病理検査学分野)	水曜 5 限	1	2・3 (看護・検査合わせ て 8 名)
	11	AI 実践演習	角 勇樹 医歯学総合研究科 (呼吸器・神経系解析学分野)	木曜 5 限	1	2・4
四大学連合複合領域コース開講科目					4 (上限)	2・3・4

2. 自由科目 ※短期海外研修 A ～ D の履修について・・・今回は登録対象ではありません。

	番号	授業科目	単位認定教員 (所属)	主な開講 日時	単位	今年度 履修可能 学年
通年	1	短期海外研修 A 登録は渡航が許可されてからしてください。	沢辺 元司 医歯学総合研究科 (分子病理検査学分野)		1	1
	2	短期海外研修 B 登録は渡航が許可されてからしてください。	沢辺 元司 医歯学総合研究科 (分子病理検査学分野)		1	2
	3	短期海外研修 C 登録は渡航が許可されてからしてください。	沢辺 元司 医歯学総合研究科 (分子病理検査学分野)		1	3
	4	短期海外研修 D 登録は渡航が許可されてからしてください。	沢辺 元司 医歯学総合研究科 (分子病理検査学分野)		1	4
後期	5	薬理学	永田 将司 医学部附属病院 薬剤部	水曜 1・2 限	2	2
	6	Learning Medical English (2018年度入学者までは自由科目)	沢辺 元司 医歯学総合研究科 (分子病理検査学分野)	水曜 5 限	1	2・3 (看護・検査合わせ て 8 名)

<選択科目>

時間割番号	013025					
科目名	遺伝学			科目ID	MT-490200-L	
担当教員	稲澤 譲治[INAZAWA JIYOJI]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2～4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Human Genetics 【科目責任者】稲澤譲治						
授業の目的、概要等						
遺伝学は正常および病的状態における遺伝情報の構造や機能を研究する生物学の一分野であり、メンデルの法則の再発見を機に1900年代に入ってから研究が進み、特に1970年代からの分子生物学の進展と相まって、学問としてさらに進歩した。なかでも人類遺伝学の発展にはめざましいものがある。初期の研究は家系調査を中心とする統計的分析が主であったが、2000年代初頭のヒトゲノム構造の大規模解析やそれに引き続く機能解析を加えて、遺伝病の分子遺伝学的研究、細胞遺伝学的研究、免疫遺伝学的研究など、遺伝学はさらに広範な学問分野としての発展を遂げている。ヒトゲノム塩基配列解析技術の急速な発達は、膨大な量と高い精度を担保したゲノム情報に基づく個別化医療の実装化へと発展している。人類遺伝学やゲノム科学の領域で得られる研究成果は、リアルタイムに病気の診断や病態の理解を通じた新たな治療、さらには予防法開発へと応用が図られている。						
授業の到達目標						
本講義では、古典的な人類遺伝学と最近の分子遺伝学を一貫した体系として習得し、ヒトゲノム計画の進展で次々と解明されている各種疾患の分子レベルでの本態についても理解し、説明できる学力を身に付けることによって、医学における遺伝学の意義と重要性を学ぶことを目標とする。具体的な到達目標は以下のとおりである。						
1. 染色体の構造、機能と疾患における染色体異常について理解するとともに、発症前診断および出生前診断の基礎原理を説明できる。						
2. 遺伝子の基礎としてのメンデルの法則を中心に、その歴史的意義と重要性について理解し、遺伝子検査、遺伝子診断に伴うインフォームドコンセントと個人情報保護管理の重要性について説明できる。						
3. 遺伝子の構造・複製・転写・翻訳の概要とそれらの先端的ゲノム解析技術やゲノム情報データベースに関する知識を理解し、説明できる。						
4. ヒトゲノムの構造と機能発現の多様性に関する原理と生命機能や疾患発症における意義について説明できる。						
5. 多因子遺伝性疾患(生活習慣病など)とミトコンドリア遺伝病の基礎原理を説明できる。						
6. がんに関連する遺伝学的事象やゲノム情報に基づいた個別化医療、精密医療について説明できる。						
7. 疾患の病因究明、病態究明における遺伝学的解析の応用について理解し、説明できる。						
8. 単因子遺伝性疾患(常染色体性優性および劣性遺伝、伴性遺伝)の各遺伝様式を理解し、家系図の書き方と連鎖解析の原理を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/21	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	染色体異常/出生前診断	染色体の構造、機能と疾患における染色体異常について理解するとともに、発症前診断および出生前診断の基礎を理解する。	稲澤 譲治
2	5/19	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	遺伝学の基礎	遺伝子の基礎としてのメンデルの法則を中心に、その歴史的意義と重要性について理解するとともに、遺伝子検査、遺伝子診断に伴うインフォームドコンセントと個人情報保護管理の重要性について理解する。	田中 敏博 永田 有希
3	6/7	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	遺伝子の構造と機能	遺伝子の構造・複製・転写・翻訳の概要とそれらの先端的ゲノム解析技術やゲノム情報データベースに関する知識を習得する。	三木 義男
4	6/16	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	ヒトゲノムの構造と機能発現の多様性	ヒトゲノムの構造と機能発現の多様性に関する原理と生命機能や疾患発症における意義について理解する。	玄 泰行
5	6/21	13:00-14:30	遠隔授業 (非同同期型)	遺伝性疾患(Ⅱ)	「多因子遺伝性疾患(生活習慣病など)とミトコンドリア遺伝病」の基礎を理解する。	村松 正明
6	6/21	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	がんの遺伝学	がんに関連する遺伝学的事象について理解する。	井上 純

7	6/28	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	遺伝性疾患①	疾患(常染色体性優性および劣性遺伝, 伴性遺伝)の各遺伝様式, 家系図の書き方と連鎖解析の原理を理解する。	田中 敏博 永田 有希
8	6/28	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	難治性疾患の遺伝学	疾患の病因究明, 病態究明における遺伝学的解析の応用について理解する。	稲澤 譲治

授業方法

以下の項目について、順次講義を行うが、重要な事項については複数回の講義で触れることがあり、同一講師が複数回の講義を担当する場合には、講義内容が前後することがある。

(1)染色体異常・出生前診断、(2)遺伝学の基礎、(3)遺伝子の構造と機能、(4)ヒトゲノムの構造と機能発現の多様性、(5)遺伝性疾患(多因子遺伝性疾患(生活習慣病など)とミトコンドリア遺伝病)、(6)がんの遺伝学、(7)遺伝性疾患(単因子遺伝性疾患)、(8)難治性疾患の遺伝学

授業内容

遺伝学の基礎から始まり、古典的人類遺伝学から新世代の人類遺伝学への展開とその成果に関して、具体的に解説を行う。主に、以下の項目に重点をおいて講義を行う。1)遺伝の法則および遺伝子の構造と働き、2)遺伝様式と家系図の書き方、3)突然変異の遺伝的意義、4)各種疾患における遺伝子の関与、5)遺伝子検査に伴うインフォームドコンセント及び個人情報の保護と管理、6)遺伝子診断と遺伝相談、7)先端的ゲノム解析技術やゲノム情報データベース、8)ゲノム情報に基づいた個別化医療、精密医療

成績評価の方法

学期末筆答試験により評価するが、必要に応じてレポートや小テストを課す場合がある。なお、出席回数が規定数に不足している場合には、本学試験規則に従って受験資格がないものとする。

成績評価の基準

筆答試験(100点満点)の結果を評価基準とする。レポートや小テストを課した場合には、それらの評価を成績判定で考慮する。

準備学習等についての具体的な指示

高等学校教育の生物基礎、生物に含まれる遺伝関係の基礎知識を習得しておくこと。また、授業内容にある通り8項目を順次取り上げるため、あらかじめ当該項目に関連する基礎知識を以下に示した参考書等によって取得しておくことが望ましい。

試験の受験資格

出席回数が規定数に不足している場合には、本学試験規則に従って受験資格がないものとする。

参考書

遺伝医学への招待／新川詔夫、太田亨：南江堂、2015
 ヒトの分子遺伝学／ストラッチェン他著、村松正實翻訳監修：MEDSI、2011
 遺伝子・染色体検査学／奈良信雄他：医歯薬出版、2002
 図説 分子病態学／一瀬白帝、鈴木宏治編：中外出版社、2014
 Exploring Personal Genomics Dudley JT, Karczewski KJ Oxford Press 2013

他科目との関連

「遺伝子・染色体検査学」、「分子生物学」、「生化学」、「遺伝子検査学実習」等を受講することにより、本講義の理解をより一層深めることができると思われる。

履修上の注意事項

古典的な遺伝学から最新の知見まで、幅広くしかも出来るだけ具体的に理解が得られるよう、質問を歓迎する。また遺伝子診断、発症前診断、出生前診断などを通して、遺伝学の持つ社会的意味に関して正しい理解を深めて欲しい。

連絡先(メールアドレス)

稲澤 譲治: johinaz.cgen@mri.tmd.ac.jp

オフィスアワー

稲澤 譲治: オフィスアワー: 毎週月曜日 AM.9:00-10:30 M&D タワー22 階難研セミナー室
 ※事前にメール等で連絡してから設定可能

時間割番号	013026A						
科目名	生体医工学				科目ID	MT-390100-L	
担当教員	三林 浩二[MITSUBAYASHI KOJI]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名:Biomedical Engineering							
【科目責任者】三林浩二							
主な講義場所							
保健衛生学講義室3(3号館8階)							
※初回のみ、保健衛生学講義室2(3号館8階)							
授業の目的、概要等							
・工学を医学へ応用する境界領域としての生体医工学について、検査や治療用医療機器から再生医療工学にわたる広い分野を学び、当該領域の情報や技術を理解する。							
・電子工学、機械工学、計測工学、細胞工学、高分子化学などの考え方の基本を修得する。							
・生体医工学について現状を把握し、当該領域の進展に応じて自ら好奇心を以って理解を進めることができる基礎能力を身につける。							
授業の到達目標							
・学修者は、医工学領域の一般的な情報や技術を理解できる。							
・学修者は、医工学に関心をもって、当該領域の実験や簡単な研究に取り組むことができる。							
・学修者は、一般的な医工学の記事や情報を把握し、ディスカッションができる。							
・学修者は、簡単な医工学機器や装置について、その役割や機能を理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	ガイダンス/生体 医工学の概要	シラバス及び講義の進め 方、成績について/生体医 工学について	三林 浩二	事前配布の資料と課題に基づき 予習と課題を実施し、講義内に て課題のフィードバックを行う
2	4/7	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	センサ医工学と 生体計測	生体用センサと計測シス テムの概要	荒川 貴博	事前配布の資料と課題に基づき 予習と課題を実施し、講義内に て課題のフィードバックを行う
3	4/14	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	免疫センサの原 理と基礎	免疫反応を利用したセン サの概要	當麻 浩司	事前配布の資料と課題に基づき 予習と課題を実施し、講義内に て課題のフィードバックを行う
4	4/21	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	循環器系人工臓 器	人工心臓、人工血管、心臓 弁など	橋本 良秀	事前配布の資料と課題に基づき 予習と課題を実施し、講義内に て課題のフィードバックを行う
5	5/12	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	物質交換系人工 臓器	人工肺、透析など	岸田 晶夫	事前配布の資料と課題に基づき 予習と課題を実施し、講義内に て課題のフィードバックを行う
6	5/12	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	再生医療工学入 門	再生医療の基礎と最新の 成果	木村 剛	事前配布の資料と課題に基づき 予習と課題を実施し、講義内に て課題のフィードバックを行う
7	5/19	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	バイオエレクトロ ニクスⅠ	生体分子・細胞の電氣的 性質とその機能、センシン グ	宮原 裕二	事前配布の資料と課題に基づき 予習と課題を実施し、講義内に て課題のフィードバックを行う
8	5/26	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	機能性高分子を 用いた生体材料	機能性高分子ゲルやミセル を利用するドラッグデリ バリーシステム(DDS)や生 体材料の概要	松元 亮	事前配布の資料と課題に基づき 予習と課題を実施し、講義内に て課題のフィードバックを行う
9	6/2	16:20-17:50	遠隔授業	バイオエレクトロ	表面／界面の電気化学と	田畑 美幸	事前配布の資料と課題に基づき

			(同期型)	ニクスⅡ	機能化による医療応用		予習と課題を実施し、講義内にて課題のフィードバックを行う
10	6/9	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	バイオロボティクスⅠ	ソフトロボティクス、生体模倣ロボットなど	川嶋 健嗣	事前配布の資料と課題に基づき予習と課題を実施し、講義内にて課題のフィードバックを行う
11	6/16	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	バイオロボティクスⅡ	介護福祉分野での応用を目指したパワーアシスト装置	川嶋 健嗣	事前配布の資料と課題に基づき予習と課題を実施し、講義内にて課題のフィードバックを行う
12	6/23	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	バイオロボティクスⅢ	手術支援ロボットの動向と最新の成果	川嶋 健嗣	事前配布の資料と課題に基づき予習と課題を実施し、講義内にて課題のフィードバックを行う
13	6/23	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	生体イメージング	生体イメージング基礎 (X-ray 画像撮影、X-ray CT 画像撮影、MRI、超音波診断画像撮影、生体光学画像計測)	中島 義和	事前配布の資料と課題に基づき予習と課題を実施し、講義内にて課題のフィードバックを行う
14	6/30	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	人工知能生体解析	生体信号・画像解析法と生体モデリング、それらの医療応用	杉野 貴明	事前配布の資料と課題に基づき予習と課題を実施し、講義内にて課題のフィードバックを行う
15	6/30	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	コンピュータ統合手術支援	手術ナビゲーション・ロボット支援における空間統合法と、画像解析結果の応用	小野木 真哉	事前配布の資料と課題に基づき予習と課題を実施し、講義内にて課題のフィードバックを行う

授業方法

事前配布の資料や課題そして参考資料に基づき、講義(PBL:Problem-based Learning)を行う。
当該領域の新たな情報を紹介し、理解を深めると共に、その意義や問題点を考える。
また事前課題についてフィードバックを行う。

授業内容

生体医工学の授業内容

①ガイダンス/生体医工学の概要、②免疫センサの原理と基礎、③センサ医工学と生体計測、④バイオメカニクス入門、⑤生体組織と生体材料のバイオメカニクス、⑥力学的機能を果たす人工臓器、⑦機能性高分子を用いた生体材料、⑧再生医療工学入門、⑨循環器系人工臓器、⑩物質交換系人工臓器、⑪バイオエレクトロニクスⅠ、⑫バイオエレクトロニクスⅡ、⑬生体情報科学-I、⑭生体情報科学-II、⑮生体情報科学-Ⅲ

成績評価の方法

期末試験ならびに授業・課題への取り組みにより評価する。

成績評価の基準

期末試験結果を以下の基準で評価

A+=90～100

A=80～89

B=70～79

C=60～69

D=60 未満

F=期末試験を未受験(講義に10回(2/3)以上の出席がない場合)

準備学習等についての具体的な指示

配布資料および参考資料にて事前学習する。

また最新の生体医工学に関する情報を科学雑誌やwebソースより入手し、準備学習する。

試験の受験資格

講義に10回(2/3)以上の出席をした者に限る。

教科書

教科書に相当する資料や最新情報を配布し、授業に用いる。
参考書 酵素トランスデューサーと酵素技術展開 = Enzyme transducers and evolutions of enzymatic technology : 酵素センサ, バイオ電池, そして酵素処理応用 (食品, 医薬, 修復) / 三林浩二 監修, 三林, 浩二, : シーエムシー出版, 2020 Chemical, gas, and biosensors for internet of things and related applications. / edited by Kohji Mitsubayashi, Osamu Niwa, Yuko Ueno, 三林, 浩二, Niwa, Osamu. [丹羽修], Ueno, Yuko. [上野祐子], : Elsevier, 2019 代謝センシング = Metabolic sensing : 健康, 食, 美容, 薬, そして脳の代謝を知る / 三林浩二 監修, 三林, 浩二, : シーエムシー出版, 2018 生体ガス計測と高感度ガスセンシング / 三林浩二監修 / 三林, 浩二, : シーエムシー出版, 2017 バイオチップとバイオセンサー / 堀池靖浩, 宮原裕二著 ; 高分子学会編集, 堀池, 靖浩, 宮原, 裕二, 高分子学会 : 共立出版, 2006 スポーツバイオ科学と先進スポーツギアの開発 / 三林浩二監修, 三林, 浩二, : シーエムシー出版, 2015 バイオマテリアル : その基礎と先端研究への展開 / 岡野光夫 監修 : 東京化学同人, 2016 ヴィジュアルでわかるバイオマテリアル / 古菌勉, 岡田正弘著, 古菌, 勉, 岡田, 正弘 : 学研メディカル秀潤社, 2011
他科目との関連 特になし
履修上の注意事項 3 年生履修科目
参照ホームページ 【アクティブラーニングの種類】 PBL (Problem-based Learning) 【昨年のアンケートよりの改善点】 Webclass による資料の事前配付を全講義担当にて実施する
連絡先(メールアドレス) 三林 浩二 m.bdi@tmd.ac.jp
オフィスアワー 三林 浩二: 毎週月曜日 AM.11:00-PM.12:00 21 棟(生材研)5階 503B 室

時間割番号	013029						
科目名	分子生物学			科目ID	MT-493200-L		
担当教員	後藤 利保[GOTO TOSHIYASU]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Molecular Biology							
【科目責任者】後藤 利保							
遺伝情報の維持、複製、発現の基本的なしくみを理解し、生命現象を遺伝子発現制御の観点から考える力を身につける							
主な講義場所							
zoom を用いた同期型オンライン授業。							
授業の目的、概要等							
分子生物学は分子を通して、生命現象を理解する学問である。分子生物学の基本的知識無くしては先端的な医学や生物学の理解は覚束ない時代となっている。分子生物学を含む生命科学の最前線は日々急速に前進しているので、教科書には記載されていない最新の話題も交えて、解り易く講義する。							
授業の到達目標							
クロマチン修飾、転写、RNA プロセッシング、翻訳などの遺伝子発現制御機構や、DNA の修復、複製などの遺伝情報維持機構の基本的なしくみを分子レベルで理解するとともに、さまざまな遺伝子発現制御が個体発生や老化などの生命現象にどのように関わっているのかを理解する。							
1回目: 原核生物と真核生物の染色体構造の相違、遺伝子構造と転写ユニットを説明できる							
2回目: mRNA の転写制御機構の概要を説明できる							
3回目: DNA の複製機構やテロメアの構造と維持の機構、がん化や老化との関連を説明できる							
4回目: 真核生物の mRNA の転写後プロセッシングや細胞内局在の制御機構の概要を説明できる							
5回目: mRNA の核外輸送、細胞内局在、翻訳機構、品質管理機構について説明できる							
6回目: DNA の損傷と修復機構の概要を説明できる。ゲノム編集の概要を説明できる							
7回目: rRNA、tRNA、その他の非コード RNA の機能と生合成について説明できる							
8回目: 遺伝子発現のエピジェネティックな制御機構の概要を説明できる							
これらの基礎知識を基にして、最新の分子生物学関連の英文レビュー記事や原著論文を自身で通読できる能力を身につけることを最終目標とする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/14	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	遺伝子発現制御機構概論	原核生物と真核生物のゲノム構造と遺伝子発現について概説する	後藤 利保	授業終了後、当日中に各自で考えた試験問題(1題)を goto.mcb@mri.tmd.ac.jp にメールすること。
2	5/21	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	メッセンジャーRNAの転写	原核生物および真核生物におけるメッセンジャーRNA の転写制御機構について概説する	後藤 利保	授業終了後、当日中に各自で考えた試験問題(1題)を goto.mcb@mri.tmd.ac.jp にメールすること。
3	5/28	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	がん化・老化の遺伝子発現制御	DNA の複製、テロメアの構造と維持機構について概説し、がん化・老化との関連を概説する	岩佐 宏晃	授業終了後、当日中に各自で考えた試験問題(1題)を goto.mcb@mri.tmd.ac.jp にメールすること。
4	6/4	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	メッセンジャーRNAの転写後プロセッシング	真核生物における mRNA の転写後プロセッシングについて概説する	後藤 利保	授業終了後、当日中に各自で考えた試験問題(1題)を goto.mcb@mri.tmd.ac.jp にメールすること。
5	6/11	08:50-10:20	遠隔授業	メッセンジャーRNA	メッセンジャーRNA の核	後藤 利保	授業終了後、当日中に各自で考

			(同期型)	の局在・翻訳・品質管理	外輸送、細胞内局在、翻訳制御機構、異常なメッセンジャーRNAの分解機構について概説する		えた試験問題(1題)を goto.mcb@mri.tmd.ac.jp にメールすること。
6	6/18	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	DNAの損傷と修復	DNAの損傷の種類やその修復機構について概説する。遺伝子工学のツールとしてのゲノム編集について概説する	平岡 優一	授業終了後、当日中に各自で考えた試験問題(1題)を goto.mcb@mri.tmd.ac.jp にメールすること。
7	6/25	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	非コードRNA	rRNA、tRNAをはじめとする非コードRNAの機能と生合成を概説する	後藤 利保	授業終了後、当日中に各自で考えた試験問題(1題)を goto.mcb@mri.tmd.ac.jp にメールすること。
8	7/2	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	遺伝子発現のエピジェネティックな制御	DNAのメチル化やヒストン修飾による遺伝子発現制御機構について概説する	後藤 利保	授業終了後、当日中に各自で考えた試験問題(1題)を goto.mcb@mri.tmd.ac.jp にメールすること。

授業方法

zoom 上で、スライドを用いた同期授業を行う。

アクティブラーニングとして、学生による試験問題の作成と解答を実施する(通常試験とは別に各自の個別の試験として通常試験時に別途解答していただく)。

授業の内容から学生が各自、自分に対して試験問題を1題作成し、その試験問題を各授業終了後、当日中にメールで担当教員(後藤利保)に出題する。解答として何を書くかまでを考えて、自らに出題すること。

ただし、以下の試験問題は採用しない。

- 1、翌日以後に着信したメールに書かれた試験問題
- 2、欠席した日に着信したメールに書かれた試験問題
- 3、授業の内容から逸脱した試験問題

授業内容

授業スケジュール参照。

成績評価の方法

筆記試験(通常)

多肢選択式問題 20 題 各 1 点 合計 20 点

記述式問題 4 題 各 10 点 合計 40 点

筆記試験(個別)

各授業日に提出した自らへの試験問題 8 題 各 5 点 合計 40 点

成績評価の基準

自分自身による試験問題の作成と解答を通して、講義内容を理解しているか

分子生物学の基本的な知識を習得できているか

講義の内容を理解し自分の言葉で表現できているか

準備学習等についての具体的な指示

講義が始まるまでの期間に準備は必要ないが、講義を受けたら、該当する内容について、例示の参考書など大学レベルの内容の書籍を読んで次の週までに復習し、講義で配布された小テストに自分で解答できるようにすること。図書館等で必要な文献等を読み、辞書等を引き、それでも不明な点は教員に積極的に質問するなど、受講者個人の講義外での活動に期待している。遺伝学など他の講義とも密接に関わるので、科目相互の連関にも目を配り、生命現象を分子レベルで理解して自分の言葉で説明できるよう、理解を深めること。

試験の受験資格

講義に5回以上出席すること。

zoom での出席は、講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合。

参考書 分子細胞生物学／H. Lodish [ほか著], Lodish, Harvey F., Berk, Arnold, Kaiser, Chris, Krieger, Monty, Bretscher, Anthony, Ploegh, Hidde L., Amon, Angelika, Martin, Kelsey C., 榎森, 康文, 堅田, 利明, 須藤, 和夫(1947-), 富田, 泰輔, 仁科, 博史, 山本, 啓一(1948-), : 東京化学同人, 2019-12 細胞の分子生物学／Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 翻訳, Alberts, Bruce, Johnson, Alexander D., Lewis, Julian, Morgan, David, Owen, Raff, Martin C., Roberts, K. (Keith), Walter, Peter, 青山, 聖子, 齊藤, 英裕, 滋賀, 陽子, 田口, マミ子, 滝田, 郁子, 中塚, 公子, 羽田, 裕子, 船田, 晶子, 宮下, 悦子, 中村, 桂子, 松原, 謙一, : ニュートンプレス, 2017 ワトソン遺伝子の分子生物学／James D. Watson [ほか] 著 ; 滋賀陽子 [ほか] 訳, Watson, James Dewey, Baker, Tania, Bell, Stephen P., Gann, Alexander, Levine, Michael S., Losick, Richard, 滋賀, 陽子, 滝田, 郁子, 羽田, 裕子, 宮下, 悦子, 中村, 桂子, : 東京電機大学出版局, 2017 遺伝子発現制御機構—クロマチン, 転写制御, エピジェネティクス／田村隆明・浦聖恵 編著: 東京化学同人, 2017 基礎分子生物学／田村隆明, 村松正實 著: 東京化学同人, 2016 分子生物学の幅広い基礎知識を得る上では、各自でできるだけ新しい本を参考書として購入することを薦める。ここに紹介した日本語訳のものより英語版の方が新しい版を入手できる可能性がある。大学院への進学を考える者には在学中に少なくとも1冊を通読することを薦める。
他科目との関連 これまで他科目で学習したあるいは今後学習するすべての生命現象を遺伝子の発現制御の視点から考察できるよう、この科目の理解を深めてもらいたい。
履修上の注意事項 分子生物学や細胞生物学などの実験系の研究室で大学院に進みたい、あるいはバイオテクノロジー関連のベンチャーなどで働くことを考慮している学生諸君に受講を薦めたい。自ら率先して質問や討論をするような、講義への積極的な参加を希望する。
備考 ただ単なる出席点ではなく、その代わりとなるように、アクティブラーニングの一環として、各講義終了後に自作の試験問題を提出してもらうように改善した。試験日に個別試験として自作の試験の解答にて最終的な評価とした。
連絡先(メールアドレス) 後藤 利保 後藤 利保: goto.mcb@mri.tmd.ac.jp
オフィスアワー 後藤 利保 後藤 利保 平日 8:15-17:00 M&D タワー23 階 N-2311 号室

時間割番号	013031						
科目名	心臓生理学			科目ID	MT-490500-L		
担当教員	笹野 哲郎[SASANO TETSUO]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Cardiac Physiology 【科目責任者】笹野 哲郎							
授業の目的、概要等 心臓が血液を循環するためのしくみを学ぶ。 循環生理検査の際に、心電図判読で困らない程度の読解力を身につける。							
授業の到達目標 1 回目心臓の電気生理学の基礎を説明できる。 2 回目心電図の基礎と正常心電図が説明できる。 3 回目虚血性心疾患の心電図を判読できる。 4 回目心肥大・電解質異常の心電図を判読できる。 5 回目頻脈性不整脈の心電図を判読できる。 6 回目徐脈性不整脈の心電図を判読できる。 7 回目ホルター心電図、運動負荷心電図、加算平均心電図が何か理解できる。 8 回目総合演習							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/27	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	心臓生理学(1)	心臓電気生理の基礎	笹野 哲郎	
2	10/4	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	心臓生理学(2)	心電図の基礎と正常心電図	笹野 哲郎	
3	10/18	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	心臓生理学(3)	虚血性心疾患の心電図	笹野 哲郎	
4	10/25	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	心臓生理学(4)	心肥大・電解質異常	笹野 哲郎	非同期型講義とします
5	11/1	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	心臓生理学(5)	頻脈性不整脈	笹野 哲郎	
6	11/29	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	心臓生理学(6)	徐脈性不整脈	笹野 哲郎	
7	12/13	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	心臓生理学(7)	ホルター心電図・運動負荷心電図・加算平均心電図	笹野 哲郎	
8	12/20	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	心臓生理学(8)	心電図演習	笹野 哲郎	
授業方法 毎回テーマを決めた講義と関連する演習問題。							
授業内容 心臓電気生理の基礎、心電図の基礎、不整脈・虚血性心疾患などの個別の心電図判読、ホルター心電図、運動負荷心電図、国家試験の過去問演習							
成績評価の方法 平常点とレポート							
成績評価の基準 平常点が 50%、レポートが 50%で評価します。							
準備学習等についての具体的な指示							

人体構造病学・生理検査学講義の心臓に関する箇所を十分理解して来ること。
試験の受験資格 試験は行わず、講義中の小テストを含む平常点とレポートにより評価する。出席は取らないが、小テストの提出状況と回答状況は評価の対象とする。
教科書 目からウロコの心電図 = Don't worry, ECG interpretation. / 古川哲史 著, : ライフメディコム, 2011
参考書 心臓イオンチャネル A to Z = To those with allergy to ion channels / 古川哲史 著, : ライフメディコム, 2015 そうだったのか臨床に役立つ不整脈の基礎 / 中谷晴昭, 古川哲史, 山根禎一 著, : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2012 臨床薬理学 / 井上智子, 窪田哲朗編 ; 井上智子 [ほか] 執筆, 井上, 智子, 窪田, 哲朗, : 医学書院, 2017 病態学/臨床検査医学総論 / 奈良信雄, 高木康, 和田隆志 編, : 医歯薬出版, 2021 : 新潮社 : 成美堂出版
他科目との関連 生理検査学講義の心電図の項目と相補的な内容となり、臨地実習における心電図判読とも関連します。
履修上の注意事項 同期型講義の際は、チャットでの質問を随時受け付けます。疑問点は積極的に質問してください。
連絡先(メールアドレス) 笹野 哲郎 sasano.cvm@tmd.ac.jp M&D タワー13 階南西角
オフィスアワー 笹野 哲郎 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

時間割番号	013033					
科目名	電子顕微鏡学			科目ID	MT-490600-L	
担当教員	星 治[HOSHI OSAMU]					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3～4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Electron Microscopy						
【科目責任者】星治						
主な講義場所						
保健衛生学講義室3(3号館8階)						
授業の目的、概要等						
電子顕微鏡学では電子顕微鏡の原理と構造を学習し、観察対象物に適した試料作製法を解説する。さらに、電子顕微鏡写真から細胞の微細構造と機能の関連を学ぶ。また、光学顕微鏡と近年発展しつつある走査プローブ顕微鏡についても概説し、医学・生物学領域の顕微鏡技術全般についての理解を深める。						
授業の到達目標						
電子顕微鏡は光学顕微鏡よりも高度の解像力を有し、医学・生物学の発展に寄与してきた。電子顕微鏡学では、電子顕微鏡本体の原理と構造を学ぶばかりでなく、生物試料作製法を学習し、医学・生物学における電子顕微鏡の利用、応用法の知識を習得することを目標とする。さらに、走査プローブ顕微鏡の生物学分野への応用についても理解を深める。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	光学顕微鏡	光学顕微鏡の原理	星 治
2	10/1	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	透過型電子顕微鏡(1)	透過型電子顕微鏡の原理	星 治
3	10/8	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	透過型電子顕微鏡(2)	透過型電子顕微鏡の特徴	星 治, 藤代 瞳
4	10/8	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	透過型電子顕微鏡(3)	透過型電子顕微鏡の実際	星 治, 藤代 瞳
5	10/22	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	走査型電子顕微鏡(1)	走査型電子顕微鏡の原理と特徴	星 治
6	10/22	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	走査型電子顕微鏡(2)	走査型電子顕微鏡の実際	星 治
7	10/29	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	原子間力顕微鏡(1)	原子間力顕微鏡の原理、構造と特徴	星 治
8	10/29	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	原子間力顕微鏡(2)	原子間力顕微鏡の実際	星 治
授業内容						
光学顕微鏡の基本的な原理の理解を基盤にして、透過型電子顕微鏡と走査型電子顕微鏡のそれぞれの原理と特徴を学ぶ。実際の観察目的に適した試料作製法も学習し、電子顕微鏡写真の判読を行う。さらに、走査プローブ顕微鏡の一つである原子間力顕微鏡の基本的な特徴も学ぶ。						
成績評価の方法 出席状況(10%)演習課題に対する評価(90%)により、総合的に判定を行う。						
成績評価の基準 出席状況(10%)演習課題に対する評価(90%)により、総合的に判定を行う。						
準備学習等についての具体的な指示						
組織学の復習をしておくこと。特に細胞の構造、上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織の基本的な事項について改めて事前に確認しておく。						
参考書						
電顕入門ガイドブック／日本顕微鏡学会 編:学会出版センター, 2004 電顕入門ガイドブック 日本顕微鏡学会 編 学会出版センター						
他科目との関連						
解剖学、組織学、生理学で修得した人体の構造と機能の知識は、電子顕微鏡レベルの細胞の構造と機能の理解のための基礎となる。また、病理検査学で習得した光学顕微鏡のための試料作製法の知識と技術は、電子顕微鏡のための試料作製の各行程の理解と実践の参考となる。						
履修上の注意事項						
ミクロの世界に興味があり、電子顕微鏡や原子間力顕微鏡などにより細胞・組織のナノレベルの構造を観察する意欲をもっている学生諸君に履修をお薦めする。						
連絡先(メールアドレス) 星 治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
星 治オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。湯島キャンパス3号館16階						

時間割番号	013075					
科目名	アドバンスド生理機能検査学			科目ID	MT-492600-L	
担当教員	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂[KAKINUMA SEI, SUMI YUKI, AKAZA MIHO]					
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3～4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Advanced Physiological Laboratory Science						
【科目責任者】柿沼 晴						
主な講義場所						
2021 年度はオンライン授業により実施する。						
授業の目的、概要等						
生理検査学講義で扱わない最先端、あるいは高度な生理機能検査を学ぶ。						
これらを学ぶ事により、生体の仕組みに対する理解を深める。						
生理機能検査を通じて、疾患病態生理についても学ぶ。						
授業の到達目標						
生理機能検査の原理、結果評価について概説出来る。						
疾患病態生理について概説出来る。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/27	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
2	10/4	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
3	10/18	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
4	10/25	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
5	11/1	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
6	11/29	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
7	12/13	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
8	12/20	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	アドバンスド生理機能検査学	発展した内容の生理機能検査について講義を行う。 詳細は後日 webclass に掲載する	柿沼 晴, 角 勇樹, 赤座 実穂
授業方法						
Webclass、及び Zoom による同期型授業を併用する。						
時間割は別途 webclass に掲載するので確認すること。						
授業内容						
消化器系検査, 呼吸器系検査, 神経・筋機能検査と、それを用いた病態生理などについて学ぶ。						
時間割は別途 webclass に掲載する。						
成績評価の方法						
生理検査学の知識・理解の達成度、講義中の討論における参加を評価の対象とする。						
成績評価の基準						
生理検査学の知識・理解の達成度、講義中の討論における参加を総合的に評価する。						
準備学習等についての具体的な指示						
基本的生理検査についてあらかじめ習得しておく事。						
教科書						
生理機能検査学／東條尚子, 川良徳弘編集, 東條 尚子, 川良 徳弘: 医歯薬出版, 2017						

参考書 各担当講師が Webclass に資料を upload する場合がある。
他科目との関連 解剖学, 生理検査学 I, 医学概論, 総合講義, 臨床病態学, 医用機器・工学, 心臓生理学などに関連。
履修上の注意事項 時間割は別途 webclass に掲載し、同期型か非同期型の指示があるので確認すること。
参照ホームページ 生理検査は人を対象とした動的な検査であり、各種ホームページにて動画や図表、イラストを参照すると理解が進む場合がある。
連絡先(メールアドレス) 柿沼 晴:skakinuma.gast@tmd.ac.jp
オフィスアワー 柿沼 晴:毎週 火曜または金曜日 9:00-17:00 3号館 16階 疾患生理機能解析学分野教授室 (基本的に、来室前にメールで予約することが望ましい)

時間割番号	013090				
科目名	心電図判読			科目ID	MT-492300-Z
担当教員	柿沼 晴, 藤代 瞳[KAKINUMA SEI, FUJISHIRO Hitomi]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次		単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名: Analysis of Electrocardiogram					
【科目責任者】柿沼 晴					
主な講義場所					
基本的にオンライン(同期または非同期)で行う。Zoom ID は別途教務より連絡される。					
授業の目的、概要等					
心電図判読技術を高め、資格習得(心電図検定 3 級)を目指す。					
授業の到達目標					
心電図検定 3 級合格レベルの判読力を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/19	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	P 波、QRS 波、ST	藤代 瞳 柿沼 晴
2	4/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	T 波、U 波、QT	藤代 瞳 柿沼 晴
3	5/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	不整脈波形 1	藤代 瞳 柿沼 晴
4	5/17	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	不整脈波形 2	藤代 瞳 柿沼 晴
5	5/24	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	特徴ある異常波形	藤代 瞳 柿沼 晴
6	5/31	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	過去問演習	藤代 瞳 柿沼 晴
7	6/1	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	過去問演習	藤代 瞳 柿沼 晴
8	6/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	過去問演習	藤代 瞳 柿沼 晴
授業方法					
講義形式、問題を解く演習形式。					
授業内容					
心電図検定過去問の判読、医学部附属病院検査部の心電図の判読。					
成績評価の方法					
出席及び学習態度					
成績評価の基準					
出席および学習態度の総合評価で 60 点以上の者を合格とする。					
準備学習等についての具体的な指示					
事前に教科書を読み、演習課題に取り組むこと。					
課題は別途教官より指示される。					
試験の受験資格					
講義の出席 2/3 以上の者とする					
教科書					
心電図検定公式問題集&ガイド：受検者必携2 級/3 級／日本不整脈心電学会心電図検定委員会 編著：メディカ出版, 2018					
これならわかる!心電図の読み方：モニターから 12 誘導まで／大島一太著,大島 一太：ナツメ社, 2017					
心電図の読み方パーフェクトマニュアル：理論と波形パターンで徹底トレーニング!／渡辺重行, 山口巖編,渡辺 重行,山口 巖：羊土社, 2006					
参考書 実力心電図：「読める」のその先へ／日本不整脈心電学会編集,日本不整脈心電学会：日本不整脈心電学会, 2018					
他科目との関連					
生理検査学の心電図の項目、心臓生理学					
履修上の注意事項 講義は解説が中心となるため、事前に心電図を判読して講義に臨むこと。					
連絡先(メールアドレス) 柿沼 晴:skakinuma.gast@tmd.ac.jp、藤代 瞳:fujishiro.aps@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 柿沼 晴:毎週 火曜または金曜日 9:00-17:00 3 号館 16 階 疾患生理機能解析学分野教授室					
(基本的に、来室前にメールで予約することが望ましい)					

時間割番号	014001						
科目名	AI 実践演習			科目 ID			
担当教員	角 勇樹[SUMI YUKI]						
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
【科目責任者】角 勇樹 AI 実践演習							
主な講義場所 ZOOM による同期および非同期を基本とする。演習内容の理解のため少人数での対面指導もありえる。							
授業の目的、概要等 研究や就職のため、AI、python の基本を学び、実践に使えるようになる。							
授業の到達目標 AI、python の基本を学び、自分でプログラミングできるようになる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Anaconda のインストール、Python の基礎、Graphical User Interface	IDE(Integrated Development Environment, 統合開発環境) の構築、Python 基本的文法、tkinter の使い方	角 勇樹	電卓の作成
2	10/7	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Anaconda のインストール、Python の基礎、Graphical User Interface	DE(Integrated Development Environment, 統合開発環境) の構築、Python 基本的文法、tkinter の使い方	角 勇樹	電卓の作成
3	10/21	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	画像の扱い方	PIL の使い方	角 勇樹	画像 viewer の作成
4	11/4	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	行列、表の扱い方	panda を使い Excel とデータのやりとり、numpy の使い方	角 勇樹	Excel 処理自動化
5	11/11	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	グラフの作り方	matplotlib の使い方	角 勇樹	グラフ作成
6	11/25	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	AI その 1	NN(neural network)、Deep learning(深層学習)、Fully Connected Layer(全結合層)、Backpropagation(逆誤差伝搬)、誤差関数、データ拡張、k 分割交差検証	角 勇樹	MNIST 実行
7	12/9	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	AI その 2	畳み込み(convolution neural network)、Max pooling	角 勇樹	MNIST 実行
8	12/16	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	AI その 3	過学習、Dropout、Batch normalization、残差ネットワーク(Residual network)、転移学習	角 勇樹	Imagenet で転移学習した Xception を実行し物体認識
授業方法 ZOOM による同期および非同期演習を基本とする。演習内容の理解のため少人数での対面指導もありえる。							
授業内容 AI、python の基本を学び、自分でプログラミングを行う。							
成績評価の方法 演習の参加、演習課題の提出							
成績評価の基準 演習の参加率、演習課題の提出内容							

準備学習等についての具体的な指示 「医療と AI・ビッグデータ入門」(選択科目もあり)を受講していることが望ましい。具体的には個人のコンピュータで Anaconda が実行できるレベルが望ましい。
試験の受験資格 演習なので参加している事が必要である。
参考書 授業にて指示する。Webclass などにも up する。
他科目との関連 「医療と AI・ビッグデータ入門」の次のレベル
連絡先(メールアドレス) 角 勇樹:ysumi.pulm@tmd.ac.jp
オフィスアワー 角 勇樹:毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17:00 3 号館 16 階 呼吸器 神経系解析学教授室 (来室の前にメールで予約してください)

時間割番号	013079A					
科目名	Learning Medical English			科目 ID	MT-492900-L	
担当教員	沢辺 元司[SAWABE MOTOJI]					
開講時期	2021 年度後期	対象年次		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
Learning Medical English 【科目責任者】沢辺 元司						
主な講義場所 Zoom						
授業の目的、概要等 現在、多くの人々が海外旅行し、多くの物資が世界中に運ばれ、多量の情報がインターネットで流れ、国際化が進んでいる。明日を担う本学の看護学生、臨床検査学生は世界を舞台にして、活躍することが期待されている。そのためには、単なる英語の会話能力や一般的なプレゼン能力やディスカッション能力だけでなく、医学英語を熟知する必要がある。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。募集の上限は看護、検査合わせて 12 名である。応募者が多い場合には書類、面接などにより選抜する。						
授業の到達目標 本科目の到達目標は解剖、病理、生理、症候学や様々な分野の医学英語を学び活用できることにある。学生は教科書にある基本的な英単語や語句を理解し記憶する事が求められる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	12/3	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第2章 心血管疾患	小試験+通読	沢辺 元司
2	12/15	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第3章 呼吸器疾患	小試験+通読	沢辺 元司
3	12/20	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第4章 神経疾患	小試験+通読	沢辺 元司
4	12/20	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第5章 胃腸疾患	小試験+通読	沢辺 元司
5	12/22	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第6・7章 筋肉骨格疾患、血液疾患	小試験+通読	沢辺 元司
6	12/22	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第8・9章 免疫疾患、内分泌疾患	小試験+通読	沢辺 元司
7	1/5	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第10・11章 腎疾患、皮膚疾患	小試験+通読	沢辺 元司
8	1/5	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第12章 生殖器疾患	小試験+通読	沢辺 元司
授業方法 Zoom による講義形式(同期型)						
成績評価の方法 講義参加状況、小試験の成績、課題の準備状況、最終試験の成績を総合的に判断する						
準備学習等についての具体的な指示 毎回、授業前に、教科書の章を和文翻訳し予習すること。また授業の最初に前回学習分の理解度を知るための小試験を行うので、復習をしておくこと。						
教科書 Pathophysiology Made Incredibly Visual (Incredibly Easy! Series®)／Capriotti T.:Lippincott Williams & Wilkins, 2016 上記教科書の Kindle 版は内容が少し異なるので、印刷版を購入してください。 図書の入手が講義に間に合わない場合は図書館から図書を借用してコピーして一時的に使用して下さい。						
参考書 特に指定しない。						
他科目との関連 解剖学、病理学、生理学および他の英語関連の科目と関連する。						
履修上の注意事項 3 回以上欠席の場合は不可とするので出席に注意すること。本科目で用いる教科書(約 5,000 円)はビジュアルで平易な英語を用いて書かれている。楽しみながら学習しましょう。						
参照ホームページ 教科書のリンクです						

連絡先(メールアドレス)

沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370

オフィスアワー

沢辺 元司オフィスアワーは特に定めませんが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること

湯島キャンパス 3号館 16階

時間割番号	013062						
科目名	English for Health Care Sciences(Ⅰ)			科目ID	MT-491600-L		
担当教員	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS[SAWABE MOTOJI, JANELLE RENEE MOROSS]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: English for Health Care Sciences(Ⅰ) (英語討論 グローバルな意識) 【科目責任者】沢辺 元司							
主な講義場所 遠隔授業(同期型)、Zoom ID/Passcode は WebClass 参照。							
授業の目的、概要等 ネイティブの英語講師によって促進される旅行/毎日の会話関連のトピック/問題に関する小グループディスカッションになります。 学生の登録は 15 に制限されています。							
授業の到達目標 海外旅行に興味のある学生が世界の旅行や文化の問題についての知識を深めるのを助けるために、トピックについて自分の意見を考え出し、それらの意見を英語で包括的に表現します。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/26	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Introductions, Meeting people, Family, Starting and finishing conversations, Giving compliments	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
2	5/17	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Hobbies and interests, Giving opinions and reasons, Agreeing and Disagreeing	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
3	5/24	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Food, Restaurants and eateries, Food Allergies	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
4	5/31	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Shopping (various situations)	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
5	6/7	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Asking for and giving directions	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
6	6/14	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Staying healthy abroad, Illnesses, Symptoms	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)

7	6/21	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Staying healthy abroad, Illnesses, Symptoms	グループ討論、ロール プレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANE LLE RENEE M OROSS, WARR EN L ELIZABE TH	(WebClass に資料 がある)
8	7/5	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Telephone calls, Times, Numbers	グループ討論、ロール プレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANE LLE RENEE M OROSS, WARR EN L ELIZABE TH	(WebClass に資料 がある)
授業方法 グループ討論、ロールプレイ、個人の予習							
授業内容 授業スケジュール参照							
成績評価の方法 積極的なクラスへの参加と出席(出席だけでなく活発な議論を意味します。)							
成績評価の基準 積極的なクラスへの参加と出席 100%							
準備学習等についての具体的な指示 宿題は少ないこと WebClass 参照							
試験の受験資格 本科目においては最終試験は行わないが、成績評価は「出席」、「討論の参加」によって評価される。							
教科書 WebClass 参照							
他科目との関連 ヘルスケア科学のための英語の最初の部分です。2 年生から 4 年生までがこのクラスに申し込むことができます。							
履修上の注意事項 成績は、クラス活動への積極的な参加に基づいて決定されます。以前にこのコースを受講したことのある学生は、単位なしでのみ申請 できます。							
備考 留学を希望するすべての医療技術の学生のためのスタディツアーの前後に必要です。フィンランド、ラオス、タイ、ネパールなど。 授業最終日から、科目についてのアンケートが webclass でできるようになっている。アンケートに回答しない場合は、定期試験の可否を 含む成績が webclass に表示されない。							
連絡先(メールアドレス) 沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370 JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 沢辺 元司:オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること 湯島キャンパス 3 号館 16 階 JANELLE RENEE MOROSS:毎週金曜日 PM 12:00-14:00 1 号館 4 階 教授室							

時間割番号	013063						
科目名	English for Health Care Sciences(Ⅱ)			科目ID	MT-392000-L		
担当教員	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS[SAWABE MOTOJI, JANELLE RENEE MOROSS]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2～3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: English for Health Care Sciences(Ⅱ) (英語討論 グローバルな意識) 【科目責任者】沢辺 元司							
主な講義場所 遠隔授業(同期型)、Zoom ID/Passcode は WebClass 参照。							
授業の目的、概要等 ネイティブの英語講師によって促進される旅行/毎日の会話関連のトピック/問題に関する小グループディスカッションになります。 学生の登録は15に制限されています。							
授業の到達目標 海外旅行に興味のある学生が世界の旅行や文化の問題についての知識を深めるのを助けるために、トピックについて自分の意見を考え出し、それらの意見を英語で包括的に表現します。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	12/8	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Introductions, Asking and Giving opinions, Agreeing and disagreeing	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
2	12/8	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Accepting and declining invitations, Thanking people, Apologizing	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
3	12/13	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Making a complaint	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
4	12/15	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Advice, Making suggestions	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
5	12/24	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Lost and Found, Describing things	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
6	12/24	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Reporting a crime, Describing a person or a situation	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
7	1/12	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	Asking for permission, Asking people to do things,Offering your help	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
8	1/12	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Making, Changing or canceling appointments or invitations	グループ討論、ロールプレイ、個人の予習	沢辺 元司, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN L ELIZABETH	(WebClass に資料がある)
授業方法 グループ討論、ロールプレイ、個人の予習							
授業内容 授業スケジュール参照							
成績評価の方法 積極的なクラスへの参加と出席(出席だけでなく活発な議論を意味します。)							

成績評価の基準 積極的なクラスへの参加と出席 100%
準備学習等についての具体的な指示 WebClass 参照 宿題は少ないこと
試験の受験資格 本科目においては最終試験は行わないが、成績評価は「出席」、「討論の参加」によって評価される。
教科書 WebClass 参照
他科目との関連 ヘルスケア科学のための英語の最初の部分です。2 年生から 3 年生までがこのクラスに申し込むことができます。
履修上の注意事項 成績は、クラス活動への積極的な参加に基づいて決定されます。以前にこのコースを受講したことのある学生は、単位なしでのみ申請できます。
備考 留学を希望するすべての医療技術の学生のためのスタディツアーの前後に必要です。フィンランド、ラオス、タイ、ネパールなど。 授業最終日から、科目についてのアンケートが webclass でできるようになっている。アンケートに回答しない場合は、定期試験の合否を含む成績が webclass に表示されない。
連絡先(メールアドレス) 沢辺 元司 m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370 JANELLE RENEE MOROSS jmoross.isc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 沢辺 元司 オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること 湯島キャンパス 3 号館 16 階 JANELLE RENEE MOROSS: 毎週金曜日 PM 12:00-14:00 1 号館—4 階 教授室

<自由科目>

時間割番号	013036						
科目名	薬理学			科目ID	MT-292500-L		
担当教員	永田 将司						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
英文名: Pharmacology							
【科目責任者】永田 将司							
授業の目的、概要等							
薬理学は、化学物質(薬物)と生体(個体～分子レベルを含む)との間で起こる選択的な相互作用を研究する学問である。どの視点から相互作用を考えるかによって、以下の 2 つに分けられる。①薬力学:薬物が生体に及ぼす生化学的・生理学的作用(薬理作用)を調べる。②薬物動態学:生体が薬物の吸収や分布・代謝、排泄に及ぼす影響を調べる。これらについて深い知識を有することは、適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。							
授業の到達目標							
1-3 回目:薬物とは何かについて説明できる。薬物の使用目的について説明できる。薬物の体内での動きについて説明できる。							
4 回目:代表的な感染症治療薬を列挙し、作用機構を説明できる。							
5 回目:代用的な抗がん薬を列挙し、作用機構を説明できる。							
6 回目:代表的な免疫治療薬を列挙し、作用機構を説明できる。							
7 回目:代表的な抗アレルギー・抗炎症薬を列挙し、作用機構を説明できる。							
8 回目:末梢での神経活動に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。							
9-10 回目:中枢神経系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。							
11-12 回目:心臓・血管系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。							
13 回目:呼吸器系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。							
14 回目:消化器・生殖器系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。							
15 回目:物質代謝に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。代表的な皮膚科用薬・眼科用薬を列挙し、作用機構を説明できる。漢方薬と西洋薬の違いや、漢方薬の副作用について説明できる。代表的な消毒薬を列挙し、その特徴を説明できる。							
16 回目:新薬開発までの道のりを説明できる。日本国内で発生した代表的な薬害事例を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/13	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	薬理学を学ぶにあたって	薬理学とは何か	永田 将司	
2	10/13	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	薬理学の基礎知識 (1)	薬による病気の治療、薬が作用するしくみ、薬の体内挙動	永田 将司	
3	10/20	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	薬理学の基礎知識 (2)、看護業務に必要な薬の知識	薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子、薬物使用の有益性と危険性、薬と法律、薬に関する単位、処方せん、添付文書	永田 将司	
4	10/20	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	抗感染症薬	感染症治療に関する基礎事項、抗感染症薬各論、特殊な感染症の治療薬、感染症の治療における問題点	永田 将司	
5	10/27	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	抗がん薬	がん治療に関する基礎事項、抗がん薬各論	永田 将司	講義冒頭に Webclass を用いて小テストを行う
6	10/27	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	免疫治療薬	免疫系の基礎知識、免疫抑制薬、免疫増強薬・予防接種薬	永田 将司	
7	11/10	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	抗アレルギー・抗炎症薬	抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬、炎症と抗炎症薬、関節リウマチ治療薬、痛風・高尿酸血症治療薬、片頭痛治療薬	永田 将司	講義冒頭に Webclass を用いて小テストを行う

8	11/10	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	末梢での神経活動 に作用する薬物	神経系による情報伝達、自律神経系作用薬、交感神経作用薬、副交感神経作用薬、筋弛緩薬・局所麻酔薬	永田 将司	
9	11/17	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	中枢神経系に作用 する薬物(1)	中枢神経系のはたらきと薬物、全身麻酔薬、催眠薬・抗不安薬	永田 将司	講義冒頭に Webclass を用いて 小テストを行う
10	11/17	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	中枢神経系に作用 する薬物(2)	抗精神病薬、気分障害治療薬、パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬	永田 将司	
11	11/24	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	心臓・血管系に作用 する薬物(1)	抗高血圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬	永田 将司	講義冒頭に Webclass を用いて 小テストを行う
12	11/24	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	心臓・血管系に作用 する薬物(2)	抗不整脈薬、利尿薬、脂質異常症治療薬、血液に作用する薬物	永田 将司	
13	12/15	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	呼吸器系に作用す る薬物	呼吸器系に作用する薬物	永田 将司	講義冒頭に Webclass を用いて 小テストを行う
14	12/15	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	消化器・生殖器系に 作用する薬物	消化器系に作用する薬物、生殖器・泌尿器系に作用する薬物	永田 将司	
15	12/22	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	物質代謝に作用す る薬物、皮膚科用 薬・眼科用薬、漢方 薬、消毒薬	ホルモンとホルモン拮抗薬、治療薬としてのビタミン、皮膚に使用する薬物、眼科用薬、漢方医学の基礎知識、漢方薬各論 消毒薬とは、消毒薬の種類と応用、消毒薬の適応	永田 将司	講義冒頭に Webclass を用いて 小テストを行う
16	12/22	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床薬理学	医薬品の開発、副作用と薬害	永田 将司	

授業方法

Zoom を用いたオンライン形式(同期型)で行う。

講義は教科書に沿って進めるので、必ず教科書を持参すること。

また、アクティブラーニングを取り入れ、5、7、9、11、13、15 回目の講義冒頭に Webclass を用いて課題演習(小テスト)を行う。講義中に解説を行いフィードバックする。

成績評価の方法

授業中に行う小テスト(20 点)、筆記試験(80 点)および出欠状況に基づき評価する。なお、筆記試験問題の一部は英語で出題する。

成績評価の基準

S(90 点以上)、A(89-80 点)、B(79-70 点)、C(69-60 点)、D(59 点以下)の 5 段階で評価を行う。

本試験で D の場合、再試験を行う。再試験でも D となった場合は不合格となる。

準備学習等についての具体的な指示

解剖学・生理学・病理学をよく復習しておくこと。

試験の受験資格

全 16 回中 12 回以上出席したものに受験資格を認める。

講義は Zoom を用いたオンライン形式で行うため、最初から最後まで参加しているログが確認できた場合を出席とする。

教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進 3/吉岡 充弘/泉 剛/井関 健/横式 尚司/菅原 満:医学書院, 2018

時間割番号	013086					
科目名	短期海外研修 A			科目 ID	MT-190800-S	
担当教員	沢辺 元司[SAWABE MOTOJI]					
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Short term overseas study program A						
【科目責任者】沢辺 元司						
主な講義場所						
主に Zoom で講義が行われるが、対面講義もありうる。						
授業の目的、概要等						
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で検査の対象となる人々、提供する検査の実際と課題、医療体制を捉え、臨床検査技術職としての専門性、および国際感覚を養う						
授業の到達目標						
研修国の保健医療福祉事情および臨床検査技術職の役割、活動状況、日本との差異について理解し、研修報告会で適切に説明することができる						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	短期海外研修	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	沢辺 元司
2	10/13	16:20-17:50	その他	短期海外研修	海外研修報告会	沢辺 元司
授業方法						
短期海外研修、オンライン国際交流プログラム						
成績評価の基準						
研修期間前の準備						
研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況						
研修報告会における発表状況						
研修報告書						
準備学習等についての具体的な指示						
研修で困らない語学力を身に付けておくこと						
TOEFL による語学評価を受けておくこと						
グローバル人材育成推進事業による海外派遣前教育プログラム(TOEFL 集中コースなど)が提供される場合は必ず参加すること						
希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること						
研修内容によっては事前に特定分野(例えば脳波)の十分な学習が必要となるので、担当教員の指示に従うこと						
教科書						
担当教員から指定する						
他科目との関連						
English for Health Care Sciences (I), (II) 短期海外研修を希望する者は English for Health Care Sciences (I), (II)の何れかを研修の前後に受講すること						
履修上の注意事項						
大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと 短期海外研修を希望する者は短期海外研修オリエンテーションに参加すること 短期海外研修以前に行われる事前学習会に必ず参加すること						
備考						
★新型コロナウイルス感染拡大状況により短期海外研修、オンライン国際交流プログラムの情報が電子メールなどで連絡されるので注意すること。						
連絡先(メールアドレス) 沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370						
オフィスアワー						
沢辺 元司オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること						
湯島キャンパス 3号館 16階						

時間割番号	013076																									
科目名	短期海外研修 B			科目 ID	MT-293000-S																					
担当教員	沢辺 元司[SAWABE MOTOJI]																									
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2	単位数	1																					
実務経験のある教員による授業	該当する																									
英文名: Short term overseas study program B 【科目責任者】沢辺 元司																										
主な講義場所 主に Zoom で講義が行われるが、対面講義もありうる。																										
授業の目的、概要等 諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で検査の対象となる人々、提供する検査の実際と課題、医療体制を捉え、臨床検査技術職としての専門性、および国際感覚を養う																										
授業の到達目標 研修国の保健医療福祉事情および臨床検査技術職の役割、活動状況、日本との差異について理解し、研修報告会で適切に説明することができる																										
授業計画 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/16</td> <td>18:00-19:30</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>短期海外研修</td> <td>合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)</td> <td>沢辺 元司</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/13</td> <td>16:20-17:50</td> <td>その他</td> <td>短期海外研修</td> <td>海外研修報告会</td> <td>沢辺 元司</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/16	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	短期海外研修	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	沢辺 元司	2	10/13	16:20-17:50	その他	短期海外研修	海外研修報告会	沢辺 元司
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																				
1	4/16	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	短期海外研修	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	沢辺 元司																				
2	10/13	16:20-17:50	その他	短期海外研修	海外研修報告会	沢辺 元司																				
授業方法 短期海外研修、オンライン国際交流プログラム																										
成績評価の基準 研修期間前の準備 研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況 研修報告会における発表状況 研修報告書																										
準備学習等についての具体的な指示 研修で困らない語学力を身に付けておくこと TOEFL による語学評価を受けておくこと グローバル人材育成推進事業による海外派遣前教育プログラム(TOEFL 集中コースなど)が提供される場合は必ず参加すること 希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること 研修内容によっては事前に特定分野(例えば脳波)の十分な学習が必要となるので、担当教員の指示に従うこと																										
教科書 担当教員から指定する																										
他科目との関連 English for Health Care Sciences (I), (II) 短期海外研修を希望する者は English for Health Care Sciences (I), (II)の何れかを研修の前後に受講すること																										
履修上の注意事項 大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと 短期海外研修を希望する者は短期海外研修オリエンテーションに参加すること 短期海外研修以前に行われる事前学習会に必ず参加すること																										
備考 ★新型コロナウイルス感染拡大状況により短期海外研修、オンライン国際交流プログラムの情報が電子メールなどで連絡されるので注意すること。																										
連絡先(メールアドレス) 沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370																										
オフィスアワー 沢辺 元司オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること 湯島キャンパス 3号館 16階																										

時間割番号	013077					
科目名	短期海外研修 C			科目 ID	MT-392100-S	
担当教員	沢辺 元司[SAWABE MOTOJI]					
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Short term overseas study program C						
【科目責任者】沢辺 元司						
主な講義場所						
主に Zoom で講義が行われるが、対面講義もありうる。						
授業の目的、概要等						
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で検査の対象となる人々、提供する検査の実際と課題、医療体制を捉え、臨床検査技術職としての専門性、および国際感覚を養う						
授業の到達目標						
研修国の保健医療福祉事情および臨床検査技術職の役割、活動状況、日本との差異について理解し、研修報告会で適切に説明することができる						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	短期海外研修	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	沢辺 元司
2	10/13	16:20-17:50	その他	短期海外研修	海外研修報告会	沢辺 元司
授業方法						
短期海外研修、オンライン国際交流プログラム						
成績評価の基準						
研修期間前の準備						
研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況						
研修報告会における発表状況						
研修報告書						
準備学習等についての具体的な指示						
研修で困らない語学力を身に付けておくこと						
TOEFL による語学評価を受けておくこと						
グローバル人材育成推進事業による海外派遣前教育プログラム(TOEFL 集中コースなど)が提供される場合は必ず参加すること						
希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること						
研修内容によっては事前に特定分野(例えば脳波)の十分な学習が必要となるので、担当教員の指示に従うこと						
教科書						
担当教員から指定する						
他科目との関連						
English for Health Care Sciences (I), (II) 短期海外研修を希望する者は English for Health Care Sciences (I), (II)の何れかを研修の前後に受講すること						
履修上の注意事項						
大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと 短期海外研修を希望する者は短期海外研修オリエンテーションに参加すること 短期海外研修以前に行われる事前学習会に必ず参加すること						
備考						
★新型コロナウイルス感染拡大状況により短期海外研修、オンライン国際交流プログラムの情報が電子メールなどで連絡されるので注意すること。						
連絡先(メールアドレス) 沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370						
オフィスアワー						
沢辺 元司オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること						
湯島キャンパス 3 号館 16 階						

時間割番号	013078					
科目名	短期海外研修 D			科目 ID	MT-492700-S	
担当教員	沢辺 元司[SAWABE MOTOJI]					
開講時期	2021 年度通年	対象年次	4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名: Short term overseas study program D						
【科目責任者】沢辺 元司						
主な講義場所						
主に Zoom で講義が行われるが、対面講義もありうる。						
授業の目的、概要等						
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で検査の対象となる人々、提供する検査の実際と課題、医療体制を捉え、臨床検査技術職としての専門性、および国際感覚を養う						
授業の到達目標						
研修国の保健医療福祉事情および臨床検査技術職の役割、活動状況、日本との差異について理解し、研修報告会で適切に説明することができる						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	短期海外研修	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	沢辺 元司
2	10/13	16:20-17:50	その他	短期海外研修	海外研修報告会	沢辺 元司
授業方法						
短期海外研修、オンライン国際交流プログラム						
成績評価の基準						
研修期間前の準備						
研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況						
研修報告会における発表状況						
研修報告書						
準備学習等についての具体的な指示						
研修で困らない語学力を身に付けておくこと						
TOEFL による語学評価を受けておくこと						
グローバル人材育成推進事業による海外派遣前教育プログラム(TOEFL 集中コースなど)が提供される場合は必ず参加すること						
希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること						
研修内容によっては事前に特定分野(例えば脳波)の十分な学習が必要となるので、担当教員の指示に従うこと						
教科書						
担当教員から指定する						
他科目との関連						
English for Health Care Sciences (I), (II) 短期海外研修を希望する者は English for Health Care Sciences (I), (II)の何れかを研修の前後に受講すること						
履修上の注意事項						
大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと 短期海外研修を希望する者は短期海外研修オリエンテーションに参加すること 短期海外研修以前に行われる事前学習会に必ず参加すること						
備考						
★新型コロナウイルス感染拡大状況により短期海外研修、オンライン国際交流プログラムの情報が電子メールなどで連絡されるので注意すること。						
連絡先(メールアドレス) 沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370						
オフィスアワー						
沢辺 元司オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること						
湯島キャンパス 3号館 16階						

學生周知事項

学 生 周 知 事 項

1 連絡・通知

すべての告示、通知、連絡（試験関係、休講、講義室変更、奨学金関係、健康診断、授業料の納付、呼び出し等）は、Web Class（電子掲示板）により行います。

新たに掲示があった場合はメールリストで周知するので、1日に1回はメールを確認するように心がけ、見落として不利益を被らないよう十分注意してください。

2 電話等による学生の呼び出し等

電話等による学生の呼び出しは、緊急かつ重大な場合を除いて一切行わないので、各関係者に説明しておいて下さい。

3 学生証

学生証は、本学の学生である旨を証明するものです。

入学時に交付したものを**4年間使用**しますので、紛失・破損等のないよう大切に取扱って下さい。

また、定期試験受験時、通学定期券の購入時等に提示を求められたときに提示できるよう、常に携帯するようにして下さい。

(1) 再交付

学生証を紛失又は破損等した場合は、速やかに学務企画課（1号館西1階）に申し出て、再交付の手続きをとって下さい。

再交付には費用がかかりますので注意してください。また再交付まで約1ヶ月近くかかります。

(2) 返却

卒業、退学、除籍、又は有効期間が経過した場合は、速やかに学生証を学務企画課に返却して下さい。なお、返却できない場合は費用を負担することになります。

4 証明書等

証明書等は、保健衛生教務係にて発行するものと、自動発行機にて発行するものがあります。

(1) 保健衛生教務係（受付時間：8:30～17:15）

次に掲げるものは、保健衛生教務係で発行しますので証明書交付願を提出して下さい。

（交付は、原則として、提出のあった日の明後日となります。）

①成績証明書

②調査書

③英文の在学証明書（交付に1週間程度要します。）

④通学証明書（交通機関から請求された場合に限る。）

バス及び鉄道の通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅又は大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入して下さい。

⑤実習用定期

卒業研究等により本学以外の地に通学する場合は、実習用定期の発行が可能な為、必要が生じた者は、保健衛生教務係に申し出てください。

なお、鉄道会社の許可を受けるまでに**1ヶ月程度要します**ので留意してください。（例：4月から必要な場合は、2月中旬に手続きをとること。）

※その他：上記以外の証明書等については、個々に保健衛生教務係に相談して下さい。

(2) **自動発行機(利用時間:月～金 8:30～21:00)**

在学証明書・卒業見込み証明書(第4学年在籍者のみ)は、学生談話室(5号館4階)に設置されている[自動発行機]にて発行します。

(問い合わせ先)学務企画課企画調査係(03-5803-5074)

5 学生旅客運賃割引証(学割証)

- (1) 学生が課外活動又は帰省などでJR線を利用する場合、乗車区間が片道100kmを超えるときに旅客運賃の割引(2割)を受けることができます。

この制度は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的とするものなので、計画的に使用すること。(年間使用限度:10枚/人)

- (2) 次に掲げる行為があったときは、普通運賃の2倍の追徴金を取られるばかりでなく、本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがありますので、乱用又は不正に使用することのないよう注意して下さい。

- ①他人名義の学割証を使って乗車券を購入したとき
- ②名義人が乗車券を購入し、これを他人に使用させたとき
- ③使用有効期間を経過したものを使用したとき

- (3) 学割証は、学生談話室(5号館4階)に設置されている「自動発行機」にて発行します。

(利用時間:8:30～21:00)

(問い合わせ先)学生支援事務室 学生支援総括係(03-5803-5077)

6 住所・氏名等の変更

本人又は保証人の住所・本籍又は氏名等(電話番号を含む。)に変更が生じた場合は、速やかに保健衛生教務係に申し出て所定の手続きをとって下さい。

この手続きを怠った場合、大学から本人又は保証人に緊急に連絡する必要があるが生じても連絡が取れないので注意して下さい。

7 休学, 復学, 退学, 欠席

(1) 休学

病気その他の事由により、引き続き3ヶ月以上休学する場合は、「休学願」を保健衛生教務係に提出し、学長の許可を受けて下さい。(病気の場合は、医師の診断書を添付して下さい。)

なお、休学にあたっては、事前に「**学年担当教員**」又は「**グループ担当教員**」と面談し、**休学事由及び休学によって生じる修学上の諸問題**等について十分相談して下さい。

また、休学を許可される期間は、**在学期間内通算して2年を超えることができません**。(特別の事情があると学長が認めたときは、更に1年以内の休学を許可することがありますので、事前に保健衛生教務係に相談してください。)

(2) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中又は満了時に復学を希望する場合は、復学願(保証人連署)を保健衛生教務係に提出し、学長の許可を受けて下さい。(病気を事由に休学した場合は、医師の診断書と保健管理センター発行の復学に関する意見書を添付して下さい。)

(3) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願(保証人連署)を保健衛生教務係に提出し、学長の許可を受けて下さい。

なお、退学するにあたっては、事前に学年担当教員、グループ担当教員と面談し、退学事由等について十分相談して下さい。

(4) 授業の欠席

病気その他特別な事情により授業を欠席する(した)場合は、欠席届を保健衛生教務係に提出して下さい。(病気の場合は、「診断書」を添付して下さい。)

8 ロッカーの貸与

各人にロッカー(学部在籍中は、同じロッカーを使用)を貸与します。
私物は講義室等に置かず、全てロッカーに保管して下さい。
教室及びロッカー室内での盗難が多発しているため、貴重品等の管理は厳重にして下さい。
また、各人の責による備品等の破損については、各人の負担により現状に復して下さい。

9 授業中(大学行事、課外授業を含む。)の本人及び賠償責任が伴う事故等

入学時に加入した「学校教育災害傷害保険」(学研災)及び「医学生教育研究賠償責任保険」(医学賠)の対象となります。

(詳細は「学生生活の手引」参照)

なお、**針刺し事故(B型・C型肝炎)**が起こった場合は、職員健康管理室安全衛生係(5号館:03-5803-4619)へ連絡のうえ指示を受けた後、保健衛生教務係に事故報告書を提出して下さい。

ただし、他人に対する針刺し事故については上記の「医学賠」保険の対象となります。

10 遺失物及び拾得物

学内での遺失物又は拾得物の届出は以下のとおりとなります。

・遺失または拾得した建物の防災センターまたは守衛所

11 その他

(1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援課の窓口で保管していますので、責任者は適宜確認して下さい。なお、個人宛の郵便物等は、特別の場合を除き大学に配達されることがないようお願いします。

(2) 事務上の窓口

- ① 教務事務………医学部保健衛生教務係(3号館6階:03-5803-5119)
- ② 授業料の納入………財務部財務企画課資金管理係(1号館西3階:03-5803-5042)
- ③ 奨学金・授業料免除………学生支援事務室 学生支援総括係
(5号館3階:03-5803-5077)
- ④ 針刺し事故………職員健康管理室安全衛生係(5号館3階:03-5803-4619)

台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業、試験の休講措置等について

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講、試験の延長を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載します。

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR 及び大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。

URL

<http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html>

諸 様 式

- 1 **証明書交付願**（自動発行機にて発行しているものを除く。）
証明書は、原則として請求日の明後日以降発行する。（英文によるものを除く。）
- 2 **住所・本籍地変更届**
変更したことを証明する書類が必要です。（運転免許証、戸籍抄本等）
- 3 **改姓届（戸籍抄本添付）**
- 4 **保証人変更届**
- 5 **学生証（身分証明証）紛失、盗難、破損届 兼 再発行申請書**
学生証の再発行を申請する時に、学務企画課企画調査係に提出
- 6 **授業欠席届**（病気の場合は「診断書」を添付）
病気その他特別な事情により授業を欠席する場合に提出
- 7 **再試験申請書**（未提出者は、権利を喪失するので必ず提出すること。）
定期試験不合格者は、原則再試験実施日の7日前までに教務係に提出
- 8 **再試験欠席届**
病気その他特別な事情により再試験を欠席した場合に提出
- 9 **追試験申請書**（未提出者は、権利を喪失するので必ず提出すること。）
病気、他やむを得ない理由により定期試験を欠席した者は、原則当該定期試験終了後5日以内に教務係に提出
- 10 **休学願**
グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）
- 11 **休学期間延長願**
グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）
- 12 **復学願**
グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）
- 13 **退学願**
グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）

医学部長	事務部長	事務長	事務主事	係長	係員
専	専				

証 明 書 交 付 願

(西暦) 年 月 日

医 学 部 長 殿

- ☐ 医学部医学科 第 学年
☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(☐看護学専攻 ☐検査技術学専攻)
☐ 医学部医学科専攻生 (講座)
☐ 医学部保健衛生学科専攻生
(学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名

(Name)

生年月日 (西暦) 年 月 日生

(Date of Birth)

下 記 に よ り 証 明 書 (和 文 ・ 英 文) の 交 付 を お 願 い い た し ま す 。

(If you need English writing certificate, please feel free to ask the Educational Affairs Section.)

記

証明書の種類	枚 数	※証明書番号	請求理由及び提出先
1. 成績証明書 厳封 (☐ 希望 ☐ 不要)			(請求理由)
2. 卒業見込証明書 (M6・N4・MT4のみ発行)			
3. 在学証明書 (英文のみ)			(提出先)
4. 在学期間証明 (専攻生のみ)			
5. 終了証明書 (専攻生のみ)			
6.			
7.			(備考)

注) 1. 「※証明書番号」欄は記入しないこと。

2. 英文証明書を依頼する場合は、氏名欄にローマ字表記を合わせて記入すること。

3. 受取の際本人確認のために学生証 (身分証明書) を提示していただきます。
代理で受け取る場合は必ず委任状を持参してください。

4. 成績証明書の厳封を希望する場合はその旨お申し出ください。

医学部長	事務部長	事務長	事務主事	係 長	係 員
専	専				

住所・本籍地変更届

(西暦) 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年

(☐看護学専攻 ☐検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

このたび、下記のとおり変更しましたのでお届けいたします。

記

変 更 者	☐ 本 人 ☐ 保 証 人 (保証人氏名: _____ 続柄: _____)							
☐ 住 所	〒 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> - <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> TEL. _____							
☐ 本 籍 地								

注) 変更該当個所の□をチェックしてください。

注) 提出の際は、変更内容の分かる書類(運転免許証・住民票・戸籍謄本・外国人登録証等)を提示してください。

教務システム	債権変更	学籍簿	名簿

医学部長	事務部長	事務長	事務主事	係 長	係 員
専	専				

改 姓 届

(西暦) 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年

(☐看護学専攻 ☐検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

このたび、下記のとおり改姓しましたのでお届けいたします。

記

(フリガナ)		(フリガナ)	
旧 姓		新 姓	
(改姓理由)			

注) 戸籍抄本又は謄本を添付すること。

教務システム	債権変更	学籍簿	台帳	名簿

医学部長	事務部長	事務長	事務主事	係 長	係 員
専	専				

保 証 人 変 更 届

(西暦) 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年

(☐看護学専攻 ☐検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____ 印

このたび、下記のとおり保証人（正・副）を変更しましたのでお届けいたします。

記

氏 名 (フリガナ)			学生との関係									
	印		職 業									
			本 籍 地									
住 所	〒 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> - <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> TEL. _____											

注) 氏名欄に押印してください。

債権変更	学籍簿

年 月 日

保証人（住所）変更届出

経理責任者

国立大学法人 東京医科歯科大学財務施設部長 殿

平成 年度入学 第 学年

学部名

学科名

研究科名

専攻名

附属学校名

学籍番号 第 号

氏 名 印 ⑩

保証人氏名

☐ 連帯保証人（父母等）住所に変更がありましたのでお届けします。

変更前	
-----	--

変更後	〒 ー _____ Tel () _____
-----	-------------------------------

☐ 連帯保証人を変更しましたのでお届けします。

変更前	
-----	--

変更後	上記の者の授業料債務について本人と連帯して、履行の責を負うことを保証します。 連帯保証人 フリガナ 氏 名 _____ 印 ⑩ (学生との関係:) 住 所 〒 ー _____ Tel () _____
-----	--

(該当する項目の□に、✓してください。)

年 月 日

年度入学 第 学年

- ☐ 学部(学部 学科 専攻)
- ☐ 修士課程 ☐ 博士課程
- ☐ 博士（前期）課程 ☐ 博士（後期）課程
 （ 分野）
- ☐ その他（ ）

学籍番号 第

--	--	--	--	--	--	--	--

 号

氏 名 (自署)

生年月日 年 月 日生

下記のとおり、学生証（身分証明書）を（紛失しました・盗難に遭いました・破損しました）ので、
届け出るとともに、再発行を申請（します。しません。）

なお、学生証（身分証明書）が見つかったときは、直ちに申し出ます。

記

理由・紛失状況等

・紛失(盗難)日時： 年 月 日 時 分頃

・警察への届出日等： 年 月 日（ 警察署）

再発行手数料
☐ 本人負担
☐ 免除

財務企画課確認欄

※ 必要事項を記入のうえ、財務企画課収入管理係で再発行にかかる手数料 1,500 円を支払うこと。
 なお、既納の手数料は、いかなる理由があっても返還しません。

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務部長	事務長	事務主事	係 長	係 員
専	専	専	専	専	専		

授 業 欠 席 届

(西暦) 年 月 日

医 学 部 長 殿

- ☐ 医学部医学科 第 学年
☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(☐看護学専攻 ☐検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

下記のとおり，授業を $\left[\begin{array}{l} \text{欠席します} \\ \text{欠席しました} \end{array} \right]$ のでお届けいたします。

記

1. 欠席期間 自 (西暦) 年 月 日

至 (西暦) 年 月 日

2. 欠席理由 (病気による場合は，医師の診断書を添付すること。)

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務部長	事務長	事務主事	係 長	係 員
専	専	専	専	専	専		

再 試 験 申 請 書

(西暦) 年 月 日

医 学 部 長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年

(☐看護学専攻 ☐検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

下記科目について、再試験の申請をしますのでよろしくお願いいたします。

記

申請科目名	担当教員名	申請科目名	担当教員名
1 .		6 .	
2 .		7 .	
3 .		8 .	
4 .		9 .	
5 .		10 .	

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務部長	事務長	事務主事	係 長	係 員
専	専	専	専				

再 試 験 欠 席 届

(西暦) 年 月 日

医 学 部 長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年

(学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

下記のとおり再試験を欠席しましたのでお届けいたします。

記

1. 試験科目名 : _____ (教員名 : _____)

(西暦) 年 月 日施行

2. 欠 席 理 由 (病気による場合は、医師の診断書を添付すること。)

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務部長	事務長	事務主事	係 長	係 員
専	専	専	専	専	専		

追 試 験 申 請 書

(西暦) 年 月 日

医 学 部 長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年

(☐看護学専攻 ☐検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

下記のとおり定期試験を欠席しましたので、追試験を施行していただきますようお願いいたします。

記

1. 試験科目名 : _____ (教員名 : _____)
(西暦) 年 月 日施行

2. 欠 席 理 由 (病気による場合は、医師の診断書を添付すること。)

休 学 願

年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 科 第 学年

(学専攻)

学 籍 番 号

--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)

本人氏名

参照用

下記のとおり休学したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学理由

2. 休学期間 自 年 月 日
至 年 月 日 (ヶ月)

3. 休学中の連絡先

本人	〒 - TEL. _____
保証人	〒 - TEL. _____

注) 1. 休学理由は、裏面にできるだけ具体的に記入してください。

2. 休学理由が、病気を理由とする場合は、医師の診断書を添付してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

休学期間延長願

年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 科 第 学年

(学専攻)

学籍番号

(フリガナ)

本人氏名 _____

保証人氏名 _____

下記のとおり休学期間を延長したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

参照用

1. 休学期間延長理由

2. 休学延長期間

年 月 日～ 年 月 日までのところ

年 月 日～ 年 月 日まで延長 (ヶ月)

3. 休学中の連絡先

本人	〒 - TEL. _____
保証人	〒 - TEL. _____

注) 1. 休学理由は、裏面にできるだけ具体的に記入してください。

2. 休学理由が、病気を理由とする場合は、医師の診断書を添付してください。

、経理課出納掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

復 學 願

年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

参照用

医学部

科

第 学年

(学専攻)

学籍 番 号

--	--	--	--	--	--	--	--

(フリカナ)

本人氏名 _____

保証人氏名

下記のとおり休学しておりましたが、 年 月 日付けで復学したいので、
ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学理由

[illegible]

注)病気を理由として休学した場合は,医師の診断書を添付してください。

退 学 願

年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

参照用

科 第 学年
(学専攻)

学 籍 番 号

--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)

本人氏名 _____

(フリガナ)

保証人氏名 _____

下記のとおり退学したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 退学理由

2. 退 学 日 年 月 日付

注) 退学理由は、裏面にできるだけ具体的に記入してください。

経理課出納掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

講義室一覽

講義室等一覧

3号館

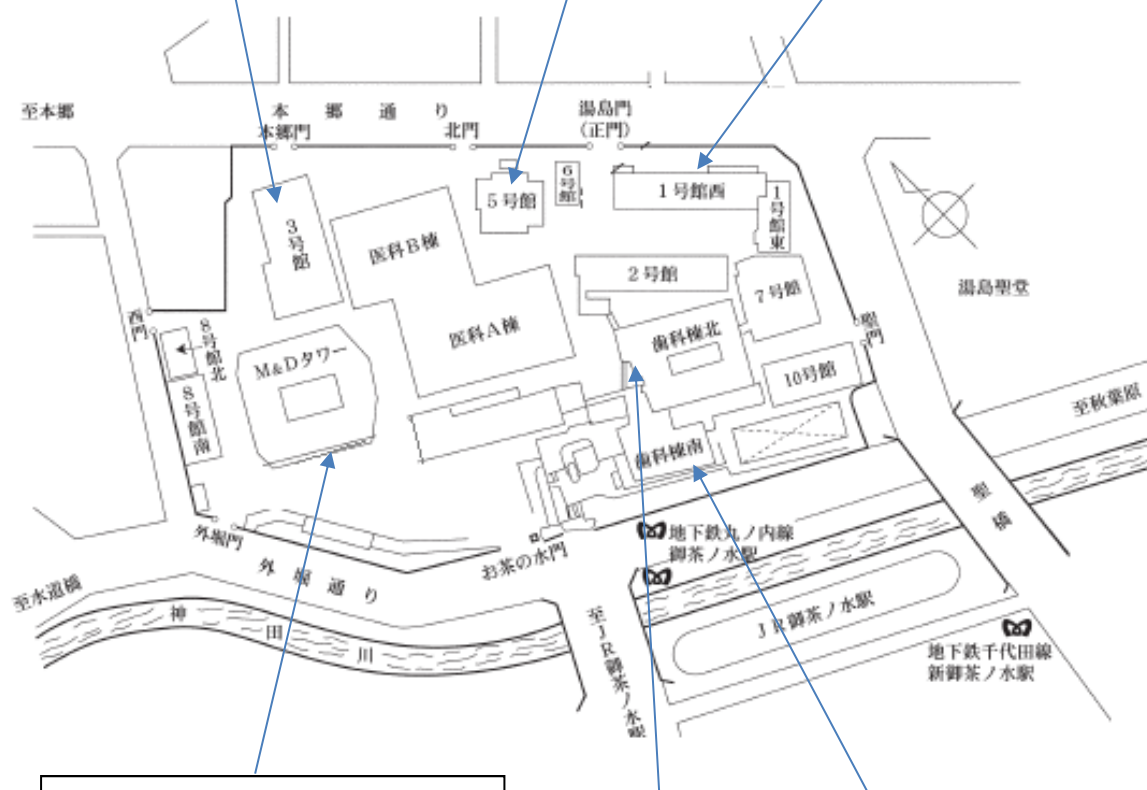
保健衛生学講義室 1 (18階)
保健衛生学講義室 2・3 (8階)
保健衛生学講義室 4・5 (7階)
医学部事務部保健衛生教務係 (6階)

1号館西

学務企画課 (1階)
演習室 1・2 (6階)
OH第3講義室 (7階)

5号館

保健管理センター(2階)
第2ゼミナール室(2階)
大学生協(地下1階)



M&Dタワー

共用講義室 1・2 (2階)
情報検索室 (4階)
共用セミナー室 2 (23階)
共用セミナー室 4 (22階)
共用セミナー室 6 (15階)
共用セミナー室 10 (8階)
共用セミナー室 12 (6階)

歯科棟北

防災センター横
歯学部附属病院時間外入口

歯科棟南

歯学部特別講堂 (4階)

参 考

東京医科歯科大学学則

（ 平成 16 年 4 月 1 日 ）
規 程 第 4 号

第 1 章 総則

第 1 条 本学は、医学及び歯学の理論並びに応用を教授研究し、併せて人格の陶冶をなすものである。

2 各学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、当該学科において別に定める。

第 2 条 本学に、国立大学法人東京医科歯科大学組織運営規程（平成 16 年規程第 1 号。以下「組織運営規程」という。）の定めるところにより、次の学部及び学科を置く。

医 学 部 医学科
 保健衛生学科
歯 学 部 歯学科
 口腔保健学科

2 医学部保健衛生学科に、看護学専攻及び検査技術学専攻を置く。

3 歯学部口腔保健学科に、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻を置く。

4 本学に、組織運営規程の定めるところにより、教養部を置く。

第 3 条 医学部医学科及び歯学部歯学科の修業年限は 6 年、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の修業年限は 4 年とする。

第 4 条 学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学科・専攻	入学定員	編入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	85 人	5（2 年次編入）	535 人
	保健衛生学科			
	看護学専攻	55		220
	検査技術学専攻	35		140
歯 学 部	歯 学 科	53		318
	口腔保健学科			
	口腔保健衛生学専攻	22	6（3 年次編入）	100
	口腔保健工学専攻	10	5（2 年次編入）	55

第 2 章 授業科目

第 5 条 削除

第 6 条 本学の授業科目は、全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）と専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）とする。

- 2 全学共通科目は教養部において、専門科目は各学部において行う。
- 3 全学共通科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。
- 4 専門科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。

第3章 学年、学期及び休業日

第7条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第8条 学年を分けて、次の学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

第9条 授業を行わない日（以下「休業日」という。）は次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (3) 本学創立記念日 10月12日
 - (4) 春季休業
 - (5) 夏季休業
 - (6) 冬季休業
- 2 前項の規定にかかわらず、教育上必要がある場合には、休業日に授業を行うことができる。
 - 3 第1項第4号から第6号の期間は、各学部において別に定める。
 - 4 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第4章 入学、休学、転学、留学、退学及び除籍

第10条 入学の時期は、学年の始期とする。

第11条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同省令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に定める大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

第12条 大学医学部医学科の卒業者で歯学部歯学科に、大学歯学部歯学科の卒業者で医学部医学科に編入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学の許可をすることがある。

第13条 大学医学部医学科の学生で医学部医学科に、大学歯学部歯学科の学生で歯学部歯学科に、大学（短期大学並びに外国の大学及び短期大学を含む。）の学生で医学部保健衛生学科又は歯学部口腔保健学科に転入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学を許可することがある。

第14条 医学部医学科の2年次に編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者（医学を履修する課程を卒業した者を除く。）
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（学校教育における15年の課程を修了し、学士の学位に相当する学位を取得したと大学において認めた者を含む。）

第15条 削除

第16条 医学部保健衛生学科の2年次に編入学することができる者は、四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修しており、かつ、協定大学の学部で2年次以上在学した者で、選考の上、入学を許可する。

第17条 削除

第18条 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の3年次編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

- (1) 歯科衛生士を養成する短期大学を卒業した者
- (2) 歯科衛生士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

第18条の2 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の2年次編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

- (1) 高等専門学校又は短期大学を卒業した者
- (2) 大学を卒業した者
- (3) 歯科技工士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

第19条 本学学生で退学した者が再び入学を請うときは、欠員がある場合に限り、選考の上、原学年以下に入学を許可することがある。

2 前項に規定するもののほか、第25条の規定による休学者が退学（休学期間満了のため学部を退学した者をいう。）し、本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、原学科の原学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。

3 前2項に規定するもののほか、第31条の2の規定による退学者が本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、退学時の在籍学科の在籍学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可す

るものとする。

第20条 編入学、転入学及び再入学により入学し、その後所定の年限在学した者は、第3条に規定する年限を在学したものとみなす。

第21条 本学に入学を志願する者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。

第22条 入学志願者については、学長が当該学部教授会及び教養部教授会の意見を聴いて選考を行う。

2 前項に規定するもののほか、入学者の選考に関し必要な事項は別に定める。

第23条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、定められた期日までに本学の学生としての本分を守る旨、誓約書に署名し、その他所定の書類を提出するとともに、入学料を納付するものとする。ただし、第45条の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請し受理された者にあつては、当該免除又は徴収猶予を許可し又は不許可とするまでの間、入学料の徴収を猶予する。

2 学長は、前項の手続を完了した者に入学を許可する。

3 学長は、入学（再入学及び転入学等を含む。）を許可した者に対し、学生証を交付するものとする。

4 前項に規定するもののほか、学生証に関し必要な事項は別に定める。

第24条 学生は、病気、留学その他の事由により引き続き3月以上休学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第25条 本学医学部医学科又は歯学部歯学科に4年以上在学した者が引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に在学するために休学しようとするときは、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第26条 前2条の規定による休学者で、休学期間中にその事由が消滅したときは、所定の手続きにより、復学の許可を学長に願い出ることができる。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第27条 休学期間は、通算して2年を超えることはできない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに1年以内の休学を許可することがある。

2 大学院医歯学総合研究科博士課程に在学する者の第24条の規定による休学期間及び第25条の規定による休学期間は、第1項の規定にかかわらず、通算して3年を超えることができない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに1年以内の休学を許可することができる。

3 休学した期間は、修業年限及び在学年限に算入しない。

第28条 学長は、学生が病気その他の事由により修学が不適当と認められるときは、当該学部教

授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、休学を命ずることがある。

第29条 学生は、学長の許可なくして、他の大学、本学の他の学科又は専攻に入学を志願することはできない。

第30条 学生が転学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

2 前項の許可を与えたときは、退学とする。

第30条の2 本学の学生が学修のため外国の大学等（外国の学校教育制度に位置づけられた教育施設で学位授与権を有するもの又はこれに相当する教育研究機関で、かつ本学と学生交流協定を締結した又は事前の協議をおこなったものをいう。）に留学を願い出たときは、それが教育上有益と認められた場合において許可することがある。

2 前項の規定による許可は、当該学部教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

3 前項の許可を得て留学する期間は、原則1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、さらに1年を限度として留学期間の延長を認めることがある。

4 第3項の許可を受けて留学した期間は、第3条に規定する修業年限及び第32条に規定する在学年限に算入する。ただし、第24条の規定により許可された留学（以下「休学留学」という。）については、この限りではない。

5 留学を許可された学生は、休学留学の場合を除き、留学期間中においても本学の授業料を納付しなければならない。

6 留学を許可された学生において、次の各号の一に該当したときには、本学と外国の大学等との協議に基づき、教授会等の意見を聴いて学長が留学を取り消すことができる。

(1) 外国の大学等が所在する国の情勢や自然災害等により、学修が困難であると認められるとき。

(2) 留学生として、外国の大学等の規則に違反し、又はその本分に反する行為が認められるとき。

(3) その他留学の趣旨に反する行為があると認められるとき。

7 留学に関する必要な事項は、別に定める。

第31条 学生が病気その他の事由で退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出てその許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第31条の2 四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修している者が協定大学に編入学するために退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第32条 医学部医学科及び歯学部歯学科の学生は10年を、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の学生は8年を超えて在学することができない。

2 編入学、転入学及び再入学により入学した者の在学年限は、各学部において定める。

第33条 学長は、学生が次の各号の一に該当するときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、除籍する。

- (1) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 - (2) その他病気等の事由により、成業の見込みがないと認められる者
 - (3) 在学期間が第 3 2 条に定める在学年限を超える場合に退学的意思を示さないとき。
 - (4) 第 2 4 条、第 2 5 条又は第 2 8 条により休学し、第 2 7 条に定める期間内に復学又は退学的意思を示さないとき。
 - (5) 死亡又は行方不明となったとき。
 - (6) 入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかったもの又は半額免除を許可されたものが、納付すべき入学料を免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して 1 4 日以内に納付しないとき。
 - (7) 入学料の徴収猶予の申請をした者で、徴収猶予を許可されなかった者が、納付すべき入学料を徴収猶予の不許可を告知した日から起算して 1 4 日以内に納付しないとき。
 - (8) 入学料の徴収猶予を許可された者が、納付期限までに入学料を納付しないとき。
 - (9) 授業料を所定の期日までに納入しない者で、督促を受け、なおかつ納入を怠るとき。
- 2 前項第 6 号は、第 4 5 条第 3 項の規定により徴収猶予の申請をした者には適用しない。

第 5 章 教育課程、履修方法及び単位等

第 3 4 条 本学は、各学部及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

- 2 教育課程の編成に当たっては、本学は、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。

第 3 4 条の 2 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。

- 2 前項の授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
- 3 文部科学大臣の別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 4 第 2 項の授業を、外国において履修させることが出来る。また前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 5 卒業に必要な修得すべき単位数のうち、前 2 項の規定による方法で履修し修得した単位数は、6 0 単位を超えないものとする。ただし、卒業要件となる単位数が 1 2 4 単位を超える学科にあっては、その超える単位数を 6 0 単位に加えて卒業要件として認定することができる。

第 3 4 条の 3 本学において必要と認めるときは、学校教育法第 1 0 5 条に規定する本学の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成するものとする。

- 2 前項に定めるもののほか、特別の課程の編成に関し必要な事項は、別に定める。

第 3 4 条の 4 学生が授業科目を履修し、試験に合格したときは、所定の単位を与える。

- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、その学修の成果を評

価して試験によらずに単位を与えることができる。

第35条 前条に定める他、履修及び学習の評価方法については、各学部及び教養部の教授会の意見を聴いて学長が定める。

第36条 1単位の授業科目を、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、1単位当たりの授業時間を次の基準により、各学部及び教養部の教授会の意見を聴いて学長が定める。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間の範囲
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の範囲

第36条の2 一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、三十五週にわたることを原則とする。

第36条の3 各授業科目の授業は、十週又は十五週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合には、この限りでない。

第36条の4 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第36条の5 各授業科目の評価は、A+、A、B、C、D、Fに分け、A+、A、B、Cを合格とし、D、Fを不合格とする。

2 学修の評価に関し必要な事項は別に定める。

3 学生は、学修の評価に対し不服があるときは、所定の手続きにより異議を申し立てることができる。

第36条の6 本学大学院に進学を志望する学生に対し、所属する学部の長が教育上有益と認めるときは、学生が進学する研究科の長の許可を得て、当該研究科の授業を履修することができる。

2 前項に定めるもののほか、本学大学院の授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

第37条 本学の教育上有益と認めるときは、本学に入学（編入学、転入学等を除く。）する前の大学（短期大学を含む。）において修得した単位（大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第31条第1項及び第2項の規定する科目等履修生及び特別の課程（履修証明プログラム）履修生として修得した単位を含む。）は合計30単位を限度として、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。ただし、第3条に定める修業年限を短縮することはできない。

2 前項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。

第38条 本学の教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものと

みなすことができる。

- 2 前項の規定により修得したとみなすことのできる単位数は、前条第1項及び同条第4項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を限度とする。
- 3 第1項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。
- 4 第1項の規定は、第30条の2により学生が外国の大学等に留学する場合、休学留学の場合、外国の大学等が行なう通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び学生が外国の大学等の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合においても準用する。

第6章 卒業及び学位

第39条 卒業の認定は、第3条に定める年限を在学し、かつ、第6条第3項及び第4項に定める授業科目を、医学部医学科においては209単位以上、歯学部歯学科においては220単位以上、医学部保健衛生学科看護学専攻においては124単位以上、医学部保健衛生学科検査技術学専攻においては134単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻においては128単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻においては126単位以上を修得した者に対し、当該学部教授会の意見を聴いて学長が行う。

第40条 前条による卒業者には、次の区分により学士の学位を授与する。

学 部	学科・専攻	学 位
医 学 部	医学科	学士（医 学）
	保健衛生学科	
	看護学専攻	学士（看護学）
	検査技術学専攻	学士（保健学）
歯 学 部	歯学科	学士（歯 学）
	口腔保健学科	学士（口腔保健学）

第7章 検定料、入学料及び授業料

第41条 授業料、入学料及び検定料の額については、別に定める。

第42条 入学志願者は、出願と同時に検定料を納付しなければならない。

第43条 授業料の額は、別に定めるところによるものとし、年額の2分の1ずつを次の2期に分けて納付しなければならない。

前期 5月31日まで
後期 11月30日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、前期に係る授業料を徴収するときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて徴収するものとする。

- 3 入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については、第1項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可するときに徴収するものとする。
- 4 第1項の授業料納入の告知・督促は、所定の場所（医学部掲示板・歯学部掲示板・教養部掲示板）に掲示するものとする。

第44条 既納料金は、如何なる理由があっても返還しない。

- 2 第42条の規定に基づき徴収した検定料について、第1段階目の選抜で不合格となった者から返還の申出があったときは、前項の規定にかかわらず、第2段階目の選抜に係る額に相当する額を返還する。
- 3 前条第3項の規定に基づき授業料を納付した者が、入学年度の前年度の3月31日までに入学を辞退した場合には、第1項の規定にかかわらず、納付した者の申出により当該授業料に相当する額を返還する。
- 4 前条第2項及び第3項の規定に基づき授業料を納付した者が、後期分授業料の徴収時期以前に休学又は退学した場合には、第1項の規定にかかわらず、後期分の授業料に相当する額を返還する。
- 5 学生又は学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が風水害等の災害を受ける等やむを得ない事情があると学長が認めた場合には、授業料、入学料及び検定料について、第1項の規定にかかわらず、返還することができる。

第45条 本学に入学前1年以内において、入学する者の学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる者及び当該者に準ずる者であって、学長が相当と認める事由がある者については、本人の申請により、入学料の全額又は半額を免除することがある。

- 2 本学に入学する者であって、経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者及びその他やむを得ない事情があると認められる者については、本人の申請により、入学料の徴収猶予をすることがある。
- 3 入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかつた者又は半額免除を許可された者のうち、前項該当する者は、免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して14日以内に徴収猶予の申請をすることがある。
- 4 前3項の取扱いについては、別に定める。

第46条 停学に処せられた者の授業料は徴収するものとする。

第47条 行方不明、その他やむを得ない事情がある者の授業料は本人又は保証人の申請により徴収を猶予することがある。

第48条 死亡又は行方不明のため除籍され、或は授業料の未納を理由として退学を命ぜられた者の未納の授業料は全額を免除することがある。

第49条 授業料の納付期限以前に休学又は退学の許可を受けた者の授業料の全額又はその一部を免除することがある。

- 2 前項の取扱いについては別に定める。
- 3 各学期の途中で復学する者のその期の授業料は、復学当月から当該学期末まで月割計算により復学の際徴収する。

第50条 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び学生又は学生の学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が困難と認められる者については、本人の申請により授業料の全額若しくはその一部を免除又は徴収猶予することがある。

2 前項の取扱いについては別に定める。

第51条 削除

第52条 削除

第8章 大学院

第53条 本学に、組織運営規程の定めるところにより、大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

第9章 外国人留学生

第54条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生については、別に定める。

第10章 科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び短期交流学生

第55条 本学の学生以外の者で、本学が開設する一又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 前項により入学した者には、第34条の規定を準用し、単位を与える。

3 その他科目等履修生については、別に定める。

第56条 特定の授業科目について聴講を志願する者があるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生については、別に定める。

第57条 他の大学の学部学生で、当該大学との協定に基づき、本学が開設する一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、選考の上、特別聴講学生として入学を許可する。

2 特別聴講学生については、別に定める。

第57条の2 本学以外の国内外の教育施設に学生として在学中である者で、本学の教員から特定の事項について、指導又は助言を受け本学で研究又は研修等を行うことを志願するものがあるときは、短期交流学生として受入を許可することがある。

2 短期交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

第11章 懲戒

第58条 学長は、学生が本学の諸規則に違反し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、これを懲戒する。

2 懲戒は、退学、停学、訓告とする。

- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 学内の秩序を著しく乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
- 4 懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

第12章 寄 宿 舎

第59条 本学に寄宿舍を置く。

- 2 寄宿舍に関する規定は、別に定める。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科の平成16年度から平成18年度までの3年次編入学員及び収容定員は、次のとおりとする。

区 分 \ 年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度
3年次編入学定員	—	—	10
収容定員	25	50	85

- 3 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学び編入学する者の教育課程の履修については、この学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則の施行前に廃止前の東京医科歯科大学学則（昭和27年学規第1号）の規定によりなされた手続その他の行為は、この学則の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

附 則（平成17年3月23日規程第2号）

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 平成17年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成17年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成18年3月28日規程第1号）

- 1 この学則は平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日において現に本学に在学する者（以下在学者という。）及び平成18年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の第39条、別表（1）及び別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による

附 則（平成19年3月29日規程第3号）

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日において現に本学に在学する者（平成18年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び平成19年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成20年1月16日規程第1号）

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の平成20年度から平成22年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科・専攻	収 容 定 員		
	平成20年度	平成21年度	平成22年度

医学部保健衛生学科			
看護学専攻	215	210	215
検査技術学専攻	135	130	135
歯学部口腔保健学科	118	116	118

附 則（平成20年3月26日規程第5号）

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年4月1日において現に本学に在学する者（平成18年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び20年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）及び別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年1月8日規程第1号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 この学則改正前に、本学に4年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、平成21年4月1日より休学を願い出ている者については、改正後の東京医科歯科大学学則第25条の2の規程を適用する
- 3 この学則の施行の際限に本学に4年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、退学した者が再び入学を志願する場合の取扱いは、なお従前の例による。
- 4 平成21年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年3月19日規程第3号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成21年度から平成25年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員				
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
医学部医学科	480	490	500	510	520

- 3 平成21年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）及び別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、平成21年4月1日以降に歯学部口腔保健学科に3年次編入学する者については、改正後の別表（2）の規定を適用する。

附 則（平成21年12月18日規程第9号）

この規程は、平成22年1月1日から施行する。

附 則（平成22年3月30日規程第3号）

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成22年度から平成26年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
医学部医学科	500	520	540	560	580

- 3 平成22年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成23年3月4日規程第1号）

1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。

2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成23年度から平成27年度までの収容定員は、次のとおりとする。

区分 \ 年度	収 容 定 員				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
収容定員	525	550	575	600	615

3 改正後の第4条の規定にかかわらず、歯学部歯学科の平成23年度から平成27年度までの収容定員は、次のとおりとする。

区分 \ 年度	収 容 定 員				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
収容定員	358	346	334	322	320

4 改正後の第4条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科の平成23年度から平成25年度までの収容定員は、次のとおりとする。

区分 \ 年度	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		平成23年度	平成24年度	平成25年度
口腔保健衛生学専攻	収容定員	115	110	105
口腔保健工学専攻	2年次編入定員		5	5
	収容定員	10	25	40

附 則（平成23年6月30日規程第6号）

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月30日規程第3号）

1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。

2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成24年度から平成27年度までの編入学定員等は、次のとおりとする。

区分 \ 年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
編入学定員	5（2年次編入） 5（3年次編入）	5（2年次編入）	5（2年次編入）	5（2年次編入）
収容定員	555	580	605	620

3 平成24年度においては、改正後の第14条の「2年次」は「3年次及び2年次」と読み替えるものとする。

附 則（平成24年9月28日規程第8号）

この学則は、平成24年10月1日から施行する。

附 則（平成25年3月12日規程第2号）

1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。

2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成25年度から平成29年度までの収容定員は、次のとおりとする。

区分 \ 年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収容定員	581	607	623	629	630

附 則（平成27年3月30日規則第51号）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規程第4号）

この内規は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年5月11日規程第7号）

この学則は、平成28年5月11日から施行し、平成28年5月1日から適用する。

附 則（平成28年12月12日規程第11号）

この学則は、平成28年12月12日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月31日規程第1号）

この学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年5月1日規程第1号）

1 この学則は、平成30年5月1日から施行し、平成30年4月1日から施行する。

2 平成30年3月31日において現に本学に在籍する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和2年3月31日 規程第2号）

1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。

2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の令和2年度から令和8年度までの入学定員等は、「地域の医師確保等の観点からの令和2年度医学部入学定員の増加について（令和元年9月2日付け元文科高第391号・医政医発0902第3号文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」に基づき、次のとおりとする。

年度 区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入学定員	100	100	85	85	85
編入学定員	5	5	5	5	5
収容定員	630	629	613	597	581

年度 区分	令和7年度	令和8年度
入学定員	85	85
編入学定員	5	5
収容定員	565	550

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ

平成20年2月8日
申 合 せ

1. 目的

この申合せは、東京医科歯科大学学則（以下「学則」という。）第58条の規定に基づく学生の懲戒に関し、基本的な考え方、手続、標準その他の必要な事項を定めることにより、その適正及び公正を図ることを目的とする。

2. 基本的な考え方

- (1) 学生に対する懲戒は、大学の規律、秩序を維持し、教育目的を達成するため、一定の事由の発生を要件として、学生に対して制裁を課すものである。
- (2) 懲戒は、懲戒対象行為の態様、結果、影響等を総合的に検討し、教育的配慮を加えたうえで行うものとする。
- (3) 懲戒の取扱いについては、刑事訴追の有無を処分決定の絶対的な基準とはしないものとする。

3. 懲戒の種類

懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

(1) 退学

退学は、学生の身分を失わせることである。

(2) 停学

- ① 停学は、一定の期間登校を禁止することである。
- ② 停学は、無期停学及び有期停学とする。
- ③ 有期停学の期間は6か月未満とする。
- ④ 停学期間は、在学年限に含め、修業年限には含めないものとする。ただし、短期間（1か月以内）の場合には、在学年限及び修業年限に含めることができる。
- ⑤ 無期停学は、原則として6か月を経過した後でなければ解除することができない。
- ⑥ 停学期間には、学則第9条の「休業日」を含むものとする。

(3) 訓告

訓告は、懲戒対象行為について、注意を与え、将来にわたってそのようなことがないように戒めることである。

4. 謹慎

学生の当該行為が懲戒に該当することが明白であり、かつ、停学以上の懲戒がなされることが確実である場合は、部局長（医学部長、歯学部長又は教養部長をいう。以下同じ。）は、当該学生に懲戒決定前に謹慎を命ずることができる。この場合、謹慎の期間は特に定めないが、この間は当該学生の登校を禁止する。

なお、謹慎の期間はその全部又は一部を停学期間に通算することができる。

5. 停学期間中の措置

- (1) 停学期間中の学生に対して当該部局は、面談等により、更正に向けた指導を適宜行うものとする。
- (2) 前項に規定する面談等は、必要に応じカウンセラー等の専門家の協力を得て行うことができるものとする。
- (3) 停学期間中の休学の願い出は、受理しないものとする。

6. 懲戒の手続

(1) 調査委員会の設置

- ① 学部長は、懲戒に相当すると思われる学生の行為（以下「事案」という。）を知ったときは、直ちに学長に報告するとともに、当該学生が所属する学部教授会の議を経て、当該学部教授会の構成員で組織する調査委員会を設置するものとする。

なお、調査委員会には、事案により当該学部教授会の構成員以外の者を加えることができる。

- ② 調査委員会は、当該事案について、調査及び事実の確認を行い、懲戒に関する事実認定の報告書（様式1）を作成するものとする。

(2) 事情聴取等

- ① 調査委員会は、調査に当たり当該学生に対し事情聴取を行うものとする。ただし、学生が心身の故障、身柄の拘束、その他の事由により直接事情聴取を受けることができないときは、これに替えて文書による質問、照会等により事情聴取することができる。

- ② 調査委員会は、事情聴取に際し、当該学生に口頭又は文書により弁明する機会を与えるものとする。

(3) 調査等の結果の報告

調査委員会は、懲戒に関する事実認定の報告書を学部長に提出するものとする。

(4) 教授会審議

学部長は、調査委員会の報告に基づき、当該学部教授会において、懲戒の要否及び種類・程度を審議し、その結果を学長に報告するものとする。

(5) 懲戒の決定

学長は、学部長の報告に基づき、懲戒の要否及び種類・程度を決定するものとする。

(6) 懲戒通知書の交付等

学部長は、学長の命により当該学生に対し懲戒通知書（様式2）を交付するものとする。

(7) 懲戒処分の告知及び告示

学長は、懲戒処分を決定したときは、通知書の交付をもって当該学生及び保証人に告知し、教育研究評議会に報告し、当該学生の所属、懲戒の種類及び事由を告示する。

(8) 懲戒に関する記録

懲戒処分を行ったときは、学籍簿の「特記事項」に記載するものとする。

(9) 退学願いの不受理

学部長は、懲戒の手続中の学生から自主退学の願い出があった場合は、これを受理しないものとする。

(10) その他

二つ以上の部局に関わる事案があるときは、当該部局長は相互に連絡協議するものとする。

7. 不服が申立てられた場合の手続

- (1) 懲戒を受けた学生は、その処分について、事実誤認、新事実の発見、処分の種類または内容等について異議がある場合には、懲戒通知書を受領した日の翌日から起算して14日以内

に、学長に対し書面をもって不服申立てをすることができる。ただし、不服申立てにより懲戒の効力は停止しない。

- (2) 学長は懲戒を受けた学生から不服申立てがあった場合には、学部長に再審議を行わせることができる。
- (3) 学部長は、当該学部教授会に再審議をする旨を報告の上、新たな構成員で組織される調査委員会に再調査等を行わせるものとする。
- (4) 学長は、再調査等の結果に基づく処分内容を当該学生に通知しなければならない。

8. 無期停学の解除

- (1) 学部長は、無期停学処分を受けた学生について、指導教員等と協議し、その反省の程度及び学習意欲等を総合的に判断して、その処分を解除することが適当であると思われるときは、当該学部教授会の議を経て、学長に申出るものとする。
- (2) 学長は、学部長の申出に基づき、無期停学の解除を決定するものとする。
- (3) 学部長は、学長の命により当該学生に対し停学解除通知書（様式3）を交付するものとする。

9. 試験の無効等

(1) 試験の無効

試験における不正行為を行った学生が受験した当該科目の試験は無効とする。

(2) 停学期間中の受験及び履修手続

停学期間中の受験は認めない。ただし、履修手続は可能とする。

10. 懲戒の標準は、別表のとおりとする。

11. 科目等履修生等の懲戒

この申合せの規定は、学則第10章及び第12章に規定する科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生並びに大学院研究生の懲戒について準用する。

12. 大学院学生の懲戒

大学院学生の懲戒については、この申合せの規定を準用する。この場合において、以下のよう
に字句を読み替えるものとする。

- (1) 「学部教授会」を「研究科運営委員会等」
- (2) 「学部長」、「部局長（医学部長、歯学部長、教養部長をいう。以下同じ。）」及び部局長を「研究科長等」
- (3) 「試験」を「試験（単位認定を目的とした定期試験をいう。）」
- (4) 様式2中、「東京医科歯科大学学則第58条」を「東京医科歯科大学大学院学則第60条の規定により準用する東京医科歯科大学学則第58条」

なお、この申合せにおける「大学院学生」には、大学院学則（平成16年4月1日規程第5号）第12章から第14章までに規定する聴講生、特別聴講学生及び特別研究学生、科目等履修生を含むものとする。」

13. 守秘義務

学生の懲戒等に関する事項に関わった職員は、事実上知りえた情報を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

14. この申合せの改廃は、学生支援・保健管理機構運営委員会において行う。

附 則

この申合せは、平成20年2月8日から施行する。

附 則（平成24年2月24日制定）

- 1 この申合せは、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この申合せの施行日において本学に専攻生として在籍する者の取扱いについては、平成24年9月30日まで、なお従前の例による。

附 則（平成28年10月21日制定）

この申合せは、平成28年10月21日から施行する。

附 則（平成30年2月20日制定）

この申合せは、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成30年12月13日制定）

この申合せは、平成30年12月13日から施行し、平成30年11月30日から適用する。

別表

懲戒の標準

・懲戒対象行為の標準的な例及び懲戒の種類は次の表のとおりとする。

懲戒対象行為の標準的な例	懲戒の種類
1. 試験における不正行為 (1) 代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合 (2) 許可されていないノート及び参考書等を参照した場合 (3) 答案を交換した場合 (4) その他、試験において不正行為を行った場合 2. その他の懲戒対象行為 (1) 殺人、傷害、強盗、放火、誘拐、窃盗、痴漢等の犯罪 ① 殺人、傷害、強盗、強姦、放火、誘拐等の犯罪を行った場合 ② 窃盗、詐欺、恐喝等の犯罪を行った場合 ③ 痴漢（のぞき見、盗撮等を含む）を行った場合 (2) 交通事故・交通法規違反 ① 人身事故を伴う交通事故を起こした場合であって、次のいずれかに該当する場合であること （ア）ひき逃げ行為をしたとき （イ）その原因行為が飲酒運転、無免許運転、暴走運転等悪質なとき （ウ）被害者を死に至らしめたとき（過失がない場合を除く） ② 飲酒運転、無免許運転、暴走運転等の重大な交通法規違反を犯した場合 (3) ハラスメント等行為 性的関係の強要、飲酒の強要、いじめや嫌がらせ、ストーカー行為を行った場合 (4) 社会的モラルを問われる行為 ① 未成年者の飲酒 ② 未成年者に飲酒を勧めた場合・容認した場合 ③ 喧嘩、酩酊、喧騒等により、警察等に通報されるなど迷惑をかける行為 ④ その他本学の名誉・信用を失墜させる行為 (5) 薬物犯罪 違法薬物の売買又はその仲介、違法薬物の自己使用等を行った場合 (6) 個人情報の漏えい 授業又は実習・研修等で知り得た、教職員、学生及び患者の個人情報を漏らした場合 ① 情報の漏えいが故意の場合 ② 情報の漏えいが過失の場合 (7) コンピュータ等の不正行為コンピュータ及びコンピュータネットワークの不正使用等並びにこれらを利用した不正行為 (8) 本学の教育・研究活動を妨げる不正行為 ① 研究成果作成の際に論文やデータの捏造を行った場合 ② 剽窃を行った場合 ③ 知的財産を喪失させる行為又は妨げる行為を行った場合	退学 停学 停学 停学又は訓告 退学 退学又は停学 停学又は訓告 退学又は停学 退学、停学又は訓告 退学、停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告 退学又は停学 退学又は停学 停学又は訓告 退学、停学又は訓告 退学、停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告 退学、停学又は訓告 停学又は訓告 退学又は停学

④ 学生の学修、研究及び正当な活動並びに教職員の業務を暴力、威力等の不当な手段によって妨害した場合	退学又は停学
3. 再犯学生の懲戒 過去に懲戒を受けた学生が、再び懲戒対象行為を行った場合は、より「悪質性」が高いものとみなし、各標準を超える重い懲戒を行うことがある。	

備考

- ・「標準的な例」に掲げられていない行為についても、懲戒の対象となる場合がある。
- ・「懲戒の種類」に掲げられていない種類の懲戒が課せられる場合もある。

懲戒に関する事実認定の報告書

1. 対象学生 ・ 学部（研究科） 学科（専攻） 課程・コース・学籍番号
・ 氏名 年 月 日生
・ 入学年月 年 月
・ 現住所 電話番号
2. 事件の経緯・概要
3. 学生の弁明
4. 審議経緯
5. その他参考資料等

記載要領

- 2 は、事件の経緯，概要，大学側の対応，事実の確認等について年月日順に記載する。
- 3 は、当該学生が行った弁明について，日時，場所，証拠，証人，補佐人の有無，内容等を記載する。
- 5 は、その他の必要事項又は参考資料があれば記載又は添付する。

様式 2

懲戒通知書

学 部 名 _____ 学籍番号 _____ 氏 名 _____

東京医科歯科大学学則第 58 条の規定により、下記のとおり懲戒する。

記

1. 懲戒の種類
2. 停学の期間（停学の場合）
3. 処分理由

交付日付 年 月 日

東京医科歯科大学長

印

この処分についての不服申立ては、東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ 6. により、この説明を受領した日の翌日から起算して 14 日以内に、学長に対し書面をもってすることができる。

様式 3

停学解除通知書

学 部 名 _____ 学籍番号 _____ 氏 名 _____

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ 7 の規定により、

年 月 日付けで停学を解除する。

年 月 日

東京医科歯科大学長

印

様式 4

告 示

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せに基づき、次のとおり懲戒処分を行った。

1. 懲戒処分となった学生の学部等

(学部の場合は学科まで記載。大学院の場合は専攻まで記載。)

2. 処分内容

(退学の場合)

退 学

(停学の場合)

停 学 (有期停学の場合は期間)

(例: 年 月 日 ~ 年 月 日)

(訓告の場合)

訓 告

3. 処分理由

年 月 日

国立大学法人

東京医科歯科大学長

印

平成22年3月30日
規則第41号

（趣旨）

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の履修）

第2条 専門科目の履修については、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て別表1に定めるとおりとする。

（授業）

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修、選択必修又は選択とする。

（1単位当たりの授業時間）

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- | | |
|--------|------|
| (1) 講義 | 15時間 |
| (2) 演習 | 30時間 |
| (3) 実習 | 45時間 |

2 前項第3号の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科の臨地実習の1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- | | |
|-------------|------|
| (1) 看護学専攻 | 45時間 |
| (2) 検査技術学専攻 | 30時間 |

（編入学者、転入学者の単位認定）

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

- 2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。
- 3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

- 2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
- 3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。
- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

（進級要件）

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

- 2 医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第33条第1号の規定により退学を命ずる。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年 月 日規則第 号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
	計	8						

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

できる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

別表 1 省略：（ただし保健衛生学科各専攻分(2)(3)は教育課程として教育課程の頁に掲載）

別表 2

成績区分	評価区分	単位認定
100～90点	秀	合 格
89～80点	優	
79～70点	良	
69～60点	可	
59～0点	不可	不合格

別表 3 ((1)、(3)～(5)は省略)

(2) 保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

(1) 第1学年の専門科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。
(2) 第2学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、4科目以上の不合格科目があるとき、又は第2学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。
(3) 第2学年及び第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の履修)

第2条 専門科目の履修については、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て別表1に定めるとおりとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(1単位当たりの授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- | | |
|--------|------|
| (1) 講義 | 15時間 |
| (2) 演習 | 30時間 |
| (3) 実習 | 45時間 |

2 前項第3号の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科の臨地実習の1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- | | |
|-------------|------|
| (1) 看護学専攻 | 45時間 |
| (2) 検査技術学専攻 | 30時間 |

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）におい

て行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。

5 学習の評価は、別表2のとおりとする。

6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。

7 試験の方法に関しては別に定める。

（進級要件）

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

2 医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第33条第1号の規定により退学を命ずる。

（卒業認定）

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第 1 1 条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成 2 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成 1 6 年規則第 2 0 1 号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成 1 6 年規則第 2 1 3 号）は、廃止する。
- 4 平成 2 2 年 3 月 3 1 日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 2 2 年 4 月 1 日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成 2 2 年 3 月 3 1 日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 2 2 年 4 月 1 日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成 2 3 年 3 月 4 日規則第 1 5 号）

- 1 この規則は、平成 2 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 2 3 年 3 月 3 1 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 2 3 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 2 4 年 2 月 3 日規則第 1 9 号）

- 1 この規則は、平成 2 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 2 4 年 3 月 3 1 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 2 4 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 2 4 年 3 月 3 0 日規則第 6 0 号）

- 1 この規則は、平成 2 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 2 4 年 3 月 3 1 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 2 4 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 2 5 年 3 月 2 9 日規則第 5 6 号）

- 1 この規則は、平成 2 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 2 5 年 3 月 3 1 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 2 5 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表 1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成２５年５月３０日規則第７３号）

この規則は、平成２５年５月３０日から施行し、平成２５年４月１７日から適用する。

附 則（平成２６年３月２５日規則第８号）

（施行期日等）

１ この規則は、平成２６年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２ 平成２５年１０月１日の在学者については、平成２５年度に医学部又は歯学部１年次に入学した者にのみ改正後の別表１（７）を適用する。

（平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

３ 前項の規定にかかわらず、平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表１（７）は、次のとおりとし、平成２５年１０月１日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論１	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論２	1		○				
	医療リーダーシップ特論３	1		○				
	医療リーダーシップ特論４	1			○	○ (※２)		
	医療リーダーシップ特論５	1			○ (※１)			
	国際教養特論１	1	○	○				
	国際教養特論２	1		○	○	○ (※２)		
	国際教養特論３	1		○	○	○ (※２)		
	計	8						

※１ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※２ 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※３ 医療リーダーシップ特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を、３を履修しなければ４を、４を履修しなければ５を履修することができる。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

[illegible][illegible][illegible]

Г

長寿口腔健康科学 コース		2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 8												

」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。

- 3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

授業科目	3年		4年		5年		6年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と 細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						
研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○

デンタルエクスターン シップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）
（施行期日等）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、
短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

(2) 保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備 考
		必修	選択	自由	1 年	2 年	3 年	4 年	
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	2			○				
	解剖学Ⅱ	1				○			
	生理学	3				○			
	生化学	2				○			
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1				○			
	微生物学	1				○			
	栄養学	1				○			
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	英文講読Ⅰ	1				○			
	英文講読Ⅱ	1					○		
	専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野	保健統計学	1						○	
	医療情報学	1				○			
	国際保健看護学	2						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	健康教育学演習	1						○	
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2						○	
	Learning Medical English			1		○	○	○	
	実践看護英語			1		○	○		
	国際保健福祉Ⅰ			1		○			
	国際保健福祉Ⅱ			1			○		
	国際保健福祉Ⅲ			1				○	
専門領域別分野	基礎看護学Ⅰ	1			○				
	基礎看護学Ⅱ	1				○			
	基礎看護学Ⅲ	1				○			
	基礎看護学演習Ⅰ	2				○			

	基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
	基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
	基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
	成人看護学Ⅱ	2				○			
	成人看護学Ⅲ	1					○		
	成人看護学演習	1					○		
	成人看護学実習	3					○		
精神看護学	精神看護学	2				○			
	地域精神看護学	1					○		
	精神看護学演習	1					○		
	精神看護学実習	2					○		
	看護心理学※3		1		○	○			
小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
	小児看護学Ⅱ	1					○		
	小児看護学演習Ⅰ	1				○			
	小児看護学演習Ⅱ	1					○		
	小児看護学実習	2					○		
母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
	母性看護学Ⅱ	1					○		
	母性看護学Ⅲ	1					○		
	母性看護学演習	1					○		
	母性看護学実習	2					○		
老年看護学	老年看護学	3					○		
	老年看護学演習	1					○		
	リハビリテーション看護学※3		1				○		
	老年看護学実習	3					○		
地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
	地域保健看護学Ⅱ	1					○		
	地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
	地域保健看護学演習※1		1					○	
	地域保健看護学実習※1		3					○	
在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
	在宅看護学Ⅱ	1					○		
	在宅看護学演習	1					○		
	緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
	緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
	在宅看護学実習	2					○		

看護の統合と実践 総合実習	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
	看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
	看護の統合と実践実習	3						○	
	総合実習Ⅰ※2		2					○	
	総合実習Ⅱ※2		1					○	
計		91	12	5					

- ・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

(3) 保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	1 年	2 年	3 年	4 年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義（Ⅰ）	2			○				
	人体構造学講義（Ⅱ）	1				○			
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	分析化学検査学講義（Ⅱ）	4					○		
	分析化学検査学実習	4					○		
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学講義（Ⅱ）	4					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4					○		
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	2					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1						○	
	公衆衛生学講義	2				○			
	公衆衛生学実習	1				○			
	医療概論・関係法規	1				○			
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2						○	
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7						○	
	卒業研究	10						○	
	神経科学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	遺伝学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	生体医工学		2			○	○	○	○は履修対象学年
	分子生物学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	心臓生理学		1			○	○	○	○は履修対象学年

	癒しの生化学・分子生物学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	○は履修対象学年
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	○は履修対象学年
	薬理学			2		○	○	○	○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅰ）			1		○			○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅱ）			1			○		○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅲ）			1				○	○は履修対象学年
外国語	Global Communication（Ⅰ）	2				○			
	Global Communication（Ⅱ）	2					○		
	Learning Medical English			1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅰ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅱ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
計		97	11	6					

（選択科目の履修）

- 1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。
- 2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。
- 3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。

（自由科目の履修）

- 4 自由科目は卒業要件には含まれない。

(7) 全学科共通自由科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

(2) 保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

(1) 第1学年の専門科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。
(2) 第2学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、4科目以上の不合格科目があるとき、又は第2学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。
(3) 第2学年及び第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目(以下「専門科目」という。)の履修に関しては、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間

(2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 学習目標を十分に満たすこと

(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部(以下「在籍学部」という。)において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われな

ければ所定の単位を修得することができない。

5 学習の評価は、別表2のとおりとする。

6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。

7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

2 医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第33条第1号の規定により退学を命ずる。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

2 東京医科歯科大学医学部履修規則(平成16年規則第201号)は、廃止する。

3 東京医科歯科大学歯学部履修規則(平成16年規則第213号)は、廃止する。

4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。

5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者(以下「在学者」という。)及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則(平成23年3月4日規則第15号)

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成24年2月3日規則第19号)

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成24年3月30日規則第60号)

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成25年3月29日規則第56号)

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1(3)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成25年5月30日規則第73号)

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則(平成26年3月25日規則第8号)

(施行期日等)

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1(7)を適用する。

(平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置)

3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1(7)は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
	計	8						

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則(平成27年3月10日規則第16号)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成27年3月10日規則第17号)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成27年6月1日規則第140号)

(施行期日等)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者(以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。)及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1(4)の

「

包括臨床実習	41											○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」は、

「

包括臨床実習	43												○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」と、

「

長寿口腔健康科学 コース	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 6												

」は、

「

長寿口腔健康科学 コース		2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 8												

」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。

- 3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

授業科目	3年		4年		5年		6年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						
研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成２８年３月３１日規則第７０号）

- この規則は、平成２８年４月１日から施行する。
- 平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成２８年４月１日から適用する。

附 則（平成２８年３月３１日規則第７１号）

- この規則は、平成２８年４月１日から施行する。
- 平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成２８年３月３１日規則第７３号）

（施行期日等）

- この規則は、平成２８年４月１日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成２８年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２８年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（２）及び（３）のうち次に掲げる科目並びに（７）及び（８）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（２） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表１（３） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 平成２８年３月３１日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A＋
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成２８年１１月７日規則第１５９号）

- この規則は、平成２９年４月１日から施行する。
- 平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表１（２）の「

実践看護英語							○	
--------	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成２９年４月１日から適用する。

附 則（平成２９年３月３０日規則第５０号）

- この規則は、平成２９年４月１日から施行する。
- 平成２９年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２９年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１の（２）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表１（２）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附 則（平成２９年３月３１日規則第５４号）

この規則は、平成２９年４月１日から施行する。

附 則（平成２９年６月１日規則第６８号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
(在学する者等に関する経過措置)
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の(1)のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1(1) 研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附 則(平成29年7月6日規則第101号)

(施行期日等)

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
(在学する者等に関する経過措置)
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3(1)医学科(7)及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成29年12月27日規則第137号)

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

別表 1 (1) 医学科 省略

(2) 保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	2			○				
	解剖学Ⅱ	1				○			
	生理学	3				○			
	生化学	2				○			
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1				○			
	微生物学	1				○			
	栄養学	1				○			
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	英文講読Ⅰ	1				○			
	英文講読Ⅱ	1					○		
	専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野	保健統計学	1						○	
	医療情報学	1				○			
	国際保健看護学	2						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	健康教育学演習	1						○	
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2						○	
	Learning Medical English			1		○	○	○	

専門領域別分野		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉Ⅰ			1		○			
		国際保健福祉Ⅱ			1			○		
		国際保健福祉Ⅲ			1				○	
	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		

		母性看護学Ⅲ	1					○			
		母性看護学演習	1					○			
		母性看護学実習	2					○			
	老年看護学	老年看護学	3					○			
		老年看護学演習	1					○			
		リハビリテーション看護学※ 3		1				○			
		老年看護学実習	3					○			
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○				
		地域保健看護学Ⅱ	1					○			
		地域保健看護学Ⅲ※ 1		2					○		
		地域保健看護学演習※ 1		1					○		
		地域保健看護学実習※ 1		3					○		
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○				
		在宅看護学Ⅱ	1					○			
		在宅看護学演習	1					○			
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○		
		緩和ケア看護学Ⅱ※ 3		1					○		
		在宅看護学実習	2					○			
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○					
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○		
		看護の統合と実践実習	3						○		
		総合実習	総合実習Ⅰ※ 2		2					○	
			総合実習Ⅱ※ 2		1					○	
計			91	12	7						

- ・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

(3) 保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	1 年	2 年	3 年	4 年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義（Ⅰ）	2			○				
	人体構造学講義（Ⅱ）	1				○			
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	分析化学検査学講義（Ⅱ）	4					○		
	分析化学検査学実習	4					○		
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学講義（Ⅱ）	4					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4					○		
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	2					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1						○	
	公衆衛生学講義	2				○			

	公衆衛生学実習	1				○			
	医療概論・関係法規	1				○			
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2						○	
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7						○	
	卒業研究	10						○	
	神経科学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	遺伝学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	生体医工学		2			○	○	○	○は履修対象学年
	分子生物学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	心臓生理学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	○は履修対象学年
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	○は履修対象学年
	薬理学			2		○	○	○	○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅰ）			1		○			○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅱ）			1			○		○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅲ）			1				○	○は履修対象学年
外国語	Global Communication（Ⅰ）	2				○			
	Global Communication（Ⅱ）	2					○		
	Learning Medical English			1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅰ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅱ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
計		97	10	6					

（選択科目の履修）

- 1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。
- 2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は

一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。

3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。

（自由科目の履修）

4 自由科目は卒業要件には含まれない。

（4）歯学科～（6）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

（7）全学科共通自由科目

授業科目		単位 数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表 3

(1) 医学科省略

(2) 保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

(1) 第1学年の専門科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。
(2) 第2学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、4科目以上の不合格科目があるとき、又は第2学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。
(3) 第2学年及び第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

(3) 歯学科～(5) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成 22 年 3 月 30 日
規 則 第 4 1 号

(趣旨)

第 1 条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第 2 条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表 1 に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第 3 条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第 4 条 学則第 36 条に定める 1 単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間

(2) 実習については、30 時間から 45 時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 学習目標を十分に満たすこと

(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第 1 項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の 1 単位当たりの授業時間は 25 時間とし、講義 10 時間・実習 15 時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第 5 条 学則第 12 条から第 18 条の 2 までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第 6 条 学則第 19 条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第 7 条 学則第 12 条から第 19 条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第 32 条第 1 項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第 8 条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
- 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
- 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
	計	8						

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。

- 3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

272

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターン シップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語							○	
--------	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1） 研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附 則（平成30年5月8日規則第32号）

- 1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3） 短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）
生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附 則（平成30年12月20日規則第119号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 医学科省略

(2) 保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1 年	2 年	3 年	4 年	
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	2			○				
	解剖学Ⅱ	1				○			
	生理学	3				○			
	生化学	2				○			
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1				○			
	微生物学	1				○			
	栄養学	1				○			
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	英文講読Ⅰ	1				○			
	英文講読Ⅱ	1					○		
	専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野	保健統計学	1						○	
	医療情報学	1				○			
	国際保健看護学	2						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	健康教育学演習	1						○	
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2						○	
	Learning Medical English			1		○	○	○	

		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉A			1	○				
		国際保健福祉B			1		○			
		国際保健福祉C			1			○		
		国際保健福祉D			1				○	
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母	母性看護学Ⅰ	1					○		

		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
	看護の統合と実践 総合実習	在宅看護学実習	2					○		
		看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
		総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
計		91	12	8						

- ・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

(3) 保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	1 年	2 年	3 年	4 年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義（Ⅰ）	2			○				
	人体構造学講義（Ⅱ）	1				○			
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学講義（Ⅱ）	4					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4					○		
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	2					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1						○	
	公衆衛生学講義	2				○			
	公衆衛生学実習	1				○			
	医療概論・関係法規	1				○			

総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2						○	
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7						○	
	卒業研究	10						○	
	神経科学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	遺伝学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	生体医工学		2				○		
	分子生物学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	心臓生理学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	○は履修対象学年
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	○は履修対象学年
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	○は履修対象学年
	薬理学			2		○	○	○	○は履修対象学年
	短期海外研修 A			1	○				
	短期海外研修 B			1		○			
	短期海外研修 C			1			○		
	短期海外研修 D			1				○	
外国語	GlobalCommunication（Ⅰ）	2				○			
	GlobalCommunication（Ⅱ）	2					○		
	LearningMedicalEnglish			1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅰ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅱ）		1			○	○	○	○は履修対象学年
計		96	10	7					

（選択科目の履修）

- 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。
- 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。
- 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。

（自由科目の履修）

- 自由科目は卒業要件には含まれない。

なすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。

- 3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。

(自由科目の履修)

- 4 自由科目は卒業要件には含まれない。

(4) 歯学科～(6) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻)

(7) 全学科共通自由科目

授業科目		単位 数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選 択 科 目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A+	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	

当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表３（１）医学科省略

（２）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（１） （看護学専攻）第１学年の専門科目のうち、実習科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。 （検査技術学専攻）第１学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。
（２） （看護学専攻）第２学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、４科目以上の不合格科目があるとき、又は第２学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第３学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。 （検査技術学専攻）第１学年の専門科目及び第２学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは第３学年に進級することはできない。
（３） （看護学専攻）第２学年及び第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。 （検査技術学専攻）第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修しなかった科目、又は授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を３分の２以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

（３）歯学科～（５）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成 22 年 3 月 30 日
規 則 第 4 1 号

(趣旨)

第 1 条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第 2 条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表 1 に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第 3 条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第 4 条 学則第 36 条に定める 1 単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間

(2) 実習については、30 時間から 45 時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 学習目標を十分に満たすこと

(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第 1 項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の 1 単位当たりの授業時間は 25 時間とし、講義 10 時間・実習 15 時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第 5 条 学則第 12 条から第 18 条の 2 までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第 6 条 学則第 19 条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第 7 条 学則第 12 条から第 19 条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第 32 条第 1 項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第 8 条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

- 第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
 - 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
 - 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

- 第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

- 第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
	計	8						

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

285

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターン シップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語							○	
--------	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1） 研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附 則（平成30年5月8日規則第32号）

- 1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3） 短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）
生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附 則（平成30年12月20日規則第119号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 医学科省略

(2) 保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1 年	2 年	3 年	4 年	
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	2			○				
	解剖学Ⅱ	1				○			
	生理学	3				○			
	生化学	2				○			
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1				○			
	微生物学	1				○			
	栄養学	1				○			
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	英文講読Ⅰ	1				○			
	英文講読Ⅱ	1					○		
	専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野	保健統計学	1						○	
	医療情報学	1				○			
	国際保健看護学	2						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	健康教育学演習	1						○	
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2						○	
	Learning Medical English			1		○	○	○	

		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉 A			1	○				
		国際保健福祉 B			1		○			
		国際保健福祉 C			1			○		
		国際保健福祉 D			1				○	
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母	母性看護学Ⅰ	1					○		

		母性看護学Ⅱ	1					○			
		母性看護学Ⅲ	1					○			
		母性看護学演習	1					○			
		母性看護学実習	2					○			
	老年看護学	老年看護学	3					○			
		老年看護学演習	1					○			
		リハビリテーション看護学※3		1				○			
		老年看護学実習	3					○			
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○				
		地域保健看護学Ⅱ	1					○			
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○		
		地域保健看護学演習※1		1					○		
		地域保健看護学実習※1		3					○		
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○				
		在宅看護学Ⅱ	1					○			
		在宅看護学演習	1					○			
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○		
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○		
	看護の統合と実践	在宅看護学実習	2					○			
		看護の統合と実践Ⅰ	2			○					
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○		
		看護の統合と実践実習	3						○		
		総合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
			総合実習Ⅱ※2		1					○	
計		91	12	8							

- ・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

(3) 保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	1 年	2 年	3 年	4 年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	2				○			
	生理検査学講義（Ⅲ）	2					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅲ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1			○				
	病原体検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1					○		

	公衆衛生学講義	2					○	
	公衆衛生学実習	1					○	
	医療概論・関係法規	1					○	
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2			○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2				○		
	先端医療技術論	1		○				
	総合講義	3					○	
	臨地実習	7				○		
	卒業研究（Ⅰ）	2				○		
	卒業研究（Ⅱ）	8					○	
	神経科学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	遺伝学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	生体医工学		2			○		
	分子生物学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	心臓生理学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	電子顕微鏡学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	アドバンスド生理機能検査学		1			○	○	○は履修対象学年
	四大学連合複合領域コース開講科目				○	○	○	○は履修対象学年
	薬理学			2	○	○	○	○は履修対象学年
	短期海外研修A			1	○			
	短期海外研修B			1	○			
	短期海外研修C			1		○		
	短期海外研修D			1			○	
外国語	GlobalCommunication（Ⅰ）	2			○			
	GlobalCommunication（Ⅱ）	2				○		
	Learning Medical English			1	○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅰ）		1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅱ）		1		○	○	○	○は履修対象学年
計		96	10	7				

（選択科目の履修）

- 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。
- 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したもののみ

なすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。

- 3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。

(自由科目の履修)

- 4 自由科目は卒業要件には含まれない。

(4) 歯学科～(6) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻)

(7) 全学科共通自由科目

授業科目		単位 数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選 択 科 目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A+	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	

当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表３（１）医学科省略

（２）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（１） （看護学専攻）第１学年の専門科目のうち、実習科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。 （検査技術学専攻）第１学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。
（２） （看護学専攻）第２学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、４科目以上の不合格科目があるとき、又は第２学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第３学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。 （検査技術学専攻）第１学年の専門科目及び第２学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは第３学年に進級することはできない。
（３） （看護学専攻）第２学年及び第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。 （検査技術学専攻）第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修しなかった科目、又は授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を３分の２以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

（３）歯学科～（５）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間

(2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 学習目標を十分に満たすこと

(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
- 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
- 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
	計	8						

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

Г

」

」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターン シップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語							○	
--------	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1） 研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附 則（平成30年5月8日規則第32号）

- 1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3） 短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）

生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附 則（平成30年12月20日規則第119号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 医学科省略

(2) 保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学	3			○				
	生理学	3				○			
	生化学	2				○			
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1				○			
	微生物学	1			○				
	栄養学	1				○			
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	Global Nursing CommunicationⅠ	1				○			
	Global Nursing CommunicationⅡ	1					○		
	専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野	保健統計学	1						○	
	医療情報学	1				○			
	国際保健看護学	2						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	健康教育学演習	1						○	
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2						○	
	Learning Medical English			1		○	○	○	

		実践看護英語Ⅰ			1		○			
		実践看護英語Ⅱ			1			○		
		実践看護英語Ⅲ			1				○	
		国際保健福祉A			1	○				
		国際保健福祉B			1		○			
		国際保健福祉C			1			○		
		国際保健福祉D			1				○	
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1			○				
		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母	母性看護学Ⅰ	1					○		

		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		
		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
		在宅看護学実習	2					○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
		総合実習Ⅰ※2		2					○	
	総合実習	総合実習Ⅱ※2		1					○	
		計	91	12	8					

- ・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

(3) 保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	1 年	2 年	3 年	4 年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	2				○			
	生理検査学講義（Ⅲ）	2					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅲ）	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1			○				
	病原体検査学講義（Ⅱ）	3					○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1					○		

	公衆衛生学講義	2					○	
	公衆衛生学実習	1					○	
	医療概論・関係法規	1					○	
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2			○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2				○		
	先端医療技術論	1		○				
	総合講義	3					○	
	臨地実習	7				○		
	卒業研究（Ⅰ）	2				○		
	卒業研究（Ⅱ）	8					○	
	遺伝学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	生体医工学		2			○		
	分子生物学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	心臓生理学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	電子顕微鏡学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	アドバンスド生理機能検査学		1			○	○	○は履修対象学年
	心電図判読		1			○	○	○は履修対象学年
	四大学連合複合領域コース開講科目				○	○	○	○は履修対象学年
	薬理学			2	○	○	○	○は履修対象学年
	短期海外研修A			1	○			
	短期海外研修B			1	○			
	短期海外研修C			1		○		
	短期海外研修D			1			○	
外国語	GlobalCommunication（Ⅰ）	2			○			
	GlobalCommunication（Ⅱ）	2				○		
	Learning Medical English		1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅰ）		1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences（Ⅱ）		1		○	○	○	○は履修対象学年
計		96	10	7				

（選択科目の履修）

- 1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。
- 2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したもののみ

なすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。

- 3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。

(自由科目の履修)

- 4 自由科目は卒業要件には含まれない。

(4) 歯学科～(6) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻)

(7) 全学科共通自由科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A+	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	

当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表 3 (1) 医学科省略

(2) 保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

(1) (看護学専攻) 第1学年の専門科目のうち、実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。 (検査技術学専攻) 第1学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。
(2) (看護学専攻) 第2学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、4科目以上の不合格科目があるとき、又は第2学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。 (検査技術学専攻) 第1学年の専門科目及び第2学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは第3学年に進級することはできない。
(3) (看護学専攻) 第2学年及び第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。 (検査技術学専攻) 第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

(3) 歯学科～(5) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目(以下「専門科目」という。)の履修に関しては、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間

(2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 学習目標を十分に満たすこと

(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部(以下「在籍学部」という。)において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級等要件)

- 第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修又は単位を修得することができない。
- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
 - 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
 - 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

- 第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

- 第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
	計	8						

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

Г

「

Г

」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。

- 3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

311

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターン シップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語							○	
--------	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1） 研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、

研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附 則（平成30年5月8日規則第32号）

- 1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3） 短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）

生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附 則（平成30年12月20日規則第119号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和元年5月8日規則第55号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、令和元年5月8日から施行し、平成31年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）の次に掲げる科目及び別表3（1）医学科（8）及び注4を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1）臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ

附 則（令和元年5月8日規則第56号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、令和元年5月8日から施行し、平成31年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）

及び（４）並びに別表３（１）及び（３）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（１） 総合診療・地域医療

別表１（４） 総合診療・地域医療

別表３（１） 総合診療・地域医療

別表３（３） 総合診療・地域医療

附 則（令和２年３月１１日規則第４９号）

（施行期日等）

１ この規則は、令和２年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２ 令和２年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和２年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（１）、（３）及び（４）の次に掲げる科目並びに別表３（１）の（５）、注１及び別表３（３）の（４）、注を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（１） 医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションⅢ）、社会医学及び行動科学

別表１（３） 神経科学、心電図判読、Learning Medical English

別表１（４） 医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションⅢ）

３ 前項の規定にかかわらず、Learning Medical Englishについては、平成３１年４月１日に入学した者のみ改正後の別表１（３）を適用する。

附 則（令和３年１月１５日 規則第３号）

１ この規則は、令和３年１月１５日から施行し、令和２年４月１日から適用する。

２ 令和２年３月３１日において、現に本学に在学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和３年３月３１日規則第４０号）

この規則は、令和３年４月１日から施行する。ただし、第９条、別表１（４）及び別表３（１）は、令和２年４月１日から適用する。

別表 1 (1) 医学科省略

(2) 保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

授業科目		単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1 年	2 年	3 年	4 年	
専門基礎分野	解剖学	3			○				
	生理学	3				○			
	生化学	2				○			
	薬理学Ⅰ	1				○			
	薬理学Ⅱ	1				○			
	病理学	1				○			
	微生物学	1			○				
	栄養学	1				○			
	疫学	1					○		
	病態学	5				○			
	Global Nursing CommunicationⅠ	1				○			
	Global Nursing CommunicationⅡ	1					○		
	専門基礎合同演習	1				○			
専門共通分野	保健統計学	1						○	
	医療情報学	1				○			
	国際保健看護学	2						○	
	産業保健学	1						○	
	保健医療福祉制度論	2				○			
	健康教育学演習	1						○	
	卒業論文Ⅰ	1					○		
	卒業論文Ⅱ	2						○	
	AI 実践演習			1		○		○	※4
	Learning Medical English			1		○	○	○	※4
	実践看護英語Ⅰ			1		○			
	実践看護英語Ⅱ			1			○		
	実践看護英語Ⅲ			1				○	
	国際保健福祉A			1	○				
	国際保健福祉B			1		○			
	国際保健福祉C			1			○		
	国際保健福祉D			1				○	
基	基礎看護学Ⅰ	1			○				

専門領域別分野		基礎看護学Ⅱ	1				○			
		基礎看護学Ⅲ	1				○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2				○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1				○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1			○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2				○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○			
		成人看護学Ⅱ	2				○			
		成人看護学Ⅲ	1					○		
		成人看護学演習	1					○		
		成人看護学実習	3					○		
	精神看護学	精神看護学	2				○			
		地域精神看護学	1					○		
		精神看護学演習	1					○		
		精神看護学実習	2					○		
		看護心理学※3		1		○	○			※4
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1				○			
		小児看護学Ⅱ	1					○		
		小児看護学演習Ⅰ	1				○			
		小児看護学演習Ⅱ	1					○		
		小児看護学実習	2					○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1					○		
		母性看護学Ⅱ	1					○		
		母性看護学Ⅲ	1					○		
		母性看護学演習	1					○		
		母性看護学実習	2					○		
	老年看護学	老年看護学	3					○		
		老年看護学演習	1					○		
		リハビリテーション看護学※3		1				○		
		老年看護学実習	3					○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
		地域保健看護学Ⅱ	1					○		
		地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
		地域保健看護学演習※1		1					○	
		地域保健看護学実習※1		3					○	
	在宅	在宅看護学Ⅰ	1				○			
		在宅看護学Ⅱ	1					○		

		在宅看護学演習	1					○		
		緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
		緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
	看護の統合と実践	在宅看護学実習	2					○		
		看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
		看護の統合と実践実習	3						○	
	総合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
		総合実習Ⅱ※2		1					○	
	計		91	12	<u>9</u>					

- ・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。
- ・※4 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

(3) 保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区 分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	1 年	2 年	3 年	4 年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○			
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	2				○			
	生理検査学講義（Ⅲ）	2					○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅲ）	2					○		
	病原体検査学講義（Ⅰ）	1			○				
	病原体検査学講義（Ⅱ）	3					○		
病因・病態学系	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
検査管理・社会医学系	医学情報処理演習（Ⅱ）	1					○		
	公衆衛生学講義	2						○	
	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
総合分野	臨床病態学（Ⅱ）	2					○		
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7					○		
	卒業研究（Ⅰ）	2					○		
	卒業研究（Ⅱ）	8						○	
	遺伝学		1			○	○	○	※
	生体医工学		2				○		

	分子生物学		1			○	○	○	※
	心臓生理学		1			○	○	○	※
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	※
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	※
	心電図判読		1				○	○	※
	AI 実践演習		1			○		○	※
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	※
	薬理学			2		○	○	○	※
	短期海外研修 A			1	○				
	短期海外研修 B			1		○			
	短期海外研修 C			1			○		
	短期海外研修 D			1				○	
外国語	Global Communication (I)	2				○			
	Global Communication (II)	2					○		
	Learning Medical English		1			○	○	○	※
	English for Health Care Sciences (I)		1			○	○	○	※
	English for Health Care Sciences (II)		1			○	○	○	※
計		96	12	6					

(選択科目の履修)

- 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。第4学年ではそのうち2単位以上を修得しなければならない。
- 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。

(自由科目の履修)

- 自由科目は卒業要件には含まれない。

※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

(4) 歯学科～(6) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻) 省略

(7) 全学科共通自由科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○

Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

(8) 医学科地域特別枠推薦入試入学者必修科目省略

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A+	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

(2) 保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

(1) (看護学専攻) 第1学年の専門科目のうち、実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。 (検査技術学専攻) 第1学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。
(2) (看護学専攻) 第2学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、4科目以上の不合格科目があるとき、又は第2学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。 (検査技術学専攻) 第1学年の専門科目及び第2学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは第3学年に進級することはできない。
(3) (看護学専攻) 第2学年及び第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。 (検査技術学専攻) 第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

(3) 歯学科～(5) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規

平成23年 2月16日
医学部保健衛生学科長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。）第11条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

第2条 科目試験の成績については、授業科目ごとに担当教員が採点し、履修規則別表2のとおり学習の評価を行う。

- 2 正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の評価は、Fとする。
- 3 第1項及び前項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。
- 4 合否判定の結果について異議がある学生は、掲示後1週間以内に別に定める「成績評価異議申し立て書」を医学部事務部保健衛生教務係に提出することができる。

(仮進級)

第3条 進級要件を満たさない者については、特別な事情がある場合に限り、保健衛生学科教育委員会において協議し、仮進級を認めることができる。

- 2 仮進級者は、翌年度に実施される不合格科目の定期試験を受験し、合格しなければならない。

(G P)

第4条 評価とG Pとの対応は次のとおりとする。

評価	A +	A	B	C	D	F
GP	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

- 2 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修科目とし、G P A (Grade Point Average) の計算式には算入しない。
- 3 選択科目及び自由科目のうち、卒業要件に含まない単位のG Pについては、学生の申請があれば、G P Aの計算式に算入しないものとする。
- 4 前項の申請時期は、第4学年の後期履修登録時とし、以降の変更は原則として認めない。

附 則

- 1 この内規は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学医学部に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日制定）

- 1 この内規は、平成28年4月1日から施行する。

- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（平成28年10月12日制定）

この内規は、平成28年11月1日から施行する。

(第2条関係)

平成 年 月 日

成績評価異議申し立て書

学部

学科・専攻

学籍番号

氏名

授 業 科 目 名		担 当 教 員	
(問い合わせ内容)			
担 当 教 員 へ の 連 絡	年 月 日に	にて連絡	
(教員の回答)	年 月 日		
学 生 へ の 連 絡	年 月 日に連絡		
担 当 教 員 か ら 教 務 係 へ の 連 絡	成績訂正：有（訂正後の成績）・無 年 月 日 氏名		
教 務 係 確 認 欄	年 月 日		

区分	授業科目	単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義(Ⅰ)	2				○			
	医用システム情報学講義(Ⅱ)	1					○		
	医用システム情報学実習(Ⅰ)	1				○			
	医用システム情報学実習(Ⅱ)	1					○		
	生理検査学講義(Ⅰ)	3				○			
	生理検査学講義(Ⅱ)	2				○			
	生理検査学講義(Ⅲ)	2					○		
	生理検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅱ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅲ)	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義(Ⅰ)	1			○				
	病原体検査学講義(Ⅱ)	3					○		
	病原体検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	病原体検査学実習(Ⅱ)	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習(Ⅰ)	1				○			
	医学情報処理演習(Ⅱ)	1					○		
	公衆衛生学講義	2						○	
	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
総合分野	臨床病態学(Ⅰ)	2				○			
	臨床病態学(Ⅱ)	2					○		
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7					○		
	卒業研究(Ⅰ)	2					○		
	卒業研究(Ⅱ)	8						○	
	遺伝学		1			○	○	○	※
	生体医工学		2				○		
	分子生物学		1			○	○	○	※
	心臓生理学		1			○	○	○	※
	電子顕微鏡学		1			○	○	○	※
	アドバンスド生理機能検査学		1				○	○	※
	心電図判読		1				○	○	※
	AI 実践演習		1			○		○	※
	四大学連合複合領域コース開講科目					○	○	○	※
	薬理学			2		○	○	○	※
	短期海外研修A			1	○				
	短期海外研修B			1		○			
	短期海外研修C			1			○		
	短期海外研修D			1				○	
外国語	Global Communication (Ⅰ)	2				○			
	Global Communication (Ⅱ)	2					○		
	Learning Medical English		1			○	○	○	※
	English for Health Care Science (Ⅰ)		1			○	○	○	※
	English for Health Care Science (Ⅱ)		1			○	○	○	※
計		96	12	6					

(選択科目の履修)

- 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。
 - 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。
 - 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。
- ※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

(自由科目の履修)

- 自由科目は卒業要件には含まれない。

保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程 2019(平成31)年度入学者

区分	授業科目	単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義(Ⅰ)	2				○			
	医用システム情報学講義(Ⅱ)	1					○		
	医用システム情報学実習(Ⅰ)	1				○			
	医用システム情報学実習(Ⅱ)	1					○		
	生理検査学講義(Ⅰ)	3				○			
	生理検査学講義(Ⅱ)	2				○			
	生理検査学講義(Ⅲ)	2					○		
	生理検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅱ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅲ)	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義(Ⅰ)	1			○				
	病原体検査学講義(Ⅱ)	3					○		
	病原体検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	病原体検査学実習(Ⅱ)	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習(Ⅰ)	1				○			
	医学情報処理演習(Ⅱ)	1					○		
	公衆衛生学講義	2						○	
	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
総合分野	臨床病態学(Ⅰ)	2				○			
	臨床病態学(Ⅱ)	2					○		
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7					○		
	卒業研究(Ⅰ)	2					○		
	卒業研究(Ⅱ)	8						○	
	神経科学		1			○	○	○	2020年度より廃止
	遺伝学		1			○	○	○	※
	生体医工学		2					○	
	分子生物学		1				○	○	○
	心臓生理学		1				○	○	○
	電子顕微鏡学		1				○	○	○
	アドバンスド生理機能検査学		1					○	○
	心電図判読		1					○	○
	AI 実践演習		1				○		○
	四大学連合複合領域コース開講科目						○	○	○
	薬理学			2			○	○	○
	短期海外研修A			1	○				
	短期海外研修B			1		○			
	短期海外研修C			1			○		
	短期海外研修D			1				○	
外国語	Global Communication (Ⅰ)	2				○			
	Global Communication (Ⅱ)	2						○	
	Learning Medical English		1			○	○	○	※
	English for Health Care Science (Ⅰ)		1			○	○	○	※
	English for Health Care Science (Ⅱ)		1			○	○	○	※
計		96	12	6					
(選択科目の履修)									
1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。									
2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとしなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。									
3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。									
※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。									
(自由科目の履修)									
4 自由科目は卒業要件には含まれない。									

保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程 2018(平成30)年度入学者

区分	授業科目	単位数			履修学年				備考	
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年		
形態・病態制御学系	人体構造学講義（Ⅰ）	2			○					
	人体構造学講義（Ⅱ）	1				○				
	人体構造学実習	1				○				
	病理検査学講義	4				○				
	病理検査学実習	2				○				
	血液検査学講義	2						○		
	血液検査学実習	2					○			
物質・代謝学系	生化学講義	3				○				
	生化学実習	1				○				
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習	
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習	
	分析化学検査学Ⅲ	4						○	講義・実習	
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○				
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1						○		
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○				
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1						○		
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○				
	生理検査学講義（Ⅱ）	2				○				
	生理検査学講義（Ⅲ）	2						○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○				
	生理検査学実習（Ⅱ）	1				○				
	生理検査学実習（Ⅲ）	2						○		
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1				○				
	病原体検査学講義（Ⅱ）	3						○		
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○				
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2						○		
	免疫検査学講義	4				○				
	免疫検査学実習	2						○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○				
	遺伝子検査学実習	1						○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○					
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○				
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1							○	
	公衆衛生学講義	2							○	
	公衆衛生学実習	1							○	
	医療概論・関係法規	1							○	
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○				
	臨床病態学（Ⅱ）	2							○	
	先端医療技術論	1			○					
	総合講義	3							○	
	臨地実習	7						○		
	卒業研究	10							○	
	神経科学		1			○	○	○	○	2020年度より廃止
	遺伝学		1				○	○	○	※
	生体医工学		2					○		※
	分子生物学		1				○	○	○	※
	心臓生理学		1				○	○	○	※
	電子顕微鏡学		1				○	○	○	※
	アドバンスド生理機能検査学		1					○	○	※
	心電図判読		1					○	○	※
	AI 実践演習		1				○		○	※
	四大学連合複合領域コース開講科目						○	○	○	※
	薬理学			2			○	○	○	※
	短期海外研修A			1	○					
	短期海外研修B			1			○			
	短期海外研修C			1				○		
	短期海外研修D			1					○	
外国語	Global Communication（Ⅰ）	2				○				
	Global Communication（Ⅱ）	2						○		
	Learning Medical English			1		○	○	○	※	
	English for Health Care Science（Ⅰ）		1			○	○	○	※	
	English for Health Care Science（Ⅱ）		1			○	○	○	※	
計		96	12	7						
（選択科目の履修）										
1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。										
2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとしみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。										
3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。										
※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。										
（自由科目の履修）										
4 自由科目は卒業要件には含まれない。										

保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程 2017(平成29)年度入学者

区分	授業科目	単位数			履修学年				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義（Ⅰ）	2			○				
	人体構造学講義（Ⅱ）	1				○			
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2						○	
	血液検査学実習	2						○	
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	分析化学検査学講義（Ⅱ）	4						○	
	分析化学検査学実習	4						○	
	機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○		
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1						○	
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○			
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1						○	
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○			
	生理検査学講義（Ⅱ）	3						○	
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	生理検査学実習（Ⅱ）	2						○	
病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学講義（Ⅱ）	4						○	
	病原体検査学実習（Ⅰ）	1				○			
	病原体検査学実習（Ⅱ）	2						○	
	免疫検査学講義	4						○	
	免疫検査学実習	2						○	
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	2						○	
検査管理・社会医学系	検査管理学	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○			
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1							○
	公衆衛生学講義	2				○			
	公衆衛生学実習	1				○			
	医療概論・関係法規	1				○			
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2							○
	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3							○
	臨地実習	7							○
	卒業研究	10							○
	神経科学		1			○		○	○
	遺伝学		1			○		○	○
	生体医工学		2					○	
	分子生物学		1			○		○	○
	心臓生理学		1			○		○	○
	電子顕微鏡学		1			○		○	○
	アドバンスド生理機能検査学		1					○	○
	心電図判読		1					○	○
	AI 実践演習		1			○			○
	四大学連合複合領域コース開講科目					○		○	○
	薬理学			2		○		○	○
	短期海外研修 B			1		○			
	短期海外研修 C			1				○	
	短期海外研修 D			1					○
外国語	Global Communication（Ⅰ）	2				○			
	Global Communication（Ⅱ）	2						○	
	Learning Medical English			1		○		○	○
	English for Health Care Science（Ⅰ）		1			○		○	○
	English for Health Care Science（Ⅱ）		1			○		○	○
計		97	12	6					

（選択科目の履修）

1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。

2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。

3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。

※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

（自由科目の履修）

4 自由科目は卒業要件には含まれない。

保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程 2015(平成27)年度入学者

区分	授業科目	単位数			履修学年				備考	
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年		
形態・病態制御学系	人体構造学講義（Ⅰ）	2			○					
	人体構造学講義（Ⅱ）	1				○				
	人体構造学実習	1								
	病理検査学講義	4				○				
	病理検査学実習	2				○				
	血液検査学講義	2						○		
	血液検査学実習	2						○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○				
	生化学実習	1					○			
	分析化学検査学講義（Ⅰ）	3				○				
	分析化学検査学講義（Ⅱ）	4						○		
	分析化学検査学実習	4						○		
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（Ⅰ）	2				○				
	医用システム情報学講義（Ⅱ）	1					○			
	医用システム情報学実習（Ⅰ）	1				○				
	医用システム情報学実習（Ⅱ）	1					○			
	生理検査学講義（Ⅰ）	3				○				
	生理検査学講義（Ⅱ）	3						○		
	生理検査学実習（Ⅰ）	1				○				
	生理検査学実習（Ⅱ）	2						○		
	病因・病態学系	病原体検査学講義（Ⅰ）	1				○			
病原体検査学講義（Ⅱ）		4						○		
病原体検査学実習（Ⅰ）		1					○			
病原体検査学実習（Ⅱ）		2						○		
免疫検査学講義		4						○		
免疫検査学実習		2						○		
遺伝子・染色体検査学講義		2					○			
遺伝子検査学実習		2						○		
検査管理・社会医学系		検査管理学	1							
	医学情報処理演習（Ⅰ）	1				○				
	医学情報処理演習（Ⅱ）	1							○	
	公衆衛生学講義	2					○			
	公衆衛生学実習	1					○			
	医療概論・関係法規	1					○			
	総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2				○			
臨床病態学（Ⅱ）		2							○	
先端医療技術論		1				○				
総合講義		3							○	
臨地実習		7							○	
卒業研究		10							○	
神経科学			1				○	○	○	2020年度より廃止
遺伝学			1				○	○	○	※
生体医工学			2						○	※
パフォーマンス論			1				○	○	○	廃止
分子生物学			1				○	○	○	※
心臓生理学			1				○	○	○	※
機器分析			1				○	○	○	廃止
癒しの生化学・分子生物学			1				○	○	○	廃止
電子顕微鏡学			1				○	○	○	※
アドバンスド生理機能検査学			1					○	○	※
心電図判読			1					○	○	※
AI実践演習			1						○	※
四大学連合複合領域コース開講科目							○	○	○	※
健康食品総論				2			○	○	○	※
薬理学				2			○	○	○	※
短期海外研修B				1			○			旧：短期海外研修（Ⅰ）
短期海外研修C				1				○		旧：短期海外研修（Ⅱ）
短期海外研修D				1					○	旧：短期海外研修（Ⅲ）
外国語		Global Communication（Ⅰ）	2				○			
		Global Communication（Ⅱ）	2						○	
	Learning Medical English			1		○	○	○		※
	English for Health Care Science（Ⅰ）			1			○	○	○	※
	English for Health Care Science（Ⅱ）			1			○	○	○	※
計		97	12	8						
（選択科目の履修）										
1 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。										
2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。										
3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。										
※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目は、そのいずれかの学年で履修することができる。										
（自由科目の履修）										
4 自由科目は卒業要件には含まれない。										

東京医科歯科大学試験規則

平成 23 年 4 月 1 日
規 則 第 1 号

（趣旨）

第 1 条 この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成 16 年規則第 217 号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成 22 年規則第 41 号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（試験の種類）

第 2 条 試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

（試験の方法）

第 3 条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

（本試験）

第 4 条 本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

2 共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

（定期試験）

第 5 条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

2 定期試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

（1）講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者

（2）実習 当該授業科目の授業時間数の 4 分の 3 以上履修した者

4 定期試験の結果は、公示する。

5 第 3 項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

（共用試験）

第 6 条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（C B T）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（O S C E）をいう。

2 共用試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。

4 共用試験の結果は、公示する。

（追試験）

第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として1回限りとする。

2 追試験を受験しようとする者（以下「追試験申請者」という。）は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として5日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長（以下「学部長等」という。）に願い出て、許可を受けなければならない。

3 学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。

4 追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第2項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（再試験）

第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。

2 再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。

3 再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。

4 再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第3項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（試験の成績）

第9条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が100点満点で採点し、60点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。

2 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

（成績の報告）

第10条 科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。

2 医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

(罰則)

第 1 1 条 試験において不正行為があったときは、学則第 5 8 条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

(補則)

第 1 2 条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成 2 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部試験規則（平成 1 6 年規則 2 0 2 号）は廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成 1 6 年規則 2 1 4 号）は廃止する。
- 4 この規則は、平成 2 3 年 3 月 3 1 日において現に医学部または歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 2 3 年 4 月 1 日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附 則（平成 2 8 年 3 月 3 1 日規則第 7 4 号）

この規則は、平成 2 8 年 4 月 1 日から施行する。

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科試験内規

平成 23 年 2 月 16 日
医学部保健衛生学科長 制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成23年4月1日規則第1号。以下「試験規則」という。）第8条第6項及び第12条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

(再試験)

第2条 再試験の時期は、原則として後期終了後の定期試験実施期間後に予め設定した再試験期間内に実施するものとする。ただし、第4学年で履修した科目の再試験は、第4学年の年度末とする。

2 再試験の実施日時は、試験実施日2週間前までに公示する。

3 再試験を受験しようとする者は、所定の受験申請書により原則として試験期日7日前までに医学部長に願い出なければならない。

附 則

1 この内規は、平成23年4月1日から施行する。

2 東京医科歯科大学医学部に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度 取り扱いに関する要項

平成28年3月31日
制 定

(目的)

第1条 東京医科歯科大学の学部教育におけるGPA (Grade Point Average) 制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 (平成16年制定)、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規 (平成23年制定) に定めるほか、この要項の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要項において、GPAとは、個々の学生の学習到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価 (A+, A, B, C, D, F) を4から0までの点数に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。

2 GPA対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

- (1) A+, A, B, C, D, Fによる学習の評価を行わない科目
- (2) 他大学等で単位を修得し、本学として学習の評価を行わず「認定」とした科目
- (3) 卒業要件に含まない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目 (成績表ではGPA除外科目として明示される)
- (4) GPAへの算入が適当でないと学科等が認めた科目 (シラバスおよび成績表ではGPA除外科目として明示される)

(学習の評価及びGP)

第3条 学習の評価及びGrade Point (GP) は、次のとおりとする。

評 価	GP	評価基準
A +	4.0	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
A	3.5	当該科目の到達目標を全て達成した
B	3.0	当該科目の到達目標を概ね達成した
C	2.0	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
D	1.0	当該科目の到達目標を達成していない
F	0.0	到達目標の達成度を評価できない

(GPAの種類及び計算方法)

第4条 GPAは、当該学年に履修した第2条第2項に定めるGPA対象授業科目について

て、「当該年度のGPA」、「累積GPA」に区分し、各区分は次に定める方法により計算するものとする。

＊ GPAの計算式

当該年度のGPA＝

$$\frac{(4 \times A + \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{可取得単位数})}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

累 積 GPA＝

$$\frac{(4 \times A + \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{可取得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

- 2 前項の計算式において、総履修登録単位数には不可となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。
- 3 計算値は小数点第3位を四捨五入とし表記するものとする。

(GPA計算期日)

第5条 GPAの計算は、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

(成績証明書への記載)

第6条 成績証明書への記載は、累積GPAを使用する。

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。
平成27年度以前入学者についても、GPAを計算する場合は、秀をA+、優をA、良をB、可をC、不可をD、評価なしをFとみなし、適用する。

国立大学法人東京医科歯科大学における授業欠席に関する取扱要項

令和 2 年 1 1 月 3 0 日
制 定

（趣旨）

第 1 条 この要項は、国立大学法人東京医科歯科大学（以下「本学」という。）における授業欠席に関する取扱いについて必要な事項を定める。

（公欠及びその要件）

第 2 条 この要項において、公欠とは、本学が認める一定の事由によりやむを得ず正課を欠席した場合、これを出席として取扱うことをいう。

2 本学の学生が、次の各号の事由によりやむを得ず正課を欠席する場合は、これを公欠として取扱う。

- (1) 感染症に罹患した場合
- (2) 親族が死亡した場合
- (3) 裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合
- (4) その他学長が必要と認める場合

（公欠の手続及び様式）

第 3 条 前条第 2 項各号による公欠の具体的な基準及び手続については、別表のとおりとする。

2 前条第 2 項第 3 号又は第 4 号により公欠が認められた場合は、欠席届の写を回付する等の方法により授業担当教員にその旨通知することとする。

（公欠とされた学生への配慮義務）

第 4 条 授業担当教員は、公欠とされた学生に対し、履修上不利とならないよう配慮するものとする。

（公欠期間中の試験の取扱い）

第 5 条 公欠期間中の試験に関する追試験等の取扱いについては、当該授業科目を開講する学部長又は研究科長の定めるところによる。

（公欠以外の欠席）

第 6 条 公欠以外の理由により 1 週間以上欠席する場合は、欠席届を速やかに各学科又は各専攻の教務係へ提出することとする。

附 則

この要項は、令和 2 年 1 1 月 3 0 日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

別表（第3条関連）

公欠事由	条件	公欠として認められる期間	手続等
感染症に罹患した場合	学校保健安全法施行規則（昭和33年6月13日文部省令第18号）第18条に規定する感染症に罹患した場合、又は感染しているおそれがある場合	学校保健安全法施行規則（昭和33年6月13日文部省令第18号）第19条に規定する期間	欠席届と証拠となる書類（診断書等）を添付し、担当係へ提出すること。
親族が死亡した場合	配偶者及び1親等、2親等の親族の死亡に伴い必要と認められる葬儀、服喪その他の行事のため授業に出席できなかった場合	親族に応じ次に掲げる連続する暦日数（葬儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えた日数）の期間	欠席届と証拠となる書類（会葬礼状等）を添付し、担当係へ提出すること。
		配偶者及び1親等の親族の場合（父母・子）は、死亡した日から起算して連続7日（休日を含む。）	
		2親等（祖父母、兄弟姉妹等）の場合は、死亡した日から起算して連続3日（休日を含む。）	
裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合	裁判員又は裁判員候補者としての任務を果たす場合	裁判所へ出頭する日	欠席届と証拠となる書類（裁判所からの通知書等）を添付し、担当係へ提出すること。
その他学長が必要と認める場合	学長が必要と認める場合	学長が必要と認めた期間	欠席届と証拠となる書類（学長が必要と認めたことがわかる書類）を添付し、担当係へ提出すること。

医学部保健衛生学科レポート

産業保健の根幹を成す、産業の場で看護職が行う五管理について、その概要と業務の具体的事項を述べる。

- ・ 産業の場における看護職の五管理について

1. 産業保健と五管理
2. 作業環境管理
3. 作業管理
4. 健康管理
5. 労働衛生教育
6. 総括管理
7. まとめ
8. 参考文献

—以下省略—

※作成要領

1. レポート本文はワープロ打ちとする。
2. フォーマットはA4版・MS明朝体・10.5サイズとし、横44文字、縦32行で印字する。
3. すべてのページの1行目右上に氏名を記載し、最終行下欄にページ番号を付す。
※レポート本文のページ数、図、表、写真等の使用・貼付等については、担当教員の指示に従う。
4. 表題紙は、別様とする。
5. 書き出しは2行目2コマ目から始める。
6. 英数文字は半角とする。
6. 最後に引用文献及び参考文献の記載を記載する。

※書式は、「お茶の水医学雑誌」に準ずる。

<書き方例>

引用文献

論文の場合

- 1) 宮崎美砂子, 春山早苗: 最新地域看護学. 各論2. 日本看護協会出版会
; 2006: 81-88.

著書の一部の場合

- 2) 鈴木太郎, 山田華子: 糖尿病性神経障害, 小島次郎編 糖尿病, 大学出版, 東京,
1986. pp975-982.